

Android 2.3 ユーザーガイド

2010年12月13日
AUG-2.3-103-JA
Android™ mobile technology platform 2.3

Google™

法的通知

Copyright © 2010 Google Inc. All rights reserved.

Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Nexus、Nexus ロゴ、Nexus S、Nexus S ロゴ、Android マーケット、Android マーケット ロゴ、Gmail、Google Apps、Google カレンダー、Google Checkout、Google Earth、Google Latitude、Google マップ、Google トーク、Picasa、セーフサーチ、および YouTube は、Google Inc. の商標です。その他すべての社名および製品名は、それぞれ該当する企業の商標である可能性があります。

Google のアプリケーション、サービス、機能がご利用可能かどうかは、国、携帯通信会社、端末の機種、およびメーカーにより異なります。

目次

このガイドについて 11

Android の基本 15

Android の初めての起動 16

SIM カードをお持ちでない場合 16

Google アカウント 17

Google アカウントのパスワードのリセット 18

その他のアカウント 18

Google サービス 19

ホーム画面について 20

タッチスクリーンの使い方 23

端末のキーの使い方 24

トラックボールの使い方 25

メニューの操作 26

オプション メニュー 26

コンテキスト メニュー 27

端末の状態の監視 28

ステータス アイコン 28

通知アイコン 29

通知の管理 31

画面キーボードの使い方 33

テキストの音声入力 37

テキストの編集 39

アプリケーションの起動と切り替え 42

画面のロック 44

ホーム画面のカスタマイズ 45

連絡先への簡単な接続 48

電池の節約方法 49

アプリケーションで使うメモリの管理 51

ダウンロードの管理 57

ネットワークやデバイスへの接続 59

- モバイルネットワークへの接続 60
- Wi-Fi ネットワークへの接続 63
- Bluetooth デバイスへの接続 66
- パソコンへの接続 (USB 経由) 70
- 携帯端末のデータ通信の共有 72
- 仮想プライベート ネットワークへの接続 75
- 安全な証明書の操作 77
- インターネット通話 (SIP) の設定 78

通話 81

- 通話の発信と終了 82
- 通話の受信と拒否 85
- 通話履歴の操作 87
- 連絡先への発信 89
- インターネット通話 (SIP) の発信 90
- ボイスメールの再生 91
- 音声によるダイヤル 92
- 通話中のオプション 93
- 複数の通話の管理 95

テキストと音声による検索 97

- 端末やウェブの検索 98
- Google 検索のヒントとテクニック 103
- Google 検索の設定変更 104
 - [検索設定] 画面 104
 - [Google 検索の設定] 画面 104
- 音声操作の使い方 (日本未対応) 105
- 音声操作コマンド 107

連絡先 111

- 連絡先アプリケーションの起動 112
- 連絡先の追加 114
- 連絡先のインポート、エクスポート、共有 115
- 連絡先をお気に入りに追加 117
- 連絡先の検索 118
- 連絡先の詳細の編集 119
- 連絡先への連絡 122

- 連絡先表示の変更 124
- 連絡先の統合 126
- 連絡先情報の分割 128

アカウント 129

- アカウントの追加と削除 130
- アカウントの同期オプションと表示オプションの設定 133

Gmail 137

- Gmail のバージョンとリリース状況 138
- Gmail の特長 139
- Gmail の起動と受信トレイの表示 140
- メールを読む 144
- メールの作成と送信 147
- メールの返信と転送 149
- 優先トレイの操作 151
- スレッドのバッチ操作 154
- メールにスターを付ける 155
- スレッドへのラベル付け 156
- ラベルごとのスレッド表示 157
- ラベルごとのスレッドの同期 158
- 迷惑メールの報告 160
- メールの検索 161
- スレッドのアーカイブ 162
- メールへの署名の追加 163
- キーボード ショートカットの使い方 164
 - スレッド リストでのショートカット 164
 - メールでのショートカット 164
- Gmail の設定変更 165
 - 全般設定 165
 - 通知設定 166

カレンダー 167

- カレンダーと予定の表示 168
- [予定リスト] ビューの操作 170
- [日] ビューの操作 171
- [週] ビューの操作 173
- [月] ビューの操作 174

- 予定の詳細の表示 175
- 予定の作成 176
- 予定の編集 177
- 予定の削除 178
- 予定の通知の設定 179
- 予定の通知への対応 180
- カレンダーの同期と表示 181
- カレンダー設定の変更 182

Google Voice 183

- Google Voice の起動と受信トレイの表示 184
- ボイスメールの再生とテキスト変換 186
- テキスト メッセージの送受信 188
- メッセージにスターを付ける 189
- ラベルごとのメッセージ表示 190
- Google Voice の設定 191
- Google Voice を使った発信 193
- Google Voice の設定の変更 194
 - 全般設定 194
 - 同期と通知の設定 195

Google トーク 197

- ログインと[友だちリスト]の使用 198
- 友だちとのチャット 200
- オンライン ステータスの変更と監視 203
- [友だちリスト]の管理 205
- Google トーク設定の変更 207

メール 209

- メールアプリの起動と[アカウント]画面 210
- メールを読む 213
- メールへの返信 215
- メールにスターを付ける 216
- メールのバッチ操作 217
- メールの作成と送信 218
- アカウントのフォルダの操作 219
- メールへの署名の追加 220
- メールアカウントの追加と編集 221

メールアカウント設定の変更 224

- アカウントの設定 224
- 受信サーバーの設定 225
- 送信サーバーの設定 227

メッセージ 229

- メッセージアプリの起動 230
- メッセージの送受信 231
- メッセージアプリ設定の変更 235
 - ストレージの設定 235
 - テキストメッセージ (SMS) の設定 235
 - マルチメディアメッセージ (MMS) の設定 235
 - 通知設定 236

ブラウザ 237

- ブラウザの起動 238
- ウェブページ内の移動 241
- ウェブページ間の移動 243
- 複数のブラウザウィンドウでの操作 245
- ファイルのダウンロード 246
- ブックマークの操作 248
- ブラウザ設定の変更 250
 - ページコンテンツ設定 250
 - プライバシー設定 251
 - セキュリティ設定 252
 - 詳細設定 252

地図、ナビ、プレイス、Latitude 253

- 地図アプリの起動 254
- 現在地の表示と位置情報サービス 255
- 場所の検索、探索、スター付け 257
- ランチャーでのプレイス機能の使い方 260
- 地図レイヤの変更 261
- 経路の検索 263
- Google マップ ナビ (Beta) を使ったナビゲーション 264
- 経路のプレビューと表示の変更 266
- Google Latitude を使った友だちの検索 269

カメラ 273

カメラの起動と画像や動画の撮影 274

カメラの設定の変更 278

カメラ モード設定 279

ビデオ モード設定 280

ギャラリー 283

ギャラリーの起動とアルバムの表示 284

アルバムの操作 286

画像の操作 290

動画の操作 295

YouTube 297

YouTube の起動と動画の再生 298

動画の検索 302

動画の評価とコメント 304

動画のアップロードと共有 305

再生リストの操作 307

チャンネルの操作 309

YouTube の設定変更 311

音楽 313

携帯端末への音楽ファイルの転送 314

音楽アプリでのライブラリの使用 315

音楽の再生 317

プレイリストの操作 320

ニュースと天気 323

ニュースと天気の確認 324

ニュースと天気の設定変更 327

ニュースと天気の設定 327

天気予報の設定 327

ニュースの設定 327

更新の設定 328

時計 329

日付、時刻、その他の情報の表示 330

アラームの設定 332

時計のアラーム設定の変更 334

ナビメニュー 335

- ナビメニューの起動 336
- ナビメニューのカスタマイズ 338
- Bluetooth デバイスでのナビメニューの起動 341
- ナビメニューの設定の変更 342

電卓 343

- 電卓の使い方 344

タグ 345

- タグのスキャン 346
- タグの操作 347

マーケット 349

- Android マーケットの起動とアプリケーションの検索 350
- アプリケーションのダウンロードとインストール 354
- ダウンロードの管理 357

設定 363

- 設定の起動 364
- 無線とネットワーク 365
 - [ワイヤレスとネットワークの設定] 画面 365
 - [Wi-Fi 設定] 画面 366
 - Wi-Fi の [詳細設定] 画面 366
 - [Bluetooth 設定] 画面 367
 - [テザリングとポータブルアクセスポイント] 設定画面 368
 - [VPN 設定] 画面 368
 - [モバイルネットワーク設定] 画面 368
- 通話設定 370
 - [通話設定] 画面 370
 - [発信番号制限] 画面 371
 - その他の設定 371
 - [インターネット通話 (SIP) アカウント] 画面 371
- 音の設定 372
- 画面設定 374
- 位置情報とセキュリティの設定 375
- アプリケーション設定 378
 - [アプリケーション設定] 画面 378
 - [開発] 画面 379

アカウントと同期の設定 380

[アカウントと同期の設定] 画面 380

[アカウント] 画面 381

プライバシーの設定 382**ストレージの設定 383****言語とキーボードの設定 384**

[言語とキーボード] 画面 384

[Android キーボードの設定] 画面 384

[端末内蔵キーボード] 設定画面 385

音声入出力の設定 386

[Google 音声認識の設定] 画面 386

[テキスト読み上げの設定] 画面 387

ユーザー補助の設定 388**ホルダーの設定 389****日付と時刻の設定 390****端末情報 391**

[端末情報] 画面 391

このガイドについて

このガイドでは、Android™ Mobile Technology Platform リリース 2.3 について、Android マーケット™ のアプリケーションダウンロード サービスでリリースされた Android アプリケーションのアップデートを含めて解説します。

このガイドでは、携帯端末の物理的な機能（端末の各部と付属品、電池の交換方法、電源を入れる方法など）や仕様については説明しません。これらの情報については、端末の取扱説明書をご覧ください。

章	内容
「Android の基本」 (15 ページ)	Android の初めての起動、Google アカウントへのログイン、Android の基本操作について説明します。Google™ アカウントにログインすることで、Google Apps™ を最大限に活用できます。
「ネットワークやデバイスへの接続」 (59 ページ)	携帯端末からモバイルネットワーク、Wi-Fi™ ネットワーク、Bluetooth™ デバイス、パソコンへの接続の設定方法、USB やポータブル Wi-Fi アクセス ポイントを使用した端末のモバイルデータ接続の共有方法について説明します。この章では、仮想プライベート ネットワーク (VPN) やその他のネットワークに安全に接続する方法についても説明します。
「通話」(81 ページ)	端末を使用して、複数の通話を発信、受信、管理します。
「テキストと音声による検索」(97 ページ)	Google 検索を使用して、キーボードを使った入力や音声入力により端末内やウェブ上を検索します。
「連絡先」 (111 ページ)	友だちや知り合いなどの連絡先情報を整理、検索します。
「アカウント」 (129 ページ)	Google アカウント、Microsoft™ Exchange ActiveSync™ アカウント、その他のメールなどのさまざまなアカウントを追加して同期させます。
「Gmail」(137 ページ)	Gmail™ (ウェブメール サービス) を使用してメールを送受信します。
「カレンダー」 (167 ページ)	カレンダーの予定を表示、作成し、ウェブ上の Google カレンダー™ (カレンダー サービス) と同期させます。

章	内容
「Google Voice」 (183 ページ)	ボイスメールをチェックして、Google Voice で電話をかけます。
「Google トーク」 (197 ページ)	Google トーク™ (インスタント メッセージ サービス) を使用して友だちと連絡を取ります。
「メール」 (209 ページ)	従来のメール サービス経由でメールを送受信できるよう端末を設定します。
「メッセージ」 (229 ページ)	他の携帯端末とテキスト メッセージやマルチメディア メッセージをやり取りします。
「ブラウザ」 (237 ページ)	端末でウェブを閲覧します。
「地図、ナビ、プレイス、Latitude」 (253 ページ)	Google Earth™ (地図サービス) の市街データや航空写真データを使用して世界を探索したり、現在地を特定したりします。その他、Google Latitude™ (現在地情報サービス) を使った現在地の共有や、Google マップ ナビを使った音声によるターンバイターン方式のナビゲーションも使用できます。端末から利用できる Google マップ™ (地図サービス) のさまざまな機能も紹介します。
「カメラ」 (273 ページ)	画像や動画を撮影してプレビューします。
「ギャラリー」 (283 ページ)	画像や動画の表示、共有、Picasa™ (写真整理ソフトウェア サービス) や YouTube™ (ユーザー作成のコンテンツ サイト) へのアップロードを行います。
「YouTube」 (297 ページ)	YouTube 動画を再生します。
「音楽」 (313 ページ)	曲、アルバム、プレイリストを選択して音楽を再生します。
「ニュースと天気」 (323 ページ)	ホーム画面でニュースや天気をチェックし、詳細情報を入手します。
「時計」 (329 ページ)	時刻を確認してアラームを設定します。
「ナビメニュー」 (335 ページ)	自動車の車内で端末を有効に活用します。
「電卓」 (343 ページ)	数式を計算します。

章	内容
「タグ」(345 ページ)	近距離無線通信 (NFC) タグのスキャンや操作をします。
「マーケット」 (349 ページ)	Android マーケットで新しいアプリケーションの検索、有料アプリケーションの購入、インストールをします。
「設定」(363 ページ)	設定アプリケーションやさまざまなツールを開いて、端末を設定、カスタマイズします。

Android の基本

初めて端末の電源を入れると、Google アカウントのログイン画面が表示されます。まずは、ホーム画面、タッチスクリーン、メニュー、アプリケーション、文字入力など、端末の基本的な操作に慣れましょう。

このセクションの内容

- 「Android の初めての起動」(16 ページ)
- 「ホーム画面について」(20 ページ)
- 「タッチスクリーンの使い方」(23 ページ)
- 「端末のキーの使い方」(24 ページ)
- 「トラックボールの使い方」(25 ページ)
- 「メニューの操作」(26 ページ)
- 「端末の状態の監視」(28 ページ)
- 「通知の管理」(31 ページ)
- 「画面キーボードの使い方」(33 ページ)
- 「テキストの音声入力」(37 ページ)
- 「テキストの編集」(39 ページ)
- 「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ)
- 「画面のロック」(44 ページ)
- 「ホーム画面のカスタマイズ」(45 ページ)
- 「連絡先への簡単な接続」(48 ページ)
- 「電池の節約方法」(49 ページ)
- 「アプリケーションで使うメモリの管理」(51 ページ)
- 「ダウンロードの管理」(57 ページ)

Android の初めての起動

取扱説明書に記載されたセットアップの終了後に初めて端末の電源を入れると、画面に Android のロゴが表示されます。端末の使用を開始するにはこのロゴをタップします。



表示された説明に従って、Google アカウントの作成やログイン、Android や Google の各機能の初期設定を行います。

SIM カードをお持ちでない場合

GSM 端末に SIM カードが挿入されていない場合はモバイル ネットワークに接続できないため、音声サービスやデータ サービスを利用することはできません。ただし、Wi-Fi ネットワークに接続して Google アカウントにログインすれば、携帯通信網での通話以外のすべての機能を利用できます (CDMA 端末の場合は、モバイル ネットワークへの接続に SIM カードは必要ありません)。

SIM カードを使用しない状態で初めて GSM Android 端末を起動すると、**[Wi-Fi に接続]**が表示され、Wi-Fi に接続するかどうかを指定できます。モバイル ネットワークに接続していなくても、Wi-Fi ネットワークに接続していれば端末をセットアップできます。詳しくは、「Wi-Fi ネットワークへの接続」(63 ページ)をご覧ください。

Google アカウント

端末で Google サービスを利用するには、Google アカウントにログインする必要があります。Gmail、Google トーク、Google カレンダーなど Google アプリケーションの利用、Android マーケットからのアプリケーションのダウンロード、Google サーバーへの設定のバックアップなどを行う場合はログインが必要になります。

重要： Android リリース 2.0 以降を搭載した別の端末からこの端末に設定を復元する場合は、今すぐ（セットアップ中に）Google アカウントにログインする必要があります。ログインしないままセットアップを完了した場合、設定は復元されません（「Google サービス」（19 ページ）をご覧ください）。

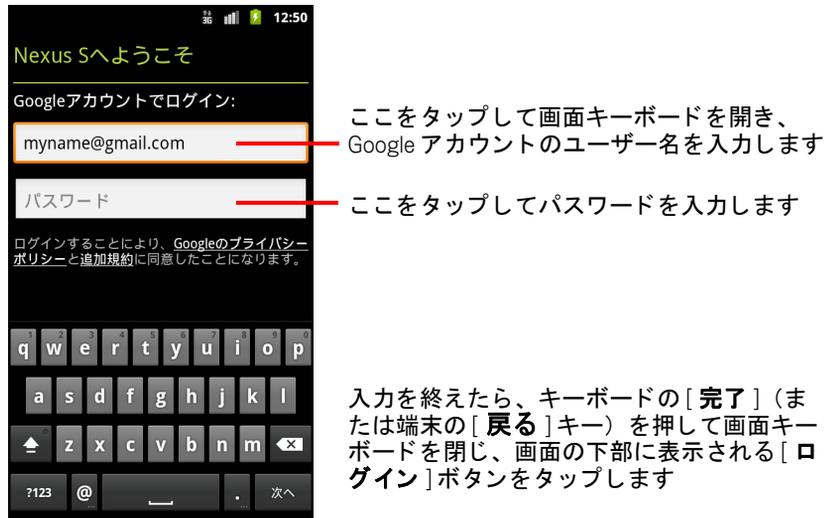
Google アカウントをお持ちでない場合は、作成をすすめるメッセージが表示されます。

会社や組織などで使用する業務用の Gmail アカウントをお持ちの場合は、そのアカウントへのログイン方法について、IT 部門から特別な指示が出される場合があります。

ログインすると、ウェブ上の Google アプリケーションやサービスに登録されている連絡先、Gmail メッセージ、カレンダーの予定などの情報が端末に同期されます。

セットアップ時に Google アカウントにログインしなかった場合は、ログインを必要とするアプリケーション（Gmail、Android マーケットなど）を初めて起動したときに、ログイン（またはアカウントを作成）するよう求めるメッセージが表示されます。

ログイン時には、画面キーボードを使ってユーザー名とパスワードを入力するよう求めるメッセージが表示されます。タッチスクリーンへの移動やテキストの入力については、「タッチスクリーンの使い方」（23 ページ）と「画面キーボードの使い方」（33 ページ）をご覧ください。



Google アカウントのパスワードのリセット

Google アカウントをお持ちでパスワードを忘れた場合は、ログインの前にパスワードをリセットする必要があります。<http://www.google.co.jp>に移動して[ログイン]をクリックし、ログインボックス内の[アカウントにアクセスできない場合]をクリックします。そこで表示される指示に沿ってパスワードをリセットします。

その他のアカウント

セットアップが終了したら、Google、Microsoft Exchange ActiveSync、従来のメールなど、各種のアカウントを追加し、これらのアカウントのデータを同期させることができます。詳しくは「アカウント」(129 ページ)をご覧ください。ただし、最初にログインした Google アカウントだけが Google サーバーにバックアップされます。また、1つのアカウントにしか対応していないアプリケーションでは、最初にログインしたアカウントのデータのみが表示されます。

Google サービス

ログインしたら、以下の Google サービスを利用するかどうかを指定します。

現在地 GPS を使用せずにおおよその現在地をアプリケーションに提供する Google の現在地サービスを利用するかどうか、また Google 検索結果などの Google サービスに現在地を使用するかどうかを選択できます。これらの設定を後で変更する方法については、「[位置情報とセキュリティの設定](#)」(375 ページ)と「[プライバシーの設定](#)」(382 ページ)をご覧ください。

バックアップ データ (ブックマーク、ユーザー辞書など) や設定 (Wi-Fi パスワードなど) を、Google サーバー上の自分の Google アカウントにバックアップするかどうかを選択できます。サードパーティ製アプリケーションでこの機能を利用することもあります。バックアップしておくと、機種変更や紛失により端末を買い換えた場合、またはアプリケーションを再インストールした場合に、設定やその他のデータを復元できます。この設定を後で変更する方法については、「[プライバシーの設定](#)」(382 ページ)をご覧ください。

日付と時刻 モバイルネットワークに接続していない場合は、端末の日付と時刻を設定するよう求めるメッセージが表示されます。「[日付と時刻の設定](#)」(390 ページ)をご覧ください。

ホーム画面について

ログインするとホーム画面が開きます。

このホーム画面を起点として、端末のすべての機能にアクセスできます。ホーム画面には、アプリケーションアイコン、ウィジェット、ショートカットなど、さまざまなアイテムが表示されます。壁紙を変更したり、好きなアイテムを追加したりして、ホーム画面をカスタマイズすることも可能です。「ホーム画面のカスタマイズ」(45 ページ)をご覧ください。



画面の上部にあるステータスバーには、時刻、端末の状態、通知を受け取ったことを示すアイコンなどが表示されます。詳しくは、「端末の状態の監視」(28 ページ)と「通知の管理」(31 ページ)をご覧ください。

画面の一番下にあるランチャーアイコンをタップすると、インストールされているすべてのアプリケーションが表示されます。「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ)をご覧ください。

端末を再始動する

端末をしばらくの間使用しないと、電池を長持ちさせるために、画面が次第に暗くなります。

- 1 [電源]キーを押します。

画面がロックされている場合は、ロック解除パターン、PIN、またはパスワードを入力して、ロックを解除する必要があります。「画面のロック」(44 ページ)をご覧ください。



- 2 ロックアイコンを右にドラッグします。
最後に開いていた画面が表示されます。

ホーム画面に戻る

- ▶ どのアプリケーションを使用している場合でも、[ホーム]キー  を押すだけで、いつでもホーム画面に戻ることができます。

ホーム画面の他の部分を表示する

- ▶ ホーム画面を指先で左または右にスライドします。

拡張画面にも、アイコン、ウィジェット、ショートカットなどのアイテムを配置できます。スライドの詳細については「タッチスクリーンの使い方」(23 ページ)をご覧ください。

画面の左下や右下にある小さな点は、現在どの画面を表示しているかを示します。



- ▶ 左下または右下の小さな点を長押しすると、ホーム画面と拡張画面のサムネイルが表示されます。いずれかのサムネイルをタップするとその画面が開きます。



タッチスクリーンの使い方

Android の機能を使用する場合、通常はタッチスクリーン上のアイコン、ボタン、メニューアイテム、画面キーボードなどのアイテムを指で操作します。画面の向きを変更することもできます。

タップ 画面上のアイテム（たとえばアプリケーションや設定のアイコン）を操作するときは、そのアイテムを指でタップします。画面キーボードや画面上のボタンを使用して文字や記号を入力するときには、それぞれのキーやボタンをタップします。

長押し 画面上のアイテムの「長押し」とは、アイテムをタップしたまま、操作が始まるまでそのアイテムから指を離さないことをいいます。たとえば、ホーム画面をカスタマイズするメニューを開くには、ホーム画面のアイテムが表示されていない部分をタップしたままにし、メニューが開いたら指を離します。

ドラッグ アイテムを長押ししたまま、指を離さずに画面上で動かして目的の場所まで移動する操作です。ホーム画面上のアイテムをドラッグして配置を変更できます（「ホーム画面のカスタマイズ」（45 ページ）をご覧ください）。また、通知パネルをドラッグして開くことも可能です（「通知の管理」（31 ページ）をご覧ください）。

スワイプ / スライド スワイプ / スライドは、タップした最初の場所で指を止めずに、画面上で指をすばやく動かす操作です（長押ししない点がドラッグと異なります）。たとえば、画面を上下にスライドしてスクロールしたり、カレンダーの一部の画面ですばやくスワイプすることで画面に表示される期間を変更したりできます。

ダブルタップ すばやく 2 回タップして、ウェブページや地図などの画面を拡大 / 縮小する操作です。たとえば、ブラウザに表示されているウェブページの一部をダブルタップすると、そのセクションが画面の幅に合わせて拡大表示されます。ブラウザなど一部のアプリケーションでは、ピンチ操作の後にダブルタップすることで、テキスト列を画面の幅に合わせてリフローできます。

ピンチ 地図、ブラウザ、ギャラリーなどのアプリケーションでは、2 本の指を同時に画面に置き、つまむように指を合わせるピンチインで縮小、2 本の指を離して広げるピンチアウトで拡大できます。

画面の回転 端末の向きを縦から横、横から縦に変えると、ほとんどの場合、それに合わせて画面の向きが変わります。この機能はオン / オフを切り替えることができます。詳しくは「画面設定」（374 ページ）をご覧ください。

端末のキーの使い方

端末の物理キーとソフトキーは、さまざまな機能やショートカットに使用します。端末のキーの配置については、取扱説明書をご覧ください。

キー	押す	長押し
戻る 	操作していた前の画面が開きます。画面キーボードが開いている場合、キーボードが閉じます。	
メニュー 	現在の画面やアプリケーションに 関係するアイテムのメニューが開 きます。	
ホーム 	ホーム画面が開きます。ホーム画 面の左右のペインを表示している 場合は、ホーム画面の中央に戻り ます。	最後に使用していたアプリ ケーションの画面が開き ます。
検索 	ホーム画面では、端末やウェブを 検索するための Google 検索が開 きます。多くのアプリケーションで は、アプリケーション専用の検索 ボックスが開きます。	Google 音声検索が開きます。
電源	画面がオフになります。	機内モード、マナーモード、 または端末の電源を切るオ プションメニューが開き ます。
音量大 / 小	通話中に押すと通話の音量を調節 できます。着信中に押すと着信音 がオフになります。通話していな いときのホーム画面で押すと、着 信音の音量を調整したり、マナー モードやバイブレーションモード に設定したりできます。それ以外 のアプリケーションの使用中に押 すと、音楽や音声案内の音量を調 整できます。	着信音の音量をすばやく最 大または最小にできます。

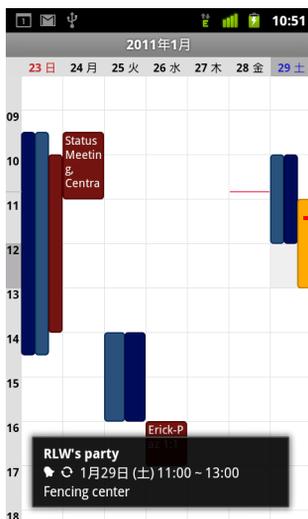
トラックボールの使い方

トラックボール（または画面上のアイテムを選択できる同様の操作デバイス）を搭載した端末では、次のような場合、指を使うよりも簡単に操作することができます。

- 書き込みの多いカレンダーで予定を開く場合
- ウェブページでリンクやフォーム フィールドを選択する場合
- 編集するテキストを選択する場合

トラックボールを使う

- ▶ **トラックボールを回転させて、画面上でアイテムを選択します。**
選択したアイテムはオレンジ色にハイライト表示されます。



トラックボールで選択しているアイテムは、オレンジでハイライト表示されます

- ▶ **トラックボールを押す操作は、選択したアイテムを指でタップする操作と同じです。**
- ▶ **コンテキストメニューを開く場合やアプリケーションを起動する場合などに、トラックボールを長押しする操作は、選択したアイテムを指で長押しする操作と同じです。**

メニューの操作

Android のメニューには、オプション メニューとコンテキスト メニューの 2 種類があります。

オプション メニュー

オプション メニューには、画面上の特定のアイテムではなく、現在の画面やアプリケーションの動作に適用されるツールが含まれます。オプションメニューを開くには **MENU キー**  を押します。すべての画面にオプションメニューがあるとは限りません。オプションメニューのない画面で **MENU キー**  を押しても何も起こりません。

画面によっては、オプションメニューのアイテムがメインメニューに収まらないことがあります。その場合は、[**その他**] をタップすると他のアイテムが開きます。

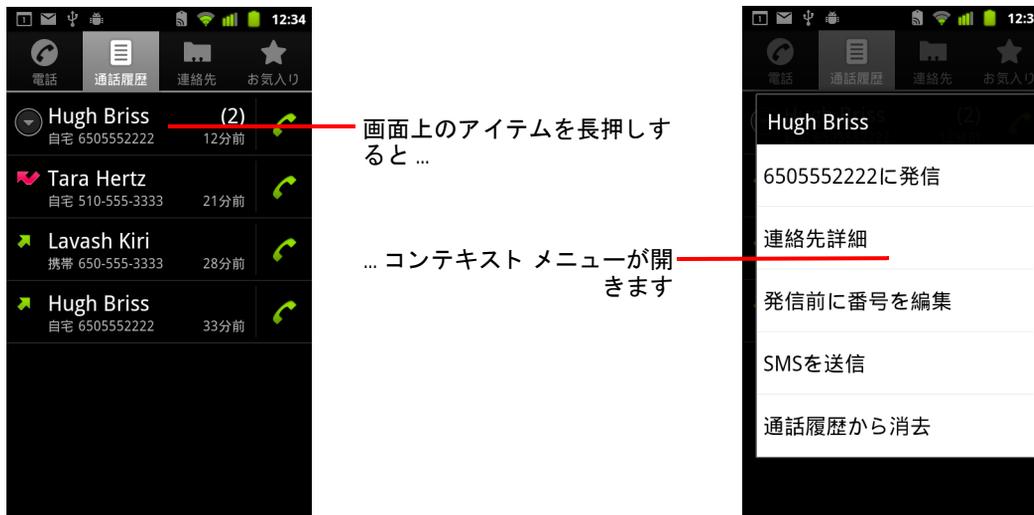


オプションメニューには、現在の画面またはアプリケーション全体に適用されるアイテムが表示されます

タップすると他のメニューアイテムが表示されます

コンテキストメニュー

コンテキストメニューには、画面上の特定のアイテムに適用されるツールが含まれます。コンテキストメニューを開くには、画面上でアイテムを長押しします。すべてのアイテムにコンテキストメニューがあるとは限りません。コンテキストメニューのないアイテムを長押ししても何も起こりません。



端末の状態の監視

ステータスバーは、すべての画面の上部に表示されます。現在の時刻とともに、通知を受け取ったことを示すアイコンが左側に、端末の状態を示すアイコンが右側に表示されます。



通知アイコン

ステータスアイコン

通知の数がステータスバーに収まらない場合は、プラスアイコン  が表示されます。これをタップすると、通知パネルが開いてすべての通知が表示されます。「通知の管理」(31 ページ) をご覧ください。

ステータスアイコン

端末の状態を示すアイコンは次のとおりです。各種のモバイルネットワークについては、「ネットワークやデバイスへの接続」(59 ページ) をご覧ください。

Google アカウントを追加した端末で Google サービスに接続し、Gmail、カレンダーの予定、連絡先の同期、設定のバックアップなどを行うと、ネットワークのステータスアイコンが緑に変わります。Google アカウントをお持ちでない場合やインターネットに接続されていない Wi-Fi ネットワークに接続中の場合、ネットワークアイコンは白になります。

	GPRS モバイル ネットワークに接続されています		ローミング中です
	GPRS を使用中です		圏外です
	EDGE モバイル ネットワークに接続されています		SIM カードが挿入されていません
	EDGE を使用中です		バイブレーション モードです
	3G モバイル ネットワークに接続されています		着信音が消音です
	3G を使用中です		マイク (送話口) がミュートになっています
	モバイル ネットワークの電波の強度です		電池残量が非常に少なくなっています

	Wi-Fi ネットワークに接続されています		電池残量が少なくなっています
	Bluetooth がオンです		電池の一部が消費されています
	Bluetooth デバイスに接続されています		満充電です
	機内モード		充電中です
	アラームが設定されています		GPS がオンです
	スピーカーフォンがオンです		GPS から現在地情報を受信中です

通知アイコン

通知を受け取ったことを示すアイコンは次のとおりです。通知に対する応答については、「通知の管理」(31 ページ)をご覧ください。これらのアイコンに加え、端末にインストールしたアプリケーションのアイコンが表示されることがあります。

	Gmail の新着メールがあります		他にも通知があります
	テキストまたはマルチメディアの新着メッセージがあります		通話中です
	テキストまたはマルチメディアのメッセージ配信で問題が発生しました		Bluetooth ヘッドセットで通話中です
	Google トークの新着メッセージがあります		不在着信がありました
	新着のボイスメールがあります		通話を保留中です
	近日中の予定があります		着信転送がオンになっています
	データを同期中です		曲を再生中です
	ログインまたは同期で問題が発生しました		データをアップロード中です
	SD カードまたは USB ストレージに空き領域がありません		データをダウンロード中です

	Wi-Fi オープン ネットワークが利用できません		ダウンロードが完了しました
	端末が USB ケーブルで接続されています		仮想プライベート ネットワーク (VPN) に接続されている、または接続が解除されています
	USB 経由でデータ通信を共有しています (USB テザリング)		携帯通信会社のデータ通信量の上限に近づいているか、上限を超えました
	Wi-Fi アクセスポイントとしてデータ通信を共有しています (Wi-Fi テザリング)		アプリケーションのアップデートが利用可能です
	複数の方法でテザリング中です		システムのアップデートが利用可能です

通知の管理

通知アイコンは、新着メール、カレンダーの予定、アラームなどのイベントを知らせるだけでなく、着信転送がオンになっている、または通話の状態など、端末の現在の状態も示します。

通知を受け取ると、そのアイコンがステータスバーに表示されると同時に、その要約がしばらく表示されます。通知アイコンの一覧表は、「通知アイコン」(29 ページ) をご覧ください。

トラックボールのライトを通知に使用している場合、新しい通知を受け取ると、トラックボールが1回または繰り返し点滅します。端末の機種により異なりますが、設定によって通知音を鳴らしたり、端末を振動させたり、LEDを点滅させたりすることもできます。これらの設定のほか、音量調節や一般的な通知設定については、「音の設定」(372 ページ) をご覧ください。

通知パネルを開くと、すべての通知を表示できます。

Gmail や Google トークのように通知を行うアプリケーションでは、通知するかどうかやその場合の通知方法（着信音やバイブレーションなど）をアプリケーション側で設定できます。詳しくは各アプリケーションのドキュメントをご覧ください。

通知パネルを開く

- ▶ 画面上部のステータスバーを下にドラッグします。

ホーム画面で、**MENU キー**  を押して [通知] をタップする方法もあります。

通知パネルには、携帯通信会社と現在の通知のリストが表示されます。状態の通知が先に表示され、続いて新着メールやカレンダーの通知といったイベントの通知が表示されます。



通知のいずれかをタップすると、そのアプリケーションで通知が開きます

通知に応答する

- 1 通知パネルを開きます。
パネルに、現在の通知とその短い説明のリストが表示されます。
- 2 応答するにはその通知をタップします。
通知パネルが閉じます。その後の動作は通知の種類によって異なります。たとえば、新着ボイスメールの通知では、ボイスメールボックスへ発信します。ネットワーク切断の通知の場合は、再度接続できるよう、設定されているネットワークの一覧が表示されます。

通知をすべて消去する

- 1 通知パネルを開きます。
- 2 パネルの右上にある [通知を消去] をタップします。
イベントに基づく通知はすべて消去されます。状態の通知はそのまま表示されます。

通知パネルを閉じる

- ▶ 通知パネルの一番下のタブを画面の上までドラッグします。または [戻る ←] キーを押します。
いずれかの通知をタップして対応する場合も、パネルは閉じます。

画面キーボードの使い方

テキストを入力するには、画面キーボードを使います。一部のアプリケーションでは、画面キーボードが自動的に開きます。それ以外のアプリケーションでは、テキストを入力するフィールドをタップするとキーボードが開きます。

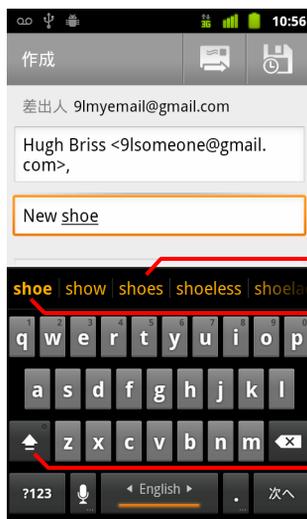
画面キーボードにはさまざまな設定があります。詳しくは「言語とキーボードの設定」(384 ページ)をご覧ください。マイクキー  を長押しして、表示された小さいウィンドウで設定アイコンにドラッグすると、Android キーボードの設定画面が開きます。

キーボードを使用せずに音声でテキストを入力できます。「テキストの音声入力」(37 ページ)をご覧ください。

音声でテキストを入力する

- 1 テキスト フィールドをタップします。

画面キーボードが開きます。



入力候補をタップすると、テキストボックス内の下線の付いた語句の代わりに入力されます

Space キーまたは句読点のキーを押すと、太字で表示されている入力候補が入力されます

1回タップすると、次に入力する文字が大文字になります。長押しするとすべて大文字になります

入力済みのテキストフィールドをタップすると、タップした位置に挿入ポイントが表示され、挿入ポイント タブが表示されます。そのタブで挿入ポイントをドラッグして移動し、テキストを追加する位置を修正できます。一度に1つ以上の単語を選択して、コピー、切り取り、貼り付けを行うこともできます。「テキストの編集」(39 ページ)をご覧ください。

- 2 キーボードのキーをタップしてテキストを入力します。

入力した文字が、テキスト フィールドとキーボードの上のバーに（白の背景に黒の文字で）表示されます。入力中の文字はテキスト フィールドに下線付きで表示され、入力候補がある場合はキーボードの上のバーにオレンジで表示されます。バーの左端に、最も可能性が高い入力候補が太字で表示されます。バーを左にドラッグすると、その他の入力候補を表示できます。

- 3 Space キーまたは句読点のキーを押すと、太字で表示されている入力候補が入力されます。

Space キーをタップすると句読点の候補がバーに表示され、その候補をタップしてスペースと置き換えることができます。

別の候補をタップすると、その単語が入力されます。

システムまたはユーザー辞書にない単語をタップすると、その単語が入力され、ユーザー辞書に追加する場合はもう一度タップするよう求められます。

辞書に追加した単語は、表示、編集、削除できます。「言語とキーボードの設定」(384 ページ) をご覧ください。

- 4 DEL キー  を使うと、カーソルの左側にある文字が消去されます。

- 5 入力を終わったら、[戻る] キー  を押してキーボードを閉じます。

アプリケーションによっては、テキスト フィールド間を簡単に移動できるように、キーボードに特殊キーが追加されます。

数字や記号などの文字を入力する

- ▶ 1 行目のキーに黒で表示されている数値を入力するには、そのキーを長押ししてから離します。入力できる文字が複数あるキーは、文字の下に省略記号 (...) が表示されます。



- ▶ 母音や、C、N、S のキーを長押しすると、小さいウィンドウが開き、アクセント付き母音など英字以外の文字や数値にドラッグできます。

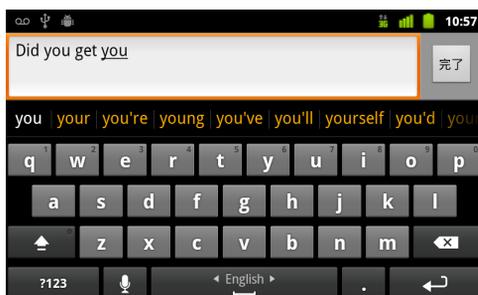
- ▶ SYM キー  を押すと、数字と記号のキーボードに切り替わります。記号キーボードで ALT キーを押すとその他の記号が表示され、もう一度押すと元に戻ります。
- ▶ ピリオドキー (.) を長押しすると、よく使う記号を集めた小さなウィンドウが開きます。



- ▶ 数字キーまたは記号キーを長押しすると、他の記号のウィンドウが開きます。
キーボードのキーをタップすると、そのキーが少しの間大きく表示されます。入力できる文字が複数あるキーは、文字の下に省略記号 (...) が表示されます。
- ▶ 一部の端末では、Shift キーまたは SYM キーを長押ししながら別の指で1つ以上の大文字や記号をタップするとそのキーが入力され、両方の指を離すと小文字キーボードに戻ります。

キーボードの向きを変更する

- ▶ 画面を横または縦にします。
新しい画面の向きに最適なキーボードが表示されます。
通常は、大きい横長の画面キーボードのほうが入力しやすいでしょう。



端末の向きを変えたときに画面の向きを自動的に変更するかどうかは、ユーザーが設定できます。「画面設定」(374 ページ) をご覧ください。

キーボードの言語を変更する

複数の言語に対応した画面キーボードを使用するように [Android キーボードの設定] を変更すると (「[Android キーボードの設定] 画面」 (384 ページ) をご覧ください)、現在のキーボードの言語が Space キーに表示され、言語を切り替えることができます。

- 1 Space キーを長押しします。
- 2 Space キーの上に小さなウィンドウが表示されます。目的の言語がこのウィンドウの中心に表示されるまで、指を離さずに左右に動かします。



- 3 指を離します。
多数の言語を利用できる場合、目的の言語を見つけるまでこの手順を繰り返さなければならない場合があります。

テキストの音声入力

音声でテキストを入力できます。音声入力は、Google の音声認識サービスを利用した試験運用機能であるため、使用するにはモバイル ネットワークまたは Wi-Fi ネットワークのデータ接続が必要になります。

音声入力をオンにする

画面キーボードにマイクキー  が表示されない場合は、音声入力がオンになっていないか、記号キーボードに表示するよう設定されています。

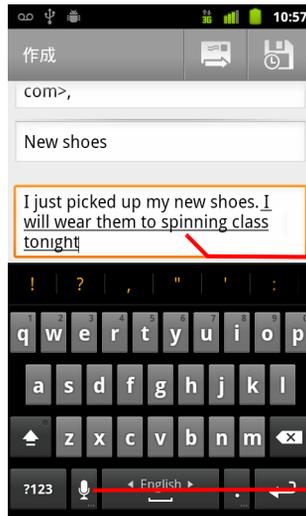
- 1 [ホーム]キー 、MENU キー  の順に押してから [設定]>[言語とキーボード]>[Android キーボード] をタップします。
- 2 [音声入力] をタップします。
- 3 メイン キーボードまたは記号キーボード上で、マイクキーを設定する場所をタップします。音声入力をオフにするには [OFF] をタップします。

音声でテキストを入力する

多くの場合、画面キーボードでテキストを入力できるときは音声でも入力できます。

- 1 テキスト フィールドをタップするか、テキスト フィールド内でテキストを入力済みの位置をタップします。
- 2 キーボード上のマイクキー  をタップします（マイクキーを記号キーボード上に表示するよう設定している場合は、まず SYM キーをタップします）。

- 3 [お話しください]と表示されたら、テキストを音声で入力します。句読記号を入力するには、「読点」、「句点」、「疑問符」、または「感嘆符」と発声します。



音声で入力したテキストは下線付きで表示されるため、削除したい場合はキーでまとめて削除でき、削除しない場合は入力を続けることで確定できます

音声で入力する場合はタップします

音声入力を止めると、それまでに話した内容が音声認識サービスによって文字に変換され、テキストフィールドに下線付きで入力されます。下線付きのテキストを削除するにはDELキー  を押します。キーボードまたは音声での入力を再開すると、それ以前に入力したテキストの下線が消えます。

入力したテキストは、キーボードでも音声でも編集できます。「テキストの編集」(39 ページ) をご覧ください。

テキストの編集

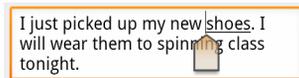
テキストフィールドで入力したテキストは編集できます。また、メニューコマンドを使って、アプリケーション内、または別のアプリケーション間でテキストの切り取り、コピー、貼り付けをすることができます。アプリケーションによっては、表示中のテキストの編集をサポートしていない場合があります。また、処理するテキストを独自の 방법으로選択する場合があります。

テキストを編集する

- 1 編集するテキストをタップします。

タップした位置にカーソルが挿入されます。

カーソルとは、テキストを入力または貼り付ける位置を示す、点滅している縦型のバーです。カーソルはオレンジのタブと共に表示されます。必要に応じてこのタブをドラッグし、カーソルを移動できます。

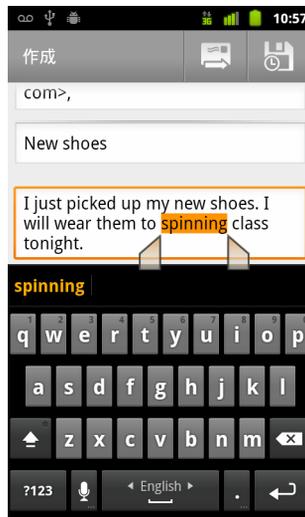


- 2 オレンジのタブを使ってカーソルをドラッグし、テキストを編集する位置に移動します。
しばらくするとオレンジのタブは消え、テキストを入力できるようになります。このタブを再び表示するには、もう一度テキストをタップします。
- 3 テキストを入力、切り取り、貼り付け、または削除します。
- 4 入力を終えたら、[戻る ←]キーを押してキーボードを閉じます。

テキストを選択する

切り取り、コピー、削除、または置換するテキストを選択します。

- 1 選択するテキストまたは語句を長押しします。
- 2 開いたメニューの[語句を選択]または[すべて選択]をタップします。
選択したテキストがオレンジでハイライト表示され、その両端にタブが表示されます。



選択タブをドラッグして、選択されたテキストの範囲を変更します

- 3 どちらかの選択タブをドラッグして、テキストの選択範囲を変更できます。

選択をやめる場合は、いずれかのテキストフィールドで選択していないテキストをタップするか、[戻る <] ボタンを押すと、テキストの選択を解除できます。

- 4 選択したテキストをタップすると、選択部分の切り取りやコピー、または以前に切り取った（コピーした）テキストがあれば、それを貼り付けて置換するなどのオプションを含むメニューが開きます。

キーボードや音声を使って、簡単に文字を入力して選択部分を置換したり、DEL キーを押して選択したテキストを削除したりできます。

テキストを切り取る / コピーする

- 1 切り取る、またはコピーするテキストを選択します。
「テキストを選択する」(39 ページ) をご覧ください。
- 2 選択したテキストをタップします。

選択したテキストを切り取りまたはコピーするための選択タブが表示されます。選択タブが表示されない場合、テキストをタップすると再び表示されます。もう一度テキストをタップすると、[テキストを編集]メニューが開きます。

- 3 [テキストを編集]メニューで[切り取り]または[コピー]をタップします。

[切り取り]をタップすると、選択したテキストは、そのテキストフィールドから削除されます。どちらをタップした場合も、テキストが端末の一時領域に保存され、これを別のテキストフィールドに貼り付けることができます。

テキストを貼り付ける

- 1 貼り付けるテキストを切り取るか、コピーします。
「テキストを切り取る / コピーする」(40 ページ) をご覧ください。
- 2 テキストフィールドでテキストを貼り付ける位置にカーソルを配置するか、貼り付けによって置換するテキストを選択します。
コピーしたテキストを、別のアプリケーションのテキストフィールドに貼り付けることもできます。
- 3 開いたメニューの[貼り付け]をタップします。
テキストがカーソルの位置に挿入されます。貼り付けたテキストは端末の一時領域にそのまま残っているため、別の場所にも同じテキストを貼り付けることができます。

アプリケーションの起動と切り替え

ランチャーには、端末にあるすべてのアプリケーションのアイコンが表示されます。これには、Android マーケットなどからダウンロードしてインストールしたアプリケーションも含まれます。

アプリケーションを起動しても、それ以前に使用していたアプリケーション（音楽の再生、ウェブページの表示など）は停止しません。一度に複数のアプリケーションを開き、それらを簡単に切り替えることができます。Android オペレーティング システムと各アプリケーションが連携し、必要に応じてアプリケーションを自動的に停止したり開始したりすることで、使っていないアプリケーションが不必要なリソースを消費しないように設計されています。このため、ダウンロードしたアプリケーションの動作に問題がない限り、アプリケーションを停止する必要はありません。アプリケーションによるメモリの使用とその管理方法について詳しくは、「アプリケーションで使うメモリの管理」（51 ページ）をご覧ください。

アプリケーション（仕事効率化ツール、ユーティリティ、ゲーム、リファレンスなどのソフトウェア）を見つけて端末にインストールする方法については、「マーケット」（349 ページ）をご覧ください。

ランチャーを開閉する

- ▶ ランチャーを開くには、ホーム画面でランチャー アイコン  をタップします。

すべてのアプリケーションがランチャーの1画面に収まっていない場合は、ランチャーを上下にスライドすると他のアプリケーションが表示されます。



アプリケーションアイコンをホーム画面に追加するには、ランチャーでアイコンを長押しし、アイコンが振動したらホーム画面の適切な場所にドラッグします。

- ▶ ランチャーを閉じるには、ランチャー上のホームアイコンをタップするか、[ホーム]キー  をタップします。

アイコンをタップしてアプリケーションを開いたり、ランチャーからホーム画面にアイコンを移動したりすると、ランチャーが自動的に閉じられます。

アプリケーションを開く

- ▶ ランチャーでアプリケーションのアイコンをタップします。
または
- ▶ ホーム画面でアプリケーションのアイコンをタップします。

最近使用したアプリケーションに切り替える

- 1 [ホーム]キー  を長押しします。
小さなウィンドウが開き、最近使用したアプリケーションのアイコンが表示されます。
- 2 アプリケーションのいずれかのアイコンをタップして開きます。
または[戻る ]キーを押して、現在のアプリケーションに戻ります。



最近使用したアプリケーションのアイコンのいずれかをタップして開きます

画面のロック

端末の画面をロックすることができます。ロックすると、通話の発信、データへのアクセス、アプリケーションの購入などの操作は、ロックを解除しないと行うことができなくなります。端末に追加したメールなどのアカウントのポリシー設定によって、画面のロックを求められる場合もあります。

端末やプライバシーを保護するその他の方法については、「位置情報とセキュリティの設定」(375 ページ) をご覧ください。

画面をロックする

- 1 ホーム画面で、**MENU キー** \equiv を押し、[**設定**]、[**現在地情報とセキュリティ**] の順にタップします。

- 2 [**画面ロックの設定**] をタップします。

画面ロックを設定済みの場合は [**画面ロックの変更**] をタップして、画面のロック方法を変更したり画面ロックをオフにしたりできます。

- 3 [**パターン**]、[**PIN**]、または [**パスワード**] をタップします。

[**パターン**] をタップすると、画面ロックを解除するときに入力するパターンを作成できます。この操作を初めて行う場合は、ロック解除パターンの作成についての簡単なチュートリアルが表示されます。途中でわからなくなった場合でも、**MENU** \equiv キーを押して [**ヘルプ**] をタップすればいつでもヘルプを表示できます。自分専用のパターンを入力し、確認のためもう一度そのパターンを入力します。

[**PIN**] または [**パスワード**] をタップすると、画面ロックを解除するための数値の PIN またはパスワードを設定するよう求められます。

設定後は、端末の電源を入れたときやスリープ後に使用するとき、ロック解除パターン、PIN、またはパスワードを入力して画面のロックを解除する必要があります。

ホーム画面のカスタマイズ

アプリケーションアイコン、ショートカット、ウィジェットなどのアイテムは、ホーム画面上の空いている場所ならどこにでも追加できます。また、壁紙を変更することもできます。

ホーム画面について詳しくは、「ホーム画面について」(20 ページ)をご覧ください。

ホーム画面にアイテムを追加する

- 1 アイテムを追加するホーム画面を表示します。

ホーム画面を切り替える方法など、ホーム画面の基本的な操作方法については「ホーム画面について」(20 ページ)をご覧ください。

- 2 **MENU キー**  を押して [追加] をタップします。

または、ホーム画面の空いている場所を長押しします。

ホーム画面に空いている場所がない場合は [追加] が淡色表示になります。その場合は、アイテムを追加する前に、既存のアイテムを削除または移動するか、別のホーム画面に切り替える必要があります。

- 3 メニューが表示されたら、追加するアイテムの種類をタップします。

ホーム画面には、以下のアイテムを追加できます。

ショートカット アプリケーション、ブックマークに追加したウェブページ、お気に入りの連絡先、地図上の目的地、Gmail のラベル、音楽のプレイリストなど、さまざまなアイテムへのショートカットを追加できます。利用できるショートカットは、インストールしたアプリケーションにより異なります。

ウィジェット ホーム画面には、ウィジェットと呼ばれる小さなアプリケーションも追加できます。時計、音楽プレーヤー、写真フレーム、Google 検索バー、電源管理、近日中の予定を知らせるカレンダー、ニュースと天気など、さまざまなウィジェットが提供されています。ウィジェットは、Android マーケットからダウンロードすることもできます。

フォルダ ホーム画面のアイテムを整理するフォルダや、すべての連絡先、電話番号の登録された連絡先、またはスター付きの連絡先を含むフォルダを追加します。フォルダの内容は、自動的に最新の状態に更新されます。

ホーム画面でアイテムを移動する

- 1 移動するアイテムを長押しし、アイテムが振動するまで待ちます。それまで指を離さないでください。
- 2 画面上の新しい位置まで、アイテムをドラッグします。
別のホーム画面にアイテムを移動するには、画面の端までドラッグした状態で一度停止します。
- 3 表示する位置までアイテムをドラッグしてから、指を離します。

ホーム画面からアイテムを削除する

- 1 削除するアイテムを長押しし、アイテムが振動するまで待ちます。それまで指を離さないでください。
ランチャーアイコンがゴミ箱アイコン  に変わります。
- 2 アイテムをゴミ箱アイコンにドラッグします。
- 3 アイコンの色が赤に変わったら指を離します。

ホーム画面の壁紙を変更する

- 1 MENU キー  を押して [壁紙] をタップします。
または、ホーム画面の空いている場所を長押しし、開いたメニューで [壁紙] をタップします。
- 2 [ギャラリー]、[ライブ壁紙]、または [壁紙] の順にタップします。
カメラで撮影した画像や端末にコピーした画像を使用するには、[ギャラリー] をタップします。壁紙として設定する前に、画像をトリミングできます。画像の操作方法については、「ギャラリー」(283 ページ) をご覧ください。
[ライブ壁紙] をタップすると、端末にインストールされているアニメーション壁紙のスクロール リストが開きます。時間帯や画面のタップ、時間の指定などに基づいて変化するライブ壁紙もあります。また、[設定] ボタンを備えたライブ壁紙もあります。
[壁紙] をタップすると、端末に組み込まれた壁紙画像のサンプルを集めた画面が開きます。サンプルを表示するには、縮小画像を左右にスライドします。サンプルをタップすると、拡大表示されます。
- 3 [保存] または [壁紙に設定] をタップします。

フォルダの名前を変更する

- 1 フォルダをタップして開きます。
- 2 フォルダ ウィンドウのタイトルバーを長押しします。
- 3 ダイアログが表示されたら新しい名前を入力します。
- 4 [OK]をタップします。

連絡先への簡単な接続

端末で連絡先リストを作成すると、多くのアプリケーションから Android 用チャットリストを使用して、チャット、メール、SMS、発信、連絡先の検索などを簡単に開始できます。Android 用チャットリストは特別なアイコンで、タップするとバルーンが開き、その連絡先へすぐに接続するためのオプションが表示されます。

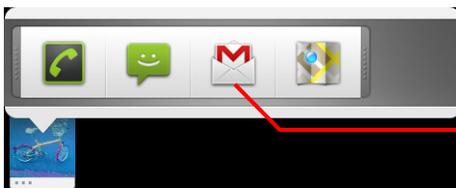
- ▶ チャットリストのアイコンはフレームで識別できます。

チャットリストからアクセスできる連絡先は、アプリケーションによって表示方法が異なりますが、通常は次のような写真フレームで表示されます：



- ▶ チャットリストのいずれかのアイコンをタップすると、バルーンが開き、その連絡先に使用できるすべての連絡手段がアイコンで表示されます。

バルーンにすべてのアイコンが収まらない場合は、左右にドラッグすると表示されます。



アイコンをタップすると、そのアプリケーションを使って連絡を取ることができます

- ▶ アイコンのいずれかをタップすると、対応するアプリケーションが開き、すぐに連絡先への接続を開始できます。

端末に設定されているアプリケーションやアカウントにより異なりますが、連絡先情報を編集するためのアイコンや、Google マップで連絡先の住所を表示するためのアイコンなども表示されます。

連絡先へのショートカットをホーム画面に追加することもできます。この場合、ショートカットをタップすると、その連絡先の Android 用チャットリストが開きます。ホーム画面にショートカットを追加する方法については、「ホーム画面のカスタマイズ」(45 ページ)をご覧ください。

電池の節約方法

必要のない機能をオフにすることで、電池を長持ちさせることができます。また、アプリケーションやシステム リソースによる電力消費量を監視することもできます。

電池を長持ちさせる

- ▶ 無線通信を使用しない場合はオフにします。
Wi-Fi、Bluetooth、GPS を使用しない場合は、設定アプリケーションでオフにします。「無線とネットワーク」(365 ページ)と「位置情報とセキュリティの設定」(375 ページ)をご覧ください (GPS 受信機は、それを必要とするアプリケーションを使用しているときのみオンになります)。
- ▶ 画面の明るさを下げ、バックライト消灯までの時間を短くします。
「画面設定」(374 ページ)をご覧ください。
- ▶ Gmail、カレンダー、連絡先などのアプリケーションで自動同期が必要がない場合はオフにします。
「アカウントの同期オプションと表示オプションの設定」(133 ページ)をご覧ください。
- ▶ 電源管理ウィジェットを使用して、無線通信、画面の明るさ、同期の状態を確認し、コントロールします。
ウィジェットの追加方法については、「ホーム画面のカスタマイズ」(45 ページ)をご覧ください。
- ▶ しばらくの間モバイル ネットワークや Wi-Fi ネットワークに接続できない場合は、機内モードに切り替えます。
モバイル ネットワークを検索すると、電力の消費量が増えます。「通話機能をオフにする (機内モード)」(84 ページ)をご覧ください。

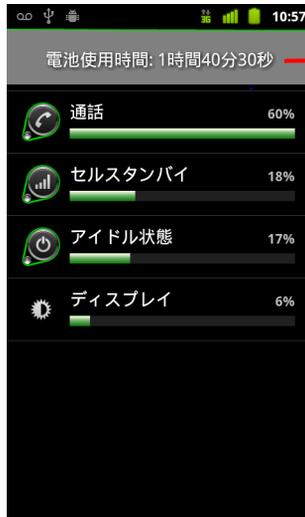
電池の残量を確認する

- ▶ ホーム画面で、MENU キー  を押し、[設定]>[端末情報]>[端末の状態] をタップします。
電池の状態 (充電中、放電中) と残量 (充電 100% に対する割合) が画面の上部に表示されます。

消費電力の多いアプリケーションを監視してコントロールする

[電池使用量] 画面には、最も消費電力の多いアプリケーションが表示されます。ダウンロードしたアプリケーションの消費電力が多すぎる場合は、この画面でそのアプリケーションをオフにすることもできます。

- ▶ ホーム画面で MENU キー  を押し、[設定] > [アプリケーション] > [電池使用量] をタップします。



放電グラフをタップすると、画面、無線通信などの機能による電池使用の詳細を表示する画面が開きます。

[電池使用量] 画面に、電池使用量の多い順にアプリケーションが表示されます。

画面上部の放電グラフには、機種変更以降の電池の放電ペースが表示されます（断続的な充電期間は、グラフの下に薄い緑のラインで示されます）。また、電池の使用時間も表示されます。

- ▶ [電池使用量] 画面でアプリケーションをタップすると、その消費電力に関する詳細情報が表示されます。
ここで表示される情報はアプリケーションによって異なります。アプリケーションによっては、消費電力を調整する画面を開くためのボタンも表示されます。
- ▶ 放電グラフをタップすると、端末の無線通信、画面、その他の機能による電池使用の詳細を表示する画面が開きます。

アプリケーションで使うメモリの管理

「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ) で説明したとおり、通常は、アプリケーションのインストール、起動、使用以外の管理について注意する点はありません。メモリやその他のリソースの使用については、オペレーティングシステムが自動的に管理します。ただし、アプリケーションによるメモリなどのリソースの使用状況を詳しく確認することもできます。

アプリケーションは、端末内のストレージメモリと RAM の 2 種類のメモリを使用します。ストレージメモリは、アプリケーションと、アプリケーションが使用するファイルや設定などのデータの保存に使用します。アプリケーションの実行中は、RAM (一時ストレージと高速アクセス用のメモリ) も使用します。

どの端末にも内部ストレージがあります。内部ストレージとは、ほとんどのアプリケーションに加えて、アプリケーション用のさまざまな種類のファイルとデータが保存される場所です。内部ストレージにはユーザーの個人情報が含まれる可能性があるため、オペレーティングシステムが管理し、厳重に保護しています。端末を USB ケーブルでパソコンに接続しても、内部ストレージの内容を表示することはできません。

端末の機種によっては、内部 USB ストレージやリムーバブル SD カードを使用できる場合もあります。端末をパソコンに接続しているときは、これらのメモリ内のファイルを表示したりコピーしたりできます (「パソコンへの接続 (USB 経由)」(70 ページ) をご覧ください)。また、アプリケーションによっては、デフォルトまたはオプションで、内部メモリではなくこのメモリに保存するように設計されています。

オペレーティングシステムは、アプリケーションによる端末の RAM の使用についても管理しています。アプリケーションおよびそのコンポーネントプロセスやサービスが RAM を必要としている場合に限り、使用が許可されます。RAM 内で最近使用しているプロセスはキャッシュされるため、再びそのプロセスを開始するとすぐに再開できますが、新たなアクティビティで RAM が必要になると、そのキャッシュは消去されます。

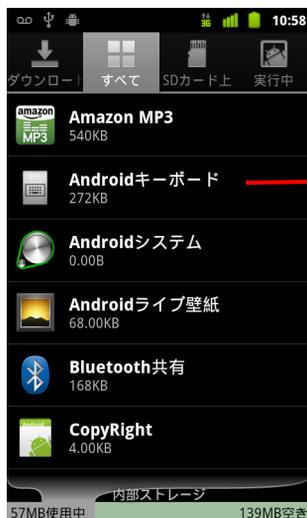
端末を使用するとき、さまざまな方法で、アプリケーションによるストレージメモリの使用を直接または間接的に管理できます。たとえば次のような方法です：

- アプリケーションをインストールまたはアンインストールする（「マーケット」（349 ページ）と「アプリケーションをアンインストールする」（55 ページ）をご覧ください）
- ブラウザ、Gmail、その他のアプリケーションでファイルをダウンロードする
- ファイルを作成する（たとえば、画像を撮影する）
- ダウンロードしたファイルや作成したファイルを削除する（「ダウンロードの管理」（57 ページ）と、お使いのアプリケーションのドキュメントをご覧ください）
- パソコンを使って、USB ストレージや SD カードからファイルをコピーまたは削除する（「パソコンへの接続（USB 経由）」（70 ページ）をご覧ください）
- アプリケーションが対応している場合、アプリケーションのインストール先を内部ストレージ、端末の USB ストレージ、または SD カードに変更する（「アプリケーションの保存先を変更する」（56 ページ）をご覧ください）

アプリケーションによる RAM の使用を管理する必要はありません。オペレーティングシステムが管理します。ただし、アプリケーションによる RAM の使用を監視し、動作に問題があればそのアプリケーションを停止することができます。詳しくは、「動作に問題のあるアプリケーションを停止する」（55 ページ）をご覧ください。

[アプリケーションの管理] 画面を開く

- ▶ [ホーム]キー  を押してから MENU キー  を押し、[アプリの管理]をタップします。
または
- ▶ 設定アプリケーションを開き、[アプリケーション]>[アプリケーションの管理]をタップします。



アプリケーションをタップすると、アプリケーションの詳細情報や管理のためのオプションを示す画面が開きます

[アプリケーションの管理] 画面には4つのタブがあり、各タブにはアプリケーションとそのコンポーネントのリストがあります。各タブの一番下には、リスト内のアイテムによって使用されているメモリのグラフと、空きメモリの量が表示されます。

- ▶ リスト内のアプリケーション、プロセス、またはサービスをタップすると、その詳細を表示する画面が開き、設定の変更、停止、アンインストールなどの操作を行えます。

この操作についてはこのセクションで後述します。

- ▶ [ダウンロード済み] タブをタップすると、マーケットなどからダウンロードしたアプリケーションが表示されます。
- ▶ [すべて] タブをタップすると、端末にインストールされたアプリケーションがすべて表示されます。

このリストには、Android のリリースに組み込まれているアプリケーションや、マーケットなどのリソースからダウンロードしたアプリケーションが含まれています。

- ▶ [USB ストレージ] タブまたは [SD カード] タブ (端末の機種によって異なります) をタップし、インストールされたアプリケーションを表示できます。

チェックボックスがオンになっているアイテムは、USB ストレージまたは SD カードにインストールされています。チェックボックスがオフになっているアイテムは、端末の内部ストレージにインストールされていますが、必要に応じて移動することができます。「アプリケーションの保存先を変更する」(56 ページ) をご覧ください。

- ▶ **[実行中]** タブをタップすると、実行中またはキャッシュされているアプリケーションと、そのプロセスおよびサービスが表示されます。
「動作に問題のあるアプリケーションを停止する」(55 ページ) をご覧ください。
- ▶ **[ダウンロード済み]**、**[すべて]**、**[USB ストレージ]**、または**[SD カード]** タブを表示して、**MENU ボタン**  を押し、**[サイズ順]** または **[名前順]** をタップすると、リストの順序を変更できます。

アプリケーションの詳細情報を見る

- 1 **[アプリケーションの管理]** 画面を開きます。
- 2 アプリケーション、プロセス、またはサービスをタップします。
各アプリケーションの**[アプリケーション情報]** 画面には、アプリケーションの名前とバージョンの他に、詳細情報が表示されます。アプリケーションやその入手先によっては、アプリケーションデータを管理するボタン、アプリケーションを強制停止するボタン、アプリケーションをアンインストールするボタンなども表示されます。また、アプリケーションがアクセスする端末情報や個人データの詳細もリストに表示されます。
さまざまなアプリケーションごとに情報やコントロールは異なりますが、以下の点は共通しています。
 - **[強制停止]** ボタンを使用して、動作に問題のあるアプリケーションを停止できます（「動作に問題のあるアプリケーションを停止する」(55 ページ) をご覧ください）。
 - Android マーケットやその他のソースからアプリケーションをインストールした場合は、アプリケーションとそのデータや設定をすべて携帯端末から削除できる**[アンインストール]** ボタンも表示されます。アプリケーションのアンインストールと再インストールについて詳しくは、「マーケット」(349 ページ) と「アプリケーションをアンインストールする」(55 ページ) をご覧ください。
 - **[ストレージ]** では、アプリケーションで使用する端末のストレージ容量の詳細情報を見ることができます。
 - **[データのクリア]** ボタンをタップすると、アプリケーションの設定やその他のデータを削除できます。
 - **[USB ストレージに移動]** または **[SD カードに移動]** (端末の機種によって異なります)、および **[携帯端末に移動]** ボタンを使用して、アプリケーションの保存先を変更できます。「アプリケーションの保存先を変更する」(56 ページ) をご覧ください。

- [**キャッシュ**] では、アプリケーションが携帯端末のメモリの一時領域にデータを保存している場合に、保存されている情報量とその消去ボタンが表示されます。
- [**デフォルトでの起動**] では、デフォルトで特定のファイルタイプを起動するアプリケーションを設定している場合に、設定を消去できます。
- [**許可**] アプリケーションがアクセスできる、携帯端末の各種の情報やデータがリスト表示されます。

動作に問題のあるアプリケーションを停止する

実行中のアプリケーションとキャッシュされたプロセスが使用している RAM の量を監視し、必要に応じてそれらを停止できます。

- 1 [**アプリケーションの管理**] 画面を開きます。
- 2 [**実行中**] タブをタップします。
- 3 **MENU** キー  を押して、[**キャッシュされたプロセスを表示**] または [**実行中のサービスを表示**] をタップすると、表示が切り替わります。

[**実行中**] タブに、現在実行中またはプロセスがキャッシュされているアプリケーション、プロセス、およびサービスと、それぞれが使用している RAM の量が表示されます。画面の下部にあるグラフには、RAM の使用中の合計容量と空き容量がそれぞれ表示されます。

動作に問題のあるアプリケーション、プロセス、またはサービスをタップし、開いた画面で [**停止**] ボタンをタップして停止できます。[**レポート**] ボタンをタップし、端末で正常に動作しないアプリケーションに関する情報をデベロッパーに送信することもできます。

重要: 端末でアプリケーションやオペレーティングシステムのプロセスやサービスを停止すると、それに依存している1つ以上の機能が無効になります。機能を完全に復元するには、端末を再起動する必要があります。

アプリケーションをアンインストールする

マーケットなどのソースからダウンロードしたアプリケーションをアンインストールできます（マーケットを使用して、マーケットからダウンロードしたアプリケーションをアンインストールすることもできます。「ダウンロードの管理」（357 ページ）をご覧ください）。

- 1 [アプリケーションの管理]画面を開きます。
- 2 [ダウンロード]タブをタップします。
- 3 アンインストールするアプリケーションをタップします。
- 4 [アンインストール]ボタンをタップします。
- 5 アプリケーションのアンインストールを確認する画面が表示されたら [OK]をタップします。

アプリケーションの保存先を変更する

アプリケーションによっては、内部ストレージではなく、端末の USB ストレージまたは SD カード（端末の機種によって異なります）に保存するよう設計されていることがあります。それ以外のアプリケーションは、保存先を変更できます。サイズの大きいアプリケーションを内部ストレージから移動できれば、内部ストレージにしか保存できないその他のアプリケーションをインストールするための空き容量を確保できるため、便利です。この理由により、サイズの大きいアプリケーションの多くは、内部ストレージ以外に保存できるように設計されています。

- 1 [アプリケーションの管理]画面を開きます。
- 2 [USB ストレージ]タブまたは [SD カード]タブをタップします。

このタブには、端末の USB ストレージまたは SD カードに保存する必要がある、または保存できるアプリケーションがリスト表示されます。アプリケーションごとに、端末で使用する内部ストレージの量がリスト表示されています（内部ストレージに保存されていない場合でも、すべてのアプリケーションは必ず少量の内部ストレージを使用します）。

端末の USB ストレージまたは SD カードに保存されているアプリケーションは、チェックボックスがオンになっています。

一番下のグラフは、端末の USB ストレージまたは SD カードで使用中のメモリの合計容量と空き容量を示しています。この合計には、リスト内のアプリケーションだけでなく、ファイルなどのデータも含まれています。

- ▶ リスト内のアプリケーションをタップします。
アプリケーションの詳細画面の [ストレージ] セクションに、アプリケーションが使用したメモリの詳細が表示されます。アプリケーションを移動できる場合、[移動] ボタンがアクティブになります。
- ▶ [USB ストレージに移動] または [SD カードに移動] をタップすると、アプリケーションをまとめて端末の内部ストレージから移動できます。
- ▶ [携帯端末に移動] をタップすると、アプリケーションを端末の内部ストレージに戻すことができます。

ダウンロードの管理

ブラウザ、Gmail、またはメールアプリでダウンロードしたファイル、アプリケーション、その他のアイテムは、端末のUSBストレージまたはSDカード（端末の機種によって異なります）に保存されます。ダウンロードアプリケーションを使用して、ダウンロードしたアイテムの表示、再起動、または削除ができます。

モバイルネットワークによっては、ネットワークの負荷を管理するため、または高額な請求を避けるため、ダウンロードできるファイルのサイズに制限を設けています。そのようなネットワークに接続中にサイズ超過のファイルをダウンロードしようとする、次にWi-Fiネットワークに接続してダウンロードが自動的に再開されるまでファイルのダウンロードを延期するよう求められます。このようなダウンロード待機中のファイルは、ダウンロードアプリケーションで表示および管理できます。

ダウンロードされたファイルは、USBストレージまたはSDカードの **download** ディレクトリに保存されます。パソコンに接続しているときは、このディレクトリのファイルを表示したりコピーしたりできます。詳しくは「パソコンへの接続（USB経由）」（70ページ）をご覧ください。

[ダウンロード]を開いてダウンロードしたファイルを管理する

- ▶ ホーム画面またはランチャーでダウンロードアイコン  をタップします。

「アプリケーションの起動と切り替え」（42ページ）をご覧ください。



ダウンロードしたファイルを再び開くにはタップします

削除するアイテムをチェックボックスで指定します

- ▶ アイテムをタップして再び開きます
- ▶ 以前にダウンロードしたファイルの見出しをタップすると、それらのファイルが表示されます。
- ▶ 削除するアイテムをチェックボックスで指定してから、[**削除**] をタップします。
USB ストレージまたは SD カードからアイテムが削除されます。
- ▶ **MENU キー**  を押して、[**サイズ順**] または [**時間順**] をタップすると、表示が切り替わります。

ネットワークやデバイスへの 接続

音声やデータの転送用モバイルネットワーク、Wi-Fi データネットワーク、ヘッドセットのような Bluetooth デバイスなど、さまざまなネットワークやデバイスに携帯端末を接続できます。携帯端末をパソコンに接続して端末からファイルを転送したり、端末のモバイルデータ通信を USB 経由で、またはポータブル Wi-Fi アクセスポイントとして共有したりすることもできます。

このセクションの内容

「モバイルネットワークへの接続」(60 ページ)

「Wi-Fi ネットワークへの接続」(63 ページ)

「Bluetooth デバイスへの接続」(66 ページ)

「パソコンへの接続 (USB 経由)」(70 ページ)

「携帯端末のデータ通信の共有」(72 ページ)

「仮想プライベート ネットワークへの接続」(75 ページ)

「安全な証明書の操作」(77 ページ)

「インターネット通話 (SIP) の設定」(78 ページ)

モバイルネットワークへの接続

携帯通信会社から入手したSIMカードを携帯端末に装着すると（必要に応じて、SIMを使用しないCDMA端末を使用すると）、通話やデータ転送にその通信会社のモバイルネットワークを利用するよう端末が設定されます（詳しくは、お使いの端末の取扱説明書をご覧くださいか、携帯通信会社にお問い合わせください）。

携帯端末は、さまざまな携帯通信会社のネットワークと連携できるように設定されています。SIMカードを挿入して端末の電源を入れてもネットワークに接続できない場合は、アクセスポイント名の詳細を携帯通信会社にお問い合わせください。「アクセスポイントを編集または新規作成する」（62ページ）をご覧ください。

利用できるモバイルネットワークは地域によって異なります。端末は最初に、利用可能な最も高速のデータ転送用モバイルネットワークを利用するよう設定されます。ただし、電池を長持ちさせるため、より低速な2Gデータネットワークのみを使用するように端末を設定することができます。まったく異なるネットワークにアクセスするよう設定することや、ローミング中は別の動作をするよう設定することもできます。

ステータスバーに、接続中のデータネットワークの種類と、ネットワークの音声やデータの電波強度を示すアイコンが表示されます。

Googleアカウントを追加した端末でGoogleサービスに接続し、Gmail、カレンダーの予定、連絡先の同期、設定のバックアップなどを行うと、ネットワークのステータスアイコンが緑に変わります。Googleアカウントをお持ちでない場合やインターネットに接続されていないWi-Fiネットワークに接続中の場合、ネットワークアイコンは白になります。

	最も高速の3Gネットワーク（UMTSまたはHSDPA）に接続されています
	2番目に高速のネットワーク（EDGE）に接続されています
	2Gネットワーク（GPRS）に接続されています
	光っている縦棒の数が多く、ワイヤレス電波が強いことを示します
	別の携帯通信会社のネットワークに接続されています（ローミング中）

低速のネットワークに接続している場合、携帯端末を使用して大量のデータを転送するタスクを、高速のネットワークに接続するまで延期したり、接続できるWi-Fiネットワークを探したりすることもできます。「Wi-Fiネットワークへの接続」（63ページ）をご覧ください。

使用しているネットワークを確認する

- 1 [ホーム]キー 、MENU キー  の順に押し、[設定] をタップして設定アプリケーションを開きます。
- 2 [無線とネットワーク] > [モバイルネットワーク] > [アクセスポイント名] をタップします。
リスト内で、現在登録している携帯通信会社の名前が選択されています。

ローミング中にデータを無効にする

契約している携帯通信会社の通信圏外に出たときに、他の通信会社のモバイルネットワークを経由するデータ転送をしないよう設定できます。これは、使用している携帯端末の料金プランにデータローミングが含まれていない場合の、コスト管理に役立ちます。

- 1 [ホーム]キー 、MENU キー  の順に押し、[設定] をタップして設定アプリケーションを開きます。
- 2 [無線とネットワーク] > [モバイルネットワーク] をタップし、[データローミング] のチェックボックスをオフにします。
[データローミング] をオフにしても、Wi-Fi 接続によりデータを転送できます。「Wi-Fi ネットワークへの接続」(63 ページ) をご覧ください。

データ接続を 2G ネットワークに限定する

データ接続を 2G ネットワーク (GPRS または EDGE) に限定することで、電池を長持ちさせることができます。2G ネットワークに接続しているとき、大量のデータを転送する操作 (画像や動画の送信、アップロード、ダウンロードなど) は、より高速のモバイルネットワークや、他のワイヤレスネットワークに接続するまで延期することもできます。

- 1 [ホーム]キー 、MENU キー  の順に押し、[設定] をタップして設定アプリケーションを開きます。
- 2 [無線とネットワーク] > [モバイルネットワーク] をタップし、[2G ネットワークのみ使用] のチェックボックスをオンにします。

アクセスポイントを編集または新規作成する

携帯通信会社との間で、現在のアクセスポイント名（APN）の設定の変更、または新規作成が必要になった場合は、通信会社からそのAPNと詳細な設定情報を入手する必要があります。

- 1 [ホーム]キー 、MENUキー の順に押し、[設定]をタップして設定アプリケーションを開きます。
- 2 [無線とネットワーク]>[モバイルネットワーク]>[アクセスポイント名]をタップします。
- 3 既存のAPNをタップして編集します。またはMENUキー を押して[新しいAPN]をタップします。
編集が必要な各設定をタップして、携帯通信会社から入手したAPN設定を入力します。
- 4 入力を終わったら、MENUキー を押して[保存]をタップします。
- 5 APNを新規作成した場合は、[APN]画面でそのAPNをタップして、利用を開始します。

Wi-Fi ネットワークへの接続

Wi-Fi とは、Wi-Fi ルーターと周辺環境に応じて、最大 100 m の距離までインターネット アクセスを提供できるワイヤレス ネットワーク テクノロジーです。

携帯端末で Wi-Fi を使用するには、ワイヤレス アクセス ポイント（またはホットスポット）にアクセスします。オープンなアクセスポイントには、そのまま接続することができます。非公開のアクセスポイントや、セキュリティ機能が実装されているアクセスポイントに接続するには、その接続を端末で設定する必要があります。

Wi-Fi 接続を保護するシステムには、安全な証明書や、承認されたユーザーのみが接続できるような方式に依存するなど、さまざまなシステムがあります。安全な証明書のインストールについて詳しくは、「安全な証明書の操作」（77 ページ）をご覧ください。

使用しないときは Wi-Fi をオフにします。これにより、電池を長持ちさせることができます。

ステータスバーには、Wi-Fi の状態を示すアイコンが表示されます。

Google アカウントを追加した端末で Google サービスに接続し、Gmail、カレンダーの予定、連絡先の同期、設定のバックアップなどを行うと、ネットワークのステータスアイコンが緑に変わります。Google アカウントをお持ちでない場合やインターネットに接続されていない Wi-Fi ネットワークに接続中の場合、ネットワークアイコンは白になります。

	Wi-Fi ネットワークに接続されています（接続強度を波の数で示します）
	Wi-Fi オープン ネットワークの圏内であることを示します

Wi-Fi ネットワークに接続すると、端末は DHCP プロトコルを使って、ネットワークアドレスなどの必要な情報をネットワークから入手します。端末に固定 IP アドレスを設定するなどの詳細設定を行うには、**MENU キー**  を押して **[詳細設定]** をタップします。「Wi-Fi の **[詳細設定]** 画面」（366 ページ）をご覧ください。

Wi-Fi をオンにして、Wi-Fi ネットワークに接続する

携帯端末の最初のセットアップで Wi-Fi ネットワークを追加している場合、Wi-Fi は自動的にオンになるので、手順 4 に進んでください。

1 [ホーム] キー  を押してから MENU キー  を押し、[設定] をタップします。

2 [無線とネットワーク] > [Wi-Fi 設定] をタップします。

3 [Wi-Fi] チェックボックスをオンにします。

利用可能な Wi-Fi ネットワークを探すために端末でスキャンを行い、見つかったネットワークの名前が表示されます。セキュリティで保護されているネットワークには、ロックアイコンが表示されます。

以前に接続したことのあるネットワークが見つかると、端末はそのネットワークに接続します。

4 接続するネットワークをタップします。

オープン ネットワークの場合、ネットワークへの接続を確認するよう求められるので、[接続] をタップします。

ネットワークがセキュリティで保護されている場合は、パスワードなどの認証情報の入力を求めるメッセージが表示されます（詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください）。

ネットワークに接続した後、[Wi-Fi 設定] 画面でそのネットワーク名をタップすると、速度、セキュリティ、アドレス、関連設定などの詳細情報が表示されます。

オープン ネットワークの圏内のときに通知を受ける

Wi-Fi がオンのときに Wi-Fi オープン ネットワークが端末で検出されると、ステータス バーにその通知が表示されるよう初期設定されています。

1 Wi-Fi がまだオンではない場合は、オンにします。

2 [Wi-Fi 設定] 画面で、[ネットワークの通知] チェックボックスをオンにします。

このオプションをオフにすると、通知が表示されなくなります。

Wi-Fi ネットワークを追加する

Wi-Fi ネットワークを追加することで、端末にネットワークの情報とセキュリティ認証情報を保存し、圏内に入ったときに自動的に接続させることができます。ネットワーク名 (SSID) をブロードキャストしていない Wi-Fi ネットワークに接続するときや、Wi-Fi ネットワークの圏外でその情報を保存するには、手動でそのネットワークを追加する必要があります。

セキュリティで保護されているネットワークを利用するには、そのネットワークに導入されているセキュリティ方式と、パスワードなどの必要なセキュリティ認証情報を、ネットワーク管理者に問い合わせる必要があります。安全な証明書のインストールについて詳しくは、「安全な証明書の操作」(77 ページ) をご覧ください。

- 1 Wi-Fi がまだオンではない場合は、オンにします。

携帯端末の最初のセットアップで Wi-Fi ネットワークを追加している場合、Wi-Fi は自動的にオンになります。

- 2 [Wi-Fi 設定] 画面で、[Wi-Fi ネットワークを追加] (検出されたネットワークのリストの一番下) をタップします。
- 3 ネットワークの SSID (名前) を入力します。そのネットワークがセキュリティで保護されている場合、[セキュリティ] メニューをタップして、そのネットワークに導入されているセキュリティの種類をタップします。
- 4 必要に応じて、セキュリティ認証情報を入力します。
- 5 [保存] をタップします。

携帯端末はそのワイヤレス ネットワークに接続します。入力した認証情報を保存しておく、次回からそのネットワークの圏内に入ったときに自動的に接続されます。

Wi-Fi ネットワークの情報を消去する

携帯端末を自動接続したくない場合や、特定のネットワークを利用しなくなった場合などに、追加した Wi-Fi ネットワークの詳細情報を消去することができます。

- 1 Wi-Fi がまだオンではない場合は、オンにします。
- 2 [Wi-Fi 設定] 画面で、消去するネットワークの名前を長押しします。
- 3 表示されたダイアログで、[ネットワークへの接続を解除] をタップします。

Bluetooth デバイスへの接続

Bluetooth は、約 8 m までの距離の端末間で情報をやり取りできる短距離無線通信テクノロジーです。最もよく使用される Bluetooth デバイスは、通話したり音楽を聴いたりするためのヘッドホン、自動車で使用するハンズフリーキット、ノートパソコンや携帯端末などの携帯用デバイスです。

Bluetooth デバイスの機能と通信規格を規定する Bluetooth プロファイルには数種類あります。お使いの端末でサポートされているプロファイルの一覧については、端末の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth デバイスに接続するには、端末の Bluetooth 無線通信をオンにする必要があります。デバイスを携帯端末と新たに接続するには、最初に 2 つを「ペアとして設定」して、互いに安全に接続する方法を知らせる必要があります。ペアとして設定すると、そのデバイスに接続できるようになります。

使用しないときは Bluetooth をオフにします。これにより、電池を長持ちさせることができます。Bluetooth をオフにする必要のある場所もあります。機内モードに設定すると、Bluetooth はオフになります。

ステータスバーのアイコンによって Bluetooth の状態がわかります。

	Bluetooth がオンです
	Bluetooth デバイスに接続されています

Bluetooth をオンまたはオフにする

- 1 [ホーム]キー 、MENU キー  の順に押し、[設定] をタップして設定アプリケーションを開きます。
- 2 [無線とネットワーク] をタップします。
- 3 Bluetooth をオンまたはオフにするには、[Bluetooth] チェックボックスをオンまたはオフにします。

端末の Bluetooth 名を変更する

端末には一般的な Bluetooth 名が初期設定されており、他のデバイスに接続するとその名前が表示されます。この名前は、わかりやすい名前に変更できます。

- 1 [ホーム]キー 、MENU キー の順に押し、[設定]をタップして設定アプリケーションを開きます。
- 2 [無線とネットワーク]>[Bluetooth 設定]をタップします。
[Bluetooth 設定]画面が開きます。
- 3 Bluetooth がオンでない場合は、[Bluetooth]チェックボックスをオンにします。
- 4 [端末名]をタップし、名前を入力し、[OK]をタップします。

携帯端末と Bluetooth デバイスをペアとして設定する

別のデバイスに接続する前に、携帯端末とそのデバイスをペアとして設定する必要があります。携帯端末とデバイスをペアとして設定すると、解除するまでその設定は継続します。

- 1 [ホーム]キー 、MENU キー の順に押し、[設定]をタップして設定アプリケーションを開きます。
- 2 [無線とネットワーク]>[Bluetooth 設定]をタップします。
- 3 Bluetooth がオンでない場合は、[Bluetooth]チェックボックスをオンにします。

端末でスキャンが行われ、接続可能な範囲にあるすべての Bluetooth デバイスの ID が表示されます。

- 4 ペア設定するデバイスがリストにない場合、そのデバイスが検出可能になっていることを確認します。
デバイスを携帯端末で検出可能にする方法や、ペア設定のその他の手順について詳しくは、デバイスの取扱説明書をご覧ください。
- 5 相手のデバイスを検出可能にする前に、携帯端末のスキャンが終了した場合は、[デバイスをスキャン]をタップします。
- 6 [設定]のリストにある相手のデバイスの ID をタップして、ペアとして設定します。

携帯端末と Bluetooth デバイスがペアとなります。パスコードの入力を求められたら、0000 または 1234（最もよく使用されるパスコード）を入力してみるか、そのデバイスに付属のドキュメントを参照してパスコードを確認してください。

ペア設定に成功すると、携帯端末はそのデバイスに接続します。

Bluetooth デバイスに接続する

ペアを設定すると、Bluetooth デバイスに接続できるようになります。たとえば、デバイスを切り替えたり、携帯端末とデバイスが通信圏内に戻ったときに再接続したりできます。

- 1 [ホーム]キー 、MENU キー  の順に押し、[設定] をタップして設定アプリケーションを開きます。
- 2 [無線とネットワーク] > [Bluetooth 設定] をタップします。
- 3 Bluetooth がオンでない場合は、[Bluetooth] チェックボックスをオンにします。
- 4 端末のリスト内で、ペア設定されており、接続されていない端末をタップします。

接続するデバイスが表示されていない場合、[端末をスキャン] をタップします。

携帯端末とデバイスが接続され、リストにそのデバイスに接続されていることが表示されます。

使用する Bluetooth デバイスの機能を設定する

一部の Bluetooth デバイスには、複数のプロフィールがあります。プロフィールには、通話を転送する機能、音楽をステレオで再生する機能、ファイルなどのデータを転送する機能が含まれます。携帯端末で使用するプロフィールを選択できます。

- 1 [Bluetooth 設定] 画面で、そのデバイスを長押しします。
- 2 開いたメニューの [オプション] をタップします。
その端末のプロフィールのリストが表示された画面が開きます。
- 3 プロフィールのチェックボックスをオン / オフにして、使用するかしないかを指定します。
- 4 設定を終えたら、[戻る] キー  を押します。

Bluetooth デバイスから切断する

- 1 [Bluetooth 設定] 画面で、そのデバイスをタップします。
- 2 切断を確認するメッセージが表示されたら、[OK] をタップします。

Bluetooth デバイスとのペアを解除する

Bluetooth デバイスとのペアを解除して、ペア設定の情報をすべて消去できます。

- 1 [Bluetooth 設定] 画面で、そのデバイスを長押しします。
- 2 開いたメニューの [ペアを解除] または [切断してペアを解除] をタップします。

パソコンへの接続（USB 経由）

USB ケーブルで携帯端末をパソコンに接続して、端末とパソコン間で音楽や画像などのファイルを転送できます。これらのファイルは、内部 USB ストレージまたはリムーバブル SD カード（端末の機種によって異なります）に保存されています（この機能について詳しくは、端末の取扱説明書をご覧ください）。

注意： 端末とパソコンの接続時や、USB ストレージまたは SD カードのマウント時には、USB デバイスの接続や切断に関するパソコンの指示に従って操作し、ファイルの破損を避ける必要があります。

USB テザリングを使用している場合、USB を使用して端末とパソコン間でファイルを転送する前に USB テザリングをオフにする必要があります。「携帯端末のデータ通信の共有」（72 ページ）をご覧ください。

USB 経由で携帯端末をパソコンに接続する

- 1 端末に付属の USB ケーブルを使って、端末をパソコンの USB ポートに接続します。

USB が接続されたという通知が表示されます。

- 2 通知パネルを開いて、[USB 接続] をタップします。

通知パネルの操作方法について詳しくは、「通知の管理」（31 ページ）をご覧ください。

- 3 ファイルの転送を確認するダイアログが開いたら、[USB ストレージを ON にする] をタップします。

USB ストレージとして携帯端末が接続されると、画面に USB ストレージが使用中であることが示され、通知が表示されます。

端末の USB ストレージまたは SD カードがドライブとしてパソコンにマウントされます。これで、ファイルのコピーができるようになります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

この間、携帯端末からは USB ストレージや SD カードにアクセスできないため、これらを使用するアプリケーション（カメラ、ギャラリー、音楽アプリなど）は使用できません。また、USB を経由して端末のデータ通信をパソコンと共有することもできません。

パソコンから携帯端末を切断する

注意：情報の消失を避けるため、パソコンの指示に従って注意深く USB ストレージまたは SD カードのマウントを解除し、USB デバイスを正しく取り外してください。

- 1 パソコン上で、USB ストレージまたは SD カードのマウントを解除します。
- 2 通知パネルを開いて、[USB ストレージを OFF にする] をタップします。
- 3 開いた画面で、[USB ストレージを OFF にする] をタップします。

携帯端末から SD カードを安全に取り外す

携帯端末に（USB ストレージではなく）SD カードが装着されている場合、携帯端末の電源が入っていないときは SD カードを端末から安全に取り外すことができます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。携帯端末の電源が入っているときに SD カードを取り外す必要がある場合は、先に端末側で SD カードのマウントを解除して、SD カードの破損を防ぐ必要があります。

- 1 [ホーム] キー 、MENU キー  の順に押し、[設定] をタップして設定アプリケーションを開きます。
- 2 [ストレージ] をタップします。
- 3 [マウント解除] をタップします。

これで、携帯端末から SD カードを安全に取り外すことができます。

USB ストレージまたは SD カードの内容を消去する

携帯端末で SD カードを使用する場合、新しい SD カードを使用する前に内容の消去が必要になることがあります。携帯端末の USB ストレージまたは SD カードの内容を消去することもできます。たとえば、携帯端末または SD カードを他人に譲る場合、個人情報の消去が必要になります（携帯端末のすべてのデータを消去する方法については、「データの初期化」（382 ページ）をご覧ください）。

- 1 [ホーム] キー 、MENU キー  の順に押し、[設定] をタップして設定アプリケーションを開きます。
- 2 [ストレージ] をタップします。
- 3 [消去] をタップします。フォーマットすると内容が消去されることを警告する画面が表示されたら、[消去] をタップします。

携帯端末のデータ通信の共有

USB ケーブルを使用して、携帯端末のデータ通信をパソコンと共有することができます。これを、USB テザリングといいます。また、端末をポータブル Wi-Fi アクセスポイントとして設定すると、端末のデータ通信を一度に最大で 8 台のデバイスと共有できます（携帯通信会社および携帯端末によっては、この機能に対応していないことがあります）。

端末でデータ通信を共有しているときはステータスバーにアイコンが表示され、通知パネルに状態通知が表示されます（「通知の管理」（31 ページ）をご覧ください）。

	USB テザリングがアクティブです
	ポータブル Wi-Fi アクセスポイントがアクティブです
	USB テザリングとポータブルアクセスポイントの両方がアクティブです

サポートされるオペレーティングシステムなど、テザリングとポータブルアクセスポイントの最新情報については、android.com/tether をご覧ください。

携帯端末のデータ通信を USB 経由で共有する

お使いのパソコンで Windows 7 または Linux 系の最新ディストリビューション（Ubuntu など）を実行している場合、通常はテザリングのためにパソコン側で準備する必要はありません。ただし、以前のバージョンの Windows やそれ以外のオペレーティングシステムを実行している場合は、USB 経由でのネットワーク接続の確立が必要になることがあります。USB テザリングをサポートするオペレーティングシステムの最新情報やその設定方法については、android.com/tether をご覧ください。

USB を経由して、端末のデータ通信と USB ストレージまたは SD カード（端末の機種によって異なります）を同時に共有することはできません。携帯端末とパソコン間でファイルをコピーするために USB 接続を使用している場合は、先にその接続を解除する必要があります。「パソコンへの接続（USB 経由）」（70 ページ）をご覧ください。

- 1 端末に付属の USB ケーブルを使って、端末をパソコンに接続します。
- 2 [ホーム]キー 、MENU キー  の順に押し、[設定] をタップして設定アプリケーションを開きます。
- 3 [無線とネットワーク] > [テザリングとポータブルアクセスポイント] をタップします。

- 4 [USB テザリング] チェックボックスをオンにします。
端末がUSB 接続を使用して、パソコンとのモバイルネットワーク データ通信の共有を開始します。状態通知  がステータスバーと通知パネルに表示されます。
- 5 USB 経由でのデータ通信の共有を終了するには、[USB テザリング] チェックボックスをオフにするか、USB ケーブルを取り外します。

携帯端末のデータ通信をポータブルWi-Fiアクセスポイントとして共有する

- 1 [ホーム] キー 、MENU キー  の順に押し、[設定] をタップして設定アプリケーションを開きます。
- 2 [無線とネットワーク] > [テザリングとポータブルアクセスポイント] をタップします。
- 3 [ポータブルWi-Fiアクセスポイント] チェックボックスをオンにします。
しばらく経つと、端末がWi-Fi ネットワーク名 (SSID) のブロードキャストを開始します。パソコンやその他のデバイスを8台まで、そのネットワークに接続できます。状態通知  がステータスバーと通知パネルに表示されます。
[ポータブルWi-Fiアクセスポイント] がオンに設定されているときは、そのネットワーク名や保護の状態を変更できます。「ポータブルアクセスポイントを名前変更する / 保護する」(74 ページ) をご覧ください。
- 4 Wi-Fi 経由でのデータ通信の共有を終了するには、[ポータブルWi-Fiアクセスポイント] チェックボックスをオフにします。

ポータブルアクセスポイントを名前変更する / 保護する

端末の Wi-Fi ネットワーク名 (SSID) を変更したり、Wi-Fi ネットワークを保護したりできます。

- 1 [ホーム]キー 、MENU キー  の順に押し、[設定] をタップして設定アプリケーションを開きます。
- 2 [無線とネットワーク] > [テザリングとポータブルアクセスポイント] をタップします。
- 3 [ポータブル Wi-Fi アクセスポイント] チェックボックスがオンになっていることを確認します。
- 4 [ポータブル Wi-Fi アクセスポイントの設定] をタップします。
- 5 [Wi-Fi アクセスポイントを設定] をタップします。

[Wi-Fi アクセスポイントを設定] ダイアログが開きます。

他のパソコンで Wi-Fi ネットワークをスキャンしたときに表示される、ネットワーク SSID (名前) を変更できます。

また、[セキュリティ] メニューをタップして、Wi-Fi Protected Access 2 (WPA2) セキュリティと事前共有鍵 (PSK) をネットワークに設定することもできます。

[WPA2 PSK] セキュリティオプションをタップすると、[Wi-Fi アクセスポイントを設定] ダイアログにパスワード フィールドが追加されます。ここにパスワードを入力すると、パソコンまたはその他のデバイスで端末のアクセスポイントに接続するときに、そのパスワードを入力する必要があります。または、[セキュリティ] メニューで [なし] をタップして、Wi-Fi ネットワークのセキュリティを解除する必要があります。

- 6 [保存] をタップします。

仮想プライベート ネットワークへの接続

仮想プライベート ネットワーク (VPN) を使用すると、セキュリティで保護されたローカル ネットワーク内のリソースに、ネットワークの外部から接続できます。一般的に、VPN は企業、学校などの機関で導入されており、ユーザーはローカル ネットワークのリソースに、外部または無線ネットワークから VPN を介してアクセスできます。

VPN 接続を保護するシステムには、安全な証明書や、承認されたユーザーのみが接続できるような方式に依存するなど、数多くのシステムがあります。安全な証明書のインストールについて詳しくは、「安全な証明書の操作」(77 ページ) をご覧ください。

携帯端末からの VPN アクセスを設定するには、詳細情報をネットワーク管理者に問い合わせる必要があります。

VPN を追加する

- 1 [ホーム] キー 、MENU キー  の順に押し、[設定] をタップして設定アプリケーションを開きます。
- 2 [無線とネットワーク] > [VPN 設定] をタップします。
- 3 [VPN の追加] をタップします。
- 4 追加する VPN の種類をタップします。
- 5 表示される設定画面で、ネットワーク管理者からの指示どおりに、VPN 設定の各コンポーネントを指定します。
- 6 MENU キー  を押して [保存] をタップします。
[VPN 設定] 画面のリストに VPN が追加されます。

VPN に接続する

- 1 設定アプリケーションを開きます。
- 2 [無線とネットワーク] > [VPN 設定] をタップします。
[VPN 設定] 画面のリストに追加した VPN が表示されます。
- 3 接続する VPN をタップします。
- 4 表示されるダイアログで、必要に応じて認証情報を入力して [接続] をタップします。

VPN に接続すると、ステータスバーに接続の通知が表示されます。接続が切断されると通知が表示されるので、その通知から [VPN 設定] 画面に戻り、接続し直すことができます。「通知の管理」(31 ページ) をご覧ください。

VPN を切断する

- ▶ 通知パネルを開いて、VPN に接続中の通知をタップします。

VPN を編集する

- 1 設定アプリケーションを開きます。
- 2 [無線とネットワーク]>[VPN 設定] をタップします。
[VPN 設定] 画面のリストに追加した VPN が表示されます。
- 3 設定を編集する VPN を長押しします。
- 4 表示されるダイアログで、[ネットワークの編集] をタップします。
- 5 必要に応じて VPN 設定を編集します。
- 6 MENU キー  を押して [保存] をタップします。

VPN を削除する

- 1 設定アプリケーションを開きます。
- 2 [無線とネットワーク]>[VPN 設定] をタップします。
[VPN 設定] 画面のリストに追加した VPN が表示されます。
- 3 削除する VPN を長押しします。
- 4 表示されるダイアログで、[ネットワークを削除] をタップします。
- 5 VPN の削除を確認するダイアログが表示されたら [OK] をタップします。

安全な証明書の操作

自分の組織の VPN や Wi-Fi ネットワークが安全な証明書に依存している場合、携帯端末で VPN や Wi-Fi ネットワークへのアクセスを設定する前に、証明書を（PKCS #12 規格に従ったファイルで）入手して、端末の安全な認証情報ストレージに保存する必要があります。

証明書をウェブサイトからダウンロードするようネットワーク管理者から指示された場合、証明書のダウンロード時に、認証情報ストレージのパスワードを設定するよう求めるメッセージが表示されます。

認証情報ストレージの操作方法については、「位置情報とセキュリティの設定」（375 ページ）をご覧ください。

携帯端末の USB ストレージまたは SD カードから安全な証明書をインストールする

- 1 パソコンから USB ストレージまたは SD カードの（フォルダではなく）ルートに証明書をコピーします。
携帯端末をパソコンに接続してファイルをコピーする方法については、「パソコンへの接続（USB 経由）」（70 ページ）をご覧ください。
- 2 [ホーム] キー 、MENU キー  の順に押し、[設定] をタップして設定アプリケーションを開きます。
- 3 [現在地情報とセキュリティ] をタップします。
- 4 [USB ストレージからのインストール] または [SD カードからインストール]（端末の機種によって異なります）をタップします。
- 5 インストールする証明書のファイル名をタップします。
端末にまだインストールしていない証明書の名前のみが表示されます。
- 6 必要に応じて証明書のパスワードを入力し、[OK] をタップします。
- 7 証明書の名前を入力して [OK] をタップします。
携帯端末の認証情報ストレージにパスワードを設定していない場合は、パスワードを 2 回入力して [OK] をタップするよう求められます。認証情報ストレージについて詳しくは、「位置情報とセキュリティの設定」（375 ページ）をご覧ください。

これで、セキュリティで保護されているネットワーク接続時に、インストールした証明書を使用できるようになります。セキュリティ保護のため、その証明書は USB ストレージまたは SD カードから削除されます。

インターネット通話（SIP）の設定

インターネットプロトコル（IP）ネットワークで音声通話を行うための、セッション開始プロトコル（SIP）に対応したインターネット通話サービスのアカウントをお持ちの場合、そのアカウントを端末に追加すると、Wi-Fi ネットワークに接続しているときにインターネット通話の発信および着信が可能になります。

インターネット通話を使用できるように端末を設定すると、インターネット通話アカウントをすべての通話に使用することもできますし、インターネット通話アドレスへの発信のみに使用することもできます。インターネット通話を受信するように端末を設定することもできます。

インターネット通話を使用して連絡先に発信する方法については、「インターネット通話（SIP）の発信」（90 ページ）をご覧ください。

インターネット通話アカウントを追加する

- 1 [ホーム]キー 、MENU キー  の順に押し、[設定] をタップして設定アプリケーションを開きます。
- 2 [通話設定] > [アカウント] ([インターネット通話の設定] の下) をタップします。
- 3 [アカウントを追加] をタップします。
- 4 表示される設定画面で、インターネット通話サービスプロバイダからの指示どおりに、アカウントの設定を行います。
- 5 MENU キー  を押して [保存] をタップします。または、[戻る ] キーを押します。

アカウントが追加され、このアカウントを使用してインターネット通話の発信と着信が可能になりました。

インターネット通話アカウントを編集 / 削除する

- 1 [通話設定] を開き、[アカウント] をタップします。
- 2 編集するアカウントをタップします。
開いた画面で編集を行います。
- 3 MENU キー  を押して [保存] をタップします。または、[アカウントを削除] をタップします。

インターネット通話を使用する通話を設定する

インターネット通話をすべての発信に使用するか（Wi-Fi ネットワークに接続しているとき）、インターネット通話アドレスへの発信のみに使用するか、または発信のたびに確認メッセージを表示するように携帯端末を設定できます。

- 1 [通話設定] を開きます。
- 2 [**インターネット通話を使用**] ([インターネット通話の設定] の下) をタップします。
- 3 表示されたダイアログで、適用するインターネット通話オプションをタップします。

メインのインターネット通話アカウントを変更する

複数のインターネット通話アカウントを端末に追加する場合、発信するときにデフォルトで使用するアカウント（メインアカウント）を変更できます。

- 1 [通話設定] を開き、[**アカウント**] をタップします。
- 2 **メイン アカウント** に設定するアカウントをタップします。
- 3 開いた画面で、[**メインアカウントにする**] チェックボックスをオンにします。

インターネット通話を受信するように端末を設定する

端末は、インターネット通話を使用して発信するようデフォルトで設定されていますが、受信するようには設定されていません。ただし、端末に追加したインターネット通話アカウント宛のインターネット通話をリッスンするように、端末を設定できます。この設定を行うと、端末は Wi-Fi データネットワークへの接続を維持するため、電池使用量が増えます。

- 1 [通話設定] を開き、[**アカウント**] ([インターネット通話の設定] の下) をタップします。
- 2 [**着信を受ける**] チェックボックスをオンにします。

このオプションをオフにしても着信できなくなるわけではありません。他のユーザーからインターネット通話アドレス宛に電話がかかってきたときに、着信を受けられなくなるだけです。

通話

電話をかけるには、電話番号をダイヤルします。また、ウェブページやその他の場所から連絡先の番号をタップして、電話をかけることもできます。通話中は、かかってきた電話に応答したり、電話をボイスメールボックスに転送したりできます。複数の参加者とグループ通話を設定することもできます。

また、Google Voice を使ったボイスメールの管理や通話も可能です。詳しくは「Google Voice」（183 ページ）をご覧ください。

このセクションの内容

- 「通話の発信と終了」（82 ページ）
- 「通話の受信と拒否」（85 ページ）
- 「通話履歴の操作」（87 ページ）
- 「連絡先への発信」（89 ページ）
- 「インターネット通話（SIP）の発信」（90 ページ）
- 「ボイスメールの再生」（91 ページ）
- 「音声によるダイヤル」（92 ページ）
- 「通話中のオプション」（93 ページ）
- 「複数の通話の管理」（95 ページ）

通話の発信と終了

電話アプリケーションを使って電話をかけることができます。通話履歴（「通話履歴の操作」（87 ページ）をご覧ください）または連絡先（「連絡先への連絡」（122 ページ）をご覧ください）の画面から電話をかけることもできます。

電話アプリケーションを開く

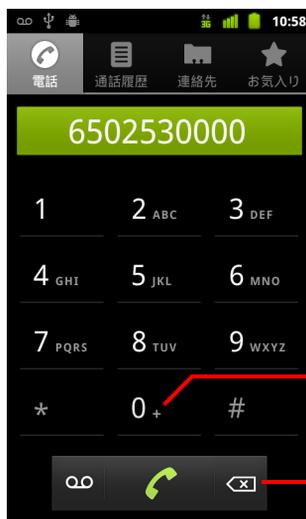
- ▶ ホーム画面の一番下にある電話アイコン  をタップするか、ランチャーまたはホーム画面で電話アプリケーションアイコン  をタップします。

または

- ▶ 連絡先または通話履歴の画面で [電話] タブをタップします。

番号をダイヤルして電話をかける

- 1 電話アプリケーションを開きます。



長押しすると + が入力されます

タップすると数字が1桁消去されます。
長押しすると番号全体が消去されます

- 2 [電話] タブのキーをタップして、電話番号を入力します。
番号を間違えたときは、 をタップすると、番号が1桁ずつ消去されます。
番号全体を消去するには、 を長押しします。
国際電話をかけるには、**0** キーを長押しして + 記号を入力します。通話先の国番号を入力してから、電話番号全体を入力します。
- 3 緑色の電話アイコン  をタップすると、入力した番号に発信します。



通話中にアプリケーションを切り替えることができます。たとえば、ブラウザを使って情報を検索できます。通話中は、ステータスバーに緑色の電話アイコンが表示されます。

通話の音量を調整するには、**音量大/小** ボタンを押します。

画面上のボタンを使って、通話を保留する、通話相手を追加するなどのオプションを選択できます。詳しくは「通話中のオプション」(93 ページ)をご覧ください。

電話を切る

- ▶ 終了アイコン  をタップします。

通話機能をオフにする（機内モード）

場所によっては、携帯端末のモバイル、Wi-Fi、Bluetooth ワイヤレス接続をオフにする必要があります。端末を機内モードにすれば、これらのワイヤレス接続をすべてオフにできます。

- 1 [電源]キーを長押しします。
- 2 [機内モード]をタップします。

設定アプリケーションでも、機内モードのオン / オフを切り替えたり、その他のモバイル設定やネットワーク設定を指定したりできます。「無線とネットワーク」（365 ページ）をご覧ください。

通話の受信と拒否

電話がかかってくると着信画面が開き、発信者番号のほか、連絡先に登録されている発信者のその他の情報が表示されます。「連絡先」(111 ページ)をご覧ください。

着信はすべて通話履歴に記録されます。「通話履歴の操作」(87 ページ)をご覧ください。電話に出られなかった場合は、通知が表示されます。「通知の管理」(31 ページ)をご覧ください。

電話を受ける

- ▶ 緑色の電話アイコンを右にドラッグします。

既に通話中の場合、新しい通話に出ている間、最初の通話は保留されます。

電話に出る前に着信音を消音するには、**音量小ボタン**を押します。



電話に出るには緑色の電話アイコンを右にドラッグします

通話を拒否してボイスメールに転送する

- ▶ 赤い電話アイコンを左にドラッグします。
発信者はボイスメールボックスに直接転送され、メッセージを残すことができます。



赤色の電話アイコンを左にドラッグすると、発信者が直接ボイスメールボックスに転送されます

通話履歴の操作

通話履歴は、発信した通話、受信した通話、不在着信になった通話すべてのリストです。番号のリダイヤル、コールバック、連絡先への番号の追加を簡単に行う方法が表示されます。

通話履歴を開く

- ▶ [通話] キーを押します。

[電話] タブや[連絡先] タブを開いている場合は、[通話履歴] タブをタップします。

通話履歴が最新のものから順に表示されます。連続して発信または着信した同じ番号の履歴は、1つにまとめて表示されます。履歴内をスクロールすると、古い履歴を表示できます。



通話履歴から電話をかける

- ▶ エントリの右側にある緑色の電話アイコン  をタップします。
または、エントリを長押ししてメニューを開き、相手と連絡を取るための方法を表示します。

エントリの番号を連絡先に追加する

- 1 エントリを長押しします。
- 2 開いたメニューの[連絡先に追加]をタップします。
- 3 連絡先リストが表示されたら、上部の[連絡先を新規登録]をタップするか、リストをスクロールし、番号を追加する既存の連絡先を探してタップします。

連絡先の作成や編集について詳しくは、「連絡先」(111 ページ)をご覧ください。

通話履歴のエントリにその他の操作を行う

- ▶ 通話履歴のエントリをタップして開く画面で、その連絡先にもう一度電話をかける、メッセージを送信する、連絡先アプリケーションに番号を追加する、または最初の通話についての情報を表示することができます。
- ▶ 通話履歴のエントリを長押しして開くメニューで、その連絡先に電話をかける、連絡先情報を表示する、リダイヤルする前に番号を編集する、などの操作を行うことができます。

通話履歴を消去する

- ▶ 通話履歴を表示中に、MENU キー  を押して[通話履歴を全件消去]をタップします。

履歴内のエントリを長押しして消去する方法もあります。開いたメニューで[通話履歴から消去]をタップし、そのエントリのみを履歴から消去できます。

連絡先への発信

[電話] タブで番号を入力する代わりに、連絡先の電話番号をタップして発信することができます。

また、チャットリストを使って連絡先に簡単に発信することもできます。「連絡先への簡単な接続」(48 ページ) をご覧ください。

連絡先の追加、編集、その他の操作については、「連絡先」(111 ページ) をご覧ください。ウェブ上に連絡先を保存している場合、Google アカウントに最初に接続したときに、携帯端末と同期されます。

連絡先に電話をかける

- 1 連絡先アプリケーションを開きます。
たとえば、ランチャーで連絡先アイコン  をタップします。または、ホーム画面で電話アイコン  をタップし、[連絡先] をタップします。
- 2 電話をかける連絡先をタップします。
連絡先は、検索またはスクロールして探すことができます。
- 3 発信する番号を選んでタップします。
その他のオプションについては、「連絡先への連絡」(122 ページ) をご覧ください。

お気に入りの連絡先に電話をかける

- 1 お気に入りリストを開きます。
たとえば、ホーム画面で電話アイコン  をタップし、[お気に入り] をタップします。
お気に入りの連絡先のリストの後に、頻繁に発信する番号のリストが表示されます。
お気に入りの追加や削除を行うには、連絡先の情報を表示し、名前の横のスターアイコンをタップします。「連絡先をお気に入りに追加」(117 ページ) をご覧ください。
- 2 電話をかけるお気に入りのエントリをタップします。
- 3 発信する番号を選んでタップします。

インターネット通話（SIP）の発信

インターネット通話アカウントを使用するように端末を設定している場合、Wi-Fi ネットワークに接続しているときは、モバイル ネットワークではなくインターネット経由で電話をかけることができます。インターネット通話は、インターネット プロトコル（IP）ネットワークで通話するためのセッション開始プロトコル（SIP）に基づいています。

インターネット通話アカウントを追加して、そのアカウントを使用するように端末を設定する方法については、「インターネット通話（SIP）の設定」（78 ページ）をご覧ください。

連絡先のインターネット通話アドレスに電話をかける

インターネット通話を使って連絡先に発信するには、連絡先のインターネット通話アドレスを追加（または同期）しておく必要があります。

- ▶ 連絡先のチャットリストアイコンをタップして、SIP アイコン  をタップします。

または

- ▶ [連絡先] または [お気に入り] で連絡先をタップし、開いた画面で [インターネット通話] をタップします。

または

- ▶ [通話履歴] で [インターネット通話] をタップします。

発信が開始されると、[発信中] 画面にインターネット通話アドレスが示され、[インターネット通話] と表示されます。

電話がつながった後は、モバイル ネットワークでの通話と同じように通話を終了したり、他のインターネット通話を追加したり、他の電話機能を使用したりできます。

インターネット通話を使用して電話番号に発信する

すべての通話をインターネット通話で発信する、または通話ごとに確認するように端末を設定している場合、この章で説明したとおり、Wi-Fi ネットワークに接続しているときは常に、電話番号を使って連絡先に電話をかけると、モバイル ネットワークではなくインターネット通話を使用して発信され、端末に [インターネット通話] と表示されます。

重要： インターネット通話を使用して電話番号に発信するには、携帯通信会社がこの機能に対応している必要があります。また、追加料金がかかる場合があります。詳しくは、携帯通信会社にお問い合わせください。

ボイスメールの再生

新しいボイスメールメッセージを受け取ると、ステータスバーにボイスメールアイコン  が表示されます。

ボイスメール番号の設定や変更は、通話設定で行います。「通話設定」(370 ページ) をご覧ください。

ボイスメールを再生する

- ▶ 通知パネルを開いて、[**新しいボイスメール**] をタップします。
通知への応答方法については、「通知の管理」(31 ページ) をご覧ください。

または

- ▶ 電話アプリケーションを開き、[**電話**] タブでボイスメールアイコン  をタップします。
電話アプリケーションの開き方については、「通話の発信と終了」(82 ページ) をご覧ください。

一般的に、携帯通信会社のボイスメールシステムには、ボイスメールの再生方法と管理方法についての案内があります。ボイスメールに初めて電話したときには、応答メッセージの録音方法、パスワードの設定方法などの説明もあります。

音声によるダイヤル

ボイスダイヤルアプリケーションを使用すると、連絡先の名前または電話番号を音声で入力して発信することができます。

また、音声検索を使用して音声入力で電話をかけたり情報を検索したり、音声操作を使用してその他さまざまな共通タスクを行ったりできます。詳しくは、「テキストと音声による検索」(97 ページ)をご覧ください。

音声入力により電話をかける

- 1 ランチャーまたはホーム画面でボイスダイヤルアイコン  をタップします。

アプリケーションを開く方法や切り替える方法については、「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ)をご覧ください。

「音声認識」または「ボイスダイヤル」に対応した Bluetooth ヘッドセットを使用している場合、ヘッドセットのメイン ボタンまたはなんらかの方法でボイスダイヤルを起動して、ヘッドセットから音声によるダイヤルが可能な場合があります。詳しくはヘッドセットの取扱説明書をご覧ください。

起動したボイスダイヤルは音声による指示を聞き取り、使い方のヒントを表示します。

- 2 「発信」と言うてから、電話する連絡先の名前を音声入力します。
または、番号のダイヤルなど、提案されたその他の操作方法に従います。



通話中のオプション

通話中に、通話を保留する、グループ通話を設定する、マイク（送話口）をミュートにするなどの操作ができます。「複数の通話の管理」（95 ページ）をご覧ください。

通話を保留にする

▶ 保留アイコン  をタップします。



電話画面に、通話が保留中であることが表示されます。

保留の通話があることを示す保留アイコン  が、ステータスバーに表示されます。他のアプリケーションの使用中に通知パネルを開き、保留中の通話のエントリをタップすると、保留中の通話画面に戻ることができます。

[保留解除] ボタンをタップし、保留中の通話に戻ります。

通話中にマイク（送話口）をミュートにする

- ▶ [ミュート]をタップします。
[ミュート]が緑色になり、マイク（送話口）がミュートになっていることを示します。
マイク（送話口）がミュートであることを示すミュートアイコンが、ステータスバーに表示されます。
現在の通話画面が表示されているときに、マイク（送話口）のミュートを解除するには、もう一度[ミュート]をタップします。
通話を終わると、自動的にマイク（送話口）のミュートは解除されます。

スピーカーフォンをオンまたはオフにする

- ▶ [スピーカー]をタップします。
[スピーカー]が緑色になり、スピーカーがオンになっていることを示します。
ステータスバーにスピーカーアイコンが表示され、通話の音声は携帯端末のスピーカーから出力されます。
現在の通話画面が表示されているときにスピーカーをオフにするには、もう一度[スピーカー]をタップします。
通話を終わると、自動的にスピーカーはオフになります。

注意：聴力への影響を避けるために、スピーカーをオンにしているときは、携帯端末を耳に当てないでください。

Bluetooth ヘッドセットと携帯端末間で切り替える

- Bluetooth ヘッドセットをペアとして設定し、携帯端末と接続すると、ヘッドセットですべての通話を操作し、ハンズフリーで会話できます。
- Bluetooth ヘッドセットを使用するように携帯端末を設定する方法については、「Bluetooth デバイスへの接続」（66 ページ）をご覧ください。
- Bluetooth ヘッドセットで通話している間、通話画面に青い枠が表示され、ステータスバーの通話中アイコンが青に変わります。
- ▶ ヘッドセットから携帯端末、または端末からヘッドセットに切り替えるには、Bluetooth アイコンをタップします。

複数の通話の管理

通話中に新しい通話を受信する場合は、2人の通話相手を切り替えるか、2つの通話を1つのグループ通話にまとめることができます。複数の相手とのグループ通話を自分で設定することもできます。

現在の通話を切り替える

- ▶ 切り替えアイコン  をタップします。
現在の通話が保留になり、もう一方の相手と通話できます。



グループ通話を設定する

携帯端末がグループ通話に対応しているかどうか、また通話に参加できる人数については、携帯通信会社にお問い合わせください。

- 1 最初の通話相手に電話をかけます。
- 2 電話がつながったら、[**通話を追加**] をタップします。

最初の通話相手は保留になり、2番目の相手に電話をかけるよう求められます。

- 3 [電話] タブ、通話履歴、または連絡先を使用して次の電話をかけます。
- 4 電話がつながったら、[グループ通話] をタップします。
通話相手がグループ通話に追加されます。



携帯通信会社でサポートされている最大人数まで、通話に追加することができます。

グループ通話中に[管理] をタップすると、グループ通話の通話相手を減らしたり、通話相手のうちの1人と個別に話したりできます。

グループ通話を終了してすべての通話相手との電話を切る

- ▶ [終了] をタップします。

テキストと音声による検索

端末内やウェブ上の情報を検索するには、Google 検索を使用します。音声検索を使用して、音声でウェブを検索することもできます。また、音声検索で音声操作（日本未対応）を使用して、メッセージ送信などのさまざまな共通タスクを行うことができます。

このセクションの内容

- 「端末やウェブの検索」（98 ページ）
- 「Google 検索のヒントとテクニック」（103 ページ）
- 「Google 検索の設定変更」（104 ページ）
- 「音声操作の使い方（日本未対応）」（105 ページ）
- 「音声操作コマンド」（107 ページ）

端末やウェブの検索

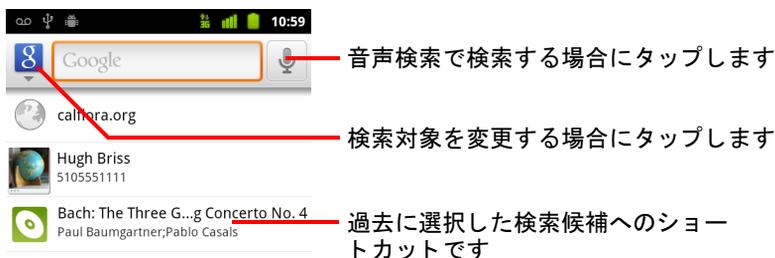
Google 検索を使用して、ウェブの情報に加えて端末内のアイテムや情報を検索できます。音声検索を使用して、キーボードを使用せずに音声でウェブを検索することもできます。

キーボードを使用して端末やウェブを検索する

1 [ホーム]キー  を押してホーム画面に戻ります。

2 [検索]キー  を押します。

過去に選択した検索結果や音声操作コマンドを使用するためのショートカットの上に、検索キーワードを入力するための Google 検索ボックスが表示されます。



Gmail、連絡先などのアプリケーションで[検索]キー  を押すと、そのアプリケーション専用の検索ボックスが開きます。このような検索ボックスの横にはアプリケーション独自のアイコンが表示されるため、アプリケーション専用であることがわかります。アプリケーション内の検索については、それぞれのアプリケーションのドキュメントをご覧ください。

ホーム画面に検索ウィジェットを追加している場合は、そこから Google 検索を開くこともできます。「専用の検索ウィジェットをホーム画面に追加する」(101 ページ)をご覧ください。

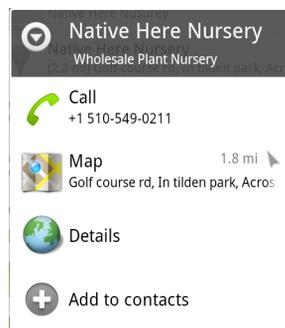
3 検索キーワードを入力するか、過去に選択した検索結果をタップします。



入力中は、過去に選択した検索結果のリストに加えて、端末内で一致するアイテムや Google ウェブ検索の候補が表示されます。

検索候補の鉛筆アイコン  をタップすると、検索ボックス内にその候補が入力されます。入力すると新しい候補が表示され、さらにテキストを入力するか、続きの候補の鉛筆アイコンをタップして、すばやく検索を絞り込むことができます。

ビジネス リスティングは、地図マーカーアイコン  で示されます。いずれかのマーカーアイコンをタップするとビジネス リスティング パネルが開き、発信、詳細情報の確認、連絡先への追加などを行うアイコンが表示されます。



検索設定により、Google ウェブ検索の機能の一部（入力中に検索ボックスの下に候補を表示するかどうかなど）や、検索対象に含める端末の機能を設定できます。最近選択した検索のリストを消去することもできます。「Google 検索の設定変更」（104 ページ）をご覧ください。

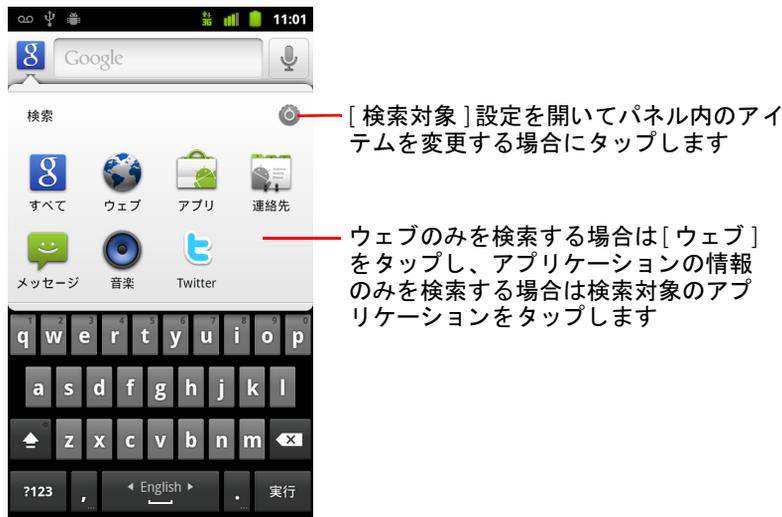
- 4 検索候補、端末内の検索結果、以前に選択した検索結果のリストの中に探しているものがあれば、それをタップします。
タップしたアイテムが、連絡先やブラウザなど、該当するアプリケーションで開きます。
- 5 探している情報がリストにない場合は、検索ボックスの矢印アイコン → または画面キーボードの[実行]キーをタップしてウェブを検索します。
ブラウザが開き、Google ウェブ検索の結果が表示されます。「ブラウザ」(237 ページ) をご覧ください。

検索対象を指定する

初期状態の Google 検索ボックスには、ウェブと端末の両方を検索して候補を表示する、[すべて]アイコン  が表示されます。ただし、ウェブのみ、または端末内のあるアプリケーションの情報のみを検索対象として指定することもできます。

端末を検索するときには検索対象とするアプリケーションやその他の情報を設定できます。「端末を検索するときの検索対象を変更する」(101 ページ) をご覧ください。

- 1 Google 検索を開きます。
- 2 Google 検索ボックスの左にあるアイコンをタップします。
[すべて]アイコン、[ウェブ]アイコンと、[検索対象]設定でオンにしたアプリケーションのアイコンを含む検索対象パネルが開きます(「端末を検索するときの検索対象を変更する」(101 ページ) をご覧ください)。



アイコンのパネルが開かない場合は、独自の検索機能を持つアプリケーションでの作業中に[検索]キー  を押しています（その場合の検索方法については、アプリケーションのマニュアルをご覧ください）。他の場所を検索するには、ホーム画面に戻って再度[検索]キー  を押します。

3 検索対象を表すアイコンをタップします。

これで、テキストを入力すると、そのアプリケーションの情報のみが検索されるようになりました。入力中は、検索対象のアプリケーションで見つかった候補のみが検索ボックスの下に表示されます。

端末を検索するときの検索対象を変更する

多くのアプリケーションでは、Google 検索ボックスからアプリケーションの情報を検索するように設定できます。検索可能なアプリケーションのすべての情報が検索対象になり、入力中のボックスの下に候補として表示されます。あるアプリケーションの情報のみを検索する場合は、アプリケーションのアイコンも利用できます（「検索対象を指定する」（100 ページ）をご覧ください）。

Google 検索で検索対象にするアプリケーションは変更することができます。

1 検索対象パネルを開き、設定アイコン をタップします。

[検索対象]画面に、検索対象として指定できるアプリケーションと検索可能な情報の説明が表示されます。

2 検索するアプリケーションをチェックボックスで選択します。

専用の検索ウィジェットをホーム画面に追加する

特定の場所（ウェブのみ、または端末内にある特定のアプリケーションの情報のみ）を検索する専用の検索ウィジェットをホーム画面に追加できます。ホーム画面で専用の検索ウィジェットをタップすると、デフォルトで検索対象が指定された Google 検索が開きます。

1 ホーム画面の空いている場所を長押しします。

ホーム画面とウィジェットの追加について詳しくは、「ホーム画面について」（20 ページ）と「ホーム画面のカスタマイズ」（45 ページ）をご覧ください。

2 [ホーム画面に追加]メニューで、[ウィジェット]をタップします。

3 [ウィジェットを選択]メニューで[Google 検索]をタップします。

4 [ウェブ]アイコンまたはアプリケーションのアイコンをタップして、専用の検索対象に指定します。

検索対象の指定方法と端末内の情報を検索可能にする方法について詳しくは、「検索対象を指定する」(100 ページ)と「端末を検索するときの検索対象を変更する」(101 ページ)をご覧ください。

ウィジェットがホーム画面に追加されます。

検索のプライバシーを保護する

端末およびウェブでの検索履歴の保存と使用については、さまざまな方法で制御できます。

- 1 Google 検索を開きます。
- 2 **MENU キー**  を押して [**検索設定**] をタップします。
- 3 Google 検索ボックスの下に候補として表示される、過去に選択した検索結果のリストを端末から消去する場合は、[**ショートカットを消去**] をタップします。
- 4 Google 検索を使用するときに現在地を Google に通知せず、現在地に基づく結果を表示しない場合は、[**Google 検索**] をタップし、[**現在地を使用**] チェックボックスをオフにします。
- 5 [**Google 検索**]、[**検索履歴の管理**] の順にタップするとブラウザが開き、Google アカウントに関連付けられたウェブ検索履歴を表示および管理するための、ウェブベースのインターフェースが表示されます。

Google 検索のヒントとテクニック

以下に、Google 検索と音声検索を最大限活用するためのテクニックをいくつかご紹介します。最新のヒントとテクニックのリストについては、Google ヘルプセンターをご覧ください。

検索対象	入力する / 話す	例
スポーツ情報	[チーム名]	阪神タイガース
画像	[トピック] の写真 [トピック] の画像	北海道の写真 ネコの画像
単位の変換	[元の単位] を [新しい 単位] で	30C を華氏で
上映情報	映画 映画 [場所] [映画のタイトル]	映画 映画 横浜 ハリーポッター
単語の定義（日本未対応）	Define [単語]	Define campanile
天気予報	天気 天気 [場所]	天気 天気 渋谷
市外局番の識別（日本未対応）	市外局番 [###]	市外局番 042
郵便番号の識別	郵便番号 [住所]	郵便番号 渋谷区桜丘町
時刻	時間 時間 [場所]	時間 時間 ロンドン
フライト情報（日本未対応）	[航空会社] [フライト番号]	ANA NH1733
翻訳（日本未対応）	Translate to [言語] [語句]	Translate to Japanese, Where is the Palace Hotel
電卓	[計算式]	75/6
料理	[料理の種類] [料理の種類] [場所]	メキシコ料理 メキシコ料理 渋谷

Google 検索の設定変更

[検索設定] では、端末内のデータを検索対象に設定するなど、Google 検索の設定を行います。

- ▶ Google 検索の設定を変更するには、Google 検索ボックスを使用しているときに MENU キー  を押し、[検索設定] をタップします。

[検索設定] 画面

Google 検索 「[Google 検索の設定] 画面」(104 ページ) をご覧ください。

検索対象 携帯端末で検索するデータの種類を選択する画面が表示されます。「端末を検索するときの検索対象を変更する」(101 ページ) をご覧ください。

ショートカットを消去 Google 検索ボックスの下に候補として表示される、以前に選択した検索結果のリストを消去します。

[Google 検索の設定] 画面

入力候補の表示 オンにすると、Google 検索ボックスで入力中、ボックスの下に Google ウェブ検索の候補が表示されます。

現在地を使用 Google 検索やその他の Google サービスを使用する際に、現在地を使用する場合はオンにします。このオプションをオンにすると、Google がこれらのサービスを提供する際に現在地を使用することに同意するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。

検索履歴 オンにすると、自分の Google アカウントでの、ウェブベースの Google 検索履歴から候補を表示します。

検索履歴の管理 ブラウザが開き、自分の Google アカウントに関連付けられた検索履歴を表示、管理するためのウェブベースのインターフェースが表示されます。

音声操作の使い方（日本未対応）

音声検索で音声操作を使用して、ウェブの検索以外に、連絡先への電話の発信、経路の検索、メッセージの送信など、さまざまな共通タスクを行うことができます。

音声検索に対応している言語と地域の最新情報については、次の URL の Google モバイルヘルプセンターにアクセスしてください : <http://www.google.com/support/mobile>

音声操作を使ってウェブの検索やその他のタスクを行う

- 1 [検索] キー **Q** を長押しします。または、Google 検索ボックスかブラウザの URL ボックスでマイクアイコン  をタップします。

音声検索を開くと、最初の数回は音声検索の使い方のヒントが表示され、説明の動画を見るようすすめられます。[お話してください] をタップすると、いつでも音声検索を使用できます。

ダイアログが開いたら、音声操作またはウェブ検索のキーワードを音声入力します。[ヘルプ] をタップすると、再びヒント画面が表示されます。



- 2 使用する音声操作か、検索キーワードを音声入力します。

音声操作について詳しくは、「音声操作コマンド」（107 ページ）をご覧ください。

音声入力が終わると、Google 音声検索で音声解析され、操作が開始されます。

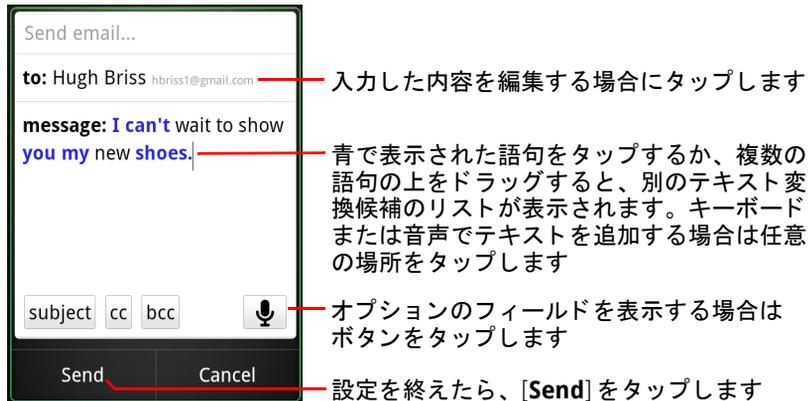
[Google 検索の設定] で [現在地を使用] 設定がオンになっている場合、検索結果にローカル検索の結果が反映されます（「Google 検索の設定変更」（104 ページ）をご覧ください）。

音声入力が Google 検索で正しく認識されなかった場合は、発音が似ている検索キーワードと操作のリストが表示されます。そのリストの語句をタップして操作を続行できます。

一部の音声操作では、音声またはキーボードで操作を完了するよう求めるパネルが表示されることがあります。詳しくは、「音声操作を完了する」（106 ページ）をご覧ください。

音声操作を完了する

「send email」や「note to self」などの一部の音声操作では、操作を完了するために音声またはキーボードで詳細を入力するよう求めるパネルが表示されることがあります。



- ▶ そのパネルで入力済みのテキストをタップし、音声またはキーボードでテキストを追加または編集します。
- ▶ 青で表示された語句をタップするか、複数の語句の上をドラッグすると、別のテキスト変換候補のリストが表示されます。音声またはキーボードでそれらの語句を編集することもできます。
音声検索では、正確に認識されたと見なされる語句は、黒で表示されます。別のテキスト変換候補が存在する語句は、青で表示されます。
- ▶ ウィンドウの一番下にあるボタンをタップすると、オプションのフィールドが追加されます（最初の音声操作で、これらのフィールドの名前や内容を音声入力することもできます）。
- ▶ 入力が終わったら、[Send] や [Set] など、操作を完了するキーをタップします。

音声操作コマンド

以下の音声操作コマンドを使用して、検索したり端末を制御したりできます。

音声	オプションの単語	結果	例
検索キーワード		ブラウザが開いて検索結果が表示されます。	「bike shoes」
「Call」と言った後、連絡先の名前	「home」、「mobile」、「work」	一致する連絡先が1つしかない場合は、電話アプリが起動してその連絡先に発信されます。複数の連絡先が一致した場合は、発信先を選択するよう求めるメッセージが表示されます。	「Call Mike LeBeau at home」
「Map of」と言った後、場所（住所、名称、お店の名前や種類など）		地図アプリが開き、音声入力したキーワードで検索した結果の地図が表示されます。	「Map of Golden Gate Park, San Francisco」
「Directions」と言った後、目的地（住所、名称、お店の名前や種類など）		地図アプリが開き、目的地までの経路、または目的地の候補のリストが表示されます。	「Directions to 1299 Colusa Avenue, Berkeley, California」
「Navigate to」と言った後、目的地（住所、名称、お店の名前や種類など）		地図アプリが開き、目的地までの音声によるターンバイターン方式の経路案内が開始されるか、目的地の候補のリストが表示されます。	「Navigate to Union Square, San Francisco」

音声	オプションの単語	結果	例
連絡先の名前		一致する連絡先が1つしかない場合は、連絡先の詳細情報が表示されます。複数の連絡先が一致した場合は、連絡先を選択するよう求めるメッセージが表示されます。	「Mike LeBeau」
「Call」と言った後、電話番号		音声入力した電話番号に発信します。	「Call 650 555 1234」
「Call」と言った後、お店や会社の名前		音声検索が一致するお店や会社を検索し、発信します。	「Call Native Here Nursery」
「Go to」と言った後、検索キーワードまたは URL		音声検索によって一致するウェブサイトを検索し、1つだけ見つかった場合はその URL をブラウザで開きます。それ以外の場合は、ブラウザで Google 検索の結果を表示します。	「Go to Google.com」
「Send SMS」または「Send text」	「To」と言った後、1つ以上の連絡先「Message」と言った後、送信するメッセージ（句読点は個別に音声入力します）	音声検索によって表示されたパネルでメッセージを完成させてから、メッセージアプリケーションを通じて送信します。	「Send text to Hugh Briss, message, I can't wait to show you my new shoes, period」

音声	オプションの単語	結果	例
「Send email」	「To」と言った後、1つ以上の連絡先 「Cc」と言った後、1つ以上の連絡先 「Bcc」と言った後、1つ以上の連絡先 「Subject」と言った後、件名 「Message」と言った後、送信するメッセージ（句読点は個別に音声入力します）	音声検索によって表示されたパネルでメッセージを完成させてから、Gmail アプリケーションを通じて送信します。	「Send email to Hugh Briss, subject, new shoes, message, I can't wait to show you my new shoes, period」
「Note to self」と言った後、自分宛に送信するメッセージ		音声検索によって表示されたパネルでメッセージを完成させてから、Gmail アプリケーションで自分宛に送信します。	「Note to self: remember the milk」
「Set alarm」	「Time」または「for」と言った後、「10:45am」や「20 minutes from now」などの時間 「Label」と言った後、アラームのラベル	音声検索によって表示されたパネルでアラームの時刻とラベルを入力してから、時計アプリケーションで設定します。	「Set alarm for 7:45pm, label, switch the laundry」
「Listen to」と言った後、曲のタイトル、アーティスト名、アルバム名などの検索キーワード		「Listen to」の音声操作を認識するアプリケーションがインストールされている場合、そのアプリケーションが開き、音楽の検索結果が表示されます。	「Listen to: smells like teen spirit」

連絡先

連絡先アプリケーションを使用すると、コンタクトを取りたい人と簡単にやり取りできます。初めて携帯端末に電源を入れて Google アカウントにログインすると、Google の既存の連絡先が端末にダウンロードされます。その後、連絡先が同期されません。端末またはウェブで変更した連絡先は、次に同期したときに相互に反映されます。Exchange ActiveSync アカウントの連絡先も同様に同期されます。

連絡先に関する情報は、他にも Gmail、Google トーク、SMS、ギャラリー（画像や動画の共有のため）などのアプリケーションで共有されます。

連絡先情報が登録されているアカウントが複数ある場合は、連絡先アプリケーションで、重複する連絡先を1つにまとめます。この処理は手動で管理することもできます。

このセクションの内容

- 「連絡先アプリケーションの起動」（112 ページ）
- 「連絡先の追加」（114 ページ）
- 「連絡先のインポート、エクスポート、共有」（115 ページ）
- 「連絡先をお気に入りに追加」（117 ページ）
- 「連絡先の検索」（118 ページ）
- 「連絡先の詳細の編集」（119 ページ）
- 「連絡先への連絡」（122 ページ）
- 「連絡先表示の変更」（124 ページ）
- 「連絡先の統合」（126 ページ）
- 「連絡先情報の分割」（128 ページ）

連絡先アプリケーションの起動

友だちや知人の情報を追加、表示したり、連絡を取ったりするには、連絡先アプリケーションを開きます。

連絡先アプリケーションを開く

- ▶ 連絡先アイコン  をホーム画面またはランチャーでタップします。チャットリストを使って連絡先を開くこともできます。「連絡先への簡単な接続」(48 ページ)をご覧ください。
- すべての連絡先がアルファベット順に、スクロール リストに表示されます。各連絡先には、メインの電話番号が表示されます。
- 新しい端末に連絡先がまだ追加されていない場合、連絡先アプリケーションでは、端末に連絡先を追加する方法のヒントが表示されます。



リストは、上下にドラッグするとスクロールできます。また、指を上下にスライドするとすばやくスクロールできます。いずれの方法でも、タップが短時間リストの右に表示されるので、それを上下にドラッグすると、非常に速くスクロールできます。このとき、スクロールしている連絡先のアルファベットの文字が表示されます。

お気に入りの連絡先のリストを開く

- ▶ 連絡先アプリケーションを開き、[**お気に入り**] タブをタップします。
[お気に入り] タブには、そのリストに追加した連絡先（「連絡先をお気に入りに追加」（117 ページ）を参照）の後に、頻繁に通話する連絡先のリストが表示されます。

連絡先の詳細を表示する

- 1 連絡先アプリケーションを開きます。
- 2 詳細を表示する連絡先をタップします。
連絡先への連絡方法の後に、詳細情報が表示されます。



連絡方法のいずれかをタップすると、リストされている番号やアドレスなどを使用して、連絡先に対して発信、またはSMSの送信やメールの作成を開始できます。

住所をタップすると、Google マップでその住所が表示されます。「地図、ナビ、プレイス、Latitude」（253 ページ）をご覧ください。

また、MENU キー  を押し、[**連絡先を編集**] をタップして連絡先の情報を編集したり（「連絡先の詳細の編集」（119 ページ）を参照）、[**連絡先を削除**] をタップして連絡先に関するすべての情報を削除したりすることもできます。

連絡先の追加

携帯端末に連絡先を追加して、Google アカウント、Microsoft Exchange ActiveSync アカウント、または連絡先の同期に対応しているその他のアカウントの連絡先と同期させることができます。

連絡先に登録されていないメールアドレスにメールを返信または転送すると、そのメールアドレスが連絡先として追加されます。連絡先アプリケーションでは、新しいアドレスを既存の連絡先と統合して1つのエントリを作成しようとします。この処理は手動で管理することもできます。「連絡先の統合」(126 ページ)と「連絡先情報の分割」(128 ページ)をご覧ください。

新しい連絡先を追加する

- 1 連絡先アプリケーションを開きます。
- 2 MENU キー  を押して [連絡先を新規登録] をタップします。
- 3 連絡先が登録されているアカウントが複数ある場合、連絡先を追加するアカウントをタップします。
- 4 連絡先の名前を入力します。
- 5 連絡先情報のカテゴリ（電話番号やメールアドレスなど）をタップして、連絡先の情報を入力します。
すべてのカテゴリを表示するには、ページをスクロールします。
- 6 カテゴリのプラスアイコン  をタップすると、そのカテゴリに複数のエントリ（職場と自宅の電話番号など）を追加できます。
連絡先情報アイテムの左にあるボタンをタップすると、プリセット ラベルのメニュー（電話番号の場合は [携帯]、[仕事] など）が開きます。また、メニューの [カスタム] をタップすると、独自のラベルを作成できます。
- 7 写真フレームアイコンをタップして、連絡先リストや他のアプリケーションで名前の横に表示する画像を選択します。



- 8 設定を終えたら、[完了] をタップします。

連絡先のインポート、エクスポート、共有

SD カード、USB ストレージ、または SIM（端末の機種によって異なります）に vCard 形式で保存した連絡先があれば、携帯端末の連絡先にインポートできます。SD カードまたは USB ストレージに vCard 形式で連絡先をエクスポートし、パソコンや他の端末にバックアップできます。また、メールで連絡先を送信することもできます。

SIM カードから連絡先をインポートする

携帯通信会社が、お客様サポートやボイスメールの番号などを、連絡先として SIM カードに保存していることがあります。また、別の携帯端末から移行する場合に、SIM カードに連絡先を保存しておくこともあります。これらの連絡先の一部またはすべてを、連絡先アプリケーションに追加できます。

- 1 連絡先アプリケーションを開きます。
- 2 MENU キー  を押して [インポート/エクスポート] をタップします。
- 3 [SIM カードからインポート] をタップします。
- 4 携帯端末に複数のアカウントがある場合は、連絡先をインポートするアカウントをタップします。
SIM に保存されている連絡先のリストが表示されます。
- 5 連絡先を長押しし、表示されるメニューの [インポート] をタップします。または MENU キー  を押し、[すべてインポート] をタップします。

SD カードまたは USB ストレージから連絡先をインポートする

連絡先を個々にまたはグループで SD カードまたは USB ストレージに vCard 形式でコピーしてから、携帯端末のいずれかのアカウントにインポートすることができます。パソコンからファイルをコピーする方法については、「パソコンへの接続（USB 経由）」（70 ページ）をご覧ください。

別の端末の SD カードに連絡先を保存している場合もあります。SD カードの操作方法については、端末の取扱説明書をご覧ください。

- 1 連絡先アプリケーションを開きます。
- 2 MENU キー  を押して [インポート/エクスポート] をタップします。
- 3 [SD カードからインポート] または [USB ストレージからインポート]（端末の機種によって異なります）をタップします。
- 4 携帯端末に複数のアカウントがある場合は、連絡先をインポートするアカウントをタップします。

- 5 SD カードまたは USB ストレージに vCard ファイルが複数ある場合、1 つの連絡先ファイル、複数の連絡先ファイル、またはすべての連絡先ファイルをインポートするオプションのいずれかをタップします。
連絡先がインポートされます。

SD カードまたは USB ストレージに連絡先をエクスポートする

携帯端末のすべての連絡先を、vCard 形式のグループ ファイルとして SD カードまたは USB ストレージにエクスポートできます。その後、アドレス帳アプリケーションなど、vCard 形式のファイル进行处理できるアプリケーションがインストールされたパソコンや別の端末に、このファイルをコピーします。「パソコンへの接続 (USB 経由)」(70 ページ) をご覧ください。

- 1 連絡先アプリケーションを開きます。
- 2 **MENU キー**  を押して [インポート / エクスポート] をタップします。
- 3 [SD カードにエクスポート] または [USB ストレージにエクスポート] (端末の機種によって異なります) をタップします。
- 4 確認メッセージが表示されたら [OK] をタップします。

連絡先アプリケーションによって、.vcf 拡張子のファイルが SD カードまたは USB ストレージ上に作成されます。このファイルにはすべての連絡先が保存されます。

連絡先を共有する

連絡先を他のユーザーと共有するには、vCard 形式の連絡先をメール送信します。

- 1 連絡先アプリケーションを開きます。
- 2 共有する連絡先を開きます。
- 3 **MENU キー**  を押して [共有] をタップします。

Gmail のメール作成画面が開き、連絡先が vCard ファイル (.vcf) として添付されます。

アドレスや本文を入力して、メールを送信します。詳しくは、「メールの作成と送信」(147 ページ) をご覧ください。

連絡先をお気に入りに追加

[お気に入り]タブには、お気に入りとしてスターを付けた連絡先と、最も頻繁に使用する連絡先の短いリストが表示されます。お気に入りに追加した連絡先は、ウェブ上にある連絡先の Android グループの [スター付き]にも追加されます。

連絡先をお気に入りに追加する

- 1 連絡先アプリケーションを開きます。
- 2 連絡先をタップすると、詳細が表示されます。
- 3 連絡先の名前の右にあるスターアイコンをタップします。
アイコンの色が金 (★) に変わります。

連絡先をお気に入りリストから削除する

- 1 連絡先アプリケーションを開き、[お気に入り]タブをタップします。
- 2 連絡先をタップすると、詳細が表示されます。
- 3 連絡先の名前の右にある金色のスターアイコンをタップします。
アイコンが灰色に変わり、連絡先がお気に入りから削除されます。

連絡先の検索

名前を指定して連絡先を検索できます。

連絡先を検索する

- 1 連絡先アプリケーションを開きます。
- 2 [検索]キー  を押します。
- 3 検索する連絡先の名前を入力します。
入力中に、検索ボックスの下に名前の一致する連絡先が表示されます。
- 4 リスト内の一致する連絡先をタップすると、詳細画面が開きます。または、虫めがねアイコン  をタップすると、一致する連絡先リストの画面が開きます。

連絡先の詳細の編集

連絡先の詳細情報を変更または追加できます。また、特定の連絡先に使用する着信音を設定したり、ある連絡先からの着信をすべてボイスメールに転送するよう設定したりすることもできます。

連絡先によっては、複数のソースからの情報が登録されている場合があります。たとえば、手動で入力した情報や、重複した情報を整理するために複数のアカウントから統合された情報などがあります。連絡先を編集する際、各ソースからの情報は色別のラベルが付いたセクションにまとめられています。連絡先に重複したエントリがある場合は1つに統合できます。詳しくは、「連絡先の統合」(126 ページ)をご覧ください。関係のない連絡先の情報が誤って統合されている場合は、その情報を分割できます。詳しくは、「連絡先情報の分割」(128 ページ)をご覧ください。

1つのソースからの情報を変更しても、別のソースからの情報には影響しません。たとえば、Google アカウントと Exchange ActiveSync アカウントからの連絡先情報があり、両方のアカウントで連絡先の同期が設定されている場合、Google アカウントからの情報を編集するとウェブ上の Google アカウントと同期されますが、Exchange ActiveSync アカウントからの情報は変更されません。

複数のアカウントの扱い方については、「アカウント」(129 ページ)をご覧ください。

連絡先の詳細情報を編集する

- 1 連絡先またはお気に入りを開きます。
- 2 詳細情報を編集する連絡先を長押しし、開いたメニューで [**連絡先を編集**] をタップします。
連絡先の詳細を表示した状態で **MENU キー**  を押し、[**連絡先を編集**] をタップすることもできます。
- 3 連絡先の作成と同じ方法で連絡先情報を編集します。
「連絡先の追加」(114 ページ)をご覧ください。
- 4 [**完了**] をタップします。

連絡先のメインの電話番号を変更する

連絡先のメインの電話番号は、連絡先リストにある各連絡先の名前の下に表示され、連絡先を長押ししてリストから電話をかけたり、SMSを送信したりする際に使用されます。

- 1 連絡先またはお気に入りを開きます。
- 2 リスト内の連絡先の名前をタップして、その詳細情報を表示します。
- 3 連絡先のメインの電話番号として使用する電話番号を長押しします。
- 4 開いたメニューの[**メインの番号に設定する**]をタップします。
メインの電話番号には、チェックマーク が付きます。

ある連絡先からの着信をすべてボイスメールに転送する

- 1 連絡先またはお気に入りを開きます。
- 2 リスト内の連絡先の名前をタップして、その詳細情報を表示します。
- 3 **MENU** キー  を押して[**オプション**]をタップします。
- 4 [**着信**]のチェックボックスをオンにします。
- 5 [**戻る** ]キーを押します。
この連絡先から着信があると、携帯端末の着信音は鳴らずに、ボイスメールに直接転送されます。

連絡先の着信音を設定する

- 1 連絡先またはお気に入りを開きます。
- 2 リスト内の連絡先の名前をタップして、その詳細情報を表示します。
- 3 **MENU** キー  を押して[**オプション**]をタップします。
- 4 着信音のスクロールリストが開くので、その連絡先からの着信時に再生する着信音をタップします。
その着信音のデモが再生されます。
- 5 [**OK**]をタップします。

連絡先を削除する

- 1 連絡先またはお気に入りを開きます。
- 2 リスト内の連絡先の名前をタップして、その詳細情報を表示します。
- 3 **MENU キー**  を押して **[連絡先を削除]** をタップします。

Google アカウント（または連絡先が編集可能な別のアカウント）から連絡先を削除すると、次回端末を同期したときにウェブからもこの連絡先が削除されます。

Facebook など、読み取り専用アカウントの連絡先は削除できません。代わりに、連絡先を非表示にすることを通知するダイアログが表示されます。読み取り専用アカウントの非表示の連絡先を復元するには、端末からそのアカウントを削除してから、再度追加する必要があります。

編集可能なアカウント（連絡先アプリケーションなど）と読み取り専用アカウント（Facebook など）から統合した情報が連絡先に含まれる場合、読み取り専用アカウントの情報は削除されず、非表示になることを示すダイアログが表示されます。

- 4 連絡先の削除を確認するメッセージが表示されたら、**[OK]** をタップします。

連絡先への連絡

[連絡先] タブまたは [お気に入り] タブから、簡単に連絡先のメインの電話番号に電話をかけたり、テキストメッセージ (SMS) やマルチメディアメッセージ (MMS) を送信したりできます。また、詳細情報を開いて、連絡先と連絡を取る方法をすべて表示することもできます。

このセクションでは、連絡先リストを表示しているときに連絡を開始する方法について説明します。連絡先アプリケーションは、Gmail (「Gmail」(137 ページ) を参照) や SMS (「メッセージ」(229 ページ) を参照) など、多くの他のアプリケーションと連絡先を共有します。

Android 用チャットリストを使用して連絡する

- 1 連絡先の画像をタップし、Android 用チャットリストを開きます。



- 2 連絡方法のアイコンをタップします。
利用できるアイコンは、その連絡先の情報や、端末のアプリケーションとアカウントによって異なります。
詳しくは「連絡先への簡単な接続」(48 ページ) をご覧ください。

連絡先に連絡する

- 1 連絡先またはお気に入りを開きます。
- 2 連絡先をタップします。
お気に入りリストや通話履歴にある緑色の受話器のアイコンをタップして、表示されている番号に発信することもできます。
- 3 連絡先の詳細画面で、その連絡先と連絡を取る方法をタップします。
電話番号の場合は、電話アプリケーションに自動的に切り替わり、その番号に発信されます。その他の連絡方法の場合は、該当するアプリケーションに自動的に切り替わり、連絡先のアドレスが入力されます。

連絡先のメインの番号に電話をかける

- 1 連絡先またはお気に入りを開きます。
- 2 電話をかける連絡先を長押しします。
- 3 開いたメニューの[**発信**]をタップします。
実際のメニューアイテムは、その連絡先に設定したメインの番号に応じて、[**携帯電話に発信**]、[**勤務先に発信**]などです。
電話アプリケーションに自動的に切り替わり、その番号に発信されます。電話のかけ方について詳しくは、「通話」(81 ページ)をご覧ください。

連絡先のメインの番号に SMS/MMS を送信する

- 1 連絡先またはお気に入りを開きます。
- 2 メッセージを送信する連絡先の電話番号を長押しします。
- 3 開いたメニューの[**連絡先に SMS**]をタップします。
SMS アプリケーションに自動的に切り替わり、連絡先の電話番号が新しいメッセージに入力されます。SMS と MMS の送信について詳しくは、「メッセージ」(229 ページ)をご覧ください。
チャットリストを使用して、SMS や MMS の送信を開始することもできます。「連絡先への簡単な接続」(48 ページ)をご覧ください。

連絡先表示の変更

電話番号が登録されていない連絡先を非表示にするよう設定できます。アカウントごとに、連絡先のどのグループを連絡先リストに表示するかを設定することもできます。

電話番号のない連絡先を表示するかどうかを設定する

電話をかけるためだけに連絡先リストを使用する場合、電話番号が登録されていない連絡先を非表示にできます。

- 1 連絡先リストを開きます。
- 2 MENU キー  を押して [表示オプション] をタップします。
- 3 [電話番号のある連絡先のみ] チェックボックスをオンまたはオフにします。

表示するグループを変更する

- 1 連絡先リストを開きます。
- 2 MENU キー  を押して [表示オプション] をタップします。
- 3 アカウントをタップして、グループ リストを開きます。
アカウントのグループは、アカウントの種類によって異なります。



- 4 連絡先アプリケーションに表示する連絡先グループをチェックボックスで選択します。
この操作は、画面上の連絡先グループの表示のみに影響し、同期設定には影響しません。
- 5 [完了]をタップします。
変更中は、メッセージが表示されます。多数の連絡先に変更が及ぶ場合は、少し時間がかかる場合があります。

連絡先の表示方法を変更する

- 1 連絡先リストを開きます。
- 2 MENU キー  を押して [表示オプション] をタップします。
- 3 [並び替え順] をタップして、連絡先を姓または名の順序で表示するように設定します。
- 4 [名前の表示形式] をタップして、連絡先の姓と名のどちらを先に表示するかを設定します。

連絡先の統合

メールアドレスを交換した場合など、他の方法でアカウントや連絡先を追加すると、連絡先アプリケーションは重複を避けるために、新しい連絡先情報と既存の連絡先情報を統合して1つのエントリーにまとめようとします。連絡先の統合は手動で行うこともできます。

ウェブ上の連絡先を使用して重複したエントリーを削除することもできます。その場合は、[その他の操作]メニューの[重複する連絡先を検索して統合]コマンド（詳しくは、ウェブ上の連絡先をご覧ください）を実行します。

連絡先を統合する

- 1 連絡先またはお気に入りを開きます。
- 2 情報を追加する連絡先をタップします。
この連絡先が、統合後に連絡先アプリケーションに表示される連絡先になります。
- 3 MENU キー  を押して[連絡先を編集]をタップします。
- 4 MENU キー  を押して[統合]をタップします。

統合する連絡先の候補が画面の上部に表示されます。[すべての連絡先を表示]をタップすると、全連絡先のリストから連絡先を選択できます。



情報を統合する連絡先をタップします

5 最初の連絡先に情報を統合する連絡先をタップします。

2番目の連絡先の情報が最初の連絡先に追加され、2番目の連絡先は連絡先リストに表示されなくなります。

自動または手動で統合された情報を含め、連絡先情報のソースを表示する方法について詳しくは、「連絡先の詳細の編集」(119 ページ)をご覧ください。誤って統合した連絡先情報を分割する方法については、「連絡先情報の分割」(128 ページ)をご覧ください。

連絡先情報の分割

携帯端末の連絡先は、複数のソースからの情報で構成される場合があります。たとえば、手入力した情報、アカウントを追加したときに連絡先アプリケーションで自動的に統合された情報、手動で統合した情報などがあります。

異なるソースの連絡先情報が誤って統合されている場合は、端末で情報を分割して、別個の連絡先に戻すことができます。

連絡先情報を分割する

- 1 連絡先またはお気に入りを開きます。
- 2 情報を分割する連絡先をタップします。
- 3 MENU キー  を押して [連絡先を編集] をタップします。
- 4 MENU キー  を押して [連絡先を分割] をタップします。

連絡先情報が分割され、別個の連絡先として連絡先リストに表示されます。

アカウント

連絡先、メール、カレンダーの予定などの情報を、複数の Google アカウント、Microsoft Exchange ActiveSync アカウントのほか、さまざまなアカウント（端末にインストールされているアプリケーションによって異なります）から端末に同期させることができます。

たとえば、個人の Google アカウントを追加すると、個人のメール、連絡先、カレンダーがいつでも使用できるようになります。さらに勤務先の Exchange ActiveSync アカウントを追加すると、端末で仕事のメールを読んだり、仕事の上の連絡先を使用したりできるようになります。

[アカウントと同期] の設定、および Gmail、カレンダー、メールなどのアプリケーションの設定を使用して、端末でのアカウントとアプリケーション間のやり取りを設定します。パスワードなどのアカウントの基本設定を変更するには、ウェブブラウザを使用します。

このセクションの内容

「アカウントの追加と削除」（130 ページ）

「アカウントの同期オプションと表示オプションの設定」（133 ページ）

アカウントの追加と削除

Google アカウントや Microsoft Exchange ActiveSync アカウントは複数追加することができます。使用するアプリケーションによって、他にもさまざまなアカウントを追加できます。一部のアカウントは[アカウントと同期]設定で追加できます。詳しくはこのセクションで後述します。それ以外のアカウントは、アカウントと連携するアプリケーションを使って追加できます。たとえば、メールアプリケーションで IMAP や POP3 メールアカウントを追加できます（「メールアカウントの追加と編集」（221 ページ）をご覧ください）。

アカウントを追加する

追加するアカウントによっては、アカウントの接続先のサービスに関する詳細情報を IT サポート 担当者から入手する必要があります。たとえば、アカウントのドメインやサーバー アドレスといった情報が必要になることがあります。

- 1 [アカウントと同期の設定] 画面を開きます。

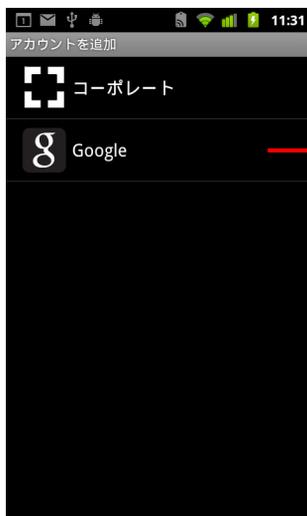
連絡先アプリケーションからこの画面を開くには、**MENU キー**  を押して、[アカウント] をタップするか、設定アプリケーションから直接開きます。

[アカウントと同期の設定] 画面には、現在の同期設定と、現在のアカウントのリストが表示されます。

「アカウントの同期オプションと表示オプションの設定」（133 ページ）をご覧ください。



- 2 [アカウントを追加] をタップします。
- 3 追加するアカウントの種類をタップします。



- 4 画面に表示される手順どおりに、アカウントの必須情報や、省略可能な情報を入力します。

ユーザー名とパスワードはほとんどのアカウントで必須ですが、詳細はアカウントの種類と、接続するサービスの設定によって異なります。

Microsoft Exchange ActiveSync に基づくアカウントの追加について詳しくは、「メールアカウントの追加と編集」(221 ページ) と、「メールアカウント設定の変更」(224 ページ) の詳細な表をご覧ください。これらのセクションでは、メールアプリケーションを使用して、IMAP、POP3、SMTP でのメールアカウントを追加する方法についても説明しています。

- 5 アカウントを設定します。

アカウントの種類によっては、端末と同期させるデータの種類、アカウント名などの詳細情報を設定する必要があります。

設定が終わると、[アカウントと同期の設定]画面のリストにそのアカウントが追加されます。アカウントの設定に応じて、メール、連絡先といった情報の端末への同期が開始されます。

アカウント設定の変更について詳しくは、「アカウントの同期オプションと表示オプションの設定」(133 ページ) をご覧ください。

アカウントを削除する

アカウントを削除すると、端末からそのアカウントに関連付けたすべての情報（メール、連絡先、設定など）が削除されます。

その端末で最初にログインした Google アカウントは削除できません。ただし、端末から個人情報をすべて削除する場合を除きます。この方法については「プライバシーの設定」(382 ページ) をご覧ください。

- 1 [アカウントと同期の設定]画面を開きます。

連絡先アプリケーションからこの画面を開くには、**MENU キー**  を押して、[アカウント]をタップするか、設定アプリケーションから直接開きます。

[アカウントと同期の設定]画面には、現在の同期設定と、現在のアカウントのリストが表示されます。

- 2 削除するアカウントをタップします。
- 3 [アカウントを削除]をタップします。
- 4 アカウントを削除することを確認します。

アカウントの同期オプションと表示オプションの設定

端末のすべてのアプリケーションについて、バックグラウンドでのデータの使用と同期のオプションを設定できます。各アカウントについて、同期するデータの種類を設定することもできます。また、独自の同期設定を備えているアプリケーション（Gmail、カレンダーなど）もあります。

連絡先、Gmail、カレンダーなどのアプリケーションでは、複数のアプリケーションからデータを同期できますが、その他のアプリケーションでは、端末で最初にログインした Google アカウントから、またはそのアプリケーションと特別に関連付けられたアカウントからのみデータが同期されます。

双方向で同期されるアカウントもあります。このようなアカウントでは、端末で情報を変更すると、ウェブ上の情報も変更されます。Google アカウントはこの方法で同期されます。その他のアカウントは一方方向で同期され、端末上の情報は読み取り専用となります。

同期の基本設定を設定する

- 1 [アカウントと同期の設定] 画面を開きます。

連絡先アプリケーションからこの画面を開くには、**MENU キー**  を押して、[アカウント] をタップするか、[設定] ([ホーム] キー 、**MENU キー**  の順に押して [設定] をタップ) から直接開きます。

画面には、現在の同期設定と、現在のアカウントのリストが表示されます。



アカウントをタップして設定します

このアカウントの一部またはすべての情報が端末と自動的に同期するように設定されています

このアカウントには端末と自動的に同期する情報はありません

 は、アカウントの一部またはすべての情報が端末と自動的に同期されるよう設定されていることを示しています。

 は、アカウントのどの情報も端末と自動的に同期されないよう設定されていることを示しています。

- 2 [バックグラウンドデータ] チェックボックスをオンまたはオフにして、直接使用していないアプリケーションやサービス（つまり、バックグラウンドで実行中）でデータを転送できるようにするかどうかを指定します。

このオプションをオフにすると、Gmail では[更新]メニュー アイテムをタップするかメールを送信するまで、新規メールが受信されません。カレンダーでは予定が同期されません。他のアプリケーションでも同様です。

- 3 [自動同期] チェックボックスをオンまたはオフにして、端末やウェブ上で行った変更を、双方向で自動的に同期するかどうかを指定します。

たとえば、このオプションをオンにして、端末で連絡先を変更すると、ウェブ上の Google の連絡先も自動的に変更されます。

このオプションをオフにした場合、アプリケーションのツールを使用してデータを手動で同期できます。「手動で情報を同期する」(134 ページ)をご覧ください。

手動で情報を同期する

- 1 [アカウントと同期の設定] 画面を開きます。
- 2 データを同期するアカウントをタップします。
- 3 MENU ≡ キーを押して[今すぐ同期]をタップします。

アカウントの同期設定を変更する

- 1 [アカウントと同期の設定]画面を開きます。
- 2 同期設定を変更するアカウントをタップします。

[データと同期]画面が開き、そのアカウントで同期できる情報の種類が表示されます。

チェックボックスがオンになっているアイテムは端末と同期されます。



- 3 端末と同期させる情報の種類をチェックボックスで選択します。
各チェックボックスをオフにしても、ウェブとの自動同期が停止するだけで、端末からその情報は削除されません。過去に同期したアカウントの情報を削除するには、そのアカウントを削除する必要があります。

Gmail

Gmail は Google のウェブベースのメールサービスです。携帯端末の初期設定時に、既存の Gmail アカウントを使用するよう設定するか、新しいアカウントを作成します。端末で Gmail アプリケーションを初めて起動すると、ウェブで使用している Gmail アカウントのメールが受信トレイに表示されます。

このセクションの内容

- 「Gmail の特長」 (139 ページ)
- 「Gmail のバージョンとリリース状況」 (138 ページ)
- 「Gmail の起動と受信トレイの表示」 (140 ページ)
- 「メールを読む」 (144 ページ)
- 「メールの作成と送信」 (147 ページ)
- 「メールの返信と転送」 (149 ページ)
- 「優先トレイの操作」 (151 ページ)
- 「スレッドのバッチ操作」 (154 ページ)
- 「メールにスターを付ける」 (155 ページ)
- 「スレッドへのラベル付け」 (156 ページ)
- 「ラベルごとのスレッド表示」 (157 ページ)
- 「ラベルごとのスレッドの同期」 (158 ページ)
- 「迷惑メールの報告」 (160 ページ)
- 「メールの検索」 (161 ページ)
- 「スレッドのアーカイブ」 (162 ページ)
- 「メールへの署名の追加」 (163 ページ)
- 「キーボード ショートカットの使い方」 (164 ページ)
- 「Gmail の設定変更」 (165 ページ)

Gmail のバージョンとリリース状況

このセクションでは、Android バージョン 2.2 (Froyo) または 2.3 (Gingerbread) 用の Gmail バージョン 2.3.2 について説明します。使用している Gmail のバージョンを確認するには、Gmail の画面で通常は、**MENU キー**  を押して、[概要] をタップするか、[その他] > [概要] の順にタップします。

Gmail バージョン 2.3.2 を現在 Android マーケットから入手できる国は次のとおりです：アルゼンチン、オーストリア、オーストラリア、ベルギー、ブルガリア、ブラジル、カナダ、スイス、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、スペイン、フィンランド、フランス、英国、ギリシャ、中国・香港特別行政区、クロアチア、ハンガリー、アイルランド、イスラエル、インド、イタリア、日本、韓国、カザフスタン、リトアニア、ルクセンブルグ、ラトビア、メキシコ、オランダ、ノルウェー、ニュージーランド、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、セルビア、ロシア、スウェーデン、シンガポール、スロベニア、スロバキア、タイ、台湾、米国、南アフリカ。

お住まいの国が上記にない場合、携帯通信会社によっては、Gmail のこのバージョンを無線 (OTA) アップデートとして受信できる場合があります。

Gmail の特長

Gmail はウェブベース メールは Google サーバーに保存されていますが、携帯端末やウェブブラウザで Gmail アプリケーションを使用して、メールの作成、表示、整理を行うことができます。メールは Google サーバーに保存されているため、高速でパワフルな Google 検索機能を利用してメールの全履歴を検索できます。

1か所で操作を行うと、それが全体に反映されます。たとえば、携帯端末の Gmail でメールを読むと、ウェブブラウザでも既読としてマークされます。また、ブラウザを使用して送信したメールや下書きとして保存したメールは、携帯端末の Gmail でも表示できます。

Gmail はスレッドベース メールとその返信は、1つのスレッドとして受信トレイ内でグループ化されます。他のメールアプリケーションでは、メールが主に受信日時の順に表示されるため、メールへの返信が受信トレイ内のあちこちに分散し、メールとメールへの返信との間に他のメールが入ってしまいます。Gmail では、メールのスレッドを簡単に追うことができます。

Gmail はフォルダではなくラベルで整理 メールにラベルを付けることで、スレッドをさまざまな方法で整理できます。他のメールアプリケーションでは、メールは1つのフォルダにしか入れることができません。Gmail では、たとえば兄弟の誕生日プレゼントについて母親とやり取りしたスレッドに対して、「母」と「デイヴ」という2つのラベルを付けることができ、どちらのラベルからもメールを検索できます。フォルダを使用している場合、「母」フォルダか「デイヴ」フォルダのいずれか一方にしかメールを保存できません。

携帯端末の Gmail は、端末で高度な操作やウェブブラウザの使用を行えるように最適化 Gmail や Google アカウントの整理とその機能の確認は、ウェブ上で行うほうが便利です。たとえば、携帯端末の Gmail アプリケーションでは、メールの整理に使用するラベルやフィルタを作成できませんが、メールにラベルを付けることは可能です。ウェブの Gmail ではサービスに関する情報が提供されているため、Gmail の機能について調べる場合に最適です。

Gmail のための Gmail Gmail を使用して任意のメールアドレスにメールを送信したり、任意のメールアドレスから Gmail アドレスに送信されたメールを受信したりすることは、もちろん可能です。ただし、別のメールサービスプロバイダ（AOL や Yahoo! などのメールアカウント）のメールを読む場合は、メールアプリケーションを使用してください。「メール」（209 ページ）をご覧ください。

Gmail の起動と受信トレイの表示

Gmail を起動すると、受信トレイにある最新のスレッドが表示されます。他のアプリケーションを使用してから Gmail に戻ると、直前に開いていた画面が表示されます。

Gmail を起動する

▶ Gmail アイコン  をホーム画面またはランチャーでタップします。

「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ) をご覧ください。

受信トレイには、最新のメールを含むスレッドが一番上に表示されます。削除、アーカイブ、フィルタしていないスレッドは、すべて受信トレイに表示されます。

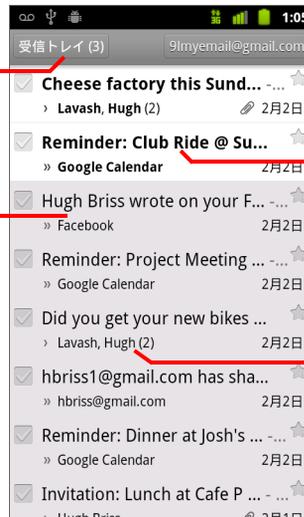
ウェブの Gmail で優先トレイを表示するように設定していると、携帯端末の Gmail でも優先トレイを表示し、デフォルトの受信トレイとして設定することができます。「優先トレイの操作」(151 ページ) をご覧ください。

受信トレイの右上に、使用している Google アカウントが表示されます。複数のアカウントがある場合は、現在のアカウントをタップするとアカウントを切り替えることができます。詳しくは「アカウントを切り替える」(142 ページ) をご覧ください。アカウントの追加や操作については、「アカウント」(129 ページ) をご覧ください。

新しいメールがあるスレッドの件名は太字で表示されます。スレッドのメールを読むには件名をタップします。「メールを読む」(144 ページ) をご覧ください。

受信トレイの未読メールの数。タップすると、さまざまなラベルが付いたスレッドのリストが表示されます

スレッドをタップすると、そのスレッドが開いてメールが表示されます



自分のアカウント。タップしてアカウントを切り替えます

新しい（未読の）メールがあるスレッドは、件名が太字で表示されます

このスレッドには2件のメールがあります

» は、ユーザー宛に直接送信されたメールです。

» は、Ccとして送信されたメールです。

その他のメールは、グループの1人として受信したメールです。

優先トレイを使用している場合、スレッドリスト内に、Gmailのシステムまたはユーザーが重要と判断したメールにマークが表示されます（「優先トレイの操作」（151ページ）をご覧ください）：

重要なメールには、次の黄色いアイコンが付いています：

» は、ユーザー宛に直接送信された重要なメールです。

» は、Ccとして送信された重要なメールです。

» は、グループの1人として受信した重要なメールです。

Gmail を実行中に受信トレイを開く

- ▶ 受信トレイに戻るまで[戻る]キー ← を押します。
または
- ▶ メールを表示しているときは、MENU キー ≡ を押し、[受信トレイを開く]をタップします。
または
- ▶ ラベルが付いたスレッドのリストを表示しているときは、MENU キー ≡ を押し、[その他]>[受信トレイを開く]をタップします。
優先トレイをデフォルトの受信トレイとして設定している場合、受信トレイの代わりに優先トレイが開きます（「優先トレイの操作」（151 ページ）をご覧ください）。

アカウントを切り替える

Gmail では、一度に1つの Google アカウントのスレッド、メール、設定を表示します。アカウントが複数ある場合は、[アカウント]画面を開いて、各アカウントの未読メール数を表示し、アカウントを切り替えることができます。

アカウントの追加や設定については、「アカウント」（129 ページ）をご覧ください。

- 1 受信トレイで、画面の右上にある現在のアカウントをタップします。または、MENU キー ≡ を押して[アカウント]をタップします。
それぞれのアカウントについて、デフォルトに設定している受信トレイに応じて、受信トレイまたは優先トレイ内の未読のメール数が表示されます。各アカウントのデフォルトの受信トレイも表示されます（「優先トレイの操作」（151 ページ）をご覧ください）。



- 2 読みたいメールが含まれているアカウントをタップします。
そのアカウントで設定しているデフォルトの受信トレイに応じて、受信トレイまたは優先トレイが開きます。

Gmail をオフラインで使用する

モバイルデータネットワークやWi-Fiネットワークに接続していない場合（たとえば機内モードの場合）、Gmailでは、携帯端末にその時点で同期されている未読や既読のメールを読んだり（「ラベルごとのスレッドの同期」（158ページ）をご覧ください）、メールを作成したりできます。

メールを送信すると、そのメールは、[送信トレイ]のラベルが付いて端末に保存され、接続の再開後に、自動的に送信されます。[送信トレイ]ラベルが付いて保存されているメールは、表示できます（「ラベルごとのスレッド表示」（157ページ）をご覧ください）。

メールを読む

受信トレイまたはその他のラベルが付いたスレッドのリストが表示されているときに、スレッドを開いてメールを読むことができます。

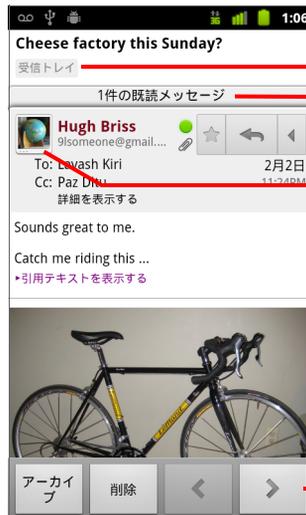
Gmail は携帯端末に新着メールを自動的に「プッシュ」します。受信トレイを手動で更新する必要はありません（ただし、「ラベルごとのスレッドの同期」（158 ページ）をご覧ください）。

新しいメールが届くと、Gmail の設定で Gmail 通知をオフにしている場合を除き、ステータスバーに通知が表示されます。Gmail の設定では、メール着信通知にバイブレーションなどの設定することもできます（「Gmail の設定変更」（165 ページ）をご覧ください）。デフォルトの受信トレイとして優先トレイを使用している場合、重要なメールについてのみ通知があります（「優先トレイの操作」（151 ページ）をご覧ください）。Gmail 通知をタップすると、新着メールを含む受信トレイが開きます。複数のアカウントに新着メールがある場合は、[アカウント] 画面が開きます。

メールを読む

- ▶ 読みたいメールを含むスレッドをタップします。

スレッドにある最初の新しい（未読の）メールが開きます。スレッド内のメールにスターを付けている場合は、スター付きの最初のメールが開きます。「メールにスターを付ける」（155 ページ）をご覧ください。



このスレッドには1つのラベルが付いています

タップすると、既読メールの送信者と最初の1行が表示されます

タップすると、Google トークや携帯端末などを使用して送信者に連絡できます

スレッド全体のアーカイブや削除、次のスレッドや前のスレッドの表示を行うことができます

メールのヘッダーには、メールの送信者、送信日、宛先などの情報が表示されます。添付ファイルの有無や送信者の Google トークのオンラインステータスを示すアイコンが表示されます。詳細を見るには、[**詳細を表示する**] をタップします。

メール送信者のチャットリストアイコンをタップすると、送信者への連絡方法が表示されます。「連絡先への簡単な接続」(48 ページ) をご覧ください。

スレッドのメールを表示しているときに、画面下部のボタンを使用してスレッド全体をアーカイブ（「スレッドのアーカイブ」(162 ページ) を参照）、または削除できます。スレッドを削除した場合、画面の上部のバーにある [**取消**] をタップして、削除を取り消すことができます（[**ゴミ箱**] から削除したスレッドは、ウェブの Gmail からは削除されません）。

受信トレイ内の次のスレッドや前のスレッドを開くには、メールの下部にある左右の矢印ボタンを使用します。

添付ファイル进行操作する

Gmail ではメールに添付された画像のうち、一部の形式の画像（携帯端末に応じて .png、jpeg）を表示できます。その他の画像には、[**プレビュー**] ボタンまたは [**ダウンロード**] ボタンが使用できます。携帯端末にインストールされているアプリケーションに応じて、スプレッドシート (.xls)、ワープロドキュメント (.doc)、PDF ファイル (.pdf) などのさまざまなファイルをダウンロードして読むこともできます。その他の種類のファイルを開けるようにするアプリケーションもあります。

ダウンロードした添付ファイルは、端末の USB ストレージまたは SD カードに保存されます。画像ファイルはギャラリーのアルバムに追加されます。ダウンロードしたファイルを表示する、再度開く、削除する方法については、「ダウンロードの管理」(57 ページ) をご覧ください。

メールのテキストをコピーする

受信したメールのテキストをコピーして、新規作成するメールや他のアプリケーションのテキスト フィールドに貼り付けることができます。

- 1 メールを開き、コピーするテキストが表示されるようにスクロールします。

「メールを読む」(144 ページ) をご覧ください。

- 2 **MENU** キー **≡** を押して、[**その他**] > [**テキストを選択**] をタップします。
- 3 コピーするテキストの上を指でドラッグします。
選択したテキストがクリップボードにコピーされます。

これで、コピーしたテキストを、作成中のメールや別のアプリケーションのテキストフィールドに貼り付けることができます。一連の操作方法について詳しくは「テキストの編集」(39 ページ)をご覧ください。

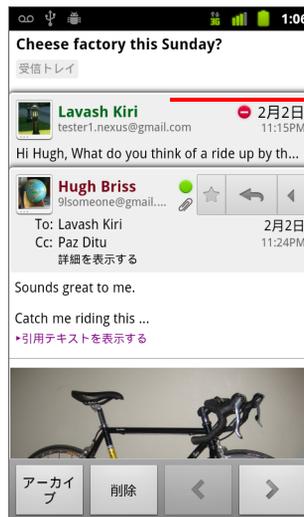
既読メールを読む

スレッドを開くと、既読メールは非表示となります。タブには、非表示のメールの数が表示されます。

- 1 既読メールの数を示すタブをタップします。
タブが展開し、既読メールの送信者と最初の行が表示されます。
- 2 展開したタブをタップすると、既読メールの本文を読むことができます。



既読メールの数を示すタブをタップすると、メールの概要のタブが表示されます



既読メールのタブをタップすると、そのメールをもう一度読むことができます



メールを読んでいるときやタブを選択したときに **MENU キー**  を押して **[未読にする]** をタップすると、既読メールを未読メールに戻すことができます。後でもう一度読む必要のあるメールなどをわかるようにできるため便利です。

メールの作成と送信

個人またはグループの Gmail アドレスや他のメールアドレス宛にメールを作成、送信できます。

メールを作成して送信する

- 1 受信トレイや他のスレッド リストを表示しているときに、**MENU** キー  を押して [**新規作成**] をタップします。



- 2 メールを送信元として使うアドレスを設定します。
メールの送信元になる Gmail アカウントが画面の上部に表示されます。複数の Gmail アカウントがある場合は、表示されているアカウントをタップして、メールの送信元として使うアカウントを選択できます。ウェブ上で Gmail アカウントに送信元のアドレスをカスタマイズしている場合、そのアドレスを使用することができます（送信元のアドレスをカスタマイズする方法については、ウェブの Gmail でご確認ください）。
- 3 メール宛先を指定します。
- 4 メール件名を入力します。
- 5 メール本文を入力します。

「画面キーボードの使い方」（33 ページ）と「テキストの編集」（39 ページ）をご覧ください。

6 送信アイコン をタップします。

メールをすぐに送信しない場合は、下書き保存アイコン  をタップします。[下書き]ラベルが付いたメールを開くと、下書き保存したメールを読むことができます。「ラベルごとのスレッド表示」(157 ページ)をご覧ください。

保存した下書きなどのメールを破棄するには、**MENU キー**  を押して [破棄] をタップします。

機内モードに設定している場合など、ネットワークに接続していない状態でメールを送信すると、ネットワークに再接続されるまで、メールは [送信トレイ] ラベルが付けられて端末に保存されます。

メールの Cc または Bcc を送信する

別のアドレスに、メールの Cc や Bcc を送信することができます。

- ▶ メール作成時に、**MENU キー**  を押して [Cc/Bcc を追加] をタップすると、Cc や Bcc のフィールドが追加され、アドレスを入力できます。
テキストを入力すると、連絡先リストの中から一致するアドレスの候補が表示されます。「連絡先」(111 ページ)をご覧ください。候補の中からアドレスをタップするか、手動で入力します。

メールに画像を添付する

- ▶ メールに画像を添付して送信するには、メール作成時に、**MENU キー**  を押して [添付] をタップします。
画像の操作については詳しくは、「ギャラリー」(283 ページ)をご覧ください。

重要: メール送信が完了するまで (ラベルが [送信トレイ] から [送信済みメール] に変わるまで) 元の添付ファイルを削除しないでください。元のファイルを削除すると、添付ファイルは送信されません。

- ▶ 添付ファイルをメールから削除する場合は、添付ファイルの右にあるチェックボックスをオフにします。

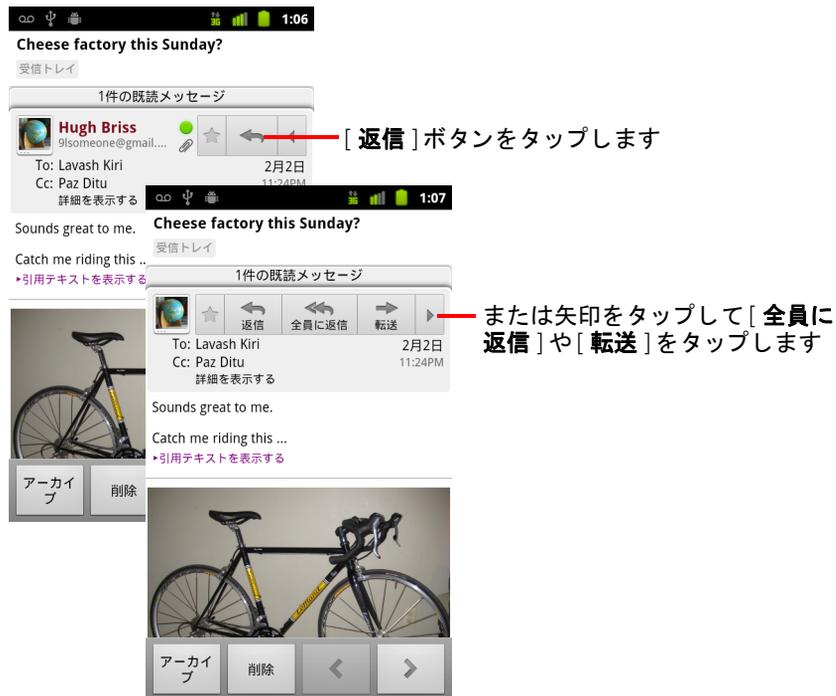
メールの返信と転送

メールに返信またはメールを転送して、スレッドを続けることができます。

メールを返信または転送する

- 1 メールのヘッダーにある[返信]ボタン  をタップします。または矢印  をタップして、[全員に返信]または[転送]をタップします。

デフォルトのボタンを、[返信]から[全員に返信]に変更することができます。「Gmailの設定変更」(165 ページ)をご覧ください。



件名を変えずにメールに返信またはメールを転送すると、返信または転送したメールが現在のスレッドに追加されます。件名を変更すると、新しいスレッドが開始されます。

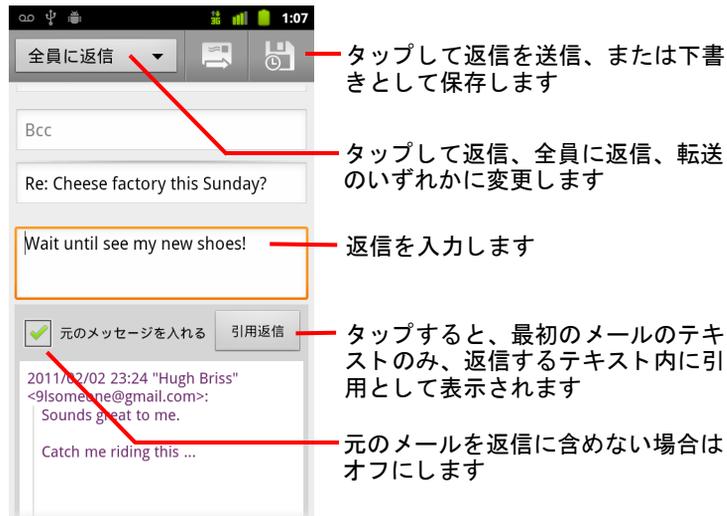
新しい画面でメールが開きます。この画面では、アドレスの追加や削除、件名の編集、テキストや添付ファイルの追加や削除を行うことができます。詳しくは「メールの作成と送信」(147 ページ)をご覧ください。左上のボタンをタップして、メールの返信、全員に返信、転送のいずれかに変更することもできます。

転送するメールには添付ファイルが自動的に含まれますが、返信するメールには含まれません。

作成するテキスト内に、最初のメールのテキストを引用するには、[引用返信]をタップします。ただし、この引用には、最初のメールの添付ファイルやフォーマット設定は含まれません。

全員に返信し、さらに返信メールに新しいユーザーのアドレスを追加すると、現在のスレッドに1人または複数のユーザーを追加できます。

新しいメールには、返信 / 転送しているメールまで、スレッド内のすべてのメールがコピーされますが、これまでスレッド内で転送したメールで続いているメールのやり取りは省略されます。



2 送信アイコン  をタップします。

優先トレイの操作

ウェブの Gmail で、優先トレイを表示するように設定していると、携帯端末の Gmail でも優先トレイを表示するように設定できます。優先トレイをデフォルトの受信トレイに設定することもできます。

大量のメールを受信する場合に優先トレイを使用すると、重要なメールと重要ではないメールを区別できるので、メールの処理速度が上がります。Gmail では、新着メールを分析し、ユーザーが以前に同様のメールをどのように扱ったか、メールの宛先がどのように指定されているかなど、多くの要因を考慮したうえで重要なメールかどうかが予測されます。優先トレイを使用しながら、どのようなメールが重要かを、ユーザーが Gmail に教えることもできます。

ウェブの Gmail で優先トレイを表示して、携帯端末でも使用できるようにする方法など、優先トレイについては、ウェブの Gmail でご確認ください。

優先トレイを開く

優先トレイとは、Gmail のシステムまたはユーザーが重要というラベルを付けた、受信トレイに含まれるスレッドのリストです。新着のスレッドや、手動またはフィルタリングによってアーカイブされたり別のラベルに移動したりしていないスレッドが含まれます。

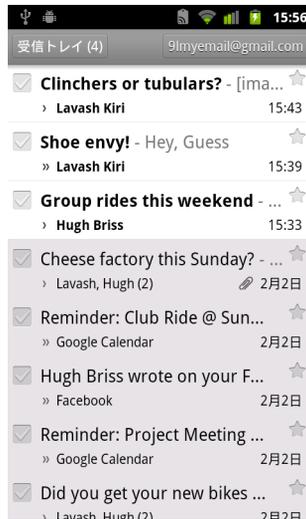
- ▶ スレッド リストの一番上にあるラベルをタップして、[**優先トレイ**] をタップします。

または

- ▶ [ラベル] 画面で [**優先トレイ**] をタップします。
「ラベルごとのスレッド表示」(157 ページ) をご覧ください。

または

- ▶ **MENU キー**  を押して [**受信トレイへ**] メニューアイテムをタップします。これは、優先トレイをデフォルトの受信トレイに設定している場合に Gmail の多くの画面で使用できます。



重要なメールには、次の黄色いアイコンが付いています：

- ▶▶ は、ユーザー宛に直接送信された重要なメールです。
- ▶ は、Cc として送信された重要なメールです。
- ▶ は、グループの1人として受信した重要なメールです。

優先トレイをデフォルトの受信トレイに設定する

新着メールがあるときに開くスレッド リストとして、受信トレイの代わりに、優先トレイを設定することができます。この設定は、ウェブの Gmail で優先トレイを表示するように設定している場合にのみ、携帯端末の Gmail で利用できます。

- 1 受信トレイを開き、MENU キー  を押して、[その他]>[設定]をタップします。
- 2 [優先トレイ]チェックボックスをオンにします。

スレッドに重要マークを付ける

- 1 受信トレイやその他のスレッド リストで、重要マークの付いていないスレッドまたは一連のスレッドのチェックボックスをオンにします。または、重要マークの付いていないスレッドを開きます。
「スレッドのバッチ操作」(154 ページ) をご覧ください。
- 2 MENU キー  を押して [重要マークを付ける] をタップします。
そのメールが優先トレイに追加され、どのようなスレッドが重要であるかを Gmail で認識します。

スレッドの重要マークを外す

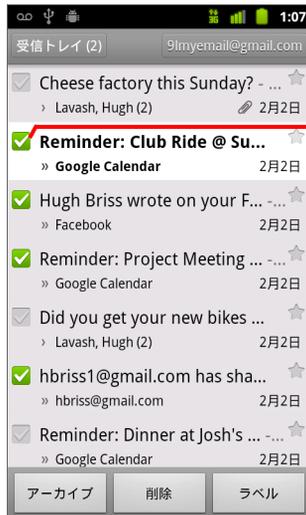
- 1 スレッド リストで、重要マークの付いている1件または複数のメールのチェックボックスをオンにします。または、重要マークの付いているスレッドを開きます。
- 2 MENU キー  を押して [重要マークを外す] をタップします。
そのメールが優先トレイから削除され、どのようなスレッドが重要でないかを Gmail で認識します。
優先トレイからそのスレッドを開いた場合は、すぐに優先トレイに戻ります。

スレッドのバッチ操作

受信トレイやラベル付けされたスレッドで、複数のスレッドに対してアーカイブ、ラベル付け、削除などのバッチ処理を行うことができます。

- 1 受信トレイやその他のスレッドのリストで、バッチ処理するスレッドをオンにします。

スレッドのチェックボックスをオンにすると、画面下部に[アーカイブ]、[削除]、[ラベル]の各ボタンが表示されます。



バッチ処理するスレッドをオンにします

ボタンをタップして該当のバッチ処理を行うか、MENU キーを押して別のバッチ処理を行います

- 2 [アーカイブ]、[削除]、[ラベル]のいずれかをタップします。または、MENU キー \equiv を押し、[スターを付ける]、[迷惑メールを報告]、[ミュート]、[既読にする]、[未読にする]、[選択解除]のいずれかをタップします。

優先トレイを使用している場合、メニューからスレッドに対して重要マークを付けたり外したりすることもできます（「優先トレイの操作」（151 ページ）をご覧ください）。

操作は選択したメール全体に適用されます。

複数のスレッドをまとめて削除した場合、画面の上部の黄色いバーにある[取消]をタップして、削除を取り消すことができます。[取消]は、ミュート、アーカイブ、迷惑メールの報告を行った後も使用できます。

メールのバッチ処理を行わない場合は、チェックボックスを非表示にすると、スレッドの件名を表示するスペースを広げることができます。「Gmail の設定変更」（165 ページ）をご覧ください。

メールにスターを付ける

重要なメールにスターを付けると、後で見つけやすくなります。受信トレイやその他のスレッドのリストでは、スター付きのメールを含むスレッドにはスターが表示されます。スター付きのメールを含むスレッドのみを表示する方法については、「ラベルごとのスレッド表示」(157 ページ)をご覧ください。

メールにスターを付ける

- ▶ メールを読んでいるときに、ヘッダーに表示されているスター アイコンをタップします。
または
- ▶ スレッドのリスト内でメール リストを表示している場合、そのメールのスター アイコンをタップします。
アイコンが金色 (★) に変わります。

メールのスターを外す

- ▶ スターをもう一度タップします。

スレッド内にあるすべてのメールのスターを外す

- ▶ スレッド リスト内でスレッドのスターをタップします。

スレッドへのラベル付け

スレッドはラベルを付けて整理できます。Gmailには、定義済みのラベルがいくつかありますが、ウェブのGmailを使用して独自のラベルを作成し、色を割り当てることができます（携帯端末のGmailには、ウェブで作成したカスタムのラベルの色は適用されません）。

ラベルが付いたスレッドの表示については、「ラベルごとのスレッド表示」（157 ページ）をご覧ください。

スレッドにラベルを付ける

- 1 スレッドのメールを表示中に **MENU キー**  を押して、[**ラベルを変更**] をタップします。
- 2 ダイアログが開くので、スレッドに付けるラベルをオンにします。
- 3 [**OK**] をタップします。

複数のスレッドに一括でラベルを付ける

1つ以上のスレッドに一括でラベルを付けたり、ラベルを変更したりすることができます。

- 1 受信トレイまたはその他のスレッドのリストで、ラベル付けするスレッドをオンにします。
「スレッドのバッチ操作」（154 ページ）をご覧ください。
- 2 画面下部の [**ラベル**] ボタンをタップします。
- 3 ダイアログが開くので、スレッドに付けるラベルをオンにします。
- 4 [**OK**] をタップします。

スレッドのラベルを変更する

- 1 スレッドのメールを表示中に **MENU キー**  を押して、[**ラベルを変更**] をタップします。
[**ラベル**] をタップして複数のスレッドに一括でラベルを付ける場合と同じ手順で、複数のスレッドのラベルを一括で変更することもできます。
- 2 ダイアログが開くので、ラベルをオンまたはオフにします。
- 3 [**OK**] をタップします。

ラベルごとのスレッド表示

同じラベルが付けられたスレッドのリストを表示できます。スター付きのメールを含むスレッドも同様に表示できます。

携帯端末で同期するスレッドは、ラベルや時間で管理できます。詳しくは「ラベルごとのスレッドの同期」(158 ページ)をご覧ください。

ラベル付けとスター付けについて詳しくは、「スレッドへのラベル付け」(156 ページ) または「メールにスターを付ける」(155 ページ)をご覧ください。

- 1 受信トレイやその他のスレッド リストを表示している状態で、リストの左上に表示される現在のラベルの名前をタップします。または、**MENU キー**  を押して[ラベルを表示]をタップします。

ラベルはスクロールリストで表示されます。ラベルは、Gmail にデフォルトで割り当てられている色か、ウェブの Gmail を使って自分で割り当てた色で表示されます。



- 2 特定のラベルが付けられたスレッドのリストを表示するには、そのラベルをタップします。

スレッドのリストは受信トレイと似ていますが、リストの上部には「受信トレイ」の代わりにラベル名が表示されます。ラベルが付けられたスレッドのリストは、受信トレイと同じように操作できます。

ラベルごとのスレッドの同期

Gmail ウェブメールサービスでは、ユーザーが送受信したすべてのメールを保存するのに十分な容量を備えています。携帯端末の容量は限られています。容量を節約するために、Gmail は一部のメールのみを携帯端末にダウンロードします。携帯端末上でメールを最新の状態に保つスレッドをラベルで指定できます。また、そのスレッド内で同期する範囲を期間で指定できます。

アプリケーションがデータを同期するタイミングと方法は、設定アプリケーションで指定します。「アカウントと同期の設定」(380 ページ) をご覧ください。

同期するラベルを選択する

- 1 受信トレイを開きます。
- 2 MENU キー  を押し、[その他] > [設定] > [ラベル] をタップします。

同期設定画面が開き、画面上部に表示されているアカウントの Gmail のラベルがスクロールリストに表示されます。各ラベルの下には、現在の同期設定 ([すべて同期]、[4 日間同期する]、ラベルなし (同期しない) のいずれか) が表示されます。



- 3 同期設定を変更したいスレッドのラベルをタップします。

スレッドのラベルのダイアログが開くので、次の3つのオプションから選択します：

同期しない このラベルのみが割り当てられているスレッドはダウンロードされません。

4日間同期する 過去4日間（または設定した日数分）のスレッドをダウンロードします。

すべて同期 このラベルが付いているすべてのスレッドをダウンロードします。

同期する日数を設定する

- 1 受信トレイを開きます。
- 2 MENU キー  を押し、[その他]>[設定]>[ラベル]をタップします。
- 3 [同期する日数]をタップします。
- 4 日数を入力し、[OK]をタップします。

迷惑メールの報告

Gmail ウェブメール サービスでは、迷惑メール（ジャンク メール）を高い確率で除外します。それでも迷惑メールが届いてしまった場合は、Gmail サービスを改善するために、スレッドを迷惑メールとして報告してください。

スレッドを迷惑メールとして報告する

- ▶ スレッドのメールを表示した状態で **MENU キー**  を押し、**[その他]** > **[迷惑メールを報告]** をタップします。

または

- ▶ 受信トレイやその他のスレッドのリストで、1つまたは複数のスレッドをオンにして **MENU キー**  を押し、**[迷惑メールを報告]** をタップします。

「スレッドのバッチ操作」（154 ページ）をご覧ください。

スレッドを迷惑メールとして報告すると、スレッドと、スレッドに含まれるすべてのメールが受信トレイから削除されます。迷惑メールとして報告したメールは、**[迷惑メール]** ラベルが付いたメールを表示すると読むことができます。「ラベルごとのスレッド表示」（157 ページ）をご覧ください。

メールの検索

本文、アドレス、件名、ラベルなどに特定の語句が含まれているメールを検索できます。

メールを検索すると、携帯端末と同期したメールだけではなく、ウェブの Gmail アカウントのすべてのメール（[ゴミ箱]や[迷惑メール]としてラベル付けされたものを除く）が検索対象になります。そのため、Gmail でメールの検索を行う場合はデータ接続が必要です。

検索オプションを使用することもできます。検索オプションについて詳しくは、Gmail ウェブサイトをご覧ください。

- 1 受信トレイで **MENU キー**  を押し、[検索]をタップします。
または[検索]キー  を押します。
- 2 検索するキーワードを入力し、画面キーボードの[実行]キーか、検索ボックスの右にある虫めがねアイコン  をタップします。または、検索ボックスの下に表示される、過去に検索したキーワードをタップします。

検索キーワードに一致する語句を含むメールのある、すべてのスレッドのリストが表示されます。検索キーワードはタイトルバーに表示されます。

このリストに表示されるスレッドは、受信トレイやその他のスレッドのリストに表示されるスレッドと同様に操作できます。

検索結果リストにあるスレッドを開くと、スレッド内のメールにあるすべての検索キーワードがハイライト表示されます。

検索キーワードは携帯端末に保存され、以後 Gmail を検索するときの候補として使用されます。保存されたキーワードは、Gmail 設定で消去できます。詳しくは「Gmail の設定変更」（165 ページ）をご覧ください。

スレッドのアーカイブ

スレッドを削除することなく、受信トレイから移動してアーカイブすることができます。アーカイブされたスレッドには[すべてのメール]ラベルが付けられます。過去に付けたラベルはすべて保持されます。「ラベルごとのスレッド表示」(157 ページ)をご覧ください。アーカイブされたスレッドは、検索結果にも表示されます。アーカイブされたメールに返信があった場合、そのスレッドは受信トレイに戻されます。

- ▶ スレッドのリストを表示した状態でスレッドを長押しし、表示されるメニューの[アーカイブ]をタップします。

または

- ▶ 受信トレイやその他のスレッドのリストで1つまたは複数のスレッドをオンにして、[アーカイブ]をタップします。
「スレッドのバッチ操作」(154 ページ)をご覧ください。

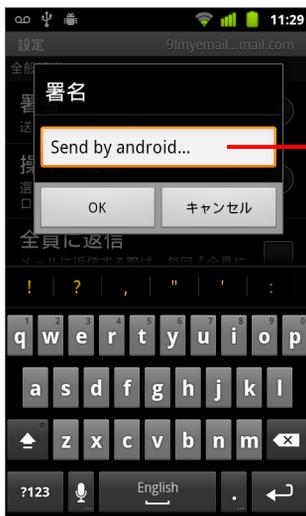
または

- ▶ メールを表示している画面の一番下で[アーカイブ]をタップします。

メールへの署名の追加

携帯端末から送信するすべてのメールに、名前、連絡先情報、または「Android から送信」のようなテキストを数行追加できます。この署名は、ウェブの Gmail から送信するメールに追加される署名とは別に設定します。

- 1 受信トレイまたはラベル付けされたスレッドのリストを開きます。
- 2 **MENU キー**  を押し、[その他]>[設定]>[署名]をタップします。



メールに追加する署名を入力し、**[OK]**をタップします

- 3 署名を入力します。
- 4 **[OK]**をタップします。

キーボード ショートカットの使い方

物理的なキーボードのある携帯端末では、次のキーボード ショートカットを使って、スレッドやメールを操作できます。他にも、トラックボールなどのポインティング デバイスのある携帯端末で使用できるショートカットがあります。

スレッド リストでのショートカット

受信トレイなどのスレッド リストを表示している状態で、次のキーボード ショートカットを使用できます。

u	リストを更新
c	新規作成
Enter	スレッドを開く
y	スレッドをアーカイブ
ALT を押しながらトラックボールをロールアップ	リストの最初に移動
ALT を押しながらトラックボールをロールダウン	リストの最後に移動
Shift+Space	前のページ
Space	次のページ

メールでのショートカット

メールを表示している状態で、次のキーボード ショートカットを使用できます。

r	スレッドの最後のメールに返信
a	スレッドの最後のメールの全員に返信
f	スレッドの最後のメールを転送
y	スレッドをアーカイブ

Gmail の設定変更

Gmail では、さまざまな設定を変更できます。設定は Gmail アカウントごとに固有なので、設定変更は現在のアカウントにのみ適用されます。「アカウントを切り替える」(142 ページ) をご覧ください。

通知音量や一部の同期設定は、設定アプリケーションで変更します。「設定」(363 ページ) をご覧ください。

- ▶ 設定を変更するには、受信トレイを開き、MENU キー  を押して、[その他]>[設定] をタップします。

全般設定

優先トレイ オンに設定すると、優先トレイがデフォルトの受信トレイとなり、Gmail を起動したときに新着メールがあると、受信トレイの代わりに優先トレイが開き、重要なスレッドに新着メールがあるときのみ通知を受けられるようになります。この設定は、ウェブの Gmail で優先トレイを表示するように設定している場合にのみ表示されます。「優先トレイの操作」(151 ページ) をご覧ください。

署名 送信するすべてのメールに追加するテキストを入力するためのダイアログが開きます。「メールへの署名の追加」(163 ページ) をご覧ください。

操作の確認 特定の操作（アーカイブ、削除、メール送信）を行うときに確認ダイアログを表示するかどうかを設定するダイアログが開きます。

全員に返信 オンにすると、メールのヘッダーに [返信] ボタンではなく [全員に返信] ボタンが表示されるようになり、矢印をタップしなくてもこのボタンを使用できるようになります。

自動表示 表示しているメールのスレッドを削除またはアーカイブした後に表示する画面（次のスレッド、前のスレッド、受信トレイ、または操作している他のスレッドのリスト）を設定するダイアログが開きます。

メッセージの文字サイズ 表示するメールの文字サイズを指定するダイアログが開きます。

バッチ操作 オンに設定すると、各スレッドの左にチェックボックスが表示されます。このチェックボックスを使用してバッチ処理を行うことができます。「スレッドのバッチ操作」(154 ページ) をご覧ください。

検索履歴を消去 タップすると、いずれかのアカウントで過去に Gmail で検索したキーワードの履歴が消去されます。「メールの検索」(161 ページ) をご覧ください。

ラベル 同期するスレッドを管理するための [ラベル] 画面が開きます。「ラベルごとのスレッドの同期」(158 ページ) をご覧ください。

通知設定

メール着信通知 オンに設定すると、新しいメールを受信したときに通知が届きます。「通知の管理」(31 ページ) をご覧ください。

着信音を選択 新しいメールを受信したときの着信音を設定するためのダイアログが開きます。このダイアログでは、携帯端末のデフォルトの着信音やマナーモード オプションも設定できます。

バイブレーション 携帯端末を振動させるタイミング (Gmail 通知を受信したとき、マナーモード設定時のみ、振動させない) を設定するダイアログが開きます。「音の設定」(372 ページ) をご覧ください。

一度に通知する オンにすると、最後にメールを読んだ後、最初に新着メールが届いたときにのみ Gmail から通知が送信されます。その後は新着メールが届いても通知は送信されません。

カレンダー

携帯端末のカレンダーは、ウェブベースの Google カレンダーのカレンダーサービスを使用して、予定、会議、約束の作成や管理を行います。Microsoft Exchange ActiveSync のカレンダーサービスを使用することもできます。

携帯端末のカレンダーは、携帯端末用に最適化されています。カレンダーの作成など、カレンダーの一部の機能はウェブ上の Google カレンダーでしか利用できません。ウェブバージョンのカレンダーの機能については、<http://calendar.google.com> をご覧ください。

このセクションの内容

- 「カレンダーと予定の表示」(168 ページ)
- 「[予定リスト]ビューの操作」(170 ページ)
- 「[日]ビューの操作」(171 ページ)
- 「[週]ビューの操作」(173 ページ)
- 「[月]ビューの操作」(174 ページ)
- 「予定の詳細の表示」(175 ページ)
- 「予定の作成」(176 ページ)
- 「予定の編集」(177 ページ)
- 「予定の通知の設定」(179 ページ)
- 「予定の通知への対応」(180 ページ)
- 「カレンダーの同期と表示」(181 ページ)
- 「カレンダー設定の変更」(182 ページ)

カレンダーと予定の表示

カレンダーを開くと、作成した予定や招待された予定が表示されます。

端末の初期設定時に、既存の Google アカウントを使用するように設定するか、新しいアカウントを作成します。端末でカレンダー アプリケーションを初めて開くと、ウェブ上で使用する Google アカウントのカレンダーで作成した既存の予定が表示されます。

Google カレンダーまたは Microsoft Exchange カレンダーを使用している別のアカウントを端末に追加して、端末のカレンダーに表示されるように設定できます。「アカウント」(129 ページ) をご覧ください。

端末で予定を同期するよう、初めてカレンダーを設定すると、先月から1年後までの予定が同期されます。その後端末とウェブ間で今後1年分のカレンダーの予定が常に同期されます。端末のカレンダーで追加したそれ以降の予定も端末に保存されます。

カレンダーを開く

- ▶ ホーム画面またはランチャーでカレンダーアイコン  をタップします。

アプリケーションを開く方法や切り替える方法については、「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ) をご覧ください。

端末に追加してカレンダーを同期するよう設定した各アカウントの予定が、カレンダーに表示されます。アカウントの追加については「アカウント」(129 ページ) をご覧ください。

予定はカレンダーごとに異なる色で表示されます。端末にどのカレンダーが表示されるかについて詳しくは、「カレンダーの同期と表示」(181 ページ) をご覧ください。

カレンダーには、接続先モバイルネットワークが提供するローカルタイムゾーンを使って、現在時刻（ビューによっては赤のマーカーとライン）と予定の時刻がデフォルトで表示されます。旅行中は、自宅タイムゾーンを設定してカレンダーで使用できます。「カレンダー設定の変更」(182 ページ) をご覧ください。



カレンダーの表示を変更する

- ▶ MENU キー \equiv を押して、[予定リスト]、[日]、[週]、または [月] をタップします。
表示方法に応じて、カレンダーの予定が一定期間分表示されます。詳しくは以下のページをご覧ください：
 「[予定リスト]ビューの操作」 (170 ページ)
 「[日]ビューの操作」 (171 ページ)
 「[週]ビューの操作」 (173 ページ)
 「[月]ビューの操作」 (174 ページ)
- ▶ [予定リスト]ビューの予定の詳細を表示するには、予定をタップします。
- ▶ [月]ビューで特定の日を表示するには、表示したい日をタップします。

[予定リスト]ビューの操作

[予定リスト]ビューでは、予定のリストが時系列で表示されます。終日の予定や複数の日にまたがる予定は、各日の一番上に表示されます。予定のない日は表示されません。

[予定リスト]ビューに切り替える

- ▶ MENU キー  を押して、[予定リスト]をタップします。



[予定リスト]ビューの予定の詳細を見る

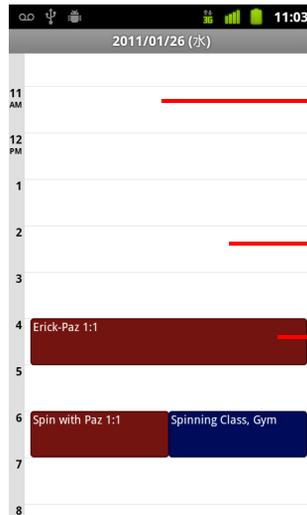
- ▶ 予定をタップします。
予定の詳細を表示する画面が開きます。「予定の詳細の表示」(175 ページ)をご覧ください。

[日]ビューの操作

[日]ビューでは、1行に1時間の予定が図表形式で表示されます。赤い線は現在の時間を示しています。終日の予定や複数の日にまたがる予定は、一番上に表示されます。予定が始まる時間に対応する行には、各予定のタイトルなどが表示されます。

[日]ビューに切り替える

- ▶ MENU キー  を押して、[日] をタップします。



過去の日を表示するには左に、先の日を表示するには右にスワイプします

時間枠または予定を長押しすると、その時間に新しい予定を作成できます

予定をタップすると詳細が表示されます

- ▶ 他の日を表示するには、左右にスワイプします。

[日]ビューの予定の詳細を見る

- ▶ 予定をタップすると詳細が表示されます。
「予定の詳細の表示」(175 ページ) をご覧ください。
- ▶ 予定を表示、編集、削除するためのオプションを表示したり、同じ時間に新しい予定を作成したりするには、予定を長押ししてメニューを開きます。

[日]ビューで予定を追加する

- ▶ 空の領域かその日の予定を長押しして、メニューを開きます。メニューには、その時間に新しい予定を作成するためのオプションが表示されます。

「予定の作成」(176 ページ) をご覧ください。

[週]ビューの操作

[週]ビューでは、1週間の予定が図表形式で表示されます。終日の予定や複数の日にまたがる予定は、一番上に表示されます。

[週]ビューに切り替える

- ▶ MENU キー  を押して、[週] をタップします。



[週]ビューの予定の詳細を見る

- ▶ 予定をタップすると詳細が表示されます。
「予定の詳細の表示」(175 ページ) をご覧ください。
- ▶ 予定を表示、編集、削除するためのオプションを表示したり、同じ時間に新しい予定を作成したりするには、予定を長押ししてメニューを開きます。

[週]ビューで予定を追加する

- ▶ 空の領域かその週の予定を長押しして、メニューを開きます。メニューには、その時間に新しい予定を作成するためのオプションが表示されます。
「予定の作成」(176 ページ) をご覧ください。

[月]ビューの操作

[月]ビューでは、1か月の予定が図表形式で表示されます。予定のある日は、その日のボックスに青色の垂直バーが表示されます。

[月]ビューに切り替える

- ▶ MENU キー  を押して、[月] をタップします。



過去の月を表示するには上に、先の月を表示するには下にドラッグします

特定の日をタップするとその日の予定が表示されます

[月]ビューの予定の詳細を見る

- ▶ 特定の日をタップすると、その日の予定が[日]ビューで表示されます。「[日]ビューの操作」(171 ページ) をご覧ください。

予定の詳細の表示

予定の詳細は、表示中のビューによりさまざまな方法で見ることができます。

予定の詳細を表示する

- ▶ [予定リスト]ビュー、[日]ビュー、[週]ビューで予定をタップすると詳細が表示されます。
- ▶ [月]ビューでは、予定を表示したい日をタップすると[日]ビューに切り替わります。予定をタップすると詳細が表示されます。



予定に参加するかどうかを設定または変更するには、[参加しますか?]メニューを使用します。

自分の状況の下に、他の参加者の状況が表示されます。

自宅タイムゾーンで動作するようにカレンダーを設定していない限り、予定の時刻は、地域の携帯通信会社が設定したタイムゾーンで表示されます。詳しくは、「カレンダー設定の変更」(182 ページ)をご覧ください。

予定の通知は変更することができます。また、プラスアイコン **+** をタップして通知を追加することもできます。「予定の通知の設定」(179 ページ)をご覧ください。

予定を変更する権限がある場合は、MENU キー **≡** を押して予定を編集、削除できます。詳しくは「予定の編集」(177 ページ)をご覧ください。

予定の作成

端末のカレンダーを使用して、端末とウェブの Google カレンダーで表示する予定を作成できます。

予定の作成

- 1 カレンダーのいずれかのビューで **MENU キー**  を押し、[**予定を作成**] をタップして、新しい予定の [**予定の詳細**] 画面を開きます。
[**日**]、[**週**]、[**月**] ビューのどこかを長押しする方法もあります。表示されるメニューで [**予定を作成**] をタップすると、[**予定の詳細**] 画面が開き、その日時に入力されている内容が表示されます。
- 2 予定の詳細を追加します。
予定のタイトル、時間、オプションの詳細情報を入力します。
日時を設定する場合、ダイアログで **プラス ボタン** と **マイナス ボタン** を使用するか、日時をタップして入力するか、画面キーボードを使用できます。
デフォルトのタイムゾーンを使用することもできますし、予定に別のタイムゾーンを設定することもできます。自宅タイムゾーンで動作するようにカレンダーを設定していない限り、予定のデフォルトのタイムゾーンは地域の携帯通信会社が設定したタイムゾーンとなります。詳しくは、「**カレンダー設定の変更**」(182 ページ) をご覧ください。
カレンダーが複数ある場合は、予定を追加するカレンダーを選択します。
プラス アイコン  をタップして通知を追加します。「**予定の通知の設定**」(179 ページ) をご覧ください。
- 3 その予定にゲストを招待します。
[**ゲスト**] フィールドに、その予定に招待する全員のメールアドレスを入力します。複数のアドレスを入力する場合は、カンマ (,) で区切ります。招待状を送った相手が Google カレンダーを使用していると、メールだけでなく、カレンダーにも招待状が届きます。
- 4 **MENU キー**  を押し、[**詳細項目を表示**] をタップすると、予定の詳細を追加できます。
- 5 [**予定の詳細**] 画面の一番下までスクロールして [**完了**] をタップします。
予定がカレンダーに追加されます。

予定の編集

携帯端末やウェブ上で作成した予定を編集できます。権限が付与されている場合は、他のユーザーが作成した予定を編集することもできます。

予定を編集する

- 1 予定の概要を開きます。
「予定の詳細の表示」(175 ページ) をご覧ください。
- 2 **MENU キー**  を押して、[**予定を編集**] をタップします。
[予定の詳細] 画面が開きます。この画面は、「予定の作成」(176 ページ) で説明した画面と同じです。
MENU キー  を押して、[**詳細項目を表示**] をタップすると、予定の詳細を追加、編集できます。
- 3 予定を変更します。
- 4 画面の一番下までスクロールして[**完了**] をタップします。

予定の削除

携帯端末やウェブ上で作成した予定を削除できます。権限が付与されている場合は、他のユーザーが作成した予定を削除することもできます。

予定を削除する

- 1 予定の概要を開きます。
「予定の詳細の表示」(175 ページ) をご覧ください。
- 2 MENU キー  を押して [予定を削除] をタップします。
- 3 ダイアログが開いたら、[OK] をタップします。

予定の通知の設定

1つの予定に対し、1つまたは複数の通知を設定できます。また、予定を作成した本人かどうか、詳細の編集権限があるかどうかにかかわらず、通知を設定できます。

予定の通知を設定する

- 1 予定の概要を開きます。
「予定の詳細の表示」(175 ページ) をご覧ください。
- 2 通知を設定済みの場合は、プラスアイコン **+** をタップして通知を追加します。
予定の10分前に通知するという新しい通知が追加されます。
- 3 通知時間をタップするとダイアログが表示されます。そのダイアログで、予定開始時間のどの程度前に通知するかを選んでタップします。
指定した時間になると、予定が近づいているという通知を受け取ります。「予定の通知への対応」(180 ページ) をご覧ください。
ウェブ上の Google カレンダーを使用して、通知の追加設定を行うことができます。

予定の通知を削除する

- 1 予定の概要を開きます。
- 2 通知のマイナスアイコン **-** をタップします。

予定の通知への対応

予定の通知が設定されている場合、通知時刻になると、ステータスバーの通知領域にその予定のアイコンが表示されます。「通知の管理」(31 ページ)をご覧ください。

予定の通知に対応する

- ▶ ステータスバーに通知が表示された場合は、ステータスバーを下にドラッグすると[通知]パネルが開きます。予定の通知をタップして[カレンダーの通知]リストを開きます。
- ▶ アラートと通知を受け取った場合は、[カレンダーの通知]リストが開き、対応が必要なすべての通知が表示されます。
- ▶ [カレンダーの通知]リストで予定をタップすると、予定の詳細が表示されます。
- ▶ [カレンダーの通知]リストで[すべてスヌーズ]をタップすると、予定に設定されたすべての通知が5分間無効になります。
- ▶ [カレンダーの通知]リストで[通知を消去]をタップすると、リストのすべての通知が削除されます。
- ▶ [カレンダーの通知]リストで通知を保留するには[戻る]キー ← を押します。アイコンはステータスバーに残り、通知は[通知]パネルに残ります。

カレンダーの同期と表示

カレンダーサービスを利用できる端末に Google アカウントや Microsoft Exchange ActiveSync アカウントを追加し、カレンダーの予定を端末と同期するよう設定すると、それらのカレンダーの予定が端末のカレンダーに追加され、常に最新のデータで更新されます。

設定アプリケーションの [アカウントと同期の設定] 画面で、カレンダーの予定の変更を Google またはその他のカレンダーサービスと同期するかどうかを設定します (「アカウントと同期の設定」(380 ページ) をご覧ください)。端末にカレンダーを保存したり (すみやかにアクセスするため)、端末のカレンダーでの表示 / 非表示を設定したりすることもできます。

端末で保存または表示するカレンダーを設定する

- 1 MENU キー  で、[その他] > [カレンダー] をタップします。

[カレンダー] 画面には、予定を端末と同期するように設定した各アカウントで追加または登録されているすべてのカレンダーが、アカウントごとに表示されます (カレンダーを同期しないように設定したアカウントのカレンダーはリストに表示されません)。

端末でアカウントの名前をタップすると、そのアカウントのカレンダーの表示 / 非表示を切り替えることができます。

各カレンダーの横にあるアイコンは、予定が端末と同期済みかどうか (端末に保存されているかどうか)、カレンダー内に表示されているかどうかを示します。

	カレンダーの予定は端末に保存され、カレンダーに表示されています
	カレンダーの予定は端末に保存されていますが、カレンダーに表示されていません
	カレンダーの予定が端末と同期されていません

- 2 カレンダーの横にあるアイコンをタップすると、カレンダーを端末に保存するかどうか、そしてカレンダーに表示するかどうかを変更できます。
カレンダーを端末に保存しないように設定してもカレンダーの利用登録には影響しないため、ウェブ上の Google カレンダーやその他のサービスで引き続きそのカレンダーを利用できます。
- 3 [OK] をタップします。

カレンダー設定の変更

カレンダーで予定を表示する方法や、近日中の予定を通知する方法など、さまざまな設定を変更できます。

▶ カレンダー設定を変更するには、カレンダーを開いて **MENU キー**  を押し、[その他]>[設定]をタップします。

自宅タイムゾーン 旅行中にカレンダーや予定の情報を表示するとき、接続先モバイルネットワークのローカルタイムゾーンの代わりに自宅タイムゾーンを使用する場合は、オンにします。

自宅タイムゾーン [自宅タイムゾーン]設定がオンの場合、旅行中にカレンダーで使用するタイムゾーンを設定するためのダイアログが開きます。

辞退した予定を非表示 招待を辞退した予定を表示しない場合はオンにします。

通知方法 アラートを作成、通知を送信、端末で予定の通知を無効にするなど、予定の通知に関する設定を行うためのダイアログが表示されます。「予定の通知の設定」(179 ページ)と「予定の通知への対応」(180 ページ)をご覧ください。

着信音を選択 予定の通知を受信したときの着信音を設定するためのダイアログが表示されます。

バイブレーション 予定の通知を受信したとき端末を必ず振動させる、マナーモード設定時のみ振動させる、バイブレーションを使用しない、のいずれかに設定するためのダイアログが表示されます。「音の設定」(372 ページ)をご覧ください。

デフォルトの通知時間 予定の開始時間のどのくらい前に通知するか、のデフォルト時間を選択するためのダイアログが表示されます。

ビルドバージョン 使用しているカレンダーのバージョンです。

Google Voice

携帯通信会社のボイスメールサービスの代わりに Google Voice を使用できます。Google Voice では、すべてのボイスメールメッセージを通常のメールと同じように読むことができます。好きな順序でメッセージにアクセスし、音声をテキスト変換したメッセージを読み、カラオケのようなインターフェースで任意の位置からメッセージを再生することができます。

また、携帯通信会社の長距離電話サービスの代わりに、Google Voice の低価格の国際通話料金で国際電話をかけることもできます。

Google Voice アカウントと Google Voice 番号を既にお持ちの場合は、一部またはすべての発信を Google Voice から行うよう携帯端末を設定できます。発信先には、端末の電話番号の代わりに Google Voice 番号が発信者番号として表示されます。

Google Voice 番号の取得方法など、Google Voice について詳しくは、<http://www.google.com/voice> をご覧ください。

現在のところ、Google Voice は米国内でのみご利用いただけます。

このセクションの内容

「Google Voice の起動と受信トレイの表示」(184 ページ)

「ボイスメールの再生とテキスト変換」(186 ページ)

「テキスト メッセージの送受信」(188 ページ)

「メッセージにスターを付ける」(189 ページ)

「ラベルごとのメッセージ表示」(190 ページ)

「Google Voice の設定」(191 ページ)

「Google Voice を使った発信」(193 ページ)

「Google Voice の設定の変更」(194 ページ)

Google Voice の起動と受信トレイの表示

Google Voice では、Google Voice の受信トレイの確認やメッセージのやり取りなど、さまざまなタスクを行うことができます。

発信する際は、Voice アプリケーションではなく電話アプリケーションを使用します。「Google Voice を使った発信」(193 ページ) をご覧ください。

初めて Google Voice を起動すると、設定画面が表示されます。詳しくは、「Google Voice の設定」(191 ページ) をご覧ください。

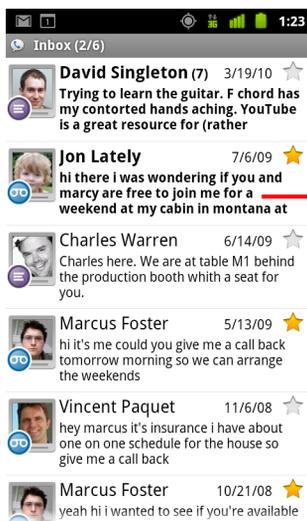
Google Voice を起動する

- ▶ ランチャーまたはホーム画面で Google Voice アイコン  をタップします。アプリケーションを開く方法や切り替える方法については、「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ) をご覧ください。

Google Voice を初めて起動すると、セットアップウィザードが表示されます。ウィザードの指示に従って、携帯端末で使用する Google Voice の機能を選択して設定します。

初期設定が終わると、Google Voice で最後に表示していた画面が表示されます。Google Voice をしばらく使用していない場合は、受信トレイが表示されます。

受信トレイには、受信したボイスメール (📞 アイコン付き) とテキストメッセージ (📧 アイコン付き) が、送信者、送信日とメッセージの最初の部分と共に表示されます。



ボイス メールまたはテキスト メッセージをタップして開きます

受信トレイを開く

Google Voice の画面からは、いつでも受信トレイに戻れます。

- ▶ 受信トレイ画面が表示されるまで、[戻る]キー ← を押します。

アカウントの残高を確認する

初めて Google Voice アカウントを作成すると、あらかじめ残高が 10 セントになっていてすぐに通話してみることができます。残高を増やすにはブラウザでアカウントにログインする必要がありますが、現在の残高は携帯端末で確認できます。

- ▶ Google Voice の受信トレイで **MENU キー** ≡ を押し、[残高]をタップします。

ダイアログに現在のアカウントの残高が表示されます。

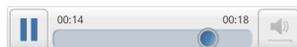
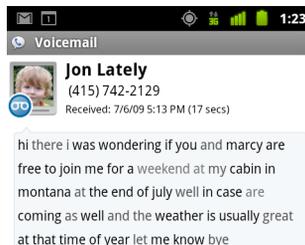
ボイスメールの再生とテキスト変換

Google Voice の受信トレイには、受信したボイスメール メッセージのリストが表示されます。ボイスメールは、携帯通信会社のボイスメールサービスで再生するときと同じように、電話アプリケーションで再生することができます。「ボイスメールの再生」(91 ページ) をご覧ください。

また、ボイスメールの音声をテキスト変換したメッセージもメールで送信されます。

ボイスメールをテキスト変換したメッセージを読む

- 1 Google Voice を起動して受信トレイを開きます。
「Google Voice の起動と受信トレイの表示」(184 ページ) をご覧ください。
受信トレイにメッセージが表示され、メッセージごとに送信者、受信日、テキスト変換されたメッセージの最初の部分を確認できます。
- 2 メッセージを読むには、そのメッセージをタップします。
テキスト変換されたメッセージがウィンドウに表示されます。このウィンドウには、メッセージを残した人の名前や電話番号など、メッセージに関する情報も表示されます。



ボイスメールを再生する

- 1 Google Voice を起動して受信トレイを開きます。
- 2 再生するメッセージをタップします。
ボイスメールを再生するためのコントロールが画面の下部に表示されます。
- 3 再生アイコン  をタップすると、メッセージが再生されます。
メッセージは、設定に応じてイヤホンまたはスピーカーを通して再生されます。「Google Voice の設定の変更」(194 ページ) をご覧ください。
スピーカーアイコン  をタップすると、イヤホンではなく端末のスピーカーを通してメッセージが再生されます。
また、再生を一時停止 / 再開したり、進行状況を示すインジケータをドラッグしてメッセージの別の部分を再生したりすることもできます。

メッセージに返信する

- 1 読む (または再生する) メッセージを開きます。
- 2 MENU キー  を押し、[発信] または [テキスト] をタップします。
[発信] をタップすると、電話アプリケーションが起動して、メッセージを残した相手の電話番号に発信します。
[テキスト] をタップすると、開いた Google Voice ウィンドウでテキストメッセージを作成できます。詳しくは、「テキスト メッセージの送受信」(188 ページ) をご覧ください。

メッセージを削除する

- ▶ 読む / 再生するときと同じようにメッセージを開き、MENU キー  を押し、[その他]、[削除] の順にタップします。
または
- ▶ 受信トレイまたはラベル付きメッセージのフォルダでメッセージを長押しします。メニューが開いたら、[削除] をタップします。
削除したメッセージを確認するには、[ゴミ箱] ラベルが付いたメッセージを表示します。「ラベルごとのメッセージ表示」(190 ページ) をご覧ください。

テキスト メッセージの送受信

Google Voice を使ってテキスト メッセージ（SMS）を送受信できます。

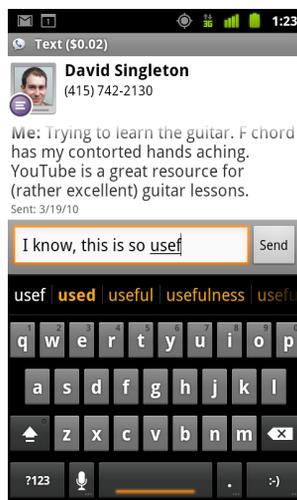
テキスト メッセージを送信する

- 1 受信トレイを開きます。
- 2 **MENU** キー  を押して、[作成] をタップします。
- 3 メッセージを送信する電話番号を入力します。
携帯電話番号と一緒に連絡先名も入力できます。
- 4 テキスト メッセージを入力します。
- 5 [送信] をタップします。

テキスト メッセージを読んで返信する

Google Voice 番号にテキスト メッセージが送信されると、Google Voice の受信トレイに新着メッセージの通知が表示されます。

- 1 通知パネルを開いて、メッセージの通知をタップします
（「通知の管理」（31 ページ）をご覧ください）。
受信トレイにある任意のメッセージをタップして読むこともできます。
該当のメッセージとスレッド内にある過去のメッセージが表示されます。
- 2 メッセージに返信するには、テキスト メッセージを入力して [送信] をタップします。



メッセージにスターを付ける

ボイスメールやテキストメッセージを管理しやすくするため、メッセージにスターを付けることができます。

メッセージにスターを付ける

- ▶ 受信トレイやその他のフォルダのメッセージリストで、メッセージのスターアイコンをタップします。
アイコンが金色（★）に変わります。

メッセージのスターを外す

- ▶ スターをもう一度タップします。

スター付きメッセージを表示する

スター付きのメッセージのみを含むフォルダを開くことができます。

- 1 受信トレイやその他のメッセージフォルダを表示しているときに **MENU** キー **≡** を押し、**[ラベル]** をタップします。
「ラベルごとのメッセージ表示」(190 ページ) をご覧ください。
- 2 **[スター付き]** をタップします。
フォルダが開き、スター付きメッセージのリストが表示されます。

ラベルごとのメッセージ表示

「ボイスメール」、「テキスト」、「発信」、「着信」など、同じラベルが付いたメッセージのリストを表示できます。

- 1 受信トレイやその他のメッセージフォルダを表示しているときに **MENU** キー  を押し、[ラベル] をタップします。

Google Voice のラベルはスクロールリストで表示されます。



- 2 ラベルをタップすると、そのラベルが付いたメッセージを含むフォルダが表示されます。

フォルダは受信トレイと似ていますが、タイトルバーには「受信トレイ」の代わりにラベルが表示されます。ラベルが付けられたスレッドのリストは、受信トレイと同じように操作できます。

Google Voice の設定

Google Voice を初めて起動するとウィザードが表示され、携帯端末で使用する Google Voice サービスを設定できます。ログアウトした場合は、次に Google Voice を起動したときにウィザードが再び表示されます。Google Voice の設定を変更することで、使用するサービスをいつでも変更できます。「Google Voice の設定の変更」(194 ページ)をご覧ください。

Google Voice を設定する

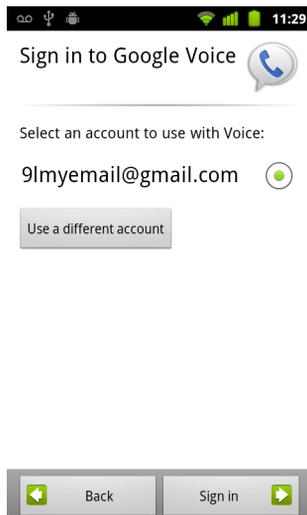
- 1 Google Voice を起動します。

初期画面が開き、携帯端末の Google Voice の設定処理が開始されます。ウィザードで表示されるオプションは、Google Voice アカウントの有無やご利用の携帯通信会社でサポートされている機能により異なります。

- 2 Google Voice にログインします。

ログインに使用した Google アカウントの受信トレイが開き、メッセージが表示されます。この Google アカウントは、携帯端末で使用している他の Google Voice サービスでも使用されます。

[ログイン] をタップして、携帯端末のメインの Google アカウントにログインするか、[別のアカウントを使用] をタップして、別の Google アカウントにログインします。



- 3 テキスト メッセージによる電話番号の確認を求められた場合は、[次へ] をタップします。

Google Voice では、この手順を通じて携帯端末と通信できることを確認します。

- 4 ボイスメール PIN を入力します。

ボイスメール PIN は、電話アプリケーションからのボイスメールを確認するために使用するコードです。

- 5 Google Voice を使用して発信する電話番号を選択します。

Google Voice の低価格の国際通話料金を活用するために、すべての国際電話を Google Voice から発信するよう設定できます。また、発信のたびに確認するよう設定したり、Google Voice を一切使用しないよう設定したりすることもできます。

Google Voice 番号が登録されている Google Voice アカウントにログインしている場合、Google Voice からすべての発信を行うよう設定できます。この場合、発信先には、携帯端末の電話番号の代わりに Google Voice 番号が発信者番号として表示されます。

- 6 ボイスメール サービスを設定します。

Google Voice アプリケーションから設定アプリケーションが起動されるので、ボイスメール サービスとして Google Voice とご利用の携帯通信会社のどちらを使用するかを指定します。

- 7 ボイスメールの設定が完了したら、[戻る <] を押します。

- 8 受信トレイの同期画面で、[完了] をタップします。

詳しくは「同期と通知の設定」(195 ページ) をご覧ください。

Google Voice の受信トレイが開きます。Google Voice を開始する手順について詳しくは、「Google Voice の起動と受信トレイの表示」(184 ページ) をご覧ください。

Google Voice を使った発信

Google Voice を使用して発信する方法は、携帯通信会社を介して発信する場合とほぼ同じですが、Google Voice 番号の有無や携帯端末での Google Voice の設定内容に応じて操作が多少異なります。

- 1 Google Voice を使用しない場合と同様に、連絡先に発信します。
- 2 発信のたびに Google Voice を使用するかどうかを確認するよう設定している場合は、ダイアログの **[Google Voice を使って発信する]** をタップします。

常に Google Voice を使用して発信するよう設定している場合、このダイアログは表示されません。

Google Voice を使用して発信していることを通知するメッセージが表示されます。

市外通話をかける場合、1分ごとの料金と、Google Voice アカウントを使ってその料金であと何分通話できるかを通知するメッセージが再生されます。

Google Voice を使用しない場合と同様に通話します。詳しくは、「通話」(81 ページ) をご覧ください。

Google Voice の設定の変更

携帯端末で使用するサービスや新着メッセージの通知方法など、Google Voice のさまざまな設定を変更できます。

- ▶ 使用するボイスメール サービス以外の Google Voice 設定を変更するには、Google Voice の受信トレイを表示し、**MENU キー**  を押して[設定]をタップします。
- ▶ 使用するボイスメール サービスを変更するには、設定アプリケーションを使用します。
詳しくは「通話設定」(370 ページ) をご覧ください。

全般設定

発信 Google Voice を使用して一部またはすべての発信を行うかどうかを指定するダイアログが開きます。詳しくは、「Google Voice の設定」(191 ページ) をご覧ください。

この携帯電話の番号 Google Voice を使用する携帯端末の番号を変更または追加するダイアログが開きます。

ボイスメールの再生 ボイスメールを再生するときに、デフォルトで携帯端末のイヤホンとスピーカーのどちらを使用するかを指定するためのダイアログが表示されます。

同期と通知 「同期と通知の設定」(195 ページ) をご覧ください。

ログアウト タップすると、携帯端末で使用しているすべての Google Voice サービスが停止されます。携帯通信会社のボイスメール サービスの使用が再開され、発信者番号には携帯端末の番号が表示されます。次に Google Voice を起動すると、設定ウィザードが再び表示されます。「Google Voice の設定」(191 ページ) をご覧ください。

法的情報 タップすると、Google Voice の利用規約やプライバシー ポリシーなど、重要な法的情報を示す画面が開きます。

自分の Google Voice 番号 携帯端末での発信や着信に使用するよう設定した Google Voice 番号が表示されます。

ビルド番号 携帯端末にインストールされている Google Voice のバージョンが表示されます。

同期と通知の設定

受信トレイの同期 オンにすると、受信トレイに新しいメッセージが届くとすぐに Google Voice からの通知が表示されます。この機能を使うには、[アカウントと同期の設定] でバックグラウンド データを有効にする必要があります（「アカウントと同期の設定」（380 ページ）をご覧ください）。

バックグラウンドデータ タップすると、[アカウントと同期の設定] 画面が開きます。「アカウントと同期の設定」（380 ページ）をご覧ください。

テキストメッセージ通知 オンにすると、Google Voice の受信トレイに新着メッセージが届くたびに、ステータスバーに通知が表示されます（オンに設定するのは、この機能と受信トレイの同期機能のいずれか一方にしてください。両方をオンにすると、新着メッセージが届くたびに通知が2つ表示されます）。

受信トレイの通知 オンにすると、新着メッセージの通知が表示されるようになります。

着信音の選択 Google Voice から通知を受信したときに鳴らす着信音を選択します。

バイブレーション Google Voice から通知を受信すると、携帯端末が振動します。

ライト Google Voice から通知を受信すると、トラックボールが点滅します。

Google トーク

Google トークは Google のインスタント メッセージ サービスです。携帯端末、ウェブ、またはデスクトップ アプリケーションで、Google トークを使用している他のユーザーとリアルタイムで会話することができます。

このセクションの内容

- 「ログインと[友だちリスト]の使用」(198 ページ)
- 「友だちとのチャット」(200 ページ)
- 「オンライン ステータスの変更と監視」(203 ページ)
- 「[友だちリスト]の管理」(205 ページ)
- 「Google トーク設定の変更」(207 ページ)

ログインと[友だちリスト]の使用

友だちとチャットするには、Google トークにログインします。

ログアウトするまでは、他のアプリケーションを使ってもログインしたままになります。

Google トークを起動してログインする

- ▶ ランチャーまたはホーム画面で Google トーク アイコン  をタップします。

アプリケーションを開く方法や切り替える方法については、「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ) をご覧ください。

Google トークを起動すると、最初に[友だちリスト]が表示されます。このリストには、これまでウェブ、携帯端末、デスクトップアプリケーションで Google トークを使用して追加した友だちが表示されます。チャットに招待するために友だちをこのリストに追加する方法は、「[友だちリスト]の管理」(205 ページ) をご覧ください。



チャットに友だちを招待する方法と、チャットへの招待を承諾する方法については、「友だちとのチャット」(200 ページ) をご覧ください。

[友だちリスト] に戻る

友だちとチャット中に [友だちリスト] に戻って、チャットに友だちを招待したり、友だちを追加したりできます。

- ▶ **MENU キー** ≡ を押して、[**友だちリスト**] をタップします。

Google トークからログアウトする

すべてのチャットや招待をパソコンの Google トークに切り替える場合などは、Google トークからログアウトします。ログアウトすることで、電池を長持ちさせることができます。

- ▶ [友だちリスト] で **MENU キー** ≡ を押して、[**ログアウト**] をタップします。

ログアウトすると、チャットの通知が受信されなくなり、Gmail などの他のアプリケーションで他のユーザーの Google トーク ステータスが表示されなくなります。

友だちとのチャット

友だちとチャットする

- 1 [友だちリスト]で友だちをタップします。

既に他の友だちとチャット中の場合は、**MENU キー**  を押し、[友だちリスト]をタップして、他の友だちをチャットに招待できます。

チャット画面が開きます。

- 2 メッセージを入力し、[送信]をタップします。



やり取りしたメッセージは交互に表示されます。メッセージの他に、このチャットが記録されているかどうかや、応答がしばらくなかった場合はメッセージの送信時間など、チャットの情報も表示されます。

画面キーボードで絵文字キーを長押しし、絵文字をタップすると絵文字を入力できます。また、**MENU キー**  を押して[その他]>[絵文字を挿入]をタップすると、絵文字のスクロールリストが表示されます。

チャットセッションは、終了するまで続きます。

チャット中の友だちは、[友だちリスト]の一番上に表示されます。

チャットへの招待を承諾する

友だちから Google トークのメッセージが届くと、通知が表示されます。その友だちのエントリが [友だちリスト] の一番上に移動し、メッセージが表示されます。

- ▶ [友だちリスト] でその友だちをタップします。

または

- ▶ [通知] パネルを開き、チャットの通知をタップします。

「通知の管理」(31 ページ) をご覧ください。

チャット ウィンドウが開き、友だちとメッセージのやり取りができます。

アクティブなチャットを切り替える

複数のチャットが進行中の場合は、チャットを切り替えることができます。

- ▶ [友だちリスト] で、チャットする友だちの名前をタップします。

または

- ▶ チャット画面または [友だちリスト] で、MENU キー  を押して [チャット相手の切替] をタップし、チャットする友だちをタップします。

または

- ▶ 友だちとチャットしながら、画面を左、または右にスワイプします。

グループチャットに友だちを招待する

チャット中に、他の友だちをグループチャットに招待できます。

- 1 チャット画面で、MENU キー  を押して、[グループチャット] をタップします。

- 2 招待する友だちの名前をタップします。

招待した友だちと現在の参加者が、グループチャットへ招待されます。招待を承諾したユーザーがグループチャットに追加されます。

グループチャットでは、全員が他の参加者のメッセージを見ることができます。

グループチャットは、[友だちリスト] の一番上にグループチャットアイコンと共に表示されます。

チャットを記録する、またはオフレコにする

Google トーク メッセージは保存されるため、後で参照したり、Gmail の [チャット] フォルダで検索したりできます。チャット メッセージを保存しない場合は、オフレコにできます。

- ▶ チャット画面を開き、MENU キー  を押して [オフレコにする] をタップします。
チャット メッセージの保存を再開するには、MENU キー  を押して [オフレコをやめる] をタップします。

チャットを終了する

チャットを終了すると、その友だちは [友だちリスト] の一番上に表示されなくなり、チャットは [チャット相手の切替] 画面に表示されなくなります。チャットのテキストは破棄されません。チャットを再開すると、新しいチャットウィンドウに、前回のチャットが表示されます。

- ▶ [友だちリスト] で、チャットを終了する友だちを長押しし、表示されるメニューで [チャット終了] をタップします。

または

- ▶ チャット画面で、MENU キー  を押して [チャット終了] をタップします。

オンライン ステータスの変更と監視

Google トーク、Gmail、Google マップなどのアプリケーションでは、あなたや友だちの Google トーク ステータスがアイコンで表示されます。

	オンライン : Google トークにログイン中でチャットできる状態です。
	不在 : Google トークにログイン中ですが、現在は席を外しています。
	取り込み中 : Google トークにログイン中ですが、忙しくてチャットできません。
	Google トークからログアウトしています。
	非表示 : Google トークにログイン中ですが、他のユーザーにはログアウトしているように見えます。

自分のオンライン ステータスを変更できます。また、他の Google トークユーザーに公開する自分のステータス メッセージや画像も変更できます。

オンライン ステータスを変更する

- 1 [友だちリスト] の一番上に表示されている自分のエントリをタップします。
- 2 開いた画面の一番上にあるステータス メニューをタップします。



- 3 ダイアログ内のステータスをタップします。
- 4 [完了]をタップします。
ステータスとメッセージは、連絡先の[友だちリスト]などの場所に表示されます。

ステータス メッセージを変更する

- 1 [友だちリスト]の一番上に表示されている自分のエントリをタップします。
- 2 開いた画面で、ステータス メッセージを入力するか、入力済みの内容を編集します。
表で示した標準のステータス設定以外に、あらかじめ入力しておいたメッセージを選択できます。またはMENUキー  を押して[カスタムメッセージを削除]をタップし、メッセージを削除して入力し直す方法もあります。
- 3 [完了]をタップします。

自分の画像を変更する

- 1 [友だちリスト]の一番上に表示されている自分のエントリをタップします。
- 2 開いた画面の左上にある自分の画像をタップします。
- 3 表示されたダイアログで、[変更]をタップします（または[削除]をタップし、画像を削除してから置き換えます）。
ギャラリーが開き、端末内のすべての画像がグループごとに表示されます。ギャラリーで画像を参照する方法については、「画像の操作」（290ページ）をご覧ください。
- 4 コレクションを開き、使用する画像をタップします。
- 5 画像をトリミングします。
画像のトリミングについては、「画像の操作」（290ページ）をご覧ください。
- 6 [保存]をタップします。

[友だちリスト] の管理

Google トークの [友だちリスト] には、Google トークの友だちに招待した人や、招待を承諾した友だちが表示されます。友だちは、お互いを Google トークのチャットに招待することができます。また、お互いのオンラインステータスが、Google トークだけでなく Gmail や地図などのアプリケーションにも表示されます。

Google トークの [友だちリスト] は、オンラインステータス（チャット可能、オンライン、取り込み中、オフライン）によって並べ替えられます。各ステータスグループ内の友だちは、アルファベット順にリスト表示されます。

[友だちリスト] に友だちを追加する

Google アカウントを持っている人であれば、Google トークの友だちに招待して、チャットしたり、お互いのオンラインステータスを表示させたりできます。

- 1 [友だちリスト] で MENU キー  を押し、[友だちを追加] をタップします。
- 2 友だちのアドレスを入力し、[招待状を送信] をタップします。

Google トーク内の友だちのアドレスは、Google トークに接続するときに設定した Gmail またはその他のメール アドレスです。

招待状を表示して承諾する

Google トークで友だちに招待されると、ステータス バーに通知が表示され、[友だちリスト] に招待状が表示されます。

- 1 [友だちリスト] でその招待状をタップします。
- 2 メニューが開いたら、[承諾] をタップします。

チャットに参加しない場合や Google トークのステータスを送信者に表示しない場合は、[キャンセル] をタップします。

返信待ちの招待状のリストを表示する

- ▶ [友だちリスト] で MENU キー  を押し、[その他] > [招待] をタップします。

Google トークの友だちに招待した人はすべて、招待を承諾またはキャンセルするまでこのリストに表示されます。

すべての友だちを表示する、またはよく連絡する友だちだけを表示する

デフォルトでは、頻繁にチャットする（よく連絡する）友だちだけが[友だちリスト]に表示されますが、すべての友だちを表示することもできます。

- ▶ [友だちリスト]で **MENU キー**  を押し、[全連絡先表示]をタップします。
よく連絡する友だちのみを表示するように戻すには、メニューで[よく使う連絡先]をタップします。

友だちを常に表示する

友だちが[友だちリスト]に常に表示されるように設定できます。

- 1 [友だちリスト]で、友だちの名前を長押しします。
友だちの名前が表示されていない場合は、**MENU キー**  を押して[全連絡先表示]をタップします。
- 2 メニューが開いたら、[友だちを常に表示]をタップします。
友だちをこのリストから削除するには、[友だちリスト]でその友だちの名前を長押しします。表示されるメニューで、[友だちを自動表示]をタップします。

ユーザーをブロックする

他のユーザーがあなたにメッセージを送信できないようにブロックできます。ユーザーをブロックすると、そのユーザーは[友だちリスト]からも消去されます。

- 1 [友だちリスト]で、友だちの名前を長押しします。
友だちが表示されていない場合は、**MENU キー**  を押して[全連絡先表示]をタップします。
- 2 メニューが開いたら、[ユーザーをブロック]をタップします。
ブロックしたユーザーのリストを表示するには、[友だちリスト]で **MENU キー**  を押し、[その他]>[ブロック中]をタップします。ブロックを解除するには、ブロックリストで友だちの名前をタップし、表示されるダイアログで[OK]をタップします。

Google トーク設定の変更

Google トークでチャットメッセージを受信した場合に、その内容を含む通知を表示するよう設定できます。メッセージの受信時に着信音を鳴らしたり、端末を振動させたりすることもできます。

また、端末の電源を入れると自動的に Google トークにログインするよう設定できるほか、他のユーザーの[友だちリスト]のあなたの名前の横にモバイルインジケータを表示するかどうかを設定できます。

Google トークの新着メッセージの通知を設定する

- 1 [友だちリスト]で **MENU キー**  を押し、[設定]をタップします。
- 2 新しいチャットメッセージを受信したときにステータスバーに通知を表示するかどうかは、[チャットの通知]をオンまたはオフにして指定します。
- 3 [着信音を選択]をタップすると、新しいチャットの通知を受信したときの着信音を選ぶためのリストが表示されます。
- 4 [バイブレーション]をタップすると、新着メッセージの通知を受信したとき端末を必ず振動させる、マナーモード設定時のみ振動させる、バイブレーションを使用しない、のいずれかに設定できます。

友だちの新しい招待に通知を設定する

- 1 [友だちリスト]で **MENU キー**  を押し、[設定]をタップします。
- 2 Google トークで友だちに招待されたときにステータスバーに通知を表示するかどうかは、[招待通知]をオンまたはオフにして指定します。

友だちに対してモバイルインジケータを表示または非表示にする

- 1 [友だちリスト]で **MENU キー**  を押し、[設定]をタップします。
- 2 [モバイルインジケータ]をオンまたはオフにします。
[モバイルインジケータ]をオンにすると、携帯端末から Google トークにログインしたときに、他のユーザーの[友だちリスト]には、あなたの名前の横に Android の絵が表示されます。



Hugh Briss
On the road



この友だちは、携帯端末から Google トークにログインしています

Google トークに自動的にログインするかどうかを設定する

- 1 [友だちリスト]でMENU キー  を押し、[設定]をタップします。
- 2 [自動ログイン]をオンまたはオフにします。

[自動ログイン]をオンにすると、携帯端末の電源を入れたときに Google トークに自動的にログインします。

Google トークへのログイン、Google トークからのログアウトについては、「ログインと[友だちリスト]の使用」(198 ページ)をご覧ください。

メール

Gmail 以外のサービスでメールを送受信するには、メールアプリケーションを使用します。メールアプリには、一般的なメールサービスプロバイダ向けに簡単に設定できるウィザードが用意されています。

このセクションの内容

- 「メールアプリの起動と[アカウント]画面」(210 ページ)
- 「メールを読む」(213 ページ)
- 「メールへの返信」(215 ページ)
- 「メールにスターを付ける」(216 ページ)
- 「メールのバッチ操作」(217 ページ)
- 「メールの作成と送信」(218 ページ)
- 「アカウントのフォルダの操作」(219 ページ)
- 「メールへの署名の追加」(220 ページ)
- 「メールアカウントの追加と編集」(221 ページ)
- 「メールアカウント設定の変更」(224 ページ)

メールアプリの起動と[アカウント]画面

Gmail 以外のサービスでメールを読むには、メールアプリケーションを使用します。

メールアプリを開く

▶ ホーム画面またはランチャーでメールアイコン  をタップします。

「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ) をご覧ください。

メールアプリの初回起動時には、メールアカウントを追加するためのセットアップウィザードが開きます。詳しくは「メールアカウントの追加と編集」(221 ページ) をご覧ください。

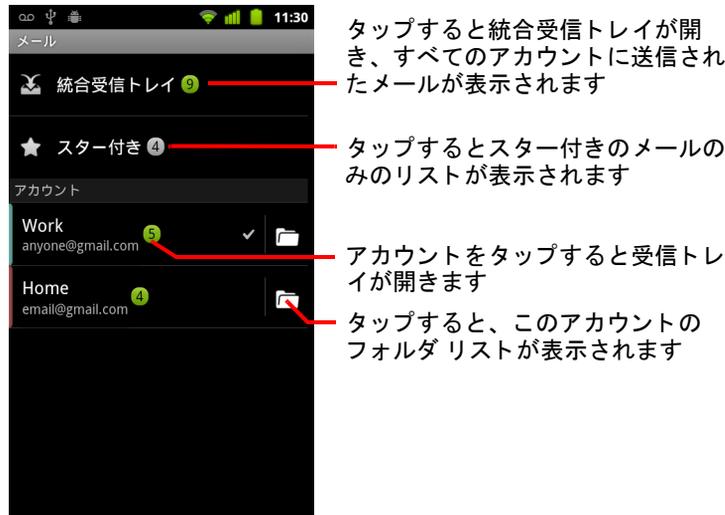
2 回目以降は、前回の最後に表示していた画面が開きます。また、しばらくメールアプリを使用しなかった場合は、受信トレイの内容(アカウントが1つしかない場合)または[アカウント]画面(アカウントが複数ある場合)が表示されます。

アカウントの受信トレイへのショートカットをホーム画面に追加して、ホーム画面から直接、受信トレイを開くこともできます。ショートカットを追加する方法については、「ホーム画面のカスタマイズ」(45 ページ) をご覧ください。

[アカウント]画面を開く

[アカウント]画面には、統合受信トレイと各メールアカウントが表示されます。アカウントのいずれかにスター付きメール、下書き、または未送信のメールがあると、その各フォルダが表示されます。すべてのアカウントの該当するメールがそのフォルダに含まれます。

▶ フォルダ画面で MENU キー  を押して、[アカウント]をタップします。



[アカウント]画面では、フォルダとアカウントごとに、未読メールの数が緑色で表示されるか、合計のメール数がグレーで表示されます。

[統合受信トレイ]フォルダなどの統合フォルダをタップすると、その中のメールが表示されます。

アカウントをタップすると、そのアカウントの受信トレイが表示されます。また、フォルダアイコンをタップすると、そのアカウントのフォルダリストが表示されます。

メールを送信する際に優先的に使用するアカウントには、チェックマークが付いています。

統合受信トレイを開く

メールの送受信を設定したアカウントが複数ある場合、それらのアカウントに届いたすべてのメールが統合受信トレイに表示されます。

- 1 [アカウント]画面を開きます。
- 2 [統合受信トレイ]をタップします。

統合受信トレイ内のメールの左側には、アカウント別に色分けされた線が表示されます。この色には、[アカウント]画面でアカウントに適用した色が使用されます。



アカウントで最近受信したメールの一部のみが、携帯端末にダウンロードされます。それ以前の IMAP や POP3 アカウントのメールを一括でダウンロードするには、メールのリストの下にある [さらにメールを読み込む] をタップします。Exchange ActiveSync アカウントでは、端末にメールを保存する日数または週数を設定するためのダイアログが開きます。「メールアカウントの追加と編集」(221 ページ) をご覧ください。

メールを読む

統合受信トレイ、または各アカウントの受信トレイなどのフォルダにあるメールを読むことができます。

新着メールが届くと、ステータスバーにも通知が表示されます（ただし、メールの[アカウントの設定]で[メール着信通知]をオフにしている場合を除きます）。[アカウントの設定]では、メール着信通知でバイブレーションを使用するかどうかを設定したり、着信音を選択したりすることもできます。「アカウントの設定を変更する」(222 ページ)をご覧ください。メール着信通知をタップすると、統合受信トレイが表示されます。

メールを読む

- 1 統合受信トレイ、アカウントの受信トレイ、またはその他のメールフォルダを開きます。
- 2 読むメールをタップします。

メールが開き、画面の上部に送信者や送信日、関連情報が表示され、それに続いてメールの本文が表示されます。



メールに添付された画像や、その画像を表示するためのボタンが表示されることもあります。ダウンロードした添付ファイルは、端末の USB ストレージまたは SD カード（端末の機種によって異なります）に保存されます。ダウンロードしたファイルを表示、再び開く、削除する方法について詳しくは、「ダウンロードの管理」（57 ページ）をご覧ください。

各メールの送信者名の横には、Google トークのオンラインステータスが表示されます。このステータス インジケータをタップすると、チャットリストが開きます。「連絡先への簡単な接続」（48 ページ）をご覧ください。

メールに対して返信、転送、削除など、さまざまな操作を行うことができます。詳しくは「メールへの返信」（215 ページ）をご覧ください。

メールへの返信

受信したメールに返信したり、メールを転送したりできます。また、メールを削除したり、他の方法で管理したりすることもできます。

メールを返信または転送する

- ▶ メールが表示されている場合は、[返信]または[全員に返信]をタップします。

または

- ▶ MENU キー  を押し、[返信]、[全員に返信]、または[転送]をタップします。

アドレス（返信時）、件名、元のメールのコピーが入力された[メッセージを作成]が表示されます。

このメールは新規メールと同じように送信できます。詳しくは「メールの作成と送信」（218 ページ）をご覧ください。

メールを未読にする

既読メールを後で読み返したい場合などに、未読に戻すことができます。一度に複数のメールに未読のマークを付けることもできます。「メールのバッチ操作」（217 ページ）をご覧ください。

- ▶ メールを表示してから MENU キー  を押して、[未読にする]をタップします。

メールを削除する

メールをフォルダから削除できます。一度に複数のメールを削除することもできます。「メールのバッチ操作」（217 ページ）をご覧ください。

- ▶ メールを表示している場合は、[削除]をタップします。

または

- ▶ MENU キー  を押して、[削除]をタップします。

ほとんどのアカウントでは、削除されたメールは[ゴミ箱]フォルダに移動されるため、誤って削除した場合でも復元できます。

メールにスターを付ける

管理しやすくするため、重要なメールにスターを付けることができます。メールにスターを付けると、[アカウント]画面に[スター付き]フォルダが追加されます。一度に複数のメールにスターを付けることができます（「メールのバッチ操作」(217 ページ) をご覧ください）。

メールにスターを付ける

- ▶ メールを読んでいるときに、ヘッダーに表示されているスターアイコンをタップします。

または

- ▶ フォルダ内のメールのリストを表示しているときに、メールのスターアイコンをタップします。

アイコンが金色（★）に変わります。

メールのスターを外す

- ▶ スターをもう一度タップします。

スター付きメールを表示する

すべてのアカウントにあるスター付きメールを、1つのフォルダで表示できます。

- 1 [アカウント]画面を開きます。
「メールアプリの起動と[アカウント]画面」(210 ページ) をご覧ください。
- 2 [スター付き]をタップします。
フォルダが開き、スター付きメールのリストが表示されます。
アカウントごとに[スター付き]フォルダを開くこともできます。「アカウントのフォルダの操作」(219 ページ) をご覧ください。

メールのバッチ操作

複数のメールをまとめて削除したり、スターを付けたり、未読にしたりすることができます。

- 1 受信トレイまたはメールボックスで、バッチ処理するメールのチェックボックスをオンにします。

複数のメールのチェックボックスをオンにすると、画面下部に[未読にする]、[スターを付ける]、[削除]の各ボタンが表示されます。

- 2 [未読にする]、[スターを付ける]、[削除]のいずれかをタップします。
MENU キー  を押して [選択をすべて解除] をタップする方法もあります。

操作は選択したメール全体に適用されます。

メールの作成と送信

連絡先に登録されているユーザー、その他のユーザー、またはグループにメールを送信できます。

メールを作成して送信する

- 1 **MENU キー** を押して、[作成]をタップします。
- 2 メール宛先を指定します。
テキストを入力すると、連絡先の中で一致するアドレスの候補が表示されます。候補のいずれかのアドレスをタップするか、新しいアドレスを入力します。複数のアドレスを入力する場合は、カンマで区切ります。
詳しくは、「連絡先」(111 ページ)をご覧ください。
- 3 メール宛先を Cc や Bcc に追加するには、**MENU キー** を押して [Cc/Bcc を追加] をタップします。
- 4 メール件名を入力します。
- 5 メール本文を入力します。
テキストの入力と編集については、「画面キーボードの使い方」(33 ページ)、「テキストの編集」(39 ページ)をご覧ください。
- 6 メールに画像を添付するには、**MENU キー** を押して [添付ファイルを追加] をタップします。
- 7 [送信] をタップします。

メールをすぐに送信しない場合は、[下書き保存]をタップすると[下書き]フォルダに保存されます。[アカウント]画面から、すべてのアカウントの下書きが含まれる[下書き]フォルダを開くことができます。また、アカウントごとの[下書き]フォルダを開くこともできます。「アカウントのフォルダの操作」(219 ページ)をご覧ください。[下書き]フォルダに保存されたメールの編集や送信を行うには、[下書き]フォルダで該当するメールをタップします。メールの送信前に[戻る]キー を押した場合も、メールは下書きとして保存されます。

保存された下書きなどのメールを破棄するには[破棄]をタップします。機内モードなどでネットワークに接続されていない場合にメールを送信すると、ネットワークに再接続されるまでメールは[送信トレイ]フォルダに保存されます。送信トレイにメールがある場合、[アカウント]画面に送信トレイが表示されます。

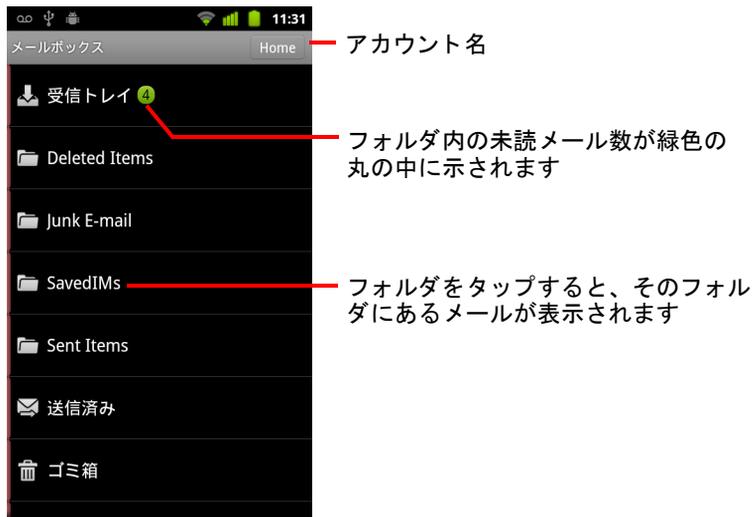
アカウントのフォルダの操作

各アカウントには、受信トレイ、送信トレイ、送信済み、下書きの各フォルダがあります。アカウントのサービスプロバイダがサポートしている機能によっては、他にもフォルダがあります。

アカウントのフォルダを表示する

- 1 [アカウント]画面を開きます。
- 2 アカウントのフォルダアイコンをタップします。

受信トレイなどのフォルダを表示しているときにアカウントの別のフォルダを開くには、**MENU**キー  を押して[フォルダ]をタップします。そのアカウントの[フォルダ]画面が開き、アカウントのフォルダがスクロールリストで表示されます。フォルダをタップすると、その中のメールのリストが表示されます。



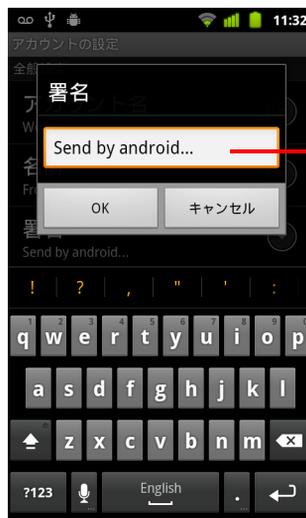
メールへの署名の追加

送信するすべてのメールに、名前、連絡先情報、または「Android から送信」のようなテキストを追加できます。

- 1 [アカウント]画面を開きます。
- 2 設定を変更するアカウントを長押しします。表示されるメニューで[アカウントの設定]をタップします。

受信トレイを表示しているときにアカウントの設定を開くには、**MENU**キー  を押して、[アカウントの設定]をタップします。

- 3 [署名]をタップします。



メールに追加する署名を入力し、**[OK]**をタップします

- 4 署名を入力します。
- 5 **[OK]**をタップします。
- 6 設定の変更が完了したら**[戻る]**キー  を押します。

メールアカウントの追加と編集

メールアプリの初回起動時には、メールアカウントを1つセットアップする必要があります。その後、アカウントを追加して、追加したアカウントからメールを送受信できるようメールアプリを設定できます。設定したアカウントは、[アカウント]画面に表示されます。「メールアプリの起動と[アカウント]画面」(210ページ)をご覧ください。

メールアプリのセットアップウィザードでは、IMAPやPOP3など、多くの一般的なメールシステムのアカウントを設定できます。したがって、Thunderbird、Mac Mail、ウェブブラウザなどのメールアプリケーションを使ってパソコンで処理しているメールを、携帯端末でも読んだり処理したりできます。サービスプロバイダによって指定された追加設定が必要な場合、またはお使いのサービスプロバイダの情報がメールアプリにない場合は、必要な詳細情報を手動で入力できます。ただし、そのアカウント用の正しい設定については、メールサービスプロバイダにお問い合わせください。

また、Microsoft Exchange ActiveSync アカウント (Exchange 2003 および 2007) を設定し、Microsoft Outlook を使ってパソコンで処理しているメールを、携帯端末でも読んだり処理したりできます。メールは Exchange ActiveSync アカウントのユーザー名とパスワードによる認証に対応しており、IT 管理者がこのアカウントに追加のセキュリティポリシーを適用する場合があります (詳しくは、IT 管理者にお問い合わせください)。

メールアカウントを追加する

- 1 [アカウント]画面を開きます。
「メールアプリの起動と[アカウント]画面」(210ページ)をご覧ください。
- 2 MENU キー  を押して、[アカウントを追加]をタップします。
[メールアカウントの登録]画面で、メールアドレスとパスワードを入力します。
2つ目以降のメールアドレスを追加する場合は、すべてのメールの送信にその新しいアカウントを使用するオプションをオンにすることもできます。
- 3 [次へ]をタップします。または、ウィザードで設定できないメールアカウント設定を入力するには、[手動セットアップ]をタップします。
[次へ]をタップすると、メールアプリはメールサービスプロバイダと通信を行い、メールアドレスとパスワードのみを使用して、このアカウントでのメールの送受信を検証します。ほとんどのメールサービスでは、以上で設定は完了です。

サービスプロバイダによっては、メールアカウントの種類の指定が必要になる場合もあります。種類がわからない場合は、パソコンでメールの送受信に使用しているアプリケーションの設定を確認するか、メールサービスプロバイダにお問い合わせください。

サービスプロバイダの指定した追加情報が必要であるとウィザードが判断した場合、または[**手動セットアップ**]をタップした場合は、ウィザードでメールアカウントの詳細情報を入力する必要があります。

入力する詳細情報は、メールサービスの種類によって異なります。詳しくは「メールアカウント設定の変更」(224 ページ)をご覧ください。アカウントで必要な情報については、メールサービスプロバイダにお問い合わせください。

Exchange ActiveSync アカウントを追加する場合、新着メールを確認する頻度とその方法、メールを端末に保存する期間(日数または週数)、その他さまざまなオプションを設定する必要があります(「メールアカウント設定の変更」(224 ページ)をご覧ください)。また、Exchange ActiveSync サーバーから端末に、連絡先やカレンダーを同期するかどうかも指定します。これらの設定は、連絡先やカレンダー アプリケーションで後から変更できます。「アカウントの同期オプションと表示オプションの設定」(133 ページ)と「カレンダーの同期と表示」(181 ページ)をご覧ください。

- 4 アカウントの種類に応じて必要な情報を入力し、[**完了**]をタップします。
- 5 アカウントの名前を入力して[**完了**]をタップします。
メールアプリがメールのダウンロードを開始し、新しいアカウントでメールの送受信ができるようになります。

アカウントの設定を変更する

メールチェックの頻度、新着メールの通知方法、メールの送受信に使用するサーバーの詳細など、さまざまなアカウント設定を変更できます。

- 1 [**アカウント**]画面を開きます。
- 2 設定を変更するアカウントを長押しします。表示されるメニューで[**アカウントの設定**]をタップします。

受信トレイを表示しているときにアカウントの設定を開くには、**MENU** キー  を押して、[**アカウントの設定**]をタップします。

変更可能な設定については、「メールアカウント設定の変更」(224 ページ)をご覧ください。

- 3 設定の変更が完了したら[**戻る**]キー  を押します。

メール アカウントを削除する

- 1 [アカウント]画面を開きます。
一部のメール画面では、**MENU キー**  を押して、[アカウント]をタップします。
- 2 削除するアカウントを長押しします。
- 3 表示されるメニューで、[アカウントを削除]をタップします。
- 4 アカウントの削除を確認するダイアログが表示されたら、[OK]をタップします。

メールアカウント設定の変更

アカウントの作成時や作成後に、各メールアカウントについて次の設定を変更できます。「メールアカウントの追加と編集」(221 ページ) をご覧ください。

これらの設定は、処理しているアカウントのみに適用されます。別のメールアカウントの設定を変更するには、アカウントを切り替える必要があります。詳しくは、「メールアプリの起動と[アカウント]画面」(210 ページ) をご覧ください。

アカウントの設定

アカウント名 [アカウント]画面と[フォルダ]画面に表示されるアカウント名です。

名前 送信メールに表示されるあなたの名前です。

署名 このアカウントから送信するすべてのメールに追加する署名を入力するためのダイアログが表示されます。「メールへの署名の追加」(220 ページ) をご覧ください。

受信トレイの確認頻度 このアカウントの新着メールを確認する頻度を設定するためのダイアログが表示されます。

同期する量 Exchange ActiveSync アカウントでは、端末にメールを保存する日数または週数を設定するためのダイアログが開きます。

優先アカウントにする 特定のアカウントでメールを表示または操作しているときを除き、メールの作成や送信にこのアカウントの送信メールサーバーが使用されます。

メール着信通知 このアカウントに新着メールが届いたときに通知するかどうかを設定します。

着信音を選択 このアカウントのメール着信通知に使用する着信音を選択します。

バイブレーション このアカウントのメール着信通知を受信したとき、端末を必ず振動させる、マナーモード設定時のみ振動させる、バイブレーションを使用しない、のいずれかに設定するためのダイアログが表示されます。

受信設定 このアカウントのメール受信方法を設定する画面が表示されます。「受信サーバーの設定」(225 ページ) をご覧ください。

送信設定 このアカウントのメール送信方法を設定する画面が表示されま
ず（Microsoft Exchange ActiveSync アカウントには、個別の送信サーバー設定
はありません。「送信サーバーの設定」（227 ページ）をご覧ください。

連絡先を同期 連絡先を同期できるアカウントの場合、その連絡先を携帯
端末と同期させるには、チェックボックスをオンにします。「アカウントの
同期オプションと表示オプションの設定」（133 ページ）をご覧ください。

カレンダーを同期 カレンダーを同期できるアカウントの場合、そのカレ
ンダーの予定を携帯端末と同期させるには、チェックボックスをオンにし
ます。「アカウントの同期オプションと表示オプションの設定」（133 ペ
ージ）をご覧ください。

受信サーバーの設定

アカウントの受信設定は、そのアカウントのメールサービスの種類
（Exchange ActiveSync、IMAP、POP3）によって異なります。

Microsoft Exchange ActiveSync アカウントの設定：

ドメイン \ ユーザー名	Exchange ActiveSync サーバーからドメインを指定するよう求められた場合は、円記号 (\) の前にドメインを入力します。ドメインの指定が不要な場合は、円記号の後にユーザー名のみ（メールアドレスの @example.com より前の部分）を入力します（ユーザー名のみを入力する場合、円記号は省略してもかまいません。サーバーと通信するときに、ドメインとユーザー名の正しい構文に修正されます）。
パスワード	メールアカウントのパスワードです。
サーバー	Exchange ActiveSync サーバーの解決済みホスト名（例：owa.example.com）です。
安全な接続（SSL）を使用する	お使いの Exchange ActiveSync サーバーが安全な接続を要求している場合、またはユーザー自身が安全な接続を希望する場合は、このオプションをオンにします。
すべての SSL 証明書を承認	自己署名、期限切れなど、メールアプリが承認しない Exchange ActiveSync サーバーからのサーバー証明書を受け付ける場合は、このオプションをオンにします。

IMAP アカウントの設定：

ユーザー名	メールアドレス全体、またはユーザー名のみ（メールアドレスの @example.com より前の部分）を指定します。これは、メールサービスプロバイダにより異なります。
パスワード	メールアカウントのパスワードです。
IMAP サーバー	メールサービスプロバイダの IMAP サーバーの解決済みドメイン名（例：imap.example.com）です。
ポート	[セキュリティの種類]を設定すると、一般的なサーバーポート番号がこのフィールドに自動的に入力されます。メールサービスプロバイダによって別のポート番号が指定されている場合は、その番号を入力します。
セキュリティの種類	メールサービスプロバイダが指定するセキュリティの種類を選択します。セキュリティの種類として[（証明書をすべて承認）]オプションを選択すると、自己署名、期限切れなど、メールアプリケーションが承認しないサーバー証明書も IMAP サーバーから受け付けます。
IMAP パスのプレフィックス	メールサービスプロバイダから特定のプレフィックスを入力するように指定されていない限り、空白のままにします。

POP3 アカウントでの設定：

ユーザー名	メールアドレス全体、またはユーザー名のみ（メールアドレスの @example.com より前の部分）を指定します。これは、メールサービスプロバイダにより異なります。
パスワード	メールアカウントのパスワードです。
POP3 サーバー	メールサービスプロバイダの POP3 サーバーの解決済みドメイン名（例：pop3.example.com）です。

ポート	[セキュリティの種類]を設定すると、一般的なサーバーポート番号がこのフィールドに自動的に入力されます。メールサービスプロバイダによって別のポート番号が指定されている場合は、その番号を入力します。
セキュリティの種類	メールサービスプロバイダが指定するセキュリティの種類を選択します。セキュリティの種類として[(証明書をすべて承認)]オプションを選択すると、自己署名、期限切れなど、メールアプリが承認しないサーバー証明書も POP3 サーバーから受け付けます。
サーバーからメールを削除	メールアプリケーションから削除したメールを、メールサービスプロバイダのサーバーから削除する、または削除しないように設定します。

送信サーバーの設定

メールの受信に IMAP アカウントや POP3 アカウントを使用する場合、通常は SMTP サーバーを使用してそのアカウントからメールを送信します。Microsoft Exchange ActiveSync アカウントには、個別の送信サーバー設定はありません。

SMTP サーバー	メールサービスプロバイダの SMTP サーバーの解決済みドメイン名（例：smtp.example.com）です。
ポート	[セキュリティの種類]を設定すると、一般的なサーバーポート番号がこのフィールドに自動的に入力されます。メールサービスプロバイダによって別のポート番号が指定されている場合は、その番号を入力します。

セキュリティの種類	メールサービスプロバイダが指定するセキュリティの種類を選択します。セキュリティの種類として[(証明書をすべて承認)]オプションを選択すると、自己署名、期限切れなど、メールアプリケーションが承認しないサーバー証明書もSMTPサーバーから受け付けます。
ログインが必要	メールサービスプロバイダにより、メールの送信時にユーザー名とパスワードの入力が求められる場合は、このオプションをオンにして、SMTPサーバーのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名	SMTPサーバーでのユーザー名です（メールの受信用のPOP3サーバーやIMAPサーバーでのユーザー名とは異なる場合があります）。[ログインが必要]がオンになっている場合のみ表示されます。
パスワード	SMTPサーバーでのパスワードです（メールの受信用のPOP3サーバーやIMAPサーバーでのパスワードとは異なる場合があります）。[ログインが必要]がオンになっている場合のみ表示されます。

メッセージ

メッセージアプリケーションを使用すると、携帯端末を使ってテキストメッセージ（SMS）やマルチメディアメッセージ（MMS）を友だちとやり取りできます。

このセクションの内容

- 「メッセージアプリの起動」（230 ページ）
- 「メッセージの送受信」（231 ページ）
- 「メッセージアプリ設定の変更」（235 ページ）

メッセージアプリの起動

メッセージアプリを開く

- ▶ ホーム画面またはランチャーで、メッセージアイコン  をタップします。

アプリケーションを開く方法や切り替える方法については、「アプリケーションの起動と切り替え」（42 ページ）をご覧ください。

[メッセージ] ウィンドウが開きます。ここでは、新しいメッセージを作成したり、継続中のメッセージスレッドを開いたりできます。



タップして、新しいテキストメッセージやマルチメディアメッセージを作成します

タップすると、継続中のメッセージスレッドが開きます

- ▶ 新しいテキストメッセージやマルチメディアメッセージを開始する場合は、[新規作成] をタップします。
- ▶ 既存のメッセージスレッドを開く場合は、そのスレッドをタップします。メッセージの作成と応答については、「メッセージの送受信」（231 ページ）をご覧ください。

[メッセージ] ウィンドウからメッセージスレッドを削除する

- 1 削除するメッセージスレッドを長押しします。
- 2 メニューが開いたら、[スレッドを削除] をタップします。

MENU キー  を押して [スレッドを削除] をタップすると、ウィンドウからすべてのメッセージスレッドを削除できます。

メッセージの送受信

最大 160 文字の SMS を他の携帯端末に送信できます。制限を超えて入力続けると、作成したメッセージは複数のメッセージに分割されて送信されます。

MMS にはテキスト、画像、録音された音声、オーディオファイル、動画、画像のスライドショーを含めることができます。

電話番号ではなくメールアドレス宛にメッセージを送信した場合、件名を追加した場合、メディアファイルを添付した場合は、メッセージは自動的に MMS に変換されて送信されます。

テキストメッセージを送信する

1 [メッセージ]画面で[新規作成]をタップします。

2 [To]フィールドに携帯電話番号を入力します。

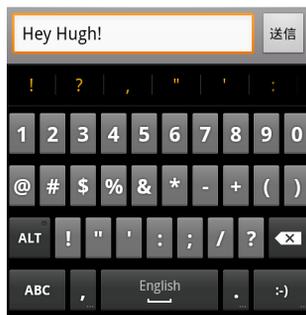
携帯電話番号を入力すると、一致する連絡先が表示されます。宛先の候補をタップするか、そのまま電話番号の入力を続けます。

携帯電話番号と一緒に連絡先名も入力できます。

3 メッセージ入力用テキストボックスをタップして、メッセージを入力します。



携帯電話番号、または携帯電話番号が登録されている連絡先の名前を入力します



画面キーボードで絵文字キーを長押しし、絵文字をタップすると絵文字を入力できます。また、**MENU**キー  を押して[絵文字を挿入]をタップすると、絵文字のスクロールリストが表示されます。

入力制限の160文字に近づくと、テキストボックスの右上にカウンターが表れ、残りの文字数が表示されます。制限を超えると、新しいメッセージが作成されます。このメッセージは、受信時に最初のメッセージと結合されます。

メッセージの作成中に[戻る]キー  を押すと、メッセージはメッセージウィンドウに下書きとして保存されます。メッセージをタップすると、メッセージの作成を再開できます。

4 [送信]をタップします。

メッセージウィンドウが開き、あなたの名前の後にメッセージが表示されます。返信もそのウィンドウに表示されます。メッセージを表示して何度か返信をすることで、メッセージスレッドが作成されます。



マルチメディア メッセージを作成し、送信する

- 1 [メッセージ]画面で[新規作成]をタップします。
- 2 [To]フィールドに携帯電話番号、またはメールアドレスを入力します。
入力すると、一致する連絡先が表示されます。候補の連絡先をタップするか、そのまま入力が続けます。
携帯電話番号と一緒に連絡先名も入力できます。
- 3 メッセージ入力用テキスト ボックスをタップして、メッセージを入力します。
- 4 メッセージに件名を追加するには、MENU キー ≡ を押して[件名を追加]をタップします。
- 5 メッセージに添付するメディア ファイルの種類を指定するメニューを開くには、MENU キー ≡ を押して[添付]をタップします。
[画像]をタップした場合は、添付する画像をタップして指定します。
[写真撮影]をタップした場合はカメラが起動し、撮影した写真を添付できます。
[動画]をタップした場合は、添付する動画をタップして指定します。
[ムービー撮影]をタップした場合はビデオが起動し、撮影した動画を添付できます。
[オーディオ]をタップした場合は、添付する着信音をタップして指定します。
[音声録音]をタップした場合は、表示された画面でメッセージを録音して添付できます。
[スライドショー]をタップした場合は、最大10枚の画像で構成されるスライドショーを作成する画面が表示されます。そこでスライドショーを作成してメッセージに添付できます。
メッセージ作成画面のボタンを使用して、添付したメディアのプレビューまたは削除ができます。
- 6 [送信 MMS]をタップします。

受信したメッセージへ返信する

メッセージ ウィンドウを開いている場合は、受信したメッセージがウィンドウに表示されます。

それ以外の場合は、新着メッセージの通知が届き、ステータス バーに新着メッセージ アイコンが表示されます。「通知の管理」(31 ページ)をご覧ください。

新着メッセージの通知をタップするとメッセージ ウィンドウが開き、メッセージに返信することができます。

[自動で取得]がオフの場合は、[ダウンロード]をタップしてメッセージを表示する必要があります。「メッセージ アプリ設定の変更」(235 ページ)をご覧ください。

メッセージにメディア ファイルが添付されている場合、ファイルを表示または再生するには[再生]をタップします。メディア ファイルを長押しするとメニューが表示され、メッセージを SD カードや USB ストレージ (端末の機種によって異なります) に保存することができます。

▶ メッセージを長押しするとメニューが表示され、メッセージを操作したり差出人の情報を確認したりできます。

この操作についてはこのセクションで後述します。

メッセージを転送する

- 1 メッセージ ウィンドウでメッセージを長押しします。
- 2 開いたメニューの[転送]をタップします。
- 3 メッセージの宛先を入力し、必要に応じて本文を編集します。
- 4 [送信]をタップします。

メッセージをロックする

ストレージ制限に達しても削除されないように、メッセージをロックすることができます。「ストレージの設定」(235 ページ)をご覧ください)。ロックされたメッセージを含むスレッドを削除しようとするすると、削除を確認するメッセージが表示されます。

- 1 メッセージ ウィンドウでメッセージを長押しします。
- 2 メニューが開いたら、[メッセージをロック]をタップします。
メッセージの右にロックアイコンが表示されます。
メッセージを長押しして[メッセージのロックを解除]をタップすると、メッセージのロックを解除できます。

メッセージの詳細を表示する

- 1 メッセージ ウィンドウでメッセージを長押しします。
- 2 メニューが開いたら、[メッセージの詳細を表示]をタップします。

メッセージアプリ設定の変更

メッセージアプリでは、さまざまな設定を変更できます。

- ▶ **メッセージアプリの設定を変更するには**、[メッセージ]ウィンドウを開き、MENU キー  を押して[設定]をタップします。

ストレージの設定

古いメッセージを削除 テキストメッセージの制限件数またはマルチメディアメッセージの制限件数に達したときに、スレッドの古いメッセージから削除する場合はオンにします。すべてのメッセージを保存しておく場合はオフにします。

テキストメッセージの制限件数 タップして、スレッドごとに保存できるテキストメッセージの件数を指定します。この上限に達したとき、[古いメッセージを削除]をオンにしていると、古いメッセージから削除されます。

マルチメディアメッセージの制限件数 タップして、スレッドごとに保存できるマルチメディアメッセージの件数を設定します。この上限に達したとき、[古いメッセージを削除]をオンにしていると、古いメッセージから削除されます。

テキストメッセージ (SMS) の設定

受取確認通知 送信したメッセージの受取確認通知を受け取る場合はオンにします。

SIM カードのメッセージ 別の携帯端末でSIMカードを使ってテキストメッセージを送受信した場合などに、タップして表示されたウィンドウで、SIMカードに保存されたメッセージを操作できます。

マルチメディアメッセージ (MMS) の設定

受取確認通知 送信したメッセージの通知を受け取る場合はオンにします。

開封確認レポート メッセージが読まれた場合、または削除された場合に通知を受け取る場合はオンにします。

自動で取得 マルチメディア メッセージのヘッダーだけをダウンロードする場合はオフにします。この場合、ヘッダーをタップすると、メッセージ全体をダウンロードするためのメニューが表示されます。この機能は、たとえば、転送速度が遅いデータ ネットワークに接続している場合に、ダウンロードするデータを制御するのに便利です。

ローミング時に自動取得 他の携帯通信会社のデータ ネットワークに接続しているときに、マルチメディア メッセージのヘッダーのみをダウンロードする場合はオフにします。オフにすることで、契約しているデータローミングに制限がある場合に、予想外の料金の請求を避けることができます。

通知設定

通知 新しいメッセージを受信したときに通知を受け取る場合は、この設定をオンにします。「通知の管理」(31 ページ) をご覧ください。

着信音を選択 新着メッセージの通知を受信したときの着信音を設定するためのダイアログが表示されます。

バイブレーション 新着メッセージの通知を受信したときに端末を必ず振動させる、マナーモード設定時のみ振動させる、バイブレーションを使用しない、のいずれかに設定するためのダイアログが表示されます。

ブラウザ

ウェブページを表示したり、ウェブ上の情報を検索したりするには、ブラウザを使用します。

このセクションの内容

- 「ブラウザの起動」(238 ページ)
- 「ウェブページ内の移動」(241 ページ)
- 「ウェブページ間の移動」(243 ページ)
- 「複数のブラウザウィンドウでの操作」(245 ページ)
- 「ファイルのダウンロード」(246 ページ)
- 「ブックマークの操作」(248 ページ)
- 「ブラウザ設定の変更」(250 ページ)

ブラウザの起動

ウェブブラウジングをするには、ブラウザを使用します。

ウェブサイトによっては、パソコンで使用するブラウザ用のフルサイズバージョンと、携帯端末用バージョンの2種類のサイトがあります。2つのバージョンをユーザーが切り替えられるサイトもあります。フルサイズのサイトは、携帯端末用に設計されたサイトと比較して、モバイルブラウザでは閲覧しにくいことがあります。

ブラウザを開く

- ▶ ホーム画面で電話アイコン  をタップするか、ランチャーまたはホーム画面で電話アプリケーションアイコンをタップします。

「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ) をご覧ください。

ブラウザは、メールやSMSでウェブリンクをタップして開くこともできます。

ブラウザを開くと、前回の使用で最後に開いていたウェブページが表示されます。ブラウザをしばらく使用していなかった場合は、ホームページが開きます。

現在のページのウェブアドレス (URL) は、ウィンドウの一番上に表示されます。ただし、モバイルサイトで意図的にURLバーの下から表示している場合、アドレスは表示されません (その場合はページを下にドラッグすればURLバーが表示されます)。



現在表示されているページのアドレス (URL)

画面の上部にURLバーが表示されなくなっているサイトでは、ページを下にドラッグするか、**MENU** キーを押すと、URLバーが再表示されます

ウェブページを開く、またはウェブを検索する

- 1 [ブラウザ]画面の上部の URL ボックスをタップします。
URL ボックスが表示されていない場合は、**MENU キー**  を押すか、URL ボックスが表示されるまでページを下にドラッグします。



- 2 ウェブページのアドレス (URL) を入力するか、検索キーワードを入力します。
テキストを入力していくと、ウェブ検索エンジンによって、ウェブページやキーワードの候補が表示されます。
マイクアイコンをタップして音声で検索することもできます (「音声操作の使い方 (日本未対応)」(105 ページ) をご覧ください)。
使用するウェブ検索エンジンを設定できます。「ブラウザ設定の変更」(250 ページ) をご覧ください。マイクアイコンを使用できるのは、Google 検索エンジンを使用しているときだけです。また、それ以外の検索エンジンでは、検索候補が表示されない場合があります。
- 3 候補をタップするか、アドレスを入力して矢印アイコン  をタップします。
候補のページをタップ、またはアドレスを入力して矢印アイコン  をタップすると、ウェブページが表示されます。
候補のキーワードをタップすると、ウェブ検索エンジンによる検索結果が表示されます。

現在のページを更新する

- ▶ **MENU キー**  を押して、[再読み込み] をタップします。
ウェブページが再表示され、変更されているコンテンツがすべて更新されます。

ページの表示を中止する

ウェブページの表示に時間がかかる場合、または表示をやめる場合は、ページを開くことを中止できます。

- ▶ URL の右にあるキャンセルアイコン  をタップします。
または
- ▶ **MENU キー**  を押して、[停止] をタップします。

現在のページの詳細情報を取得する

- ▶ **MENU キー**  を押して、[**その他**] > [**ページ情報**] をタップします。
ダイアログが開き、ページのタイトルと完全なアドレス（URL）が表示されます。

ホームページを設定する

ホームページは、新しいブラウザウィンドウを開いたとき、または端末を再起動した後やしばらく使用しなかった後にブラウザを開くと表示されます。

- 1 ホームページとして設定するページを参照します。
- 2 **MENU キー**  を押して、[**その他**] > [**設定**] > [**ホームページ設定**] をタップします。
- 3 [**現在のページを使用**] をタップするか、別のページのアドレス（URL）を入力します。
- 4 [**OK**] をタップします。

ホームページを開かずに新しいブラウザウィンドウを開くには、このフィールドを空のままにします。このように設定すると、新規のブラウザウィンドウが早く開くようになります。

ウェブページ内の移動

携帯端末用に最適化されたウェブページは、通常、端末に適したサイズで開きます。コンテンツの拡大 / 縮小やスクロールができない場合があります。

携帯端末用に設計されていないウェブページは、通常は全体表示モードで開きます。このモードではページが縮小されるため、全体像を把握できます。ページの表示方法は変更できます。詳しくは「ブラウザ設定の変更」(250 ページ) をご覧ください。

ウェブページをスクロールする

- ▶ 画面上で指をスライドさせます。

ウェブページを拡大 / 縮小する

携帯端末用に設計されたウェブページでは、拡大や縮小ができない場合があります。

- 1 画面上で指を少しスライドさせると、**ズームコントロール**  が表示されます。
- 2 拡大するにはズームコントロールのプラス側をタップし、縮小するにはマイナス側をタップします。

ウェブページの一部を拡大する

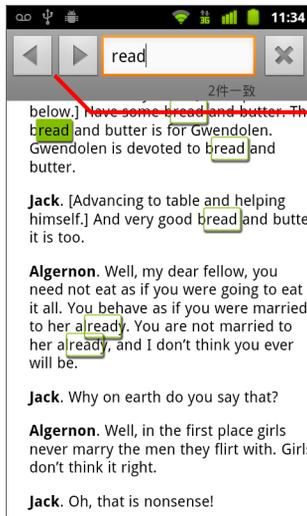
携帯端末用に設計されたウェブページでは、拡大や縮小ができない場合があります。

- ▶ ウェブページの表示したい部分をダブルタップします。
ウェブページが拡大表示されます。上下にスクロールすると、この部分のテキストをすべて読むことができます。
この表示でズームレベルを調節すると、そのページにアクセスしている間はブラウザに同じ設定が適用されます。
- ▶ デフォルトのズームレベルに戻すには、もう一度ダブルタップします。
- ▶ 2本の指を同時に画面に置き、指を閉じるピンチインで表示が縮小し、指を広げるピンチアウトで表示が拡大します。この方法で拡大してからダブルタップすると、テキストが画面に納まるように表示されます ([ページの自動調整]設定をオンにしていた場合。詳しくは「ページコンテンツ設定」(250 ページ) をご覧ください)。

ウェブページでテキストを検索する

- 1 MENU キー  を押して、[その他] > [ページ内検索] をタップします。
- 2 検索するテキストを入力します。

入力の際、一致する文字が含まれる最初の語が画面上で反転表示され、以降の一致する語が四角く囲まれて表示されます。



タップすると、直前または次の一致する語に移動します

- 3 左向きの矢印をタップして直前の一致する語に、また右向きの矢印をタップして次の一致する語に移動します。

ウェブページ間の移動

他のブラウザと同様に、ウェブページのリンクを開いたり、前のページや次のページに移動したり、閲覧履歴を確認したりできます。また、ショートカットを活用してリンクなどの情報を操作することもできます。

リンクを開く

- ▶ リンクを開くには、リンクをタップします。
タップしたリンクは、参照先のウェブページがウィンドウに表示されるまでの間、オレンジ色にハイライト表示されます。

開いたページの前のページ / 後ろのページへ移動する

- ▶ [戻る <] キーを押します。
または
- ▶ MENU キー ≡ を押して、[進む] をタップします。

ブラウザの履歴を表示する

ウェブを閲覧すると、ブラウザはアクセスしたページの履歴を保存します。この履歴を基に、後からそのページに簡単にアクセスできます（履歴を消去する方法については、「ブラウザ設定の変更」（250 ページ）をご覧ください）。

- 1 画面の右上にあるブックマークアイコン  をタップします。
- 2 [履歴] タブをタップします。
ウェブページを表示しているときに、[戻る] キー < を長押ししても、[履歴] タブが開きます。
アクセスしたページは、時系列に分類されています。ブックマークされているページには金色の星が表示されます。ページをブックマークに追加またはブックマークから削除するには、この星をタップします。
- 3 特定の期間をタップすると、アクセスしたページが表示されます。
- 4 リスト内のページを長押しすると、ページを開く、ブックマークにページを追加する、ブックマークからページを削除する、ページを共有する、履歴からページを削除するためのメニューが表示されます。
- 5 履歴内のページをタップすると、再び開くことができます。

よく使用するページを表示する

- 1 画面の右上にあるブックマークアイコン  をタップします。
- 2 [よく使用] タブをタップします。
よく使用するページがリストで表示されます。ブックマークされているページには金色の星が表示されます。ページをブックマークに追加またはブックマークから削除するには、この星をタップします。
- 3 リスト内のページを長押しすると、ページを開く、ブックマークにページを追加する、ブックマークからページを削除する、ページを共有する、履歴からページを削除するためのメニューが表示されます。
- 4 タップすると、そのページが開きます。

リンク、電話番号、住所のショートカットを使用する

ブラウザは、リンクだけでなく、電話番号や住所などの情報を、直接操作する情報として認識します。

- ▶ リnkを長押しすると、リンクを開く、ブックマークする、保存する、メールで送信するためのメニューが表示されます。
- ▶ 電話番号をタップすると、その番号が入力された状態で電話アプリケーションが開きます。
「通話の発信と終了」(82 ページ) をご覧ください。
- ▶ 住所をタップすると、その場所が Google マップで開きます。
詳しくは「地図、ナビ、プレイス、Latitude」(253 ページ) をご覧ください。

複数のブラウザウィンドウでの操作

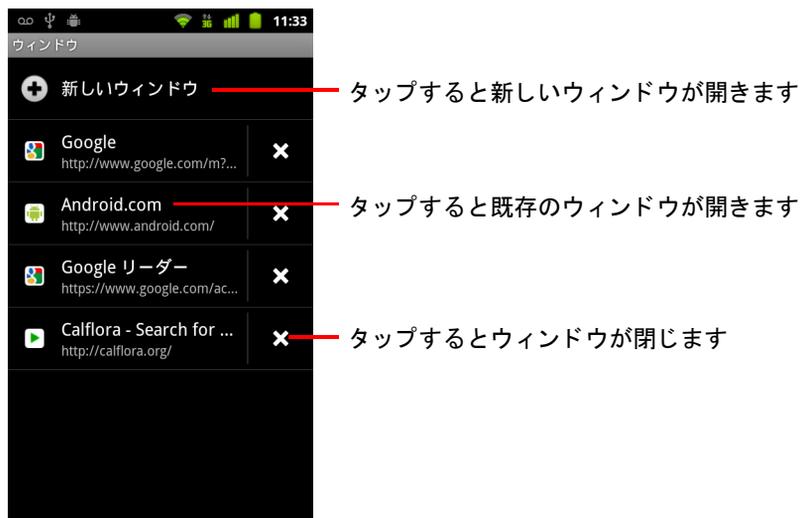
一度に最大8個のブラウザウィンドウを開き、ウィンドウ間を切り替えることができます。

新しいブラウザウィンドウを開く

- ▶ MENU キー \equiv を押して、[新しいウィンドウ] をタップします。
- ▶ MENU キー \equiv を押して、[ウィンドウ] をタップします。開いた画面で [新しいウィンドウ] をタップします。
新しいウィンドウが開き、ホームページが表示されます。

ブラウザウィンドウを切り替える

- 1 MENU キー \equiv を押して、[ウィンドウ] をタップします。
開いているウィンドウが表示されます。



- 2 開くウィンドウをタップします。

ブラウザウィンドウを閉じる

- 1 MENU キー \equiv を押して、[ウィンドウ] をタップします。
現在開いているウィンドウがすべて、スクロールリストにサムネイル表示されます。
- 2 閉じたいウィンドウの閉じるボックス \times をタップします。

ファイルのダウンロード

ウェブページから、ファイルだけでなくアプリケーションもダウンロードできます。ダウンロードしたファイルは、端末の USB ストレージまたは SD カードに保存されます。保存先は端末の機種によって異なります。ダウンロードしたファイルを表示、再び開く、削除する方法については、「ダウンロードの管理」(57 ページ)をご覧ください。

ウェブまたはメールでのアプリケーションのインストールを許可する

携帯端末では、ウェブからダウンロードしたアプリケーションや、メールで受信したアプリケーションはインストールできないよう初期設定されています。

注意：ウェブからダウンロードしたアプリケーションは、提供元が不明な場合があります。携帯端末や個人データを保護するには、Android マーケットなどの信頼できるソースからのみアプリケーションをダウンロードしてください。

- 1 [ホーム]キー  を押し、続いて MENU  キーを押して、[設定]> [アプリケーション]をタップします。
- 2 [提供元不明のアプリ]をオンにします。
- 3 マーケット以外で提供されるアプリケーションをダウンロード可能にすることを確認するダイアログが表示されたら、[OK]をタップします。

ファイルをダウンロードする

ウェブページによって、画像、ドキュメント、アプリケーションなどのファイルをダウンロードする仕組みは異なります。

- ▶ ファイルや他のウェブページへの画像またはリンクを長押しします。表示されるメニューで、[保存]をタップします。

そのファイルの形式を端末のアプリケーションがサポートしている場合、ファイルは SD カードまたは USB ストレージにダウンロードされます。

ダウンロードをキャンセルする

ファイルのダウンロードを取り消したい場合、または誤ってダウンロードを開始した場合は、実行中のダウンロードをキャンセルできます。

- 1 MENU キー  を押して、[その他] > [ダウンロード] をタップします。
- 2 リスト内のアイテムを長押しし、開いたメニューで [ダウンロードをキャンセル] をタップします。または、MENU キー  を再度押して、[全ダウンロードをキャンセル] をタップします。

ダウンロードしたすべてのファイルを表示する

- ▶ MENU キー  を押して、[その他] > [ダウンロード履歴] をタップします。ダウンロード アプリケーションが開き、ブラウザなどのアプリケーションでダウンロードしたファイルのリストが表示されます。
「ダウンロードの管理」(57 ページ) をご覧ください。

ブックマークの操作

後から簡単にアクセスできるよう、ウェブページにブックマークを設定できます。

ウェブページをブックマークする

- 1 ブックマークするウェブページを開きます。
- 2 画面の右上にあるブックマークアイコン  をタップし（または、MENU キー  を押して [ブックマーク] をタップし）、[ブックマーク] 画面上部の [追加] を押します。
または、MENU キー  を押して、[その他] > [ブックマークを追加] をタップします。
- 3 必要に応じて名前とアドレスを編集し、[OK] をタップします。
そのブックマークが、ブックマークリストに追加されます。

ブックマークを開く

- 1 画面の上部にあるブックマークアイコン  をタップします。
または、MENU キー  を押して [ブックマーク] をタップします。
ウィンドウが開き、ブックマークリストがアクセス頻度順に表示されます。
ブックマークはサムネイルで表示されるよう初期設定されています。
ブックマークをリストで表示するには、MENU キー  を押して、[リスト表示] をタップします。
- 2 開くページのブックマークをタップします。
ブックマークされたページが現在のウィンドウで開きます。そのページを新しいウィンドウで開くには、ブックマークを長押しして、表示されるメニューで [新しいウィンドウで開く] をタップします。

ブックマークを編集する

- 1 画面の上部にあるブックマークアイコン  をタップします。
または、MENU キー  を押して [ブックマーク] をタップします。
- 2 編集するブックマークを長押しします。
- 3 メニューで [編集] をタップします。
- 4 表示されるダイアログで名前やアドレスを編集します。
- 5 [OK] をタップします。

ブックマークを共有する

- 1 画面の上部にあるブックマークアイコン  をタップします。
または、MENU キー  を押して [ブックマーク] をタップします。
- 2 共有するブックマークを長押しします。
- 3 メニューで [リンクを共有] をタップします。
- 4 ブックマークの送信に使用するアプリケーションをタップします。
ブックマークのアドレスが入力された状態でアプリケーションが開きます。

ホーム画面にブックマークのショートカットを追加する

端末のホーム画面にブックマークのショートカットを追加すると、タップするだけでそのページがブラウザウィンドウで開きます。

- 1 端末のホーム画面の空いている場所を長押しします。
- 2 [ショートカット] をタップします。
- 3 [ブックマーク] をタップします。
- 4 追加するブックマークをタップします。
ブックマークアイコンがホーム画面に追加されます。

ブックマークを削除する

- 1 画面の上部にあるブックマークアイコン  をタップします。
または、MENU キー  を押して [ブックマーク] をタップします。
- 2 削除するブックマークを長押しします。
- 3 表示されるメニューで [削除] をタップします。
- 4 [OK] をタップします。

ブラウザ設定の変更

プライバシーの管理に関するブラウザ設定など、さまざまな設定ができます。

- ▶ ブラウザの設定画面を開くには、MENU キー  を押して[その他]>[設定]をタップします。

ページコンテンツ設定

文字サイズ ウェブページをブラウザで表示するときのテキスト サイズを変更するためのダイアログが表示されます。

デフォルトの倍率 ブラウザで最初にウェブページを開くときの拡大レベルを変更するためのダイアログが表示されます。

ページを全体表示で開く オフにすると、ウェブページは100%のサイズで左上隅から表示されます。ウェブページを全体表示に縮小して開く場合はオンにします。

テキストエンコード ウェブページのテキストの表示にブラウザで使用する文字エンコード規格を変更するためのダイアログが表示されます。

ポップアップウィンドウをブロック ウェブサイトが勝手にウィンドウを開かないようにするには、オンに設定します。

画像の読み込み ブラウザがウェブページを開くときに画像を読み込まないようにするには、オフに設定します。これにより、ウェブページがすみやかに表示されるようになります。この設定は接続速度が遅い場合には有効ですが、テキストのみのウェブサイトではほとんど効果がありません。

ページの自動調整 オンにすると、ウェブページのテキストやその他の要素が端末の画面に収まるよう、ブラウザが表示を最適化します。このオプションがオンに設定されている場合、指で画面を拡大/縮小した後にダブルタップすると、画面に合わせてテキストが表示されます。パソコンの画面用に設計されたページを表示する場合はオフにします。この状態でダブルタップすると、拡大表示とデフォルトの表示が切り替わります。

常に横向きに表示 オンにすると、端末の向きにかかわらず、画面上で常にページが横向き（横長）に表示されます。

JavaScript を有効にする ウェブページで JavaScript が実行されないようにするには、オフに設定します。多くのウェブページは、端末で JavaScript を実行できる場合のみ、正常に動作します。

プラグインを有効にする ウェブページでプラグインを無効にする場合はオフにします。

バックグラウンドで開く リンクを長押しして[新しいウィンドウで開く]をタップしたときに、新しいウィンドウをバックグラウンドで開く場合はオンにします。これは、ダウンロードや表示に時間がかかるウィンドウを操作する際に便利です。バックグラウンドで開いたウィンドウを表示するには、**MENU キー**  を押し、[ウィンドウ]をタップして、新しいウィンドウをタップします。現在のウィンドウの代わりに新しいウィンドウを開く場合はオフにします。「ブラウザウィンドウを切り替える」(245 ページ)をご覧ください。

ホームページ設定 新しいブラウザウィンドウを開いたときに常に表示するページの URL を設定するダイアログが開きます。ホームページを開かずに、新しいブラウザウィンドウを早く開きたい場合、このダイアログは空のままにします。

プライバシー設定

キャッシュを消去 再度アクセスしたときにページをすぐに表示できるように、アクセスしたウェブページのテキストと画像がブラウザで保存されています。これらの一時ファイルを消去するには、[キャッシュを消去]をタップします。

履歴消去 アクセスしたウェブページの履歴はブラウザに記録されているため、後から検索して簡単にアクセスできます（「ブラウザの履歴を表示する」(243 ページ)をご覧ください）。この記録を削除するには、[履歴消去]をタップします。

Cookie を受け入れる 多くのウェブページは、ユーザーの利便性のために、端末に Cookie というファイルを保存し、読み込みや更新を行います。たとえば、パスワードで保護されたサイトでは、Cookie を使用すると、アクセスするたびにログインする必要がなくなります。ユーザーの好みを記録するために Cookie を使用しているサイトもあります。ウェブページが端末に Cookie を保存するのを拒否する場合はオフにします。

Cookie をすべて消去 端末からすべての Cookie を消去するには、ここをタップします。

フォームデータを保存 ウェブサイトのフォームに入力した情報はブラウザに記憶され、そのフォームを次回使用する際のテキストの再入力に役立ちます。この機能を無効にするにはオフにします。

フォームデータを消去 ブラウザが保存しているフォームに入力したすべての情報を削除するには、ここをタップします。

位置情報を有効にする 端末の位置情報を使って現在地を共有するためのリクエストを、地域別コンテンツのあるウェブサイトには許可する場合はオンにします。端末の現在地をウェブサイトに提供するには、設定アプリケーションで現在地の共有を有効にすることも必要です。「プライバシーの設定」(382 ページ)をご覧ください。

位置情報アクセスをクリア これまでにウェブサイトに許可した現在地へのアクセスの許可を取り消すことができるダイアログが開きます。これらのウェブサイトで、現在地へのアクセスが再度必要になった場合は、もう一度許可を与える必要があります。

セキュリティ設定

パスワードを保存 ログインが必要な複数のウェブページのパスワードをブラウザに保存できます。これにより、頻繁にアクセスするページにすばやくログインできます。ブラウザでパスワードを保存しない場合はオフにします。

パスワードを消去 タップすると、ブラウザが保存したすべてのパスワードが消去されます。

セキュリティ警告 期限切れや無効な証明書など、ブラウザがウェブサイトの一般的な問題についての警告を表示しないようにする場合は、オフにします。

詳細設定

検索エンジンの設定 URL ボックスでウェブアドレス (URL) または検索キーワードを入力したときに使用するウェブ検索エンジンを選択するためのダイアログが表示されます。使用できる検索エンジンは、お住まいの地域によって異なります。URL ボックスでマイクアイコンを使用できるのは、Google 検索エンジンを使用しているときだけです。

ウェブサイト設定 特定のウェブサイトの詳細設定を表示する画面が開きます。

初期設定にリセット タップすると、閲覧履歴、Cookie、パスワード、ブックマークを含むブラウザのすべてのデータが消去され、すべてのブラウザ設定が初期値に戻ります。

地図、ナビ、プレイス、Latitude

地図アプリでは、現在地の確認、現在の渋滞状況の表示、徒歩、公共交通機関、自転車、車を使った目的地までの経路検索、Google マップ ナビ (Beta) での音声によるターンバイターン方式の運転経路案内などの機能を利用することができます。

住所、スポット、お店やサービスの場所を検索したり、興味のある場所を地図や航空写真上に表示したりできます。地域によっては、通りに立った目の高さでお店とその周辺の画像を表示できます。Google Latitude を使用すると、地図上に友だちの現在地を表示し、自分の現在地などの情報を友だちと共有できます。

地図アプリでは、Google プレイス、ナビ (Beta)、Latitude の 3 つの機能に簡単にアクセスできます。これらの機能は、ランチャーにもアプリケーションアイコンとして表示されます。

地図には、すべての場所の情報が含まれているわけではありません。

このセクションの内容

- 「地図アプリの起動」(254 ページ)
- 「現在地の表示と位置情報サービス」(255 ページ)
- 「場所の検索、探索、スター付け」(257 ページ)
- 「ランチャーでのプレイス機能の使い方」(260 ページ)
- 「地図レイヤの変更」(261 ページ)
- 「経路の検索」(263 ページ)
- 「Google マップ ナビ (Beta) を使ったナビゲーション」(264 ページ)
- 「経路のプレビューと表示の変更」(266 ページ)
- 「Google Latitude を使った友だちの検索」(269 ページ)

地図アプリの起動

Android 向け Google マップには、地図アプリケーションのほか、Latitude、ナビ、プレイスのコンポーネントがあり、Google マップ内で利用できます。また、ランチャーの各ショートカットからも利用できます。

地図を開く

- ▶ 地図アイコン  をランチャーまたはホーム画面でタップします。
地図アプリとは別個に上記の機能を使用する方法については、「Google Latitude を使った友だちの検索」(269 ページ)、「Google マップ ナビ (Beta) を使ったナビゲーション」(264 ページ)、「ランチャーでのプレイス機能の使い方」(260 ページ) をそれぞれご覧ください。

地図を移動する

- ▶ 地図を指でドラッグします。

地図を拡大 / 縮小する

- ▶ ズームコントロールのプラスまたはマイナスをタップします。
または
- ▶ ある場所を拡大表示するには、地図のその場所を1本の指でダブルタップします。縮小表示するには2本の指で1回タップします。
または
- ▶ 2本の指を同時に画面に置き、指を拡げるピンチアウトで表示が拡大し、指を閉じるピンチインで表示が縮小します。
場所によっては、ズームレベルの一部が使用できない場合があります。

現在地の表示と位置情報サービス

Google マップの現在地機能では、さまざまな方法でユーザーの現在地が測定され、おおよその現在地を中心にして地図が表示されます。

位置情報サービスを有効にする

地図アプリで現在地情報を使用し、付近のスポットを検索するには、位置情報サービスをオンにする必要があります。

1 [ホーム]キー  を押してから MENU キー  を押し、[設定]>[現在地情報とセキュリティ]をタップします。

2 使用する[現在地]のオプションをオンにします。

携帯端末で Wi-Fi ネットワークとモバイル ネットワークを使用しておおよその現在地を特定できるようにする場合は、[ワイヤレスネットワークを使用]をオンにします。

携帯端末を使って現在地を高精度で測位できるようにするには、[GPS 機能を使用]をオンにします (GPS 機能は、頭上に障害物がない場所で最適に動作します)。

現在地を表示する

▶ 検索バーにある現在地アイコン  をタップします。

現在地を示す青い矢印を中心に地図が表示されます。この矢印の周りの青い円は、実際の現在地がこの円内にあることを示します。

場所の検索、探索、スター付け

Google マップを使って、周辺の情報を探索することができます。Google プレイスの機能を使うと、お店やスポットを検索したり、周辺地域を表示したりできます。

検索する

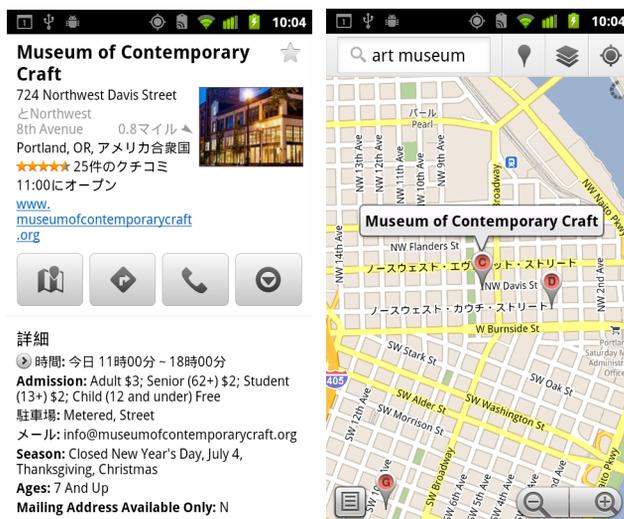
- 1 検索する場所を検索ボックスに入力します。「サンフランシスコの博物館」のように、住所、都市名、企業名や施設の種類などを入力します。
- 2 [実行]をタップして検索します。

情報を入力すると、過去に検索したキーワードやウェブで頻繁に検索されている検索キーワードの候補が検索ボックスの下にリスト表示されます。候補をタップすると、そのキーワードで検索できます。

検索結果を表示する

検索後、検索結果の地図上の場所が、文字のラベルが付いたマーカーで表示されます。

- ▶ マーカーをタップすると、バルーンが開き、その場所の概要が表示されます。
- ▶ バルーンをタップすると画面が開き、その場所の詳細情報と、経路検索のオプションが表示されます。



場所の詳細情報を表示する

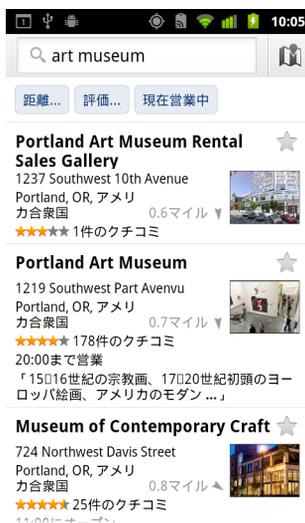
地図上の領域について、住所などの情報を表示できます。表示される情報量は場所によって異なります。

- ▶ 地図上の場所、スターアイコン、ラベル付きのスポットを長押しするか、検索結果を選択します。

その場所の上にバルーンが開き、ストリートビューのサムネイル（利用できる場合）と住所が表示されます。

- ▶ バルーンをタップすると画面が開き、場所の詳細を示すツールが表示されます。

この画面から、経路検索やナビを利用したり、電話をかけたり、ストリートビューを表示したり、お店やスポットのクチコミや評価を見たりできます。



場所にスターを付ける、付けたスターを外す

地図上の場所やラベル付きのスポットにスターを付けると、携帯端末やウェブの Google マップにログインしたときにその場所を簡単に見つけることができます。

- 1 地図上の場所やラベル付きのスポットを長押しします。
- 2 表示されるバルーンをタップします。
- 3 その場所にスターを付けるには、画面の上部にあるグレーのスターアイコン ★ をタップします（スターを外すには、その場所の金色のスターアイコンをタップします）。

スター付きの場所のリストを表示する

スター付きの場所のリストを開くと、簡単にスター付きの場所を地図上に表示できます。リストには、携帯端末またはウェブの Google マップにログインしているときにスターを付けた場所が表示されます。

- 1 地図を表示した状態で **MENU キー**  を押し、[その他]>[スター付きの場所]をタップします。

スター付きアイテムとその住所のリストが開きます。リストを更新するには、**MENU キー**  を押して[更新]をタップします。

リストにある場所をタップすると、その場所の地図が表示されます。

検索履歴を消去する

Google マップでは、後から再度検索しやすいように、検索したアイテムが保存されます。この検索履歴は、設定アプリケーションで消去できます。

- 1 [ホーム]キー  を押してから **MENU キー**  を押し、[設定]>[アプリケーション]>[アプリケーションの管理]をタップします。
- 2 [すべて]タブをタップします。
- 3 スクロール リストの[マップ]をタップします。
- 4 [データを消去]をタップします。

ランチャーでのプレイス機能の使い方

プレイス機能では、現在地を使用して、付近のお店やサービスを検索できます。

- 1 ランチャーまたはホーム画面でプレイスアイコン  をタップします。「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ) をご覧ください。



- 2 あらかじめ設定されているプレイスのカテゴリ (レストラン、ATM など) のリストから選択したり、[追加] をタップして独自のカテゴリを作成したりできます。

カテゴリを選択すると、現在地に近い検索結果のリストが表示され、現在地からの距離と、相対的な位置を表す小さい矢印がそれぞれに表示されます。

検索結果を地図上で見るには、画面の右上にある地図アイコン  をタップします (Google マップが起動します)。

マイマップのリストを見るには、MENU キー  を押して [マイマップ] をタップします。

スター付きの場所のリストを見るには、MENU キー  を押して [スター付きの場所] をタップします。

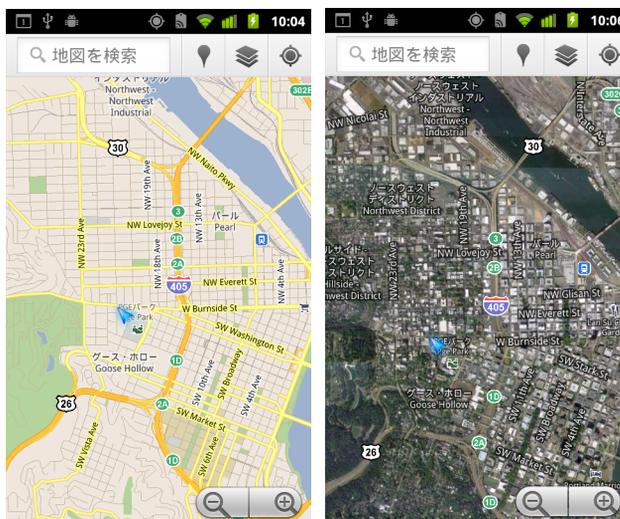
- 3 検索結果をタップして、詳細情報を表示したり、クチコミを投稿したり、経路を検索したりできます。

地図レイヤの変更

Google マップの起動時は市街地図が表示されますが、レイヤを有効にして、その場所の航空写真や地形画像を表示したり、渋滞状況を確認したり、ストリートビューを利用したりできます。

地図レイヤを変更する

- 1 検索バーにあるレイヤアイコン  をタップします。
ダイアログが開き、レイヤのリストのほか、最近検索した場所へのショートカットが表示されます。
[その他のレイヤ]をタップすると、マイマップ、Wikipedia 情報などを利用できます。
すべての地図レイヤをクリアするには、[地図のクリア]をタップします。
- 2 表示するレイヤをタップします。表示されているレイヤをタップすると、非表示になります。
選択したレイヤに応じて、情報が基本地図の上に表示されたり、地図全体が変更されたりします。



ストリートビューを表示する

ストリートビューでは、場所の画像が通りに立った目の高さで表示され、移動したり表示を拡大したりできます。ストリートビューは、一部の地域では利用できません。

- 1 地図上の場所を長押しすると、住所とストリートビューのサムネイルを含むバルーンが開きます。
- 2 バルーンをタップします。
- 3 開いた画面でストリートビューアイコンをタップします。

ストリートビューを移動する

指を使って地図をスクロールします。

- ▶ 左下にあるペグマンアイコンを地図上にドラッグすると、その場所を中心に表示できます。
- ▶ ストリートビューで場所を拡大表示するには、その場所を1本の指でダブルタップします。縮小表示するには2本の指で1回タップします。
- ▶ **MENU キー**  を押して[**コンパスモード**]をタップすると、携帯端末自体を動かしてストリートビュー内を移動できます。携帯端末を傾けたり、上下左右に向きを変えたりすると、表示が変わります。[**コンパスモード**]をもう一度タップすると終了します。
- ▶ **MENU キー**  を押して[**画像を報告**]をタップすると、ウェブベースのフォームが表示され、不適切なコンテンツやプライバシー上の問題のある画像を報告できます。
- ▶ **MENU キー**  を押して[**地図を選択**]をタップすると、ストリートビューを終了します。

経路の検索

地図アプリを使用し、徒歩、公共交通機関、自転車、車による経路を検索することができます。

目的地へのショートカットをホーム画面に追加すると、そのショートカットをタップするだけで現在地から目的地までの経路を表示できます。

経路を検索する

- 1 地図を表示した状態で、**MENU キー**  を押して[**経路** ]をタップします。

- 2 出発地と目的地を入力し、交通機関（車、公共交通機関、自転車、徒歩）のモードを選択します。

現在地機能を有効にしていると、デフォルトで出発地のフィールドに現在地が表示されます。

- 3 アイコンをタップし、車、公共交通機関、自転車、徒歩のいずれかの経路を指定します。

- 4 [**実行**] をタップします。

目的地までの経路がリストで表示されます。



経路を地図に表示するには、[**地図で見る**] をタップします。

- 5 **MENU キー**  を押すと、出発地と目的地を入れ替える、高速道路や有料道路を使わない経路を検索する、経路に関する問題を Google に報告するなど、検索した経路に関するオプションが表示されます。

Google マップ ナビ (Beta) を使ったナビゲーション

Android 用 Google マップには、ナビ (Beta) という機能があり、ターンバイターン方式で目的地までの経路を案内します。

Google マップからナビ (Beta) を使用する

運転経路を検索後、1回タップするだけでナビを開始できます：

- 1 現在地から、指定した目的地への運転経路を検索します。
- 2 [ナビを開始] をタップすると、ターンバイターン方式の案内が開始します。

目的地の詳細ページから直接ナビを開始することもできます：

- 1 目的地の詳細ページを表示します。
- 2 経路アイコン  をタップします。
- 3 [運転ナビ] をタップすると、ターンバイターン方式の案内が開始します。
別の案内モードとして、徒歩ナビも利用できます。徒歩ナビを使用するには、[徒歩ナビ] を [運転ナビ] の代わりに選択します。

ホーム画面にナビのショートカットを追加する

- 1 ホーム画面で、MENU キー  を押して [追加] をタップします。
- 2 [ショートカット] をタップし、[経路とナビ] をタップします。
- 3 [目的地] フィールドに目的地の住所を入力します。
- 4 [移動手段] セクションで [車] を選択し、[ターンバイターン方式ナビ] のチェックボックスがオンになっていることを確認します。
- 5 ショートカットに名前を付け、ショートカット アイコンを選択し、[保存] をタップします。
ショートカットがホーム画面に追加されます。

音声コマンドを使用する

- 1 ホーム画面でマイクアイコンをタップします。
- 2 話すように指示されたら、「移動先」と言い、その後に場所を続けます。
- 3 候補リストが表示されたら、リストにある目的地をタップします。
ターンバイターン方式の案内が自動的に開始します。

経路のプレビューと表示の変更

経路を移動しながら、さまざまな情報レイヤで状況を表示することができます。地図を拡大 / 縮小したり、ドラッグして隣接する地図を表示したりできます。航空写真やストリートビューで移動状況を表示したり、経路の渋滞状況を確認することもできます。

経路をプレビューする

経路の進路変更地点を、ナビや航空写真などのビューでプレビューできます。

- 1 画面上部にあるバナーをタップします。
- 2 経路の次の区間または前の区間をプレビューするには、左矢印または右矢印をタップします。

経路のプレビューが表示されている状態でペグマンアイコンをタップすると、通りに立った目の高さで経路が表示されます。この表示でもう一度ペグマンアイコンをタップするとストリートビューに切り替わります。ストリートビューでは、指でドラッグして表示を変えることができます。ストリートビューについては、「地図レイヤの変更」(261ページ)をご覧ください。

- 3 プレビューが終わったら、ナビアイコンをタップし、現在地と次の進路変更地点の表示に戻ります。

経路の表示を変更する

- ▶ MENU キー  を押して [経路情報] をタップすると、経路の概要が表示されます。この画面では、新しい経路の選択や渋滞状況の確認などを行うことができます。
- ▶ 経路情報画面でリスト表示アイコンをタップすると、文章で記載された経路のリストをスクロールして、経路の各進路変更地点を確認できます。
- ▶ MENU キー  を押して [レイヤ] をタップすると、渋滞状況や航空写真に表示を切り替えたり、駐車場やレストランなど、経路上にあるお店やサービスを表示したりできます。
- ▶ 地図をドラッグすると、隣接地域の地図を確認できます。また、地図をタップすると、ズームコントロールが表示されます。

経路を除外する

ターンバイターン方式の案内を使用しているときに、有料道路や高速道路を経路から除外することができます。

- 1 MENU キー  を押して [経路情報] をタップします。
- 2 設定アイコンをタップします。
- 3 経路のオプションを選択して、[OK] をタップすると、経路が更新されます。

別の経路を検索する

Google マップ ナビ (Beta) で別の経路を検索することができます。

- 1 MENU キー  を押して [経路情報] をタップします。
- 2 別の経路アイコンをタップします。
別の経路が（見つかると）地図上に表示されます。
- 3 使用する経路を選択すると、ターンバイターン方式の案内が再開されます。

移動に関する情報を確認する

Google マップ ナビ (Beta) では、移動にかかる予想時間が画面の左下に示されます。

- ▶ 画面の左下の色の付いた丸をタップすると、経路上の渋滞状況と、到着予想時間が表示されます。ナビアイコンをタップすると、ターンバイターン方式の案内に戻ります。

ランチャーでのナビ機能の利用

ナビ機能には、経路をカスタマイズするためのオプションや、最近検索した経路にアクセスするためのオプションがあります。この画面から目的地を設定せずにナビモードに入ることもできます。

- ▶ ナビアイコン  をランチャーまたはホーム画面でタップします。「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ) をご覧ください。
- 目的地の候補のリストから目的地を選択するか、最近利用した目的地を選択すると、ターンバイターン方式の案内が開始します。
- 高速道路や有料道路を使わないよう経路をカスタマイズするには、設定アイコンをタップします。
- 目的地を選択しなくても、[**地図**] をタップして、移動の記録を開始できます。



経路の途中で目的地を選択する

- 1 MENU キー  を押して [**目的地設定**] をタップします。
- 2 目的地の候補のリストから目的地を選択します。

ナビ (Beta) を終了する

ナビ モードは、目的地に到着したときなど、いつでも終了できます。

- ▶ MENU キー  を押し、[**ナビの終了**] をタップします。
- それまで表示していた地図アプリケーションの表示に戻ります。

Google Latitude を使った友だちの検索

Google Latitude を使用すると、友だち同士でお互いの現在地を地図上に表示してステータスメッセージを共有できます。Latitude では、メッセージやメールの送信、携帯端末での通話、友だちのいる場所への経路の表示などができます。

あなたの現在地は自動的に共有されるわけではありません。Latitude に参加し、あなたの現在地が表示されるよう友だちを招待するか、友だちからの招待を承諾します。

Latitude に参加する

- ▶ 地図を表示した状態で、**MENU キー**  を押して [**Latitude に参加**] をタップします。

最初に Latitude に参加するときに、Google のプライバシーポリシーを受け入れるかどうかの確認を求められます。

Latitude に参加すると、メニュー項目が [**Latitude**] に変更されます。

Latitude を開く

Latitude に参加すると、Latitude を起動して、友だちを検索したり更新情報を参照したりできます。

- ▶ 地図を表示した状態で、**MENU キー**  を押して [**Latitude**] をタップします。

友だちを招待し、現在地を共有する

Latitude に参加すると、友だちと現在地を共有できます。あなたの現在地を参照できるのは、明示的に招待した友だちや、招待を承諾した友だちのみです。

- 1 Latitude を起動し、MENU キー  を押して[友人を追加]をタップします。
- 2 開いたメニューで、[連絡先から選択]または[メールアドレスから追加]をタップします。
[連絡先から選択]をタップした場合、すべての連絡先を表示するスクロールリストが表示されます。招待するすべての連絡先のチェックボックスをオンにします。
[メールアドレスから追加]をタップした場合、招待する友だちのメールアドレスを1件以上入力できます。複数入力する場合はカンマで区切ります。
- 3 画面の下にある[友人を追加]をタップします。
友だちが既に Latitude を使用している場合、メールのリクエストと Latitude への通知が友だちに送信されます。友だちがまだ Latitude に参加していない場合、Google アカウントを使用して Latitude にログインするように促す招待メールが送信されます。

招待に応答する

友だちから Latitude で現在地を共有するよう招待を受けた場合、次のいずれかの方法で応答できます。

受け入れて自分の現在地も教える あなたと友だちはお互いの現在地を表示できます。

受け入れるが自分の所在地は教えない あなたは友だちの現在地を表示できますが、友だちはあなたの現在地を表示できません。

承認しない 友だちと現在地情報を共有しません。

友だちの現在地を表示する

友だちの現在地を地図上やリスト内に表示できます。

地図を開くと、友だちの現在地が表示されます。友だちは、それぞれの連絡先の画像と、おおよその現在地を示す矢印で表されます。友だちが都市名レベルでの場所の共有を選択している場合、矢印のない画像が都市の中央に表示されます。

友だちが Google トークを使用している場合、オンライン ステータス（オンラインや取り込み中など）が画像の下の丸いアイコンで表示されます。詳しくは「オンライン ステータスの変更と監視」（203 ページ）をご覧ください。

- ▶ 友だちのプロフィールと接続状況を確認するには、画像をタップします。友だちの名前がバルーンに表示されます。
- ▶ 友だちのバルーンをタップすると、友だちの詳細情報やさまざまな連絡オプションを示す画面が表示されます。

Latitude を起動すると、Latitude の友だちのリストに、最後に確認された現在地やステータスなどの概要が表示されます。リストで友だちをタップすると、友だちの詳細情報やさまざまな連絡オプションを示す画面が表示されます。

友だちとの連絡を管理する

地図上で友だちの連絡先詳細を示すバルーンをタップするか、リスト表示で友だちをタップすると、友だちのプロフィールが表示されます。プロフィール画面では、友だちに連絡したり、プライバシーオプションを設定したりできます。

地図で見る 地図上に友だちの現在地を表示します。

Google トークでチャット 友だちとの Google トークのチャット ウィンドウを開きます。

メールを送信 Gmail を起動し、友だちにメールを送信します。

経路 友だちの現在地までの経路を検索します。

この友人に現在地を教えない Latitude のリストまたは地図内で、この友だちとの現在地の共有を停止します。この友だちとの現在地の共有を再開する場合は、[この友人に現在地を教える] をタップします。

現在地の都市名のみ共有 現在地の都市名のみを共有し、市街地レベルの位置情報は共有しません。あなたの画像は、現在地の都市の中央に表示されます。詳細な現在地を再び共有する場合は、[最新の現在地情報] をタップします。

削除 友だちをリストから削除し、現在地の共有を完全に停止します。

共有内容を管理する

Latitude でいつ、どのように友だちと現在地を共有するかを管理できます。Latitude に最後に送信された現在地のみが Google アカウントに保存されません。Latitude をオフにしている場合、または非表示にしている場合は、現在地は保存されません。

- ▶ Latitude を起動し、自分の名前をタップします。続いて [**プライバシー設定を編集**] をタップします

次のプライバシー オプションを設定できます。

現在地を自動検出 Latitude であなたの現在地を検出し、移動に合わせて現在地を更新します。更新の頻度は、携帯端末の電池残量や現在地の変更がいつ行われたかなど、いくつかの要素によって決まります。

現在地を設定 住所を入力する、連絡先から選択する、地図上の場所を選択する、Latitude で現在地の共有を再開する、のいずれかを選択して現在地を設定し、他のユーザーと共有します。

現在地を非表示 すべての友だちに対して現在地を非表示に設定します。

Latitude からログアウト Latitude を無効にし、現在地やステータスの共有を停止します。Latitude へは、またいつでも参加できます。

プライバシーについて詳しくは <http://www.google.com/support/mobile/bin/topic.py?topic=21223> をご覧ください。

カメラ

カメラは、画像や動画を撮影して共有できるカメラ / ビデオ録画アプリケーションです。

画像や動画は、端末の SD カードまたは USB ストレージ（端末によって異なります）に保存されます。画像や動画はパソコンにコピーできます。詳しくは「パソコンへの接続（USB 経由）」（70 ページ）をご覧ください。

ギャラリーを使用して、端末で画像や動画の表示、編集、共有、その他の操作を行えます。「ギャラリー」（283 ページ）をご覧ください。

このセクションの内容

「カメラの起動と画像や動画の撮影」（274 ページ）

「カメラの設定の変更」（278 ページ）

カメラの起動と画像や動画の撮影

カメラで画像や動画を撮影できます。

カメラの設定については、「カメラの設定の変更」(278 ページ) をご覧ください。

ギャラリー アプリケーションで画像を表示することもできます。詳しくは、「ギャラリー」(283 ページ) をご覧ください。

重要: 画像を撮影する前に、必ずレンズの保護カバーをマイクロファイバー クロスで拭いてください。指などの汚れがレンズ カバーに付いていると、「ハレーション」が生じて画像がぼやけることがあります。

カメラを起動する

- ▶ ランチャーまたはホーム画面でカメラアイコン  をタップします。アプリケーションを開く方法や切り替える方法については、「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ) をご覧ください。カメラが横表示で起動し、画像や動画を撮影する準備が整います。



画像を撮影する

- 1 必要であれば、コントロールをカメラの位置にドラッグします。



- 2 露出やフラッシュなどの設定も調整できます。または、オートで撮影することもできます。

「カメラの設定の変更」(278 ページ) をご覧ください。設定を変更すると、プレビュー画像が変わります。

- 3 被写体を画面でフレーミングします。

お使いの端末の機能に応じて、前面  または背面  のカメラの選択アイコンをタップし、前面または背面のカメラを使用するように設定できます。拡大 / 縮小するには、ズームアイコン **1x** をタップしてからズームレベルをタップします。

- 4 画面上のシャッターアイコンをタップします。



端末にトラックボールまたは専用のカメラ ボタンがある場合、それを押して写真を撮影できます (端末のボタンについて詳しくは、取扱説明書をご覧ください)。

画像にピントが合わせられます。ピントが合うと、四隅にあるフォーカスインジケータが緑に変わり、画像が撮影されます。

撮影の前にまずピントを合わせるには、シャッターアイコン (または端末のボタン) を長押ししてから指を離します。こうすると、ピントの合った画像をより簡単に撮影できます。

シャッターアイコンから指をスライドさせてから指を離すと、画像の撮影をキャンセルできます。

撮影した画像がしばらくの間表示されます。その後、サムネイル画像が表示されます。

- 5 ギャラリーで画像の表示、共有、その他の操作を行うには、サムネイルをタップします。

「ギャラリー」(283 ページ) をご覧ください。

前面 / 背面カメラを切り替える

端末の前面と背面の両方にカメラが搭載されている場合（取扱説明書をご覧ください）、プレビューや撮影に使用するカメラを選択できます。

- ▶ 画面上のカメラの選択アイコンをタップし、背面カメラ  と前面カメラ  を切り替えます。

プレビューが切り替わり、選択したカメラから見たシーンが表示されます。前面カメラでは、一部の機能（フラッシュなど）を使用できない場合があります。

デジタルズームを使って画像を撮影する

端末のカメラがデジタルズームに対応している場合（取扱説明書をご覧ください）、画像を撮影する前にシーンを拡大 / 縮小できます。

- ▶ 画面のズームアイコン **1x** をタップし、目的の倍率をタップします。

または

- ▶ 画面をダブルタップすると、一度に拡大 / 縮小できます。

デジタルズームで撮影した画像は、[表示サイズ]設定で設定したサイズよりも（ピクセル単位で）小さくなる場合があります。「カメラモード設定」（279 ページ）をご覧ください。

動画を撮影する

- 1 必要であれば、コントロールをビデオカメラの位置にドラッグします。



- 2 使用するカメラを選択し、画質、色効果、フラッシュなどの設定を調整します。または、オートで撮影することもできます。

「カメラの設定の変更」(278 ページ) をご覧ください。設定を変更すると、プレビュー画像が変わります。対応している動画の設定は、端末によって異なります。

- 3 撮影を開始する場所にレンズを向けて、フレームに収めます。

- 4 画面上の録画開始アイコン  をタップします。

カメラが動画の撮影を開始します。撮影可能な残り時間は左側に表示されます。残り1分を切ると、カウントダウン表示が赤に変わります。

- 5 撮影を停止するには、録画停止アイコン  をタップします。

最新の動画の画像が、画面の右上にサムネイルとしてしばらくの間表示されます。

端末にトラックボールまたは専用のカメラ ボタンがある場合、それを押して録画を開始 / 停止できます (端末のボタンについて詳しくは、取扱説明書をご覧ください)。

- 6 ギャラリーで動画の表示、共有、その他の操作を行うには、サムネイルをタップします。

「ギャラリー」(283 ページ) をご覧ください。

カメラの設定の変更

カメラを向けてボタンを押すだけで簡単に画像や動画を撮れるように、カメラは自動設定されますが、ピントのコントロール、フラッシュのオン / オフ、ホワイトバランスの調整など、さまざまな方法で露出をコントロールすることもできます。白黒反転やその他の特殊効果を使って撮影することもできます。

動画モードでは、画質のコントロール、動画の長さ、撮影場所の保存などを設定できます。

カメラの設定は、端末が対応している機能によって異なります。

カメラの設定を変更する

- 1 画像や動画を撮影する [カメラ] 画面を開き、変更する設定のアイコンをタップします。
画面上に設定が開きます。
- 2 コントロールする設定カテゴリをタップし、目的の設定をタップします。
カメラの設定について詳しくは、「カメラモード設定」(279 ページ) をご覧ください。動画の設定について詳しくは、「ビデオモード設定」(280 ページ) をご覧ください。
- 3 [戻る] キー ← を押して、設定メニューを閉じます。
画面上のアイコンによって現在の設定がわかります。
- 4 新しい設定で画像を撮影します。

カメラ モード設定

カメラモードでは、カメラの設定が画面に表示されます。

 **設定** タップすると、次のような設定のスクロールリストが開きます：

- **フォーカスモード** タップして、カメラでオートフォーカス機能を使用する（[**オート**]）か、フォーカスを無限遠に設定してすばやく撮影する（[**無限遠**]）か、クローズアップするか（[**マクロ**]）を選択します。端末が対応しているフォーカス機能については、取扱説明書をご覧ください。
- **露出** タップして、露出を調整します。
- **シーンモード** タップして、海辺や花火といった特別なシーンに合わせて調整済みのカメラ設定を選択します。端末がシーンモードに対応しているかどうかは、取扱説明書をご覧ください。
- **表示サイズ** タップして、撮影する画像のサイズをピクセル単位で設定します。このサイズに対応している端末では、VGAは640x480ピクセルになります。
- **写真の画質** タップして、撮影する画質（写真をファイルに圧縮するとき、画質とファイルサイズのどちらを優先するか）を設定します。
- **色効果** タップして、モノクロ、セピアトーン、白黒反転など、撮影に使う特殊効果を選択します。
- **初期設定に戻す** タップして、カメラのすべての設定を初期設定に戻します。

位置情報を記録する 携帯端末のGPS機能を使用して、画像を撮影した場所の情報を保存する場合はオンにします。

 画像と一緒に撮影場所が保存されています

 画像と一緒に撮影場所は保存されていません

ホワイトバランス タップして、カメラのカラーをどの光源の種類によって調節するかを選択して、最も自然なカラーで撮影できるようにします。または、カメラで自動的にホワイトバランスを調整します。

 **AW** 自動

 白熱灯

 昼光

 蛍光灯

 曇り

フラッシュモード タップして、カメラの光度計でフラッシュが必要かどうかを自動的に判断するか、すべての撮影でフラッシュを手動でオン / オフにするかを設定します。

-  自動
-  ON
-  OFF

1x ズーム タップして、等倍から2倍へと拡大します。拡大 / 縮小のその他の方法については、「デジタルズームを使って画像を撮影する」(276 ページ)をご覧ください。端末がデジタルズームに対応しているかどうかは、取扱説明書をご覧ください。

カメラを選択 タップして、使用するカメラを選択します（端末に複数のカメラが搭載されている場合）。

-  背面カメラ
-  前面カメラ

ビデオ モード設定

カメラ モードと同様に、ビデオ モード設定も画面に表示されます。

-  **設定** タップすると、次のような設定のスクロール リストが開きます：
 - **色効果** タップして、モノクロ、セピアトーン、白黒反転など、動画に使う特殊効果を選択します。
 - **初期設定に戻す** タップして、カメラのすべての設定を初期設定に戻します。

ホワイトバランス タップして、カメラのカラーをどの光源の種類によって調節するかを選択し、最も自然なカラーで動画を撮影できるようにします。または、カメラで自動的にホワイトバランスを調整します。

-  自動
-  白熱灯
-  昼光
-  蛍光灯
-  曇り

フラッシュモード タップして、被写体を照らすフラッシュを点灯します。端末が動画撮影中のフラッシュに対応しているかどうかは、取扱説明書をご覧ください。



ON



OFF

動画の画質 パソコンでの表示や、メッセージまたは YouTube での共有に適した、動画の画質と再生時間の上限の組み合わせをタップします：

高 (30m)

低 (30m)

MMS (低、30s)

YouTube (高、10m)

カメラを選択 タップして、使用するカメラを選択します（端末に複数のカメラが搭載されている場合）。



背面カメラ



前面カメラ

ギャラリー

ギャラリーでは、カメラで撮影した画像や動画、SDカードやUSBストレージ（端末の機種によって異なります）にダウンロードまたはコピーした画像や動画を表示、再生できます。Picasa ウェブアルバムの画像を表示することもできます。画像に基本的な編集作業を行ったり、画像を壁紙や連絡先に設定したりすることもできます。さらに、画像や動画をメールやSMSで送信したり、Picasa や YouTube ウェブサイトにアップロードしたりして、友だちと共有することもできます。

このセクションの内容

「ギャラリーの起動とアルバムの表示」(284 ページ)

「アルバムの操作」(286 ページ)

「画像の操作」(290 ページ)

「動画の操作」(295 ページ)

ギャラリーの起動とアルバムの表示

画像や動画のアルバムを表示するには、ギャラリーを起動します。

ギャラリーを起動してアルバムを表示する

- ▶ ランチャーまたはホーム画面でギャラリーアイコン  をタップします。

または

- ▶ [カメラ]画面の右上にあるサムネイル画像をタップして、ギャラリーを起動します。

または

- ▶ [カメラ]画面で **MENU キー**  を押して[**ギャラリー**]をタップし、ギャラリーを起動します。

アプリケーションを開く方法や切り替える方法については、「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ) をご覧ください。画像や動画の撮影方法については、「カメラ」(273 ページ) をご覧ください。

ギャラリーには、カメラで撮影、またはウェブなどからダウンロードしてSDカードやUSBストレージ(端末の機種によって異なります)に保存されている画像や動画が表示されます。

端末に追加した Google アカウントに Picasa アカウントを関連付け、Picasa と同期するよう設定していると、ギャラリーには Picasa ウェブアルバムも表示されます。「アカウントの同期オプションと表示オプションの設定」(133 ページ) をご覧ください。

SDカードやUSBストレージ、または Picasa ウェブアルバムに保存されている画像や動画の数が多い場合は、ギャラリーが起動して画像や動画が表示されるまでに数分かかることがあります。



- ▶ アルバムをタップして開くと、内容を表示できます。
アルバム内の画像や動画は、時系列で表示されます。「アルバムの操作」(286 ページ) をご覧ください。
- ▶ アルバムのスタックを2本の指でタップしてから指を離して拵げると、スタックの内容が表示されます。
- ▶ アルバム内の画像や動画をタップして表示します。
「画像の操作」(290 ページ) と「動画の操作」(295 ページ) をご覧ください。
- ▶ 画面の左上にあるアイコン  をタップすると、いつでもギャラリーのメイン画面に戻ることができます。

アルバムの操作

アルバムは、SD カードや USB ストレージ（端末の機種によって異なります）、または Picasa ウェブ アルバム上のフォルダにある画像や動画をまとめたものです。

アルバムを開いて内容を表示する

- ▶ ギャラリーを開き、内容を表示するアルバムをタップします。「ギャラリーの起動とアルバムの表示」（284 ページ）をご覧ください。アルバムが開き、中にある画像や動画が時系列でグリッド表示されます。画面の上部にはアルバム名が表示されます。画像や動画をタップして表示できます。詳しくは「画像の操作」（290 ページ）、「動画の操作」（295 ページ）をご覧ください。



タップすると、グリッド表示からスタック表示に切り替わります

アルバムの名前

表示する画像や動画をタップします

矢印をタップすると、1画面分スクロールします。左または右にドラッグすると、すばやくスクロールします

- ▶ 画面の下部にあるスクロールツールの矢印をタップすると、画面に表示されている画像を一度にスクロールできます。
- ▶ スクロール ツールを左または右にドラッグすると、スクロールする速さを調整できます。表示している画像の日付が表示されるので、日付によってスクロールすることもできます。
- ▶ 左または右にスワイプして、アルバムをスクロールすることもできます。

アルバムの内容の表示方法を変更する

アルバム内の画像や動画は、時系列のグリッドやスタックで表示し、日付や撮影場所順に並べることができます。画像の右上にあるアルバム表示スイッチで、アルバムの表示を切り替えます。

- ▶ アルバム表示スイッチ  を右にドラッグすると、アルバムの内容がスタックで表示されます。



撮影した日付と場所ごとにスタックが表示されます

- ▶ アルバム表示スイッチ  を左にドラッグすると、時系列のグリッド表示に戻ります。

画像や動画を一括して操作する

アルバム全体や画像ごとに操作するだけでなく、アルバム内の複数の画像や動画を選択して、一括して操作できます。たとえば、アルバムから数枚の画像を選んで友だちに送ることができます。

1 アルバムを開いて、操作する画像や動画を表示します。

2 MENU キー  を 2 回押します。

3 操作するアイテムをチェックボックスで指定します。

チェックボックスをオンにしたアイテムをすべてオフにするには、ウィンドウの右上にある [選択をすべて解除] をタップします。

4 チェックボックスをオンにしたアイテムを操作するには、画面の下部にあるコントロールを使用します。

利用できるコントロールは、選択したアイテムの種類によって異なります。画像や動画の共有と編集については、「画像の操作」(290 ページ)、「動画の操作」(295 ページ)をご覧ください。

アルバムを共有する

1 つまたは複数のアルバム全体を共有できます。

アルバム内の個々の画像や動画を共有することもできます。詳しくは「画像の操作」(290 ページ)、「動画の操作」(295 ページ)をご覧ください。

1 ギャラリーのメインウィンドウを開きます。

「ギャラリーの起動とアルバムの表示」(284 ページ)をご覧ください。

2 MENU キー  を 2 回押します。

3 共有するアルバムをチェックボックスで指定します。

4 画面の下部の [共有] をタップします。表示されるメニューで、選択したアルバムの共有に使用するアプリケーションをタップします。

選択したアルバムの画像またはリンクが、選択したアプリケーションの新規メッセージに添付された状態で表示されます。メッセージの宛先の指定や送信について詳しくは、各アプリケーションの該当するセクションをご覧ください。

重要: Gmail を使用してアルバムを共有する場合、メールが完全に送信されるまで (ラベルが [送信トレイ] ではなく [送信済みメール] になるまで)、添付ファイルの元のファイルを削除しないでください。削除すると、添付ファイルが送信されません。

アルバムの詳細情報を見る

- 1 ギャラリーのメイン ウィンドウを開きます。
「ギャラリーの起動とアルバムの表示」(284 ページ) をご覧ください。
- 2 MENU キー  を 2 回押します。
- 3 詳細を表示するアルバムをチェックボックスで指定します。
- 4 画面の下部の [その他] をタップします。表示されるメニューで [詳細情報] をタップします。

アルバムを削除する

アルバムとその内容を、SD カードや USB ストレージから削除できます。

- 1 ギャラリーのメイン ウィンドウを開きます。
「ギャラリーの起動とアルバムの表示」(284 ページ) をご覧ください。
- 2 MENU キー  を 2 回押します。
- 3 削除するアルバムをチェックボックスで指定します。
- 4 画面の下部の [削除] をタップします。ダイアログが開いたら、[削除の確認] をタップします。

画像の操作

カメラで撮影、ダウンロード、またはコピーしてSDカードやUSBストレージ（端末の機種によって異なります）に保存した画像、またはPicasaウェブアルバムに保存されている画像を、ギャラリーで表示することができます。端末内の画像を編集したり、友だちと共有したりすることもできます。

画像を見る

- ▶ ギャラリーのアルバムを開き、画像をタップします。
「ギャラリーの起動とアルバムの表示」（284 ページ）と「アルバムの操作」（286 ページ）をご覧ください。



画像をタップするとコントロールが表示されます
左または右にドラッグすると、アルバム内にある次または前の画像が表示されます
ここをタップして拡大/縮小します

- ▶ 携帯端末の向きを縦または横に変えると、画像も画面の向きに合わせて表示されます。
このとき、表示する向きは変わりますが、保存されている画像の状態は変わりません。
- ▶ 画像をタップすると、ズームなどのコントロールが表示されます。
- ▶ 拡大/縮小するには、ズームアイコンをタップ、画面をダブルタップ、または画面上でピンチイン、ピンチアウトします。
- ▶ 画像を拡大したときに表示されていない部分があれば、画像をドラッグして表示できます。
- ▶ 画像全体がウィンドウに収まるように表示されているとき、左または右にドラッグすると、アルバム内にある次または前の画像が表示されます。

画像をスライドショーで見る

- ▶ 画像をタップしてコントロールを表示し、[スライドショー]をタップします。
- ▶ スライドショーを終了するには、画像をタップします。

画像を回転する

- 1 画像をタップしてコントロールを表示し、[メニュー]をタップします。
- 2 [その他]をタップします。
その画像を操作するツールのメニューが開きます。



- 3 [左に回転]または[右に回転]をタップします。
画像は新しい向きで保存されます。

画像を連絡先のアイコンやホーム画面の壁紙に設定する

- 1 画像をタップしてコントロールを表示し、[メニュー]をタップします。
- 2 [その他]をタップします。
- 3 [登録]をタップします。
[連絡先のアイコン]をタップすると、その画像を設定する連絡先を選択してから画像をトリミングするよう求められます。
[壁紙]をタップすると、画像をトリミングするよう求められます。

画像をトリミングする

画像をトリミングすると、画像の一部を拡大して保存することができます。トリミングできるのは、SD カードやUSB ストレージに保存されている画像のみです（たとえば、Picasa ウェブ アルバム内の画像などはトリミングできません）。

- 1 画像をタップしてコントロールを表示し、[メニュー]をタップします。
- 2 [その他]をタップします。
- 3 [トリミング]をタップします。

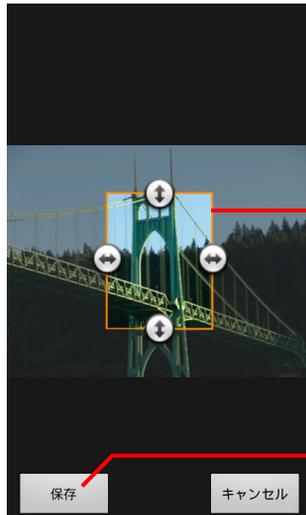
画像上にトリミング ツールの枠が表示されます。

- 4 このツールを使って、トリミングする部分を選択します。

ツールの枠内をドラッグすると枠を移動できます。

枠上をドラッグすると、枠の大きさや形を変更できます。

枠の角をドラッグすると、枠の形はそのままに枠の大きさを変更できます。



ツールの枠内をドラッグすると枠を移動できます

枠上や枠の角をドラッグすると、枠の大きさの変更や拡大 / 縮小ができます

操作を終えたら、[保存]をタップします

- 5 [保存]をタップして、トリミングした画像のコピーを保存します。トリミングする前の元の画像も保存されたままになります。

画像の詳細情報を見る

- 1 画像をタップしてコントロールを表示し、[メニュー]をタップします。
- 2 [その他]をタップします。
- 3 [詳細情報]をタップします。

Google マップに画像の場所を表示する

画像と一緒に位置データも保存するようにカメラが設定されている場合は（「カメラの設定の変更」（278 ページ）を参照）、画像を撮影した場所を Google マップに表示できます。

- 1 画像をタップしてコントロールを表示し、[メニュー]をタップします。
- 2 [その他]をタップします。
- 3 [地図に表示]をタップします。

画像を撮影した場所を中心にして、Google マップが表示されます。

画像を共有する

友だちに送ったり Picasa ウェブ アルバムに追加したりして、画像を共有することができます。

画像や動画のアルバムを共有することもできます。詳しくは「アルバムの操作」（286 ページ）をご覧ください。

- 1 画像をタップしてコントロールを表示し、[その他]をタップします。
- 2 [共有]をタップします。
- 3 表示されるメニューで、選択した画像の共有に使用するアプリケーションをタップします。

画像（またはリンク）が、選択したアプリケーションの新規メッセージに添付された状態で表示されます。メッセージの宛先の指定や送信について詳しくは、各アプリケーションの該当するセクションをご覧ください。

重要： Gmail を使用してアルバムを共有する場合、メールが完全に送信されるまで（ラベルが[送信トレイ]ではなく[送信済みメール]になるまで）、添付ファイルの元のファイルを削除しないでください。削除すると、添付した画像が送信されません。

画像を削除する

画像を SD カードや USB ストレージから削除できます。

- 1 画像をタップしてコントロールを表示し、[メニュー]をタップします。
- 2 [削除]をタップします。
- 3 表示されたダイアログで[OK]をタップします。

動画の操作

ギャラリーでは、カメラで撮影した動画を再生したり共有したりできます。

動画を再生する

- ▶ ギャラリーのアルバムを開き、動画をタップします。
撮影したときの向き（縦表示または横表示）で動画が再生されます。
アルバムの開き方については、「ギャラリーの起動とアルバムの表示」（284 ページ）をご覧ください。



動画をタップすると、一時停止、再開、巻き戻し、早送りなどを行う再生用コントロールが表示されます

- ▶ 動画をタップすると、再生用のコントロールが表示されます。

動画を共有する

メールやマルチメディア（MMS）メッセージに添付して送信し、動画を共有できます。MMS メッセージにはサイズ制限があり、通常 3 MB まで送ることができます。高画質で約 1 分、低画質で約 2 分の動画になります。「カメラの設定の変更」（278 ページ）をご覧ください。YouTube ウェブサイトにアップロードして、動画を共有することもできます。

- 1 アルバムを表示しているときに、**MENU キー**  を 2 回押します。
- 2 共有する動画や画像のチェックボックスをオンにします。
- 3 **[共有]** をタップします。
- 4 表示されるメニューで、選択した動画の共有に使用するアプリケーションをタップします。

動画が、選択したアプリケーションの新規メッセージに添付された状態で表示されます。YouTube を選択した場合、アップロードする動画の詳細情報を入力するよう求められます。詳しくは、各アプリケーションの該当するセクションをご覧ください。

重要: Gmail を使用して動画を共有する場合、メールが完全に送信されるまで（ラベルが[送信トレイ]ではなく[送信済み]になるまで）、添付ファイルの元の動画を削除しないでください。削除すると、添付した動画が送信されません。

動画を削除する

- 1 アルバムを表示しているときに、**MENU キー**  を 2 回押します。
- 2 削除する動画や画像のチェックボックスをオンにします。
- 3 **[削除]** をタップします。
- 4 **[削除の確認]** をタップします。

YouTube

YouTube は、動画を再生、検索、共有できる Google のオンライン動画ストリーミング サービスです。

このセクションの内容

「YouTube の起動と動画の再生」(298 ページ)

「動画の検索」(302 ページ)

「動画の評価とコメント」(304 ページ)

「動画のアップロードと共有」(305 ページ)

「再生リストの操作」(307 ページ)

「チャンネルの操作」(309 ページ)

「YouTube の設定変更」(311 ページ)

YouTube の起動と動画の再生

YouTube アプリケーションを使って、携帯端末から YouTube 上の動画の閲覧、検索、再生、アップロード、評価ができます。

YouTube を起動してホーム画面を開く

- ▶ YouTube アイコン  をランチャーまたは Android のホーム画面でタップします。

「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ) をご覧ください。

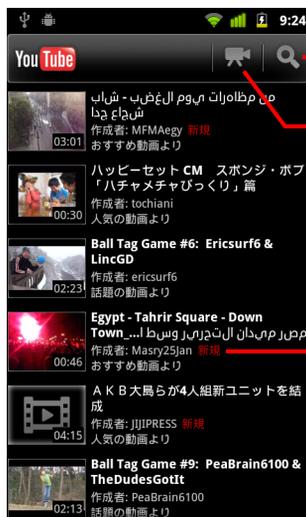
YouTube のホーム画面が開きます。ログインしている場合（「YouTube にログインする」(301 ページ) をご覧ください）は、登録リスト内のチャンネルにアップロードされた最近の動画や、その他のおすすめ動画が表示されます。ログインしていない場合は、YouTube 全体で人気のある動画が表示されます。

- ▶ YouTube のホーム画面に戻るには、YouTube 画面で MENU キー  を押してから [ホーム] をタップします。

YouTube のホーム画面で動画をタップすると再生できます：「動画を再生する」(299 ページ) をご覧ください。

ムービーカメラアイコン  をタップするとカメラアプリケーションが起動し、動画を撮影して共有できます：「新しい動画を撮影して YouTube にアップロードする」(305 ページ) をご覧ください。

検索アイコン  をタップすると動画を検索できます：「動画の検索」(302 ページ) をご覧ください。



タップして動画を検索します。音声検索を行うこともできます

タップして動画を撮影し、カメラアプリケーションで共有します

動画をタップすると再生されます

動画を再生する

- ▶ 動画の再生を開始するには、YouTube 画面で動画をタップします。
再生画面で動画の再生が始まります。
再生画面では、動画を再生するだけでなく、さまざまな方法で動画を操作できます。「動画の評価とコメント」(304 ページ)、「動画のアップロードと共有」(305 ページ)、およびこの章の他のセクションをご覧ください。
- ▶ 再生画面で動画をタップすると、再生を一時停止したり再開したりできます。



端末を横向きにすると全画面表示になります

動画をタップすると再生が一時停止し、もう一度タップすると再開します

タブをタップすると動画の詳細が表示されます (スワイプすると他のタブが表示されます)

動画の所有者をタップするとそのユーザーのチャンネルが開きます

- ▶ タブをタップすると、動画の詳細を見ることができます。
[情報] タブをスクロールするとさまざまな情報が表示されます。再生画面には、他にも [関連動画] タブや [コメント] タブがあります。左右にスワイプすると、表示されていないタブが表示されます。「動画の検索」(302 ページ) をご覧ください。
- ▶ 端末を横向きにすると、動画を全画面で再生できます。
動画をダブルタップして、全画面表示と動画の再生画面を切り替えることもできます。



動画をタップすると再生用のコントロールが表示されますもう一度タップすると再生が一時停止または再開します

再生バーをドラッグすると動画内の別の位置にジャンプします

- ▶ 全画面表示では、動画をタップするとコントロールが表示されます。このコントロールをタップすると、動画の再生を一時停止したり再開したりできます。
- ▶ コントロールが表示された状態で再生バーをドラッグすると、動画内の別の位置にジャンプできます。
- ▶ **[HQ]** アイコンをタップすると、動画の再生画質を高画質または標準画質に変更できます。
モバイルデータネットワークに接続したときに高画質と標準画質のどちらで動画再生を開始するか設定できます。「YouTube の設定変更」(311 ページ) をご覧ください。
- ▶ **[CC]** アイコンをタップすると、指定した言語のクローズド キャプションの表示 / 非表示を切り替えることができます。
クローズド キャプションは、動画の所有者が提供している場合のみ表示されます。
キャプションのサイズは変更できます。「YouTube の設定変更」(311 ページ) をご覧ください。
- ▶ **[戻る]** キー \leftarrow を押すと、再生が停止して動画リストに戻ります。

YouTube にログインする

YouTube アカウントがなくても YouTube 動画を見ることはできます。ただし、動画へのコメント、お気に入りへの追加、動画のアップロードなど、さまざまな YouTube 機能を利用するには YouTube アカウントにログインする必要があります。

- ▶ YouTube にログインするには、**MENU キー**  を押して [**マイチャンネル**] をタップします。

端末に登録されている Google アカウントのいずれかに YouTube アカウントが関連付けられている場合は、そのアカウントが表示されてそのままログインできます。そのようなアカウントがない場合は、YouTube アカウントを追加します。

アカウントが必要な YouTube の機能を初めて使う際、まだログインしていない場合はログインするよう求めるメッセージが表示されます。

YouTube からログアウトする（たとえば他のアカウントでログインしたい場合）には、[**マイチャンネル**] の [**ログアウト**] をタップします（「チャンネルの操作」（309 ページ）をご覧ください。）。

YouTube アカウントについて詳しくは、ウェブバージョンの YouTube サイトをご覧ください。

動画の検索

YouTube 動画はさまざまな方法で探すことができます。たとえば、カテゴリ別に閲覧したり、検索したり、動画の再生画面の情報をもとに他の動画を探したりできます。

気に入った動画をアップロードしたユーザーのチャンネルで動画を探すのもよい方法です。「チャンネルの操作」(309 ページ)をご覧ください。

動画を検索する

- 1 YouTube 画面を表示した状態で[**検索**]キーを  を押します。
または、YouTube のホーム画面の検索アイコン  をタップするか、**MENU** キー  を押して[**検索**]をタップします。
- 2 検索するキーワードを入力するか、マイクアイコンをタップして音声入力します。
- 3 検索ボックスの下に表示された検索候補をタップするか、虫めがねアイコン  をタップします。
- 4 検索結果をスクロールして、再生する動画をタップします。

最初の検索結果には、それまでにアップロードされた動画の中から一致するものすべてが表示されます。最近アップロードされた動画に絞り込みたい場合は、検索結果画面の上部にある[**全期間**]をタップするか、期間フィルタの設定を変更します。

セーフサーチを使うと、不適切である可能性のある動画を除外するかどうかを設定できます。検索履歴を消去すると、YouTube での検索時に候補として表示されなくなります。「YouTube の設定変更」(311 ページ)をご覧ください。

カテゴリ別に動画を見る

- 1 **MENU キー**  を押して、[**ブラウズ**] をタップします。
- 2 YouTube カテゴリのスクロールリスト内にあるいずれかのカテゴリ（または [**すべて**]）をタップします。

タップしたカテゴリの画面が開きます。リストの動画をタップすると再生できます。

カテゴリ画面でも、画面上部の期間フィルタ設定を変更して最近の動画に絞り込んだり、期間をさらに長くしたりできます。

タブをタップすると、そのカテゴリで再生回数の多い動画、評価の高い動画、話題の動画、お気に入りに追加した人が多い動画などを見ることができます。

関連動画を探す

各動画の再生画面には、関連動画を見つけるための情報も記載されています。

- ▶ [**関連動画**] タブをタップします。

または
- ▶ [**情報**] タブで、その動画をアップロードしたユーザーの名前をタップしてチャンネルを表示し、その人がアップロードした他の動画を見ます。

または
- ▶ [**情報**] タブ内のタグ情報を使って YouTube 内を検索します。

「動画を検索する」(302 ページ) をご覧ください。

動画の評価とコメント

いいね！アイコンやイマイチアイコンで動画の評価したり、動画についてコメントしたりできます。また、動画をお気に入りに追加したり、不適切だと思った動画を報告したりすることもできます。

動画に追加したコメントを共有したい場合は、ウェブバージョンの YouTube を使用してください。

いいね！とイマイチで評価する

- ▶ 動画の再生画面で、いいね！アイコン  またはイマイチアイコン  をタップします。

その票が、動画を高く（または低く）評価した人の数として集計されます。

お気に入りに追加する / お気に入りから削除する

- ▶ 動画の再生画面で[その他]をタップし、[お気に入りに追加]または[お気に入りから削除]をタップします。

動画がお気に入りに追加（またはお気に入りから削除）されます。

お気に入りは[マイチャンネル]画面に表示されます。「チャンネルの操作」(309 ページ)をご覧ください。

動画にコメントする

動画についての感想を他のユーザーと共有できます。

- 1 動画の再生画面で[コメント]タブをタップします。
- 2 タブの上部にあるテキストフィールドをタップします。
- 3 [コメントを投稿]ダイアログにコメントを入力します。
「画面キーボードの使い方」(33 ページ)をご覧ください。
- 4 [投稿]をタップします。

不適切な動画として報告する

- ▶ 動画の再生画面で、[その他]をタップしてから[報告]をタップします。ブラウザが起動し、ウェブバージョンの YouTube ログイン画面が表示されます。ログインし、その動画が不適切だと判断した理由を選択してコメントを Google に送信します。

動画のアップロードと共有

YouTube に自分の動画をアップロードできます。アップロードした動画は [マイチャンネル] ページに表示されます。動画を誰かと共有したい場合は、動画のウェブアドレス (URL) をそのユーザーに送ります。

新しい動画を撮影して YouTube にアップロードする

- 1 YouTube ホーム画面の上部にあるムービーカメラアイコン  をタップします。
カメラが動画モードで起動します。
- 2 動画を撮影します。
「動画を撮影する」(277 ページ) をご覧ください。
撮影を終了すると、[動画のアップロード] 画面が表示されます。
- 3 動画のタイトルを入力し、必要に応じて詳細情報 (動画を公開するか非公開にするかなど) を指定します。
- 4 [アップロード] をタップします。
動画が自分のチャンネルに追加されます。

既存動画を YouTube にアップロードする

- 1 MENU キー  を押して [アップロード] をタップします。
ギャラリーが開いて動画のアルバムが表示されます。
ギャラリーについて詳しくは、「ギャラリー」(283 ページ) をご覧ください。ギャラリーを開く方法、動画を選択する方法、YouTube へのアップロードを開始する方法などについて説明しています。
- 2 アルバムを開き、アップロードする動画をタップします。
- 3 動画のタイトルを入力し、必要に応じて詳細情報 (動画を公開するか非公開にするかなど) を指定します。
- 4 [アップロード] をタップします。
動画が自分のチャンネルに追加されます。

アップロードした動画を削除する

携帯とウェブブラウザのどちらからアップロードしたかにかかわらず、YouTube上の自分のチャンネルにアップロードした動画はいつでも削除できます。

- 1 MENU キー  を押して、[マイチャンネル] をタップします。
- 2 [アップロード済みの動画 ] タブをタップします。
タブが表示されていない場合はスワイプしてください。
- 3 削除したい動画の横にある  アイコンを長押しします。
- 4 [削除] をタップします。

動画を共有する

- 1 動画の再生画面で、[その他] をタップしてから [共有] をタップします。
- 2 動画の共有に使用するアプリケーションをタップします。
選択したアプリケーションのドキュメントを参照し、動画を共有するための情報を送信する方法を確認します。

動画のウェブアドレスをコピーする

YouTubeの動画のウェブアドレス（URL）は、コピーしてメッセージや文書に貼り付けることができます。

- ▶ 動画の再生画面で、[その他] をタップしてから [URL をコピー] をタップします。
コピーした URL は、あらゆるアプリケーションのテキスト フィールドに貼り付けることができます（「テキストの編集」（39 ページ）をご覧ください）。

再生リストの操作

再生リストは、YouTube で見ることのできる動画を集めたリストです。再生リストは[マイチャンネル]画面に表示されます（「チャンネルの操作」(309 ページ)をご覧ください)。自分の再生リストには動画を追加できます。他のユーザーの再生リストを再生することもできます。

再生リストを作成または編集する場合は、ウェブバージョンの YouTube にアクセスしてください。

再生リストに動画を追加する

再生リストの作成、編集、削除はウェブバージョンの YouTube で行います。ただし、既存の再生リストへの動画の追加は携帯からでも行うことができます。

- 1 動画の再生画面で、[その他]をタップしてから[保存先]をタップします。
- 2 表示されたダイアログで、動画を追加する再生リストの名前をタップします。

自分の再生リストを表示する

- 1 MENU キー ≡ を押して、[マイチャンネル]をタップします。
- 2 [再生リスト]タブをタップします。
[再生リスト]タブが表示されていない場合はスワイプしてください。
- 3 スクロール リスト内の再生リストをタップすると、再生リスト内の動画が表示されます。

いずれかの動画をタップすると再生されます。または、画面上部の[すべて再生]をクリックすると、再生リスト内のすべての動画が続けて再生されます。

再生リスト内のすべての動画を再生しているとき、左右にスワイプして動画を切り替えることができます。

他のユーザーの再生リストを表示する

- 1 他のユーザーのチャンネルを開きます。
「チャンネルの操作」(309 ページ) をご覧ください。
- 2 [再生リスト] タブをタップします。
[再生リスト] タブが表示されていない場合はスワイプしてください。
- 3 スクロール リスト内の再生リストをタップすると、再生リスト内の動画が表示されます。
いずれかの動画をタップすると再生されます。または、画面上部の[すべて再生]をクリックすると、再生リスト内のすべての動画が続けて再生されます。
再生リスト内のすべての動画を再生しているとき、左右にスワイプして動画を切り替えることができます。

チャンネルの操作

チャンネルとは、各ユーザーの動画、再生リスト、その他の YouTube 情報をひとまとまりにしたものです。自分のチャンネルを作成したら、他のユーザーを招待して登録してもらいましょう。登録リストには、チャンネル全体またはその一部を追加できます。他のユーザーのチャンネルを表示したり、登録リストに追加したりすることもできます。

携帯の [マイチャンネル] には、アップロードした動画、再生リスト、お気に入り、登録リストが表示されます。チャンネルの設定については、ウェブバージョンの YouTube をご覧ください。

マイチャンネルを開く

- ▶ MENU キー ≡ を押して、[マイチャンネル] をタップします。

[マイチャンネル] 画面が開き、チャンネルに関するさまざまな情報が表示されます。各タブをタップすると、アップロードした動画、お気に入りの動画、再生リスト、登録リストが一覧表示されます。

他のユーザーのチャンネルを開く

- ▶ 他のユーザーがアップロードした動画の再生画面で、[情報] タブに表示されているそのユーザーの名前をタップします。

または

- ▶ [マイチャンネル] の [登録チャンネル] タブを開き、登録リスト内のいずれかのチャンネルをタップします。

チャンネル画面が開き、チャンネルに関する情報が表示されます。

チャンネル画面の各タブをタップすると、そのチャンネルにアップロードされている動画、お気に入り、アクティビティ、再生リストなどが表示されます。

登録リストにチャンネルを追加する

- 1 他のユーザーのチャンネルを開きます。
「他のユーザーのチャンネルを開く」(309 ページ) をご覧ください。
- 2 画面上部の [チャンネル登録] をタップします。
- 3 ダイアログで [すべてのアクティビティ] または [動画のみ] をタップします。
タップしたオプションに応じて、チャンネル画面を開いたときに表示されるタブが変わります。
登録リストに追加したチャンネルは、[マイチャンネル] の [登録チャンネル] タブに表示され、タップして開くことができます。
登録リストに追加したチャンネルを表示すると、画面上部の [チャンネル登録] が [登録解除] に変わります。

YouTube の設定変更

以下の YouTube の設定は、携帯端末で変更できます。

▶ YouTube の設定を変更するには、**MENU キー**  を押して [設定] をタップします。

携帯で高画質動画を表示 モバイルネットワークに接続したときにデフォルトで動画を高画質で再生し、起動時間を短縮してデータの使用量を減らす場合は、この設定をオンにします。Wi-Fi ネットワークに接続する場合、動画は常に高画質で再生されるため、この設定は再生画質に影響しません。

キャプションのフォントサイズ 動画のキャプションの文字サイズを設定するダイアログが開きます。

検索履歴を消去 タップすると、過去に選択した動画の検索結果の記録が削除され、YouTube 動画検索の検索候補に表示されなくなります。

セーフサーチ フィルタ 動画を検索する際に Google セーフサーチ フィルタを使用して、一部の検索結果をブロックするかどうかを設定するダイアログが開きます。フィルタには、検索結果をブロックしない（フィルタリングしない）、露骨に性的または不適切な動画のみをブロックする（中）、露骨に性的または不適切な動画とテキストの両方をブロックする（強）があります。

ヘルプ ブラウザで YouTube ヘルプセンターが開きます。

ご意見ご感想 ブラウザで、YouTube へのご意見やご感想を送信していただくためのフォームが開きます。

利用規約とモバイルプライバシーポリシー YouTube と Google の利用規約およびプライバシー ポリシーが表示されます。

アプリケーションのバージョン 携帯端末にインストールされている YouTube アプリケーションのバージョンが表示されます。

音楽

音楽アプリでは、パソコンから SD カードや USB ストレージ（端末の機種によって異なります）に転送した音楽やその他の音声ファイルを整理して再生できます。

このセクションの内容

- 「携帯端末への音楽ファイルの転送」(314 ページ)
- 「音楽アプリでのライブラリの使用」(315 ページ)
- 「音楽の再生」(317 ページ)
- 「プレイリストの操作」(320 ページ)

携帯端末への音楽ファイルの転送

音楽アプリを使って、携帯端末の SD カードや USB ストレージ（端末の機種によって異なります）に保存されている音声ファイルを再生できます。そのため、音楽アプリを開く前に、音声ファイルをパソコンからコピーしておく必要があります。

音楽アプリはさまざまな音声ファイル形式をサポートしているため、オンラインストアで購入した音楽はもちろん、CD から取り込んだ音楽も再生できます。

音楽アプリでは、MP3、M4A（iTunes アプリケーションの AAC、DRM フリー）、AMR、MIDI、OGG Vorbis など、さまざまな音声ファイル形式がサポートされています。

パソコンから音楽ファイルをコピーする

- 1 携帯端末とパソコンを USB ケーブルで接続し、SD カードまたは USB ストレージをパソコンでマウントします。

「パソコンへの接続（USB 経由）」（70 ページ）をご覧ください。

- 2 音声ファイルを整理するには、パソコンで SD カードまたは USB ストレージのトップレベルに音楽フォルダを作成します。

- 3 作成した音楽フォルダに、パソコンを使って音楽ファイルやその他の音声ファイルをコピーします。

サブフォルダを作成して音楽ファイルを整理することもできます。SD カードまたは USB ストレージのトップレベルに音声ファイルをコピーするだけでもかまいません。

音楽ファイルに JPEG 形式のアートワークが付属している場合は、アートファイルの名前を albumart.jpg に変更し、音楽ファイルと同じフォルダに入れます。

- 4 プレイリストを作成した場合は、音楽フォルダにプレイリスト用のサブフォルダを作成し、その中にプレイリストをコピーします。
- 5 パソコンから SD カードまたは USB ストレージのマウントを解除し、携帯端末をパソコンから切断します。

注意：ファイルが破損しないように、パソコンの指示と、「パソコンへの接続（USB 経由）」（70 ページ）の指示に従って、USB デバイスのマウントを解除してください。

音楽アプリでのライブラリの使用

SDカードやUSBストレージに音楽をコピーしたり（「携帯端末への音楽ファイルの転送」（314ページ）をご覧ください）、他のソースから音楽をダウンロードしたりすると、音楽アプリを開いて音楽ファイルのライブラリを表示できます。このライブラリは、4つの方法で並べ替えることができます。

音楽アプリを開いて音楽ライブラリを表示する

- ▶ ランチャーまたはホーム画面で、音楽アイコン  をタップします。アプリケーションを開く方法や切り替える方法については、「アプリケーションの起動と切り替え」（42ページ）をご覧ください。

音楽ファイルをSDカードやUSBストレージにコピーしてから音楽アプリを開くと、音楽ファイルが検索され、ファイル自体に保存されている各音楽ファイルの情報に基づいてカタログが作成されます。この処理は、ファイルの数により、数秒から数分かかります。

カタログが完成すると、[音楽ライブラリ]画面が表示されます。該当するタブをタップすると、アーティスト、アルバム、曲、プレイリスト別に整理された音楽ライブラリを表示できます。



音楽アプリケーションのほとんどの画面では、MENU キー  を押して [ライブラリ] をタップすると、ライブラリのメイン画面に戻ることができます。

ライブラリで音楽を検索する

- 1 ライブラリのメイン画面を開き、[**検索**] キー  を押します。
- 2 検索するアーティスト、アルバム、またはトラックの名前を入力します。
条件に一致する曲が検索ボックスの下にリスト表示されます。
- 3 曲をタップすると、再生されます。また、アルバムやアーティストをタップすると、関連する曲のリストが表示されます。

SD カードや USB ストレージから曲を削除する

- ▶ ライブラリのリストで曲を長押しします。メニューが開いたら、[**削除**] をタップします。

または

- ▶ 再生画面で、**MENU** キー  を押して [**削除**] をタップします。

携帯端末がパソコンに接続されている場合は、「携帯端末への音楽ファイルの転送」(314 ページ) で説明した方法でも音楽ファイルを削除できます。

音楽の再生

音楽を聴くには、携帯端末の内蔵スピーカー、ヘッドセット、A2DPプロフィール対応のワイヤレス Bluetooth ステレオ ヘッドセットを使用します。端末に付属のヘッドセットについては、「Bluetooth デバイスへの接続」(66 ページ)と、取扱説明書をご覧ください。

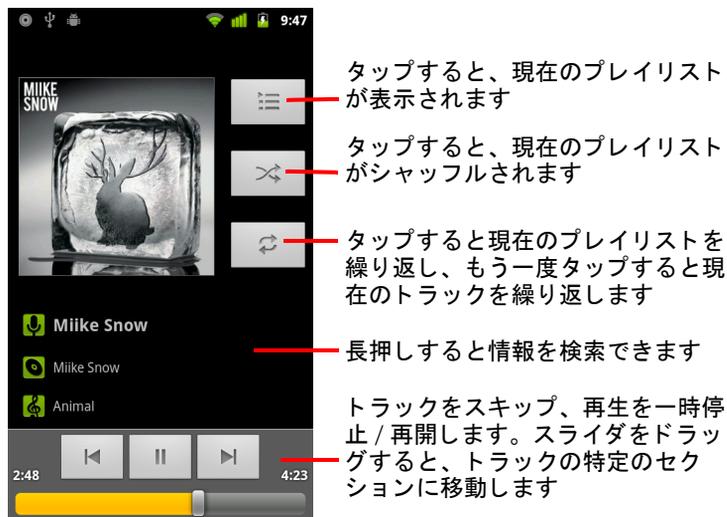
音楽を再生する

- ▶ ライブラリ内で聴きたい曲をタップします。

または

- ▶ アルバムのトラックリストを表示し、MENU キー  を押して [すべて再生] をタップします。

再生画面が表示され、タップした曲、アルバムの最初の曲、またはその他のプレイリストが再生されます。プレイリストのトラックは、最後まで順番に再生されます (繰り返しオプションを選択していない場合)。手動で停止した場合のみ、再生が停止します。アプリケーションを切り替えたり、電話がかかってきたりしても停止しません。



音楽アプリケーションのほとんどの画面では、MENU キー  を押して [再生] をタップすると、再生画面に戻ることができます。

他のアプリケーションから再生画面に戻るには、通知パネルを開いて実行中の音楽の通知をタップします。「通知の管理」(31 ページ) をご覧ください。

再生をコントロールする

再生画面にはいくつかのアイコンが表示されています。これらをタップして、曲、アルバム、プレイリストの再生をコントロールできます：

	タップすると、再生を一時停止します。
	タップすると、再生を再開します。
	タップすると、アルバム、プレイリスト、シャッフルの次のトラックにスキップします。
	タップすると、アルバム、プレイリスト、シャッフルの前のトラックにスキップします。
	タップすると、現在のプレイリストが表示されます。
	タップすると、現在のプレイリストをシャッフルモードで再生します（トラックはランダムに再生されます）。
	タップすると、繰り返しモード（繰り返しをオフにする、プレイリストを繰り返す、現在のトラックを繰り返す）が切り替わります。

再生時の音量をコントロールする

「音の設定」（372 ページ）で説明したメディアの音量を設定する方法の他に、音楽アプリでも音楽の音量をコントロールできます。

- ▶ 携帯端末の音量大 / 小ボタンを押します。

現在のメディアの音量を示すパネルが開きます。音量を調整すると、インジケータ表示が変化します。

一部のヘッドセットでは、音量のコントロール、再生の一時停止と再開、トラックの切り替えができます。

すべてのトラックをパーティシャッフルで再生する

パーティシャッフルをオンにすると、オフにするまでトラックがランダムに再生されます。

- ▶ 再生画面またはライブラリ画面で、MENU キー  を押して [パーティシャッフル] をタップします。

音楽アプリは、ランダムに選択した 12 トラックでプレイリストを作成し、再生を始めます。最初の 12 トラックの再生が終わると、別の 12 トラックを追加して再生を続けます。

- ▶ パーティシャッフルで再生しているプレイリストを表示するには、再生画面のプレイリストアイコン  をタップします。
詳しくは「プレイリストの操作」(320 ページ) をご覧ください。
- ▶ パーティシャッフルプレイリストの最後にトラックを追加するには、ライブラリでトラックの名前を長押しします。表示されるメニューで、[**プレイリストに追加**] をタップし、[**現在のプレイリスト**] をタップします。
トラックがパーティシャッフルプレイリストの最後に追加されます。
- ▶ パーティシャッフルを停止するには、MENU キー  を押して [**パーティシャッフル OFF**] をタップします。

曲を着信音に設定する

携帯端末に付属している着信音の代わりに、曲を使用することができます。

- ▶ ライブラリのリストで曲を長押しします。表示されるメニューで、[**着信音に設定**] をタップします。

または

- ▶ 再生画面で、MENU キー  を押して [**着信音に設定**] をタップします。
設定アプリケーションで、携帯端末の着信音を表示して設定する方法については、「音の設定」(372 ページ) をご覧ください。

プレイリストの操作

プレイリストを作成して音楽ファイルを整理できます。プレイリストの曲は上から順番に再生したり、シャッフルして再生したりできます。

プレイリストを作成する

- 1 ライブラリの曲リストを表示して、新しいプレイリストに追加する最初の曲を長押しします。
- 2 [プレイリストに追加]をタップします。
- 3 [新規]をタップします。
- 4 名前を入力して[保存]をタップします。

新しいプレイリストがプレイリスト ライブラリに追加されます。

再生画面で MENU キー  を押して [プレイリストに追加] をタップすると、再生中の曲をプレイリストの最初の曲として追加できます。また、[プレイリストとして保存] をタップすると、再生中のアルバムに含まれるすべての曲をプレイリストとして保存できます。

プレイリストに曲を追加する

- 1 ライブラリのトラックリストを表示し、プレイリストに追加する曲を長押しします。
- 2 [プレイリストに追加]をタップします。
- 3 曲を追加するプレイリストの名前をタップします。

曲がプレイリストに追加されます。

再生画面で MENU キー  を押して [プレイリストに追加] をタップすると、再生中の曲をプレイリストに追加できます。

プレイリストの曲を並べ替える

- 1 プレイリスト ライブラリでタップしてプレイリストを開きます。
また、再生画面でプレイリスト アイコンをタップすると、現在再生しているプレイリストを開くことができます。
- 2 曲を上下にドラッグして、プレイリストの曲順を変更します。

プレイリストから曲を削除する

- 1 プレイリストを開きます。
- 2 曲を長押しして、[プレイリストから削除]をタップします。また、MENU キー  を押しして[プレイリストを消去]をタップすると、プレイリストからすべての曲が削除されます。
削除した曲はそのプレイリストから削除されますが、携帯端末や他のプレイリストからは削除されません。

プレイリストの名前を変更する、またはプレイリストを削除する

- 1 プレイリスト ライブラリを開きます。
- 2 プレイリストを長押しします。メニューが開いたら、[名前を変更]または[削除]をタップします。
[最近追加したアイテム]プレイリストの名前変更や削除はできません。
プレイリストを削除しても、曲自体は削除されません。

パソコンでプレイリストを作成する

音楽アプリで使用するプレイリストを、パソコンでも作成できます。音楽アプリでは、ファイル形式が M3U、WPL、PLS のプレイリストを再生できます。音楽のコピーと同じ方法で、SD カードまたは USB ストレージにプレイリストをコピーします。詳しくは、「携帯端末への音楽ファイルの転送」(314 ページ)をご覧ください。音楽フォルダにプレイリスト用のサブフォルダを作成すると便利です。

コンピュータにプレイリストを作成できるアプリケーションがない場合は、次のガイドラインに従ってテキスト エディタで作成できます：

- プレイリストに追加する音楽ファイルの名前は、各行に1つずつ入力します。
- パソコンに表示されている音楽ファイル名を使用します。プレイリストを表示する際、音楽アプリはトラック名以外をすべて無視します。
- ファイルは .m3u 拡張子を付けて保存します。

ニュースと天気

ニュースと天気ウィジェットでは、天気情報とトップニュースを確認できます。このホーム画面のウィジェットからフル機能のアプリケーションにアクセスできます。

このセクションの内容

「ニュースと天気の確認」(324 ページ)

「ニュースと天気の設定変更」(327 ページ)

ニュースと天気の確認

ニュースと天気では、天気予報と一般的なトピックのニュース記事が表示されます。表示するニューストピックをカスタマイズすることもできます。

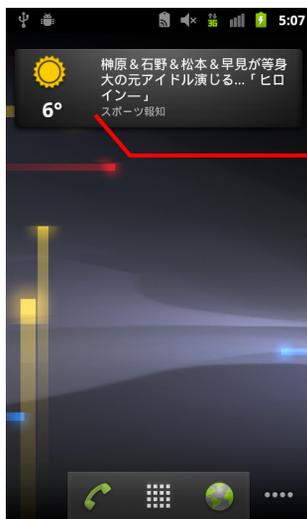
ホーム画面のニュースと天気ウィジェットに表示されるのは概要です。詳しい内容はニュースと天気アプリケーションに表示されます。

ニュースと天気を起動する

- ▶ ホーム画面でニュースと天気ウィジェットのニュース セクションまたは天気セクションをタップするか、ランチャーでアイコン  をタップします。

ウィジェットの操作方法について詳しくは、「ホーム画面のカスタマイズ」(45 ページ) をご覧ください。ホーム画面に複数のニュースと天気ウィジェットを追加し、それぞれニュースのみ、天気のみ、または両方を表示するように設定できます。

アプリケーションを開く方法や切り替える方法については、「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ) をご覧ください。



ニュースと天気ウィジェットの天気セクションをタップすると、ニュースと天気アプリケーションが起動し、天気の概要が表示されます。ウィジェットのニュース セクションをタップすると、トップニュースのリストが開きます

ニュースと天気の詳細情報を見る

ニュースと天気アプリを起動すると、天気の概要や見出しが表示されます。

- ▶ 天気やカテゴリ別のトップ記事を表示するには、画面上部にあるタブのスクロールリストのタブをタップします。または、画面を左右にスワイプしてニュースカテゴリを切り替えます。



スクロールして、興味のあるニュースのカテゴリをタップします

画面をタップすると詳細が表示されます

- ▶ 天気の概要をタップすると、詳しい予報が表示されます。



グラフをタップすると、その日の特定の時間の詳しい予報が表示されます

天気グラフの時間をタップすると、時間ごとの詳しい予報が表示されます。

- ▶ 見出しをタップすると記事の全文を読むことができます。



見出しをタップすると記事の全文を読むことができます

左右にスワイプしてニュース カテゴリを変更します

- ▶ 左右にスワイプしてニュース カテゴリを変更します
- ▶ 天気やニュースの見出しを表示している状態で **MENU キー**  を押し、**[更新]** をタップすると、最新情報が表示されます。

ニュースと天気の設定変更

ニュースと天気では、さまざまな設定を行うことができます。

現在地情報や位置情報の設定は、ニュースと天気ウィジェットや時計アプリケーションの表示にも反映されます。

▶ ニュースと天気の設定画面を開くには、**MENU キー**  を押して[設定]をタップします。

ニュースと天気の設定

天気予報の設定 「天気予報の設定」(327 ページ) をご覧ください。

ニュースの設定 「ニュースの設定」(327 ページ) をご覧ください。

更新の設定 「更新の設定」(328 ページ) をご覧ください。

アプリケーションのバージョン 携帯端末にインストールされているニュースと天気アプリケーションのバージョンが表示されます。

天気予報の設定

現在地情報を使用 オンにすると、天気情報を表示する際に携帯端末の位置情報サービスを使用して現在地を特定します。[位置情報の設定]を使用して手動で現在地を設定する場合はオフにします。

位置情報の設定 [現在地情報を使用]がオフのときはこのオプションをタップし、都市名や郵便番号を入力して、天気情報を表示する場所を指定します。

摂氏の使用 オンにすると、気温が華氏ではなく摂氏で表示されます。

ニュースの設定

ニューストップックの選択 ニュースと天気のタブのスクロールリストに表示するニュースカテゴリの選択画面が開きます。また、[カスタムトピック]をタップして特定のトピック(「太陽光発電」や「オリンピック」など)を入力することもできます。

ニュース利用規約 Google ニュースの利用規約の詳細画面が開きます。

記事のプリフェッチ オンにすると、ネットワークに接続していないときでもすぐに読めるよう、ニュース記事をダウンロードします。記事をプリフェッチすると、パフォーマンスは向上しますが、データの使用量と充電電池の消費量が増加します。

画像のプリフェッチ オンにすると、見出しのダウンロード時にニューステキストだけでなく画像もプリフェッチされます。画像をプリフェッチすると、パフォーマンスは向上しますが、データの使用量と充電電池の消費量が増加します。この設定は、[**記事のプリフェッチ**] がオンの場合にのみ設定できます。

更新の設定

以下の設定で、ニュースと天気ウィジェットに表示される情報の更新頻度を管理します。以下の設定の他に、ホーム画面でニュースと天気ウィジェットを追加または削除すると、[**自動更新**] がオンまたはオフになります。ウィジェットの操作方法については、「ホーム画面のカスタマイズ」(45 ページ) をご覧ください。

自動更新 オンにすると、ニュースと天気の情報は、[**更新間隔**] で設定した頻度で自動的に更新されます。オフにすると、ニュースと天気の情報は、**MENU** キー  を押して [**更新**] をタップした場合にのみ更新されます。自動更新を有効にするには、設定アプリケーションの [**バックグラウンドデータ**] もオンにする必要があります。「アカウントと同期の設定」(380 ページ) をご覧ください。

更新間隔 [**自動更新**] がオンの場合は、ニュースと天気の自動更新頻度を設定するダイアログが表示されます。頻繁に更新すると、最新の情報を確認できる点で便利ですが、データの使用量と充電電池の消費量が増加します。

ステータスの更新 ニュースと天気の前回の更新日時と次の更新スケジュールが表示されます。

時計

時計アプリケーションでは、日付と時刻だけでなく、天気や携帯端末に関する情報も表示されます。また、携帯端末をアラームとして使うこともできます。

時計アプリは、デスクトップホルダーと連動するように設計されていますが、必ずしもホルダーが必要なわけではありません。

このセクションの内容

「日付、時刻、その他の情報の表示」(330 ページ)

「アラームの設定」(332 ページ)

「時計のアラーム設定の変更」(334 ページ)

日付、時刻、その他の情報の表示

時計アプリでは、現在の日付と時刻以外にも、複数の情報を簡単に確認できます。

時計アプリケーションを開く

- ▶ 携帯端末をデスクトップホルダーに装着します。

または

- ▶ ホーム画面またはランチャーで時計アイコン  をタップします。

アプリケーションを開く方法や切り替える方法については、「アプリケーションの起動と切り替え」(42ページ)をご覧ください。

時計アプリが開き、ホーム画面の壁紙に日付と時間、地域の天気、その他の役立つ情報が表示されます。



時計アプリの実行中は、数分後にスクリーンセーバーモードに切り替わり、日時表示が携帯端末の画面上を移動します。スクリーンセーバーモードを解除するには、画面をタップするか、携帯端末のボタンを押します。

ホーム画面に戻るには、時計画面の一番下にあるホームアイコン  をタップします。

スライドショーを見る

日付と時刻の代わりに、ギャラリーアルバムの画像をスライドショーで再生できます。

- ▶ 時計画面の一番下にあるスライドショーアイコン  をタップします。
- ▶ スライドショーを終了するには、[戻る]キー  を押します。

音楽を再生する

時計を表示しながら、音楽を再生できます。デスクトップホルダーアクセサリを使用している場合は、ホルダーのオーディオジャックから音楽を再生できるため、ホルダーに付属しているステレオオーディオケーブルを使用すれば携帯端末で音楽をステレオ再生できます。

- ▶ 時計画面の一番下にある音楽アイコン  をタップします。
音楽アプリケーションが開き、再生する音楽を選択できます。詳しくは「音楽」(313ページ)をご覧ください。音楽の再生中に、時計に戻ったり別のアプリケーションを使用したりできます。

時計表示を暗くする

- ▶ 携帯端末の時計アプリを寝室で使用する場合は、画面の輝度を下げることができます。輝度アイコン  をタップすると、時計が暗くなります。
- ▶ 輝度アイコン  をもう一度タップすると、通常の明るさに戻ります。
輝度アイコンが表示されていない場合は、[ホーム]キー  を長押しし、時計アイコンをタップすれば、時計アプリが通常の明るさで再度開きます。

デスクトップホルダーの音声設定を変更する

携帯端末をデスクトップホルダーに初めて装着すると、音楽やその他のオーディオをホルダーのオーディオライン出力ポートから再生するかどうかを確認するダイアログが表示されます。この設定は、使用しているホルダーにのみ適用されます。設定はホルダーごとに変えることができます。

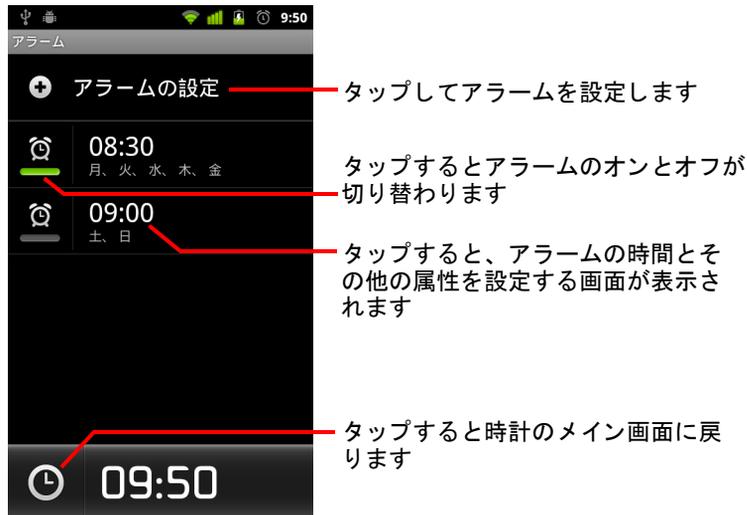
- ▶ MENUキー  を押し、[ホルダーの設定]をタップします。
[ホルダーの設定]が開きます。詳しくは「音の設定」(372ページ)をご覧ください。

アラームの設定

アラームの設定方法には、既存のアラームを変更する方法と、新しいアラームを追加する方法があります。

アラームを設定する

- 1 時計画面の一番下にあるアラームアイコン  をタップします。



- 2 アラームの横の  アイコンをタップして、オンとオフを切り替えます。設定されているアラームには緑の下線が表示されます。
- 3 既存のアラームをタップして、時間やその他の属性を変更します。または、[**アラームの設定**] をタップして新しいアラームを追加します。
時計のメイン画面で MENU キー  を押し、[**アラームの設定**] をタップしても、新しいアラームを追加できます。



- 4 [時刻] をタップして、アラームの時間を設定します。
時間は、表示されるダイアログで [+], [-], [AM], [PM] をタップして変更できます。または、時間の数値をタップして直接入力します。
- 5 [アラーム音] をタップして、アラーム音を選択します。
携帯端末に付属しているアラーム音や、音楽アプリケーションでアラーム音として保存した音を選択できます。「曲を着信音に設定する」(319 ページ) をご覧ください。
アラーム音を選択すると、その音が少しの間再生されます。
- 6 アラーム音の再生だけでなくバイブレーションも行う場合は、[バイブレーション] をタップします。
- 7 アラームを鳴らす曜日を設定するには、[繰り返し] をタップします。
繰り返しを設定しない場合、アラームは1回だけ鳴ります。
- 8 [ラベル] をタップしてアラームの名前を入力します。
- 9 設定を終えたら、[完了] をタップします。
設定した時間になると、アラームが鳴ります。
- 10 [戻る] キー ← を押して、時計のメイン画面に戻ります。

時計のアラーム設定の変更

アラームではさまざまな設定を変更できます。

また、時間の表示方法を設定アプリケーションで変更することもできます。「日付と時刻の設定」(390 ページ)をご覧ください。

- ▶ 時計のアラーム設定を変更するには、時計画面の一番下にあるアラームアイコン  をタップします。表示されるアラーム画面で、[設定] をタップします。

マナーモード中のアラーム 携帯端末がマナーモードのときでもアラームを鳴らす場合はオンにします。

アラームの音量 アラームの音量を設定するダイアログが開きます。

スヌーズ間隔 アラームを次にもう一度鳴らすまでの時間を設定するダイアログが開きます。

サイドボタンの動作 アラームが鳴っている最中に、音量ボタンを押した場合の動作を設定するダイアログが開きます。影響なし、アラームをスヌーズにする、解除する、のいずれかに設定できます。

ナビメニュー

ナビメニューでは、運転中に最も役立つアプリケーションを、タップするだけで簡単に使用できます。

ナビメニューはカーホルダーと連動するように設計されていますが、必ずしもホルダーが必要なわけではありません。

このセクションの内容

「ナビメニューの起動」(336 ページ)

「ナビメニューのカスタマイズ」(338 ページ)

「Bluetooth デバイスでのナビメニューの起動」(341 ページ)

「ナビメニューの設定の変更」(342 ページ)

ナビメニューの起動

ナビメニューは、カーホルダーの有無にかかわらず使用できます。

ナビメニューを起動する

- ▶ 携帯端末をカーホルダーに装着します。

または

- ▶ 設定した Bluetooth デバイスに端末を近づけると、ナビメニューが開始します。

「Bluetooth デバイスでのナビメニューの起動」(341 ページ) をご覧ください。

または

- ▶ ランチャーまたはホーム画面でナビメニューアイコン  をタップします。

「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ) をご覧ください。

ナビメニューが開き、運転中に役立つ経路案内、音声検索、連絡先などの機能にアクセスできる大きなボタンが表示されます。

ナビメニューを開くと端末が運転モードになります。このモードでは、ホームキーを押すと、ホーム画面ではなくナビメニューに戻ります。他のアプリケーションにアクセスするには、[**運転モードを終了する**] ボタンを使用します。

Google ナビを利用できない場所にいる場合や端末で GPS 機能にアクセスできない場合は、[**ナビ**] ボタンが [**経路**] ボタンに切り替わります。

- ▶ 小さな矢印をタップ (またはスワイプ) すると、ナビメニューのその他の画面が表示されます。



ナビメニューの画面にショートカットを追加または移動したり、壁紙を変更したりするなど、ナビメニューのさまざまな設定を行うことができます。「ナビメニューのカスタマイズ」(338 ページ) と「ナビメニューの設定の変更」(342 ページ) をご覧ください。

ナビゲーションと地図については、「地図、ナビ、プレイス、Latitude」(253 ページ) をご覧ください。

音声検索については、「テキストと音声による検索」(97 ページ) をご覧ください。

連絡先の使い方については、「連絡先」(111 ページ) をご覧ください。

音楽の聴き方については、「音楽」(313 ページ) をご覧ください。

ナビメニューのカスタマイズ

ナビメニュー画面の空いた場所に独自のショートカットを追加したり、ショートカットを移動または削除したりできます。他にも、[画面の明るさ]ボタンと[設定]ボタン（デフォルトでは、ナビメニューの2番目の画面）を使用してナビメニューをカスタマイズできます。詳しくは、このセクションと「ナビメニューの設定の変更」（342ページ）をご覧ください。

ショートカットを追加する

- 1 [ショートカットを追加]ボタンをタップします。
- 2 追加するショートカットの種類をタップします。
 - 移動中に役立つアプリケーションのリストを表示するには、[**運転アプリケーション**]をタップします。
 - それ以外のアプリケーションを表示するには、[**その他のアプリケーション**]をタップします。
 - 連絡先のリストを表示するには、[**直接発信**]をタップします。
 - 目的地と移動手段を入力するには、[**経路とナビ**]をタップします。ナビゲーションと地図について詳しくは、「地図、ナビ、プレイス、Latitude」（253ページ）をご覧ください。

ショートカットを移動する

- ▶ 同一または別の画面の空いている場所にショートカットをドラッグします。

ショートカットを削除する

- 1 ショートカットを長押しします。
- 2 画面の一番下に表示されたゴミ箱にショートカットをドラッグします。
- 3 ゴミ箱が赤に変わったら、ショートカットを離します。

[ナビメニュー] ボタンの色を変更する

- 1 [設定] ボタン  をタップします。
デフォルトでは、設定ボタンは左から2番目のナビメニュー画面にあります。
- 2 [アイコンの色を変更] をタップします。
- 3 目的の色をタップします。または、[色をカスタマイズ] 領域をタップして、表示されたダイアログでカスタムの色と彩度を選択します。
- 4 [OK] をタップします。

ナビメニューの壁紙を変更する

初期状態では、ナビメニューにはホーム画面に設定した壁紙と同じものが背景として使用されていますが、別の壁紙を選択できます。

- 1 [設定] ボタン  をタップします。
- 2 [壁紙] をタップします。
- 3 [ホーム画面と同じにする] または [ギャラリーから選択する] をタップします。
- 4 ギャラリーの写真をタップして、[壁紙に設定] をタップします。

ナビメニューの画面の明るさを変更する

- ▶ [自動]、[夜間]、[日]の明るさボタン  をタップして、バックライトの設定を変更します。

このボタンは、デフォルトでは左から2番目のナビメニュー画面にあります。

この3つのモードの設定方法は、バックライトモードを手動で設定するか、端末の周囲光センサーを使用して自動的に切り替えるかによって異なります。

カーホルダーの音声設定を変更する

携帯端末をカーホルダーに初めて装着すると、ホルダーをスピーカーとして使うかどうか、ホルダーのスピーカーで音楽やその他のオーディオを再生するかどうかを確認するダイアログが表示されます。この設定は、使用中のホルダーにのみ適用されます。設定はホルダーごとに変えることができます。

この設定は、携帯端末がカーホルダーに対応している場合のみ選択できます。

- 1 [設定] ボタン  をタップします。
- 2 [Android 設定] をタップします。
- 3 [ホルダー] をタップします。

Bluetooth デバイスでのナビメニューの起動

車にスピーカーフォンや統合ハンズフリーシステムなどの Bluetooth デバイスが搭載されている場合、デバイスが検出されたときにナビメニューを起動するよう設定できます。

ナビメニューを起動するようにデバイスを設定するには、まず携帯端末とそのデバイスをペアとして設定する必要があります。詳しくは、「Bluetooth デバイスへの接続」(66 ページ)をご覧ください。

ナビメニューを起動するように Bluetooth デバイスを設定する

- 1 ナビメニューを開き、[設定] ボタン  をタップします。
- 2 [Bluetooth によるナビメニューの開始] をタップします。
- 3 ナビメニューを起動できるように、ペアとして設定する Bluetooth デバイスをチェックボックスで選択します。

デバイスの切断後にナビメニューを終了する時間を設定する

Bluetooth デバイスとの接続が切断してから、ナビメニューが終了するまでの待ち時間を設定できます。デバイスの電波が弱い場合、ナビメニューが早く切断されないように、長めの時間を設定しておくことをおすすめします。デバイスの電波が強く、ナビメニューの終了に時間がかかる場合は、短めの時間を設定してください。

- 1 ナビメニューを開き、[設定] ボタン  をタップします。
- 2 [Bluetooth によるナビメニューの開始] をタップします。
- 3 [タイムアウト] をタップします。
- 4 切断後にナビメニューを終了するまでの時間を選択します。

ナビメニューの設定の変更

[ナビメニュー]ボタンの色、壁紙、Bluetooth デバイスによるナビメニューの自動起動など、さまざまなナビメニューの設定を行うことができます。ナビメニューをカスタマイズする方法について詳しくは、このセクション、「ナビメニューのカスタマイズ」(338 ページ)、「Bluetooth デバイスでのナビメニューの起動」(341 ページ)をご覧ください。

- ▶ ナビメニューの設定画面を開くには、[設定]ボタン  をタップします。デフォルトでは、設定ボタンは左から 2 番目のナビメニュー画面にあります。

常に免責条項を表示する ナビメニューを起動するたびに安全と免責条項に関するメッセージを表示する場合はオンにします。

ステータスバーを非表示にする ナビメニューを使用するときステータスバーを非表示にする場合はオンにします。

アイコンの色を変更 「[ナビメニュー]ボタンの色を変更する」(339 ページ)をご覧ください。

壁紙 「ナビメニューの壁紙を変更する」(339 ページ)をご覧ください。

Bluetooth によるナビメニューの開始 「Bluetooth デバイスでのナビメニューの起動」(341 ページ)をご覧ください。

初期設定にリセット デフォルトのナビメニュー設定を復元するダイアログが開きます。

Android 設定 Android 設定アプリケーションを起動します。詳しくは「設定」(363 ページ)をご覧ください。

電卓

電卓では、簡単な計算はもちろん、高度な演算子を使って複雑な計算式を解くこともできます。

このセクションの内容

「電卓の使い方」(344 ページ)

電卓の使い方

計算には電卓を使います。

電卓を開いて使う

- ▶ ホーム画面またはランチャーで電卓アイコン  をタップします。
「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ) をご覧ください。



- ▶ 標準画面で数字と演算子を入力します。
- ▶ 標準画面を左にドラッグすると、関数機能の画面が表示されます。
- ▶ 電卓の表示窓を長押しして表示されるメニューを使用して、入力した内容をコピーしたり、他のツールにアクセスしたりできます。
- ▶ [CLEAR] をタップすると、最後に入力した数字や演算子が削除されます。
[CLEAR] を長押しすると、表示窓のすべての内容が消去されます。

演算履歴にアクセスする

- ▶ トラックボールまたは同様のデバイスがある端末では、トラックボールを上下に動かすと、過去の演算を表示できます。
過去の演算が表示窓に入力されるため、それらを再利用できます。
- ▶ 履歴を消去するには、MENU キー  を押して [履歴消去] をタップします。

タグ

近距離無線通信（NFC）は、少量の情報をステッカーなどの小さなデバイスに保存するテクノロジーで、NFCリーダーに近づけてスキャンすることができます。

NFC タグには、URL、画像、地図情報、連絡先など、さまざまな情報を含めることができます。

携帯端末が NFC タグのスキャンに対応している場合、タグアプリケーションでスキャンしたタグを表示、操作、および整理できます。

このセクションの内容

「タグのスキャン」(346 ページ)

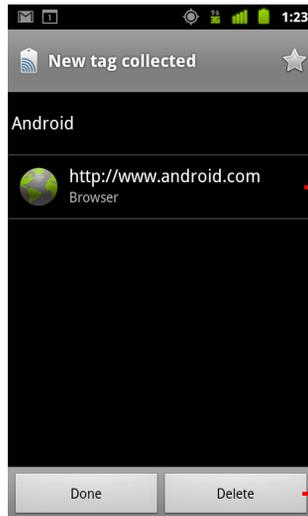
「タグの操作」(347 ページ)

タグのスキャン

携帯端末がNFCタグのスキャンに対応している場合、端末の電源が入っていて、[設定]でNFCが有効になっていれば、いつでもタグをスキャンできます（「無線とネットワーク」（365ページ）をご覧ください）。

タグをスキャンする

- 1 端末の画面のロックを解除して、端末をタグに近づけます。
端末がタグをスキャンし、収集したコンテンツが表示されます。



— タグのコンテンツをタップして開きます

[完了]をタップすると、タグが保存され、操作していた前の画面に戻ります。
または、[削除]をタップします

- 2 タグのいずれかのコンテンツをタップして開きます（タグが端末に保存されます）。あるいは、[完了]または[削除]をタップし、タグを保存するか削除して、操作していた前の画面に戻ります。

タグのいずれかのコンテンツをタップすると、ギャラリー、ブラウザ、地図、メッセージなど、そのコンテンツと連動するアプリケーションが起動します。

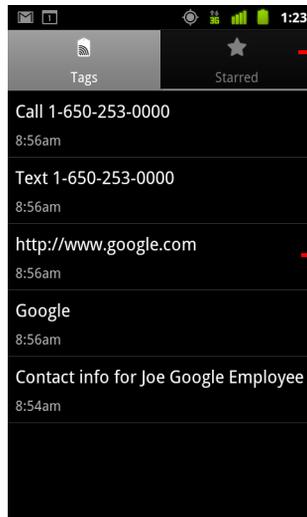
タグの操作

タグ アプリケーションを使用して、スキャンしたタグを操作できます。

タグを開いてスキャンしたタグを表示する

- ▶ タグアイコン  をホーム画面またはランチャーでタップします。「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ) をご覧ください。タグアプリケーションが開き、以前にスキャンしたタグのリストが表示されます。

[スター付き] タブをタップすると、スターを付けたタグのみのリストが表示されます。また、[タグ] をタップすると、すべてのタグのリストが表示されます。



[スター付き] タブをタップすると、スターを付けたタグのリストが表示されます

タグをタップして開きます

スキャンしたタグを開いて操作する

- 1 タグ アプリケーションを開き、[タグ] または [スター付き] リストでタグをタップします。

タグが開き、タグの情報とそのコンテンツのリストが表示されます。



- 2 タグのスターをタップすると、スター付きタグのリストに追加またはリストから削除できます。
- 3 タグのコンテンツをタップすると、コンテンツが表示されます。
- 4 [完了]をタップすると、タグのリストに戻ります。

タグを削除する

- 1 タグ アプリケーションを開き、[タグ] または [スター付き] リストでタグをタップします。
- 2 [削除]をタップします。

マーケット

Android マーケットは、アプリケーションやゲームに直接アクセスして、携帯端末にダウンロード、インストールできるサービスです。

このセクションの内容

「Android マーケットの起動とアプリケーションの検索」(350 ページ)

「アプリケーションのダウンロードとインストール」(354 ページ)

「ダウンロードの管理」(357 ページ)

Android マーケットの起動とアプリケーションの検索

Android マーケットを起動し、無料や有料のアプリケーションを検索します。

Android マーケットを開く

- ▶ ランチャーまたはホーム画面でマーケットアイコン  をタップします。「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ) をご覧ください。ホーム画面にマーケット ウィジェットを追加している場合は、それをタップすることもできます(「ホーム画面のカスタマイズ」(45 ページ) を参照)。

Android マーケットを初めて使う際には、利用規約を読んで同意する必要があります。



Android マーケットのヘルプを表示する

Android マーケットのヘルプ ページは、Android マーケットのどの画面からでも表示できます。

- ▶ **MENU キー**  を押して [ヘルプ] をタップします。ブラウザに Android マーケットのヘルプ ページが表示されます。このページには、さまざまなヘルプ トピックへのリンクがあります。「ブラウザ」(237 ページ) をご覧ください。

アプリケーションを閲覧する

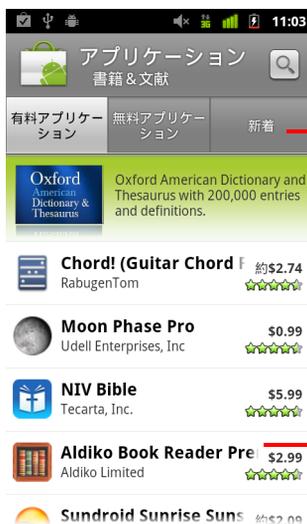
アプリケーションはカテゴリ別に閲覧できます。また、さまざまな方法で並べ替えることができます。

- 1 Android マーケットのホームページで、[**アプリケーション**] や [**ゲーム**] などのトップレベルカテゴリをタップします。



サブカテゴリをタップすると、アプリケーションのリストが表示されます

- 2 表示されたサブカテゴリをスクロールし、見たいサブカテゴリをタップします。



タップすると、そのサブカテゴリの有料、無料、新着のアプリケーションが表示されます

アプリケーションをタップすると詳細画面が表示されます

- 3 [有料アプリケーション]、[無料アプリケーション]、[新着]をタップすると、サブカテゴリを並べ替えることができます。

アプリケーションの詳細画面を開く

- ▶ Android マーケットの閲覧中にアプリケーションをタップすると、いつでも詳細画面を表示できます。

アプリケーションの詳細画面には、アプリケーションの説明、評価、関連情報などが表示されます。[コメント]タブにはアプリケーションを使用したユーザーのコメントが表示されます。この画面からアプリケーションをダウンロードしてインストールできます。「アプリケーションのダウンロードとインストール」(354 ページ)をご覧ください。

また、アプリケーションの評価やアンインストールなどの操作も行うことができます。「ダウンロードの管理」(357 ページ)をご覧ください。

アプリケーションを探す

- 1 画面の右上にある検索アイコン  をタップするか、[**検索**] キー  を押します。
- 2 検索キーワードを入力し、もう一度検索アイコン  をタップします。
検索するアプリケーション名、説明、またはデベロッパー名の全体または一部を入力します。
- 3 検索結果をタップすると、そのアプリケーションの詳細画面が表示されます。
詳細画面には、アプリケーションの説明の他に、アプリケーションのダウンロードやその他の操作を行うためのボタンが表示されます。
「アプリケーションのダウンロードとインストール」(354 ページ) と「ダウンロードの管理」(357 ページ) をご覧ください。

Android マーケットのホーム画面に戻る

Android マーケットでは、ほとんどの画面から Android マーケットのホーム画面に戻ることができます。

- ▶ 画面の左上にあるマーケットアイコン  をタップします。
または
- ▶ **MENU**  キーを押して [**ホーム**] をタップします。

アプリケーションのダウンロードとインストール

気に入ったアプリケーションを携帯端末にインストールできます。

アプリケーションをダウンロードしてインストールする

- 1 アプリケーションを検索して詳細画面を開きます。

「Android マーケットの起動とアプリケーションの検索」(350 ページ) をご覧ください。

アプリケーションの詳細画面では、価格、評価、ユーザーからのコメント、デベロッパーの情報など、アプリケーションの詳細を確認できます。



タップすると、このアプリケーションをダウンロードしてインストールします(有料アプリケーションの場合は、このボタンに価格が表示されます)

アプリケーションの詳細画面をスクロールすると、アプリケーションとデベロッパーの詳細情報が表示されます

タップしてセクションを展開すると、続きが表示されます

- 2 MENU ≡ キーを押して [セキュリティ] をタップすると、アプリケーションをインストールした場合に携帯端末上でアクセスする機能やデータを確認できます。
- 3 [インストール] の下の [無料] または価格をタップします。

有料アプリケーションは、すべての地域またはすべての携帯通信会社で利用できるとは限りません。

アプリケーションで携帯端末上の個人データへのアクセスや機能の制御が必要になる場合は、詳細画面の上部付近に概要が表示されます。

[もっと見る] をタップすると、詳細が表示されます。

注意: この画面は注意してお読みください。特に、多数の機能にアクセスするアプリケーションや多くの個人データにアクセスするアプリケーションには注意してください。この画面で [OK] をタップすると、そのアイテムを携帯端末で使用する際の責任は、ユーザーに帰属することになります。

- 4 アプリケーションのセキュリティ権限の要件に同意する場合は、[**受け入れ許可**]の下の[**OK**]をタップします。

有料アプリケーションを選択すると、支払い方法を選択する画面が表示されます。登録済みの支払い方法を使用するか、新たに支払い方法を追加します。事前にアカウントを設定することもできます。詳しくは、「Google Checkout アカウントを作成する」(356 ページ)をご覧ください。



タップするとアプリケーションの購入に使うカードを変更または追加できます

タップするとこのアプリケーションを購入し、ダウンロードしてインストールします

無料アプリケーションを選択した場合（または[**今すぐ購入**]をタップした後）、アプリケーションが携帯端末にダウンロードされ、インストールされたことを示す通知が表示されます。

アプリケーションのインストールが完了したら、通知をタップしてアプリケーションを起動できます。また、ランチャーでアプリケーションのアイコンをタップして起動することもできます。「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ)をご覧ください。

インストールしたアプリケーションは通常、一定期間試用できます。この期間内に不要と判断してアンインストールすれば、支払った金額が払い戻しされます。「アプリケーションの払い戻しを請求する」(360 ページ)をご覧ください。

Android 端末がもう1台ある場合は、同じ Android マーケット アカウントを使用すれば、追加料金なしでその端末にも有料アプリケーションをダウンロードできます。

Google Checkout アカウントを作成する

Google Checkout アカウントを使って、Android マーケットで購入したアプリケーションの料金を支払うことができます。Android マーケットで初めてアプリケーションを購入するときにアカウントを設定するか、ウェブブラウザであらかじめアカウントを設定しておくことができます。

- ▶ ウェブブラウザで <http://checkout.google.com> にアクセスし、Google Checkout アカウントを作成します。

または

- ▶ 携帯端末を使用して Android マーケットで初めてアプリケーションを購入し、請求先情報の入力を求められたときに、Google Checkout アカウントを設定します。

注意： Google Checkout を使用して Android マーケットから一度アプリケーションを購入すると、携帯端末にパスワードが記憶されるため、次回からは入力する必要がなくなります。そのため他人に無断で使用されることのないよう、端末のセキュリティ管理には十分ご注意ください。「画面のロック」(44 ページ) をご覧ください。

ダウンロードの管理

アプリケーションをダウンロードしてインストールすると、そのアプリケーションを評価したり、ダウンロード済みの他のアプリケーションと一緒にリストに表示したり、アプリケーションの自動更新を設定したりできます。

ダウンロード済みのアプリケーションを表示する

Android マーケットからダウンロードしたアプリケーションのリストを表示できます。また、このリストはさまざまな目的に使用できます。

- ▶ Android マーケットのホーム画面で、**MENU キー**  を押して [**マイアプリ**] をタップします。

無料と有料のアプリケーションのリストが表示されます。リスト内のアプリケーションをタップして、評価、アンインストール、払い戻し請求などを行うことができます。

アプリケーションを自動的に更新するかどうかを設定する

マーケットからダウンロードしたアプリケーションは、自動更新しないよう初期設定されています。一方で、端末に付属のアプリケーションは、自動更新するよう初期設定されています。ただしアプリケーションの種類にかかわらず、アプリケーションで利用可能なアップデートの通知を受け取ったときの動作の設定は変更できます（「利用可能なアプリケーションのアップデートの通知に応答する」（358 ページ）をご覧ください）。

- 1 Android マーケットのホーム画面で、**MENU キー**  を押して [**マイアプリ**] をタップします。
- 2 アプリケーションをタップします。
- 3 [**自動更新を許可**] をオンまたはオフにします。

利用可能なアプリケーションのアップデートの通知にตอบสนองする

新しいバージョンのアプリケーションが利用可能になると、通知が表示されます（アップデートの通知を無効にした場合を除きます。「アプリケーションの更新情報を受信するかどうかを設定する」（359 ページ）をご覧ください）。通知への応答方法については、「通知の管理」（31 ページ）をご覧ください。

アプリケーションの自動更新が有効で、新たに権限の変更を必要としない場合、アップデートをダウンロードしてインストールが完了した後に通知が表示されます（「アプリケーションを自動的に更新するかどうかを設定する」（357 ページ）をご覧ください）。

アプリケーションの自動更新が無効な場合、または新たに権限の変更が必要になった場合は、利用可能なアップデートに関する通知が表示されます。通知をタップすると、マーケットの [ダウンロード履歴] 画面が開きます。ダウンロード済みアプリケーションのうち、アップデートが利用可能なものには [更新] または [更新（手動）] ラベルが付けられています。



- ▶ [更新] または [更新（手動）] ラベル付きのアプリケーションをタップすると、アプリケーションが更新されます。必要に応じて、権限の変更について確認を求められます。
- ▶ [すべて更新] をタップすると、権限の変更が不要なアプリケーションがすべて更新されます。
[すべて更新] は、権限の変更が不要なアップデートが複数存在する場合にのみ利用できます。

アプリケーションの更新情報を受信するかどうかを設定する

- 1 Android マーケットのホーム画面で、**MENU キー**  を押して[**設定**]をタップします。
- 2 [**通知**]メニューをタップして、ダウンロード済みアプリケーションの更新情報を受信するかどうかを選択します。
- 3 [**OK**]をタップします。

アプリケーションをアンインストールする

マーケット アプリケーションを使用して、マーケットからダウンロードしたアプリケーションをアンインストールできます。設定アプリケーションの[**アプリケーションの管理**]画面で、マーケットなどからダウンロードしたアプリケーションをアンインストールすることもできます。(「アプリケーションをアンインストールする」(359 ページ) をご覧ください)。

- 1 Android マーケットのホーム画面で、**MENU キー**  を押して[**マイアプリ**]をタップします。
- 2 アンインストールするアプリケーションをタップします。
アプリケーションの詳細画面が表示されます。
- 3 [**アンインストール**]をタップします。
- 4 確認ダイアログで[**OK**]をタップします。
- 5 アンインストールの理由に当てはまる説明をタップし、[**OK**]をタップします。

アプリケーションがアンインストールされます。アンインストールしたアプリケーションは、いつでも再インストールできます。有料アプリケーションの場合でも料金はかかりません。

アプリケーションの払い戻しを請求する

購入したアプリケーションに満足できなかった場合、通常は購入後所定の時間内であれば払い戻しを請求できます。払い戻しの請求期限については、アプリケーションを購入したときの購入画面と、メールで届く領収書に記載されています。また、アプリケーションの詳細画面に記載されたデベロッパーの連絡先に問い合わせることもできます（「アプリケーションの詳細画面を開く」（352 ページ）をご覧ください）。払い戻しを請求するとアプリケーションはアンインストールされ、クレジットカードへの請求は行われません。

その後、気が変わった場合は再度インストールできますが、2 回目以降は払い戻しを請求できません。

- 1 Android マーケットのホーム画面で、**MENU キー**  を押して [**マイアプリ**] をタップします。
- 2 アンインストールして払い戻しを請求するアプリケーションをタップします。
アプリケーションの詳細画面が表示されます。
- 3 [**払い戻し**] をタップします。
アプリケーションがアンインストールされ、請求はキャンセルされます。
- 4 アンインストールの理由に当てはまる説明をタップし、[**OK**] をタップします。

アプリケーションに評価やコメントを付ける

アプリケーションは星の数（1～5 つ）で評価できます。また、アプリケーションについての意見を他のユーザーと共有できます。

- 1 アプリケーションの詳細画面を開きます。
詳細画面を開くには、アプリケーションを閲覧または検索してタップします。アプリケーションを既にダウンロードしている場合は、ダウンロード済みアプリケーションのリストでそのアプリケーションをタップします。
- 2 [**マイレビュー**] で星をタップします。
- 3 アプリケーションに付ける星の数をタップして [**OK**] をタップします。
- 4 [**コメントを投稿**] をタップします。
- 5 コメントを入力して [**OK**] をタップします。

不適切なアプリケーションとして報告する

暴力的、性的、悪意のある、または不快な内容のアプリケーションを見つけた場合は、Android マーケット チームに報告できます。

- 1 アプリケーションの詳細画面を開きます。

詳細画面を開くには、アプリケーションを閲覧または検索してタップします。アプリケーションを既にダウンロードしている場合は、ダウンロード済みアプリケーションのリストでそのアプリケーションをタップします。

- 2 詳細画面を下にスクロールし、[**不適切なコンテンツとして報告**] をタップします。
- 3 アプリケーションを不快に感じる理由をタップします。
- 4 [**送信**] をタップします。

Android マーケット チームにコメントが送信されます。

設定

設定アプリケーションでは、携帯端末の画面、サウンド、通信、プライバシー保護、動作などを設定できます。

多くのアプリケーションには専用の設定もあります。詳しくは、各アプリケーションのドキュメントをご覧ください。

このセクションの内容

- 「設定の起動」(364 ページ)
- 「無線とネットワーク」(365 ページ)
- 「通話設定」(370 ページ)
- 「音の設定」(372 ページ)
- 「画面設定」(374 ページ)
- 「位置情報とセキュリティの設定」(375 ページ)
- 「アプリケーション設定」(378 ページ)
- 「アカウントと同期の設定」(380 ページ)
- 「プライバシーの設定」(382 ページ)
- 「ストレージの設定」(383 ページ)
- 「言語とキーボードの設定」(384 ページ)
- 「音声入出力の設定」(386 ページ)
- 「ユーザー補助の設定」(388 ページ)
- 「ホルダーの設定」(389 ページ)
- 「日付と時刻の設定」(390 ページ)
- 「端末情報」(391 ページ)

設定の起動

設定アプリケーションには、携帯端末のカスタマイズや設定を行うほとんどのツールが揃っています。

設定を開く

- ▶ [ホーム]キー  を押してから MENU キー  を押し、[設定]をタップします。

または

- ▶ ホーム画面またはランチャーで、設定アイコン  をタップします。
「アプリケーションの起動と切り替え」(42 ページ) をご覧ください。

このセクションでは、設定アプリケーションに含まれるすべての設定について説明します。

無線とネットワーク

[ワイヤレスとネットワークの設定]では、Wi-Fi、Bluetooth、モバイルネットワークを使用したネットワークやデバイスへの接続を設定、管理できます。また、携帯端末と仮想プライベートネットワーク（VPN）間の接続を設定したり、携帯端末のデータ通信を経由してパソコンでインターネットに接続したり、機内モードに切り替えてすべての無線通信をオフにしたりすることもできます。

[ワイヤレスとネットワークの設定]画面

機内モード オンにすると、通話やデータの無線通信がすべてオフになります。また、通話設定も無効になります（「通話設定」（370 ページ）をご覧ください）。

Wi-Fi オンにすると Wi-Fi が有効になり、Wi-Fi ネットワークに接続できます。

Wi-Fi 設定 「[Wi-Fi 設定]画面」（366 ページ）をご覧ください。

Bluetooth オンにすると Bluetooth が有効になり、Bluetooth デバイスに接続できます。

Bluetooth 設定 「[Bluetooth 設定]画面」（367 ページ）をご覧ください。

テザリングとポータブルアクセスポイント 「[テザリングとポータブルアクセスポイント]設定画面」（368 ページ）をご覧ください。

VPN 設定 「[VPN 設定]画面」（368 ページ）をご覧ください。

NFC 携帯端末が近距離無線通信（NFC）に対応している場合、このチェックボックスをオンにするとアプリケーションが NFC を使用して NFC タグを読み取ることができ、また携帯端末の NFC タグを他の NFC デバイスで読み取ることができます。この設定をオフにすると、携帯端末で NFC が無効になります。NFC タグはタグアプリケーションで操作できます。詳しくは、「タグ」（345 ページ）をご覧ください。

モバイルネットワーク 「[モバイルネットワーク設定]画面」（368 ページ）をご覧ください。

[Wi-Fi 設定] 画面

この設定の操作について詳しくは、「Wi-Fi ネットワークへの接続」（63 ページ）をご覧ください。

このセクションで説明する設定に加えて、この画面で **MENU キー**  を押し、[詳細設定] をタップすると、その他の設定を行うことができます。詳しくは、「Wi-Fi の [詳細設定] 画面」（366 ページ）をご覧ください。

Wi-Fi オンにすると Wi-Fi が有効になり、Wi-Fi ネットワークに接続できます。ネットワークに接続しているときは、そのネットワークの名前が表示されます。

ネットワークの通知 オンにすると、Wi-Fi のオープン ネットワークに接続できるようになったときに通知が表示されます。

Wi-Fi ネットワーク これまでに設定した Wi-Fi ネットワークと、携帯端末が最後に Wi-Fi ネットワークをスキャンしたときに検出されたネットワークのリストを表示します。「Wi-Fi ネットワークへの接続」（63 ページ）をご覧ください。

Wi-Fi ネットワークを追加 ネットワークの SSID（ブロードキャストする名前）とセキュリティの種類を入力し、Wi-Fi ネットワークを追加するためのダイアログが表示されます。「Wi-Fi ネットワークへの接続」（63 ページ）をご覧ください。

Wi-Fi の [詳細設定] 画面

Wi-Fi のスリープ設定 Wi-Fi 通信を切断するかどうか、またいつ切断するかを設定するためのダイアログが表示されます。スリープを無効にすると、電池の消費量が増加します。

MAC アドレス Wi-Fi ネットワークに接続しているときの携帯端末のメディアアクセスコントロール（MAC）アドレスです。

IP アドレス 接続先の Wi-Fi ネットワークによって携帯端末に割り当てられたインターネット プロトコル（IP）アドレスです（静的 IP アドレスを使用している場合を除きます）。

IP 設定 [静的 IP を使用する] をオンにすると、[IP 設定] で、携帯端末の IP アドレスやその他のネットワーク設定を手動で入力できるようになります。この場合、Wi-Fi ネットワーク自体からネットワーク設定を取得するための DHCP プロトコルは使用されません。

[Bluetooth 設定] 画面

この設定の操作について詳しくは、「Bluetooth デバイスへの接続」(66 ページ) をご覧ください。

Bluetooth オンにすると Bluetooth が有効になり、Bluetooth デバイスに接続できます。

端末名 携帯端末の名前を設定するためのダイアログが表示されます。この名前は、Bluetooth デバイスとペアに設定するとき相手にデバイスに表示されます。現在の名前が表示されています。

検出可能 オンにすると、携帯端末は他の Bluetooth デバイスから 120 秒間検出可能になります。

デバイスのスキャン タップすると、付近の Bluetooth デバイスを検索して情報を表示します。

Bluetooth 端末 これまでに設定した Bluetooth デバイスと、携帯端末が最後に Bluetooth デバイスをスキャンしたときに検出されたデバイスのリストを表示します。

[テザリングとポータブルアクセスポイント] 設定画面

この設定の操作について詳しくは、「携帯端末のデータ通信の共有」(72 ページ)をご覧ください。

USB テザリング オンにすると、USB 接続を使用して、端末のモバイルネットワークデータ通信をパソコンと共有できます。

ポータブル Wi-Fi アクセスポイント オンにすると、携帯端末のモバイルネットワークデータ通信をポータブル Wi-Fi アクセスポイントとして共有できます。

ポータブル Wi-Fi アクセスポイントの設定 表示された画面で、アクセスポイントのオン/オフ、SSID (ブロードキャスト名)、セキュリティを設定できます。

ヘルプ USB テザリングやポータブル Wi-Fi アクセスポイントに関する情報と、さらに詳しい情報の入手先を確認するためのダイアログが表示されます。

[VPN 設定] 画面

この設定の操作について詳しくは、「仮想プライベート ネットワークへの接続」(75 ページ)をご覧ください。

VPN の追加 追加する VPN の種類を選択する画面が表示されます。種類を選択すると、VPN の詳細情報を設定できます。

VPN これまでに設定した VPN のリストです。

[モバイルネットワーク設定] 画面

データ通信を有効にする オフにすると、モバイルネットワークでのデータ通信が無効になります。この機能を利用すると、モバイルデータ通信を契約していない地域に滞在中、その地域の携帯通信会社からモバイルネットワークのデータ通信料を請求されないようにすることができます。この設定をオフにしても、Wi-Fi や Bluetooth など、その他の無線ネットワーク上でのデータ通信は可能です。

データローミング オフにすると、契約している携帯通信会社のモバイルネットワークの圏外にいるときに、他社のモバイルネットワークでデータを送りません。「ローミング中にデータを無効にする」(61 ページ)をご覧ください。

データ使用 携帯通信会社が、モバイルネットワーク データ利用ポリシーを適用している場合にのみ利用できます。現期間中にモバイルネットワークで送信したデータ量、データしきい値（ポリシーが適用されるまでに送信可能なデータ量）、次の期間の開始日が表示されます。この設定をタップすると表示される [データ使用] 画面では、モバイルネットワークでのデータ使用、計測対象期間、期間中にデータしきい値を超過した場合に携帯通信会社がポリシーを適用する方法について、詳細情報を確認できます。携帯通信会社のモバイルネットワーク データ利用ポリシーについて詳しくは、ご利用の携帯通信会社にお問い合わせください。

アクセスポイント名 表示される [APN] 画面で、モバイルアクセスポイントの設定を選択できます。**MENU キー**  を押して新しいアクセスポイントも追加できます。この画面でのツールの使用方法については、ご利用の携帯通信会社にお問い合わせください。

2G ネットワークのみ使用 電池を少しでも長く持たせるために高速ネットワークに接続しない場合はオンにします。「データ接続を 2G ネットワークに限定する」(61 ページ) をご覧ください。

ネットワークオペレーター 携帯端末で利用できるモバイルネットワークを検索、表示するための画面を開きます。別の携帯通信会社を選択した場合の料金については、ご利用の携帯通信会社にお問い合わせください。

通話設定

[通話設定]では、着信転送、通話中着信など、ご利用の携帯通信会社が提供している特別な通話機能を設定できます。また、指定した電話番号にしか発信できないように端末を設定することもできます。

[通話設定]画面

発信番号制限 GSM 端末のみ。「[発信番号制限]画面」(371 ページ)をご覧ください。

ボイスメールサービス ご利用の携帯通信会社のボイスメールサービスのほか、Google Voice などのサービスを選択するためのダイアログが表示されます。「Google Voice の設定」(191 ページ)をご覧ください。

ボイスメールの設定 携帯通信会社のボイスメールサービスを利用する場合、ボイスメールの再生と管理に使用する電話番号を入力するためのダイアログが表示されます。電話番号の後にパスワードを追加する場合など、番号の間を空けるにはカンマ (,) を入力します。Google Voice を利用する場合、Google Voice の番号を確認したり Google Voice からログアウトしたりする画面が表示されます。「Google Voice」(183 ページ)をご覧ください。

着信転送 通話中、不在時などの着信を転送する方法を設定する画面が表示されます。

その他の設定 「その他の設定」(371 ページ)をご覧ください。

アカウント 「[インターネット通話 (SIP) アカウント]画面」(371 ページ)をご覧ください。

インターネット通話を使用 表示されたダイアログで、インターネット通話をすべての発信に使用するか、インターネット通話アドレスへの発信のみに使用するか (デフォルトの設定)、または発信のたびに確認するように携帯端末を設定します。インターネット通話を行うには、Wi-Fi ネットワークに接続し、インターネット通話アカウントを携帯端末に追加しておく必要があります。「インターネット通話 (SIP) の設定」(78 ページ)をご覧ください。

[発信番号制限] 画面

この画面では、携帯端末の SIM カードに保存した発信番号制限の番号にしか発信できないように設定できます。

発信番号制限を ON にする PIN2 を入力して、携帯端末を発信番号制限モードにするためのダイアログが表示されます。発信番号制限が既に有効になっている場合、この設定は[**発信番号制限を OFF にする**]に変わります。

PIN2 を変更 PIN2 を変更する一連のダイアログが表示されます。まず、現在の PIN2 を入力し、次に新しい PIN2 を入力し、最後に新しい PIN2 を確認のために再度入力します。

発信番号制限リスト SIM カードに保存されている発信番号制限の番号リストが画面に表示されます。発信番号制限の番号を SIM に追加するには、MENU キー  を押して、[**連絡先を追加**] をタップします。その画面で MENU キー  を押すと、発信番号制限の番号リストを連絡先からインポートしたり、リストから番号を削除したりできます。

その他の設定

発信者番号 電話をかけた相手に自分の番号を表示するかどうかを設定するためのダイアログが表示されます。

通話中着信 通話中にかかってきた電話を表示して、受けられるようにする場合はオンにします。詳しくは「通話」(81 ページ) をご覧ください。

[インターネット通話 (SIP) アカウント] 画面

この設定の操作について詳しくは、「インターネット通話 (SIP) の設定」(78 ページ) をご覧ください。

着信を受ける この設定をオンにすると、携帯端末がインターネット通話サービスプロバイダとの接続を維持し、携帯端末に追加したインターネット通話アドレスへの着信があった場合に着信音を鳴らすことができます。ただしその場合、電池の消費量が増加します。

SIP アカウント これまでに設定したインターネット通話アカウントのリストです。いずれかのアカウントをタップすると、設定を表示または変更できます。詳しくは、「インターネット通話 (SIP) の設定」(78 ページ) をご覧ください。

[アカウントを追加] ボタン 表示された画面で、インターネット通話サービスプロバイダが指定したとおりにインターネット通話アカウントの詳細を入力し、アカウントを追加できます。詳しくは、「インターネット通話 (SIP) の設定」(78 ページ) をご覧ください。

音の設定

[音の設定]では、着信、通知、アラームについて、音の種類や音量、バイブレーションを設定したり、その他の方法でアラートを設定したりできます。オーディオでのメディア再生の音量やその他の関連設定も、ここで変更できます。

マナーモード オンにすると、音楽、動画、その他のメディア、設定しているアラームの音を除いて、すべてのサウンド（着信音と通知音を含む）が消音になります（メディアやアラームの消音は、それぞれのアプリケーションで行う必要があります）。

バイブレーション 表示されたダイアログで、携帯端末を振動させるタイミング（必ず振動させる、振動させない、マナーモードのみ、マナーモード以外のみ）を設定するダイアログが開きます。

音量 着信、通知、メディア（音楽、動画など）、アラームの音量を設定するためのダイアログが表示されます。着信と通知の音量を同じにするオプションをオフにすると、通知音の音量を別途設定できるスライダが表示されます。

着信音 電話の着信音を選択するためのダイアログが表示されます。着信音をタップすると、その音が鳴ります。メディアアプリケーションを使用して、このリストに曲を追加できます。音楽アプリケーションの操作について詳しくは、「曲を着信音に設定する」（319 ページ）をご覧ください。

バイブレーション 着信したときに端末を必ず振動させる、マナーモード設定時のみ振動させる、バイブを使用しない、のいずれかに設定するためのダイアログが表示されます。

通知音 通知を受信したときの着信音を設定するためのダイアログが表示されます。通知音をタップすると、その音が鳴ります。

光を点滅させて通知 通知を受信したときにトラックボールやその他のライトが点滅する携帯端末では、この設定をオンにすると、新しい通知があった場合にライトが数秒ごとに点滅します。オフにすると、新しい通知があった場合にライトが1回だけ点滅します。

タッチ操作音 電話アプリで番号をダイヤルする際に操作音を鳴らす場合はオンにします。

選択時の操作音 ボタン、アイコンなど、タップに反応する画面上のアイテムをタップしたときに操作音を鳴らす場合はオンにします。

画面ロックの音 画面をロックまたはロック解除するときに操作音を鳴らす場合はオンにします。

入力時バイブレーション オンにすると、携帯端末でソフトキーのタップなどの操作をするたびに、端末が短時間振動します。

緊急時の音 一部の携帯端末では、緊急通報をするときの携帯端末の動作を設定するためのダイアログが表示されます。

画面設定

[画面設定]では、画面の明るさなどを設定できます。

画面の明るさ 画面の明るさを調整するためのダイアログが表示されず、[明るさを自動調整]をオンにすると、端末に組み込みの光センサーを使用して、自動的に明るさが調整されます。端末の使用時に、明るさのレベルをスライダで適宜設定したい場合は、このオプションをオフにします。電池を長持ちさせるには、画面が見えにくくならない程度に暗くしてください。

画面の自動回転 オンにすると、携帯端末を横向きまたは縦向きにしたときに、それに応じて画面の向きが自動的に切り替わります。

アニメーション表示 端末の画面切り替え時のアニメーションについて、一部のアニメーション（メニューを開くなど）、サポートされるすべてのアニメーション効果（画面間の移動も含む）、アニメーション効果なし、のいずれかを設定できます（この設定によって、すべてのアプリケーションでアニメーションを制御できるわけではありません）。

バックライト消灯 操作を行わなくなってから携帯端末の画面が暗くなるまでの時間を設定するためのダイアログが表示されます。電池を長持ちさせるには、不便にならない程度の時間で消灯するように設定してください。

位置情報とセキュリティの設定

[位置情報とセキュリティの設定]では、情報を検索するときや、地図アプリなどの現在地識別アプリケーションを使用するときに、携帯端末の現在地情報を使用して共有するように設定できます。また、携帯端末やそのデータの保護機能を設定できます。

無線ネットワークを使用 オンにすると、検索などで、Wi-Fi やモバイルネットワークから情報を取得して大まかな現在地を把握し、地図で使えるようになります。このオプションをオンにすると、Google の現在地サービスで現在地を匿名化して共有することに同意するかを尋ねるメッセージが表示されます。

GPS 機能を使用 オンにすると、携帯端末のグローバルポジショニングシステム (GPS) 衛星受信機を使って数メートル以内の精度 (「高精度測位」) で現在地を特定できます。実際の GPS の精度は、上空の見晴らしやその他の要因によって異なります。

画面ロックの設定 タップすると、画面ロックを解除するとき、パターン、PIN またはパスワードを要求するように設定されます。画面ロックの設定後、このセクションで後述するその他の設定でこの設定が置き換えられることがあります。

ロック解除パターン設定 画面のロック解除パターンを入力する一連の画面が表示されます。詳しくは「画面のロック」(44 ページ) をご覧ください。

ロック解除パターンの変更 ロック解除パターンを設定している場合、ロック解除パターンを変更するための一連の画面が表示されます。

指の軌跡を線で表示 ロック解除パターンを設定している場合にオンにすると、入力するロック解除パターンの点の間に線が描画されます。

入力時バイブレーション 画面ロックを設定している場合、ロック解除パターン、ロック解除 PIN、またはパスワードの入力で、各点をタップしたときに携帯端末が短時間振動します。

ロック解除 PIN の設定 画面ロック解除用の PIN を入力するための一連の画面が表示されます。詳しくは「画面のロック」(44 ページ) をご覧ください。

ロック解除 PIN を変更 画面ロック PIN を設定している場合、PIN を変更するための一連の画面が表示されます。

ロック解除パスワードの設定 画面ロック解除パスワードを入力するための一連の画面が表示されます。詳しくは「画面のロック」(44 ページ)をご覧ください。

ロック解除パスワードの変更 画面ロックパスワードを設定している場合、パスワードを変更するための一連の画面が表示されます。

画面ロックを OFF にする オフにすると、画面ロックを解除する際にパターン、PIN、またはパスワードの入力が不要になります。この設定は、画面ロックパターン、PIN、またはパスワードを設定していないと表示されません。

SIM カードロック設定 表示された画面で、SIM PIN を入力しなければ携帯端末を使えないように設定できます。また、SIM PIN の変更もできます。

パスワードを表示 オンにすると、パスワードの入力時に入力した文字がわかるよう、各文字が短時間表示されます。

デバイス管理者を選択 開いた画面で、携帯端末のデバイス管理者権限を付与したアプリケーションのリストが表示されます。通常は、メールやカレンダーなど、ユーザーがデバイス管理者権限を付与したエンタープライズアプリケーションが該当します。エンタープライズサービスによってホスティングされるアカウントを追加した場合、これらのサービスに接続するデバイスには、サービスがセキュリティポリシーを適用できる必要があります。このリスト内のアプリケーションをタップすると、アプリケーションのデバイス管理者権限を無効にできます。無効にした場合、アプリケーションのデバイス管理者としての権限が復元されない限り、追加されたアカウントは通常、そのアプリケーションの一部の機能(新しいメールやカレンダーの予定を携帯端末と同期するなど)を使用できなくなります。この方法でアプリケーションのデバイス管理者権限を無効にした場合、その権限を必要とするアカウントを削除しない限り、アプリケーションを使用するときに権限の復元方法に関する通知が表示されます。

安全な認証情報の使用 オンにすると、携帯端末の安全な証明書と関連パスワードの暗号化ストアや、その他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可します。VPN や Wi-Fi の接続方式によっては、接続を確立する際に認証情報ストレージが使用されます。詳しくは「ネットワークやデバイスへの接続」(59 ページ)をご覧ください。認証情報ストレージにパスワードを設定していないと、この設定は淡色表示になります。

SD カードからインストール リムーバブルSDカードにユーザーファイルが保存されている場合、タップすると、SDカードから安全な証明書がインストールされます。詳しくは「安全な証明書の操作」(77 ページ)をご覧ください。

USB ストレージからのインストール 内部 USB ストレージにユーザーファイルが保存されている場合、タップすると、USB ストレージから安全な証明書がインストールされます。詳しくは「安全な証明書の操作」(77 ページ) をご覧ください。

パスワードの設定 安全な認証情報ストレージのパスワードを設定または変更するためのダイアログが表示されます。パスワードは 8 文字以上で指定してください。「安全な証明書の操作」(77 ページ) をご覧ください。

ストレージの消去 削除確認メッセージの表示後に、すべての安全な証明書と関連認証情報が削除され、安全なストレージ自体のパスワードも消去されます。

アプリケーション設定

[アプリケーション設定]では、携帯端末にインストールされているアプリケーションの詳細情報の表示、それぞれのデータの管理、正常に動作していないアプリケーションの強制停止を行うことができます。また、ウェブサイトやメールで入手したアプリケーションのインストールを許可するかどうかも設定できます。

[アプリケーション設定]画面

提供元不明のアプリ Android マーケット以外のウェブサイト、メール、その他の場所から入手したアプリケーションのインストールを許可する場合はオンにします。

注意: 携帯端末や個人データを保護するには、Android マーケットなどの信頼できるソースからのみアプリケーションをダウンロードしてください。

アプリケーションの管理 携帯端末にインストールされているすべてのアプリケーションやその他のソフトウェアのリストとそのサイズのリストのほか、アプリケーションを管理するためのツールが表示されます。「アプリケーションで使うメモリの管理」(51 ページ)をご覧ください。

実行中のサービス 実行中またはキャッシュされているアプリケーション、プロセス、サービスのリストが表示されます。「アプリケーションで使うメモリの管理」(51 ページ)をご覧ください。

ストレージ使用状況 携帯端末にインストールされているすべてのアプリケーションと、各アプリケーションが使用しているストレージに関する情報のリストが表示されます。「アプリケーションで使うメモリの管理」(51 ページ)をご覧ください。

電池使用量 前回の充電以降に電池を使用したアプリケーションのリストが表示されます。「電池の節約方法」(49 ページ)をご覧ください。

開発 「[開発]画面」(379 ページ)をご覧ください。

[開発] 画面

[開発] 画面には、Android アプリケーションの開発に役立つ設定が表示されます。Android API や開発ツールのドキュメントなどの詳細情報は、Android デベロッパー ウェブサイト (<http://developer.android.com/intl/ja/index.html>) をご覧ください。

USB デバッグ オンにすると、USB 接続した携帯端末とパソコンのデバッグツールで通信が行えるようになります。

スリープモードにしない オンにすると、携帯端末を充電器や USB デバイスに接続して充電しているときに、画面が暗くなったり、ロックされたりすることがありません。この設定を使用して、携帯端末に静止画像を長時間表示したままにしないでください。残像が画面に焼き付くおそれがあります。

擬似ロケーションを許可 オンにすると、携帯端末の内部ツールを使用するのではなく、パソコン上の開発ツールを使用して、携帯端末に偽の現在地を認識させることができます。

アカウントと同期の設定

[アカウントと同期の設定]では、Google アカウントやその他のアカウントを追加、削除、管理することができます。また、アプリケーションが独自のスケジュールでデータの送受信や同期を行うかどうかとその方法、およびアプリケーションが自動的にユーザーのデータを同期できるかどうかを設定できます。

Gmail、カレンダーなどのアプリケーションにも、それぞれデータの同期方法を制御する設定があります。詳しくは、各アプリケーションのドキュメントをご覧ください。

[アカウントと同期の設定]画面

バックグラウンドデータ アプリケーションがバックグラウンドでデータの同期を行うことができるようにする場合はオンにします。そのアプリケーションを使用中かどうかは関係ありません。この設定をオフにすると節電でき、データの使用が少なくなります（まったく使用しないわけではありません）。

自動同期 アプリケーションがそれぞれのスケジュールに従ってデータを同期できるようにする場合はオンにします。この設定をオフにしている場合にアカウントのデータを同期するには、この画面のリストでそのアカウントをタップし、MENU キー  を押して、[今すぐ同期] をタップします。[バックグラウンドデータ] をオフにした場合、データの自動同期は無効になります。その場合、[自動同期] チェックボックスは淡色表示になります。

アカウントを管理 この画面の最後には、携帯端末に追加した Google アカウントやその他のアカウントが表示されます。アカウントの追加については、「アカウント」（129 ページ）をご覧ください。

この画面でアカウントをタップすると、そのアカウントの画面が開きます。

[アカウント] 画面

この画面に表示されるオプションは、アカウントの種類によって異なります。

Google アカウントの場合は、携帯端末と同期できるデータの種類のリストが、種類ごとに同期をオン / オフできるチェックボックスとともに表示されます。MENU キー  を押し、[**今すぐ同期**] をタップして、データを同期させることもできます。[**アカウントを削除**] ボタンをタップすると、そのアカウントがすべてのデータ（連絡先、メール、設定など）とともに削除されます。携帯端末に最初に追加した Google アカウントは削除できません。ただし、システムの出荷時設定に端末を初期化して、自分のユーザー データをすべて消去する場合は可能です。「プライバシーの設定」（382 ページ）をご覧ください。

プライバシーの設定

[プライバシーの設定] では、個人情報を管理できます。

データのバックアップ 携帯端末の設定を自分の Google アカウントを使って Google サーバーにバックアップする場合はオンにします。携帯端末を機種変更した場合、新しい端末で自分の Google アカウントを使って初めてログインすると、バックアップしていたデータが復元されます。このオプションをオンにすると、Wi-Fi パスワード、ブラウザのブックマーク、インストールしたアプリケーションのリスト、画面キーボードで使用する辞書に追加した語句、設定アプリケーションでのほとんどの設定をはじめ、さまざまな個人データがバックアップされます。サードパーティ製アプリケーションでこの機能を利用することもあります。その場合、アプリケーションを再インストールしたときにデータを復元できます。このオプションをオフにすると、自分のアカウントへのデータのバックアップは中止され、既存のバックアップは Google サーバーから削除されます。

自動復元 以前にこの端末または別の端末にインストールして使用していたアプリケーションをインストールするときに、設定やその他のデータを復元する場合はオンにします。ただし、同じ Google アカウントでログインし、あらかじめ設定がバックアップされている必要があります。

データの初期化 表示されたダイアログで、携帯端末の内部メモリからすべての個人データを消去できます。この場合、Google アカウント、その他のアカウント、システムやアプリケーションの設定、ダウンロードしたアプリケーションなどが削除されます。端末をリセットしても、ダウンロードしたシステム ソフトウェアのアップデートは消去されません。また、端末の USB ストレージや SD カード（端末の機種によって異なります）にダウンロードまたはコピーした、音楽や画像を消去できるチェックボックスもあります。この方法で端末を初期化すると、次に端末の電源を入れたときに、Android の初回起動時に入力した情報を再度入力することになります。「Android の初めての起動」(16 ページ) をご覧ください。

ストレージの設定

[ストレージの設定]では、携帯端末の内部ストレージと、USBストレージまたはSDカード（端末の機種によって異なります）の使用済み容量と空き容量を監視できます。

また、アプリケーションによって使用されるストレージと、アプリケーションの保存先を表示、管理することもできます。「アプリケーションで使うメモリの管理」（51ページ）をご覧ください。ブラウザ、Gmail、またはメールでダウンロードアプリケーションを使用してダウンロードしたファイルを表示したり、再度開いたり、削除したりできます。「ダウンロードの管理」（57ページ）をご覧ください。

SDカード /USBストレージ 携帯端末のUSBストレージまたはSDカードの容量と、画像、動画、音楽、ダウンロードファイルなどを保存するために使用されている容量が表示されます。詳しくは、「アプリケーションで使うメモリの管理」（51ページ）をご覧ください。また、USBストレージまたはSDカードにメディアやその他のファイルを保存するアプリケーションの、該当するセクションをご覧ください。

SDカードのマウント解除 携帯端末の電源が入っているときにSDカードを安全に取り外すには、カードのマウントを解除します。SDカードが装着されていない場合、既にマウントが解除されている場合、またはSDカードがパソコンにマウントされている場合、この設定は淡色表示になります。USBストレージを装着した携帯端末には、これと同等の設定はありません。「パソコンへの接続（USB経由）」（70ページ）をご覧ください。

USBストレージ内データの消去 /SDカード内データの消去 携帯端末のUSBストレージまたはSDカードの内容を完全に消去し、携帯端末で新たに使えるようにします。

内部ストレージ オペレーティングシステム、そのコンポーネント、アプリケーション（自分でダウンロードしたものも含む）、それぞれの永続データと一時データで使用されている端末内部メモリの容量が表示されます。

言語とキーボードの設定

[言語とキーボードの設定]では、携帯端末で表示する言語を選択できます。また、画面キーボードの設定や辞書に追加した語句の設定などができます。

[言語とキーボード]画面

言語を選択 [言語]画面が表示され、携帯端末で表示する言語を選択できます。

ユーザー辞書 辞書に追加した語句のリストが表示されます。詳しくは、「画面キーボードの使い方」(33 ページ)をご覧ください。語句をタップすると、編集や削除ができます。語句を追加する場合は、**MENU キー**  を押して[追加]をタップします。

Android キーボード 「[Android キーボードの設定]画面」(384 ページ)をご覧ください。

Android キーボードのチェックボックス 物理的なキーボードを搭載した携帯端末で、画面キーボードを無効にする場合はオフにします。「[Android キーボードの設定]画面」(384 ページ)をご覧ください。

端末内蔵キーボード 「[端末内蔵キーボード]設定画面」(385 ページ)をご覧ください。この設定は、携帯端末に物理的なキーボードが搭載されている場合のみ選択できます。

[Android キーボードの設定]画面

[Android キーボードの設定]は、携帯端末に組み込まれている画面キーボードに適用されます。自動修正や大文字変換機能は、英語バージョンのキーボードのみで有効です。

キー操作バイブ オンにすると、画面キーボードのキーをタップするたびに携帯端末が短時間振動します。

キー操作音 オンにすると、画面キーボードのキーをタップするたびに短い操作音が鳴ります。

キー押下時ポップアップ オフにすると、各キーをタップしたとき、キーの拡大画像が(指の下から飛び出すように)キーの上に表示されなくなります。

タップして語句を修正 オフにすると、キーボードで単語をタップしたときに他の入力候補が考えられるケースで、テキストフィールドの単語に下線が表示される機能を無効にできます。

自動大文字変換 オンにすると、ピリオドの後の最初の単語、テキストフィールドの最初の単語、名前フィールドの各単語の1文字目が、画面キーボードで自動的に大文字になります。

設定キーを表示 表示されたダイアログで、キーボードに設定キーを表示するかを自動的に判断するか（複数のキーボードやその他の入力方法がインストールされている場合のみ）、必ず設定キーを表示するか、または必ず非表示にするかを設定できます。

音声入力 音声入力をオンまたはオフにしたり、画面キーボード上に音声入力のマイクキー  を設定したりするためのダイアログが表示されます。「テキストの音声入力」(37 ページ) をご覧ください。

入力言語 表示された[入力言語]画面で、画面キーボードで利用する言語のチェックボックスをオンにします。キーボードの言語の変更については、「画面キーボードの使い方」(33 ページ) をご覧ください。

クイックフィックス よくあるスペルミスを自動的に修正する場合はオンにします。

入力候補を表示 オンにすると、入力時に画面キーボードの上部に候補が表示されます。「画面キーボードの使い方」(33 ページ) をご覧ください。

オートコンプリート オンにすると、スペースまたは句読点の入力時に、キーボードの上のバーにハイライト表示された入力候補が自動的に入力されます。「画面キーボードの使い方」(33 ページ) をご覧ください。

[端末内蔵キーボード] 設定画面

この設定は、携帯端末に物理的なキーボードが搭載されている場合のみ選択できます。

自動修正 入力時にスペルミスを修正する場合はオンにします。

自動大文字変換 英字入力で文頭文字を大文字にする場合はオンにします。

ピリオド自動挿入 スペースキーを2回続けて押すとピリオド (.) が挿入されるようにする場合はオンにします。

音声入出力の設定

[音声入出力の設定] では、Android の音声入力機能（「テキストの音声入力」(37 ページ) をご覧ください）と音声合成機能（「ユーザー補助の設定」(388 ページ) で説明した TalkBack などのアプリケーションで利用します）を設定できます。

[Google 音声認識の設定] 画面

言語 開いた画面で、音声入力時に使用する言語を設定します。

セーフサーチ Google 音声検索の利用時に、Google セーフサーチでフィルタリングして一部の結果をブロックするかどうかを設定します。検索結果をフィルタリングしない（オフ）、画像のアダルトフィルタのみオンにする（中）、テキストと画像のアダルトフィルタをオンにする（強）、のいずれかを設定できます。

不適切な語句をブロック オフにすると、多くの人が不快に思う語句を音声入力中に発しても、Google 音声認識で識別され、そのまま入力されます。オンにすると、そのような語句は Google 音声認識でシャープ記号（#）に置き換えられます。

[テキスト読み上げの設定] 画面

音声合成機能のデータをまだインストールしていない場合のみ、[**音声データをインストール**] 設定を利用できます。

サンプルを再生 現在の設定で、音声合成の短いサンプルを再生します。

常に自分の設定を使用 各アプリケーションの音声合成設定ではなく、この画面の設定を使用する場合はオンにします。

既定のエンジン 使用するテキスト読み上げアプリケーションを設定するためのダイアログが表示されます（複数のテキスト読み上げアプリケーションをインストールしている場合）。

音声データをインストール 音声合成データがインストールされていない場合に、Android マーケットに接続して音声合成データをダウンロードし、インストールできます。この設定は、音声合成データが既にインストールされている場合は利用できません。

音声の速度 音声合成で読み上げる速さを選択するためのダイアログが表示されます。

言語 音声合成機能が読み上げる言語を選択するためのダイアログが表示されます。[常に自分の設定を使用] 設定と組み合わせて使うと、どのアプリケーションでも適切に読み上げられるため特に便利です。

エンジン 携帯端末にインストールされているテキスト読み上げエンジンのリストを表示します。いずれかのエンジンをタップすると、その設定を表示または変更できます。

ユーザー補助の設定

[ユーザー補助の設定]では、携帯端末にインストールしているユーザー補助プラグインについて設定できます。

ユーザー補助 オンにすると、インストールしたユーザー補助プラグインがすべて有効になります。

KickBack オンにすると、携帯端末のユーザー インターフェイス内を移動する、ボタンを押すなどの操作に反応して、端末が短時間振動します。

TalkBack オンにすると、携帯端末のユーザー インターフェイス内を移動する際に、インストールされている音声合成機能でラベルやアイテムの名前が読み上げられます。

SoundBack オンにすると、携帯端末のユーザー インターフェイス内を移動する際に操作音が鳴ります。

電源ボタンで通話を終了する オンにすると、電源ボタンを押したときに画面のオン / オフを切り替えるのではなく、通話を終了します。

ホルダーの設定

携帯端末がお手持ちのカーホルダーまたはデスクトップホルダーに対応している場合、[ホルダーの設定]で端末のホルダーの連携方法を設定できます。

端末をホルダーに装着したときに開くアプリケーションについては、「ナビメニュー」(335ページ)、「時計」(329ページ)、およびホルダーの取扱説明書をご覧ください。

音声 カーホルダーまたはデスクトップホルダーに携帯端末が挿入されているときに設定できます。カーホルダーの場合、音楽などのメディアの音声をホルダーのスピーカーで再生するかどうか、またホルダーをスピーカーフォンとして使用するかどうかを設定するためのダイアログが表示されます。デスクトップホルダーの場合、音楽などの音声をオーディオ出力ポート経由で再生するかどうかを設定できます。この設定は、使用しているホルダーにのみ適用されます。設定はホルダーごとに変えることができます。

ホルダー装着時の音 端末のホルダー脱着時に音を鳴らす場合はオンにします。

日付と時刻の設定

[日付と時刻]の設定では、日付の表示方法を設定できます。また、モバイルネットワークから現在時刻を取得せずに、ローカルの時刻やタイムゾーンを設定することもできます。

自動 携帯端末の日付、時刻、タイムゾーンを、モバイルネットワークから現在時刻を取得せずに手動で設定する場合はオフにします。

日付設定 [自動]をオフにした場合は、携帯端末の日付を手動で設定するためのダイアログが表示されます。

タイムゾーンを選択 [自動]をオフにした場合は、携帯端末のタイムゾーンを設定するためのダイアログが表示されます。

時刻設定 [自動]をオフにした場合は、携帯端末の時刻を設定するためのダイアログが表示されます。

24 時間表示 オンにすると、1:00 PM ではなく 13:00 のように、時刻が 24 時間表示になります。

日付形式 日付の表示形式を選択するためのダイアログが表示されます。

端末情報

[端末情報] では、携帯端末に関するさまざまな情報を表示できます。

[端末情報] 画面

システムアップデート Android システム ソフトウェアのアップデートが入手可能かどうかを知らせる画面が表示されます。

端末の状態 [端末の状態] 画面に、電池、モバイル ネットワーク接続、その他の詳細に関する情報がリスト表示されます。

電池使用量 前回携帯端末を充電してから使用したアプリケーションやオペレーティング システム コンポーネントのリストが、電力使用量順に表示されます。「電池の節約方法」(49 ページ) をご覧ください。

法的情報 携帯端末にインストールされているソフトウェアの法的情報を参照できます。

バージョン情報 モデル番号、携帯端末のハードウェア、オペレーティング システム ソフトウェアのバージョンの詳細がリスト表示されます。この情報は、ご利用の携帯通信会社のサポート チームにサポートを依頼する場合に役立ちます。

